



Table of Contents

日本語

ENGLISH

INTRODUCTION

Thank you for purchasing an Ibanez guitar. In order to keep your guitar in the best possible condition, please read this manual for information on care and adjustment.

メンテナンスマニュアル

安全にお使いいただくために.....	5
本体各部の名称.....	7
付属品.....	8
弦の交換.....	8
チューニング.....	9
弦高.....	9
ネック調整.....	10
弦長(イントネーション).....	10
お手入れ.....	11
AUTO-TRIMペグ.....	12
コレットノブ.....	12

調整マニュアル

Edge/Lo-Pro Edgeトレモロ・ブリッジ.....	13
Edge-Proトレモロ・ブリッジ.....	17
Edge-Zero / ZR-2トレモロ・ブリッジ.....	21
FX Edge III/FX Edge III-8ブリッジ.....	25
SynchroniZR(シンクロナイザー).....	27
Tight-Endブリッジ/Tight-End Rブリッジ (6弦用/7弦用).....	30
Tight-Tuneブリッジ.....	31
ジブラルタル0 8ブリッジ/クイックチェンジ0 8 テールピース.....	32
ジブラルタルスタンダードブリッジ (7弦用/8弦用).....	32
フルチューン IIブリッジ.....	33
フルアコースティック・ギター・ブリッジ.....	34
フルアコースティック・ギター・ テールピース(GB10).....	34
フルアコースティック・ギター・ストラップボタン.....	34
PICKUPS.....	205
CONTROLS.....	206

Maintenance Manual

GUITAR PART IDENTIFICATION.....	37
ATTACHMENTS.....	38
STRING REPLACEMENT.....	38
TUNING.....	39
STRING HEIGHT.....	39
NECK ADJUSTMENT.....	40
INTONATION.....	40
CLEANING.....	41
AUTO-TRIM peg.....	42
COLLET KNOB.....	42

Adjustment Manual

Edge/Lo-Pro Edge tremolo bridge.....	43
Edge-Pro tremolo bridge.....	47
Edge-Zero / ZR-2 tremolo bridge.....	51
FX Edge III/FX Edge III-8 bridge.....	55
SynchroniZR.....	57
Tight-End bridge / Tight-End R bridge (for 6-string and 7-string).....	60
TIGHT-TUNE BRIDGE.....	61
GIBRALTAR BRIDGE 08 / QUICK CHANGE 08 TAILPIECE.....	62
Gibraltar standard bridge (7-string / 8-string models).....	62
Full Tune II bridge.....	63
Full acoustic guitar bridge.....	64
Full acoustic guitar tailpiece (GB10).....	64
Full acoustic guitar strap button.....	64
PICKUPS.....	205
CONTROLS.....	206

EINLEITUNG

Sehr geehrter Kunde, sehr geehrte Kundin, vielen Dank, dass Sie sich zum Kauf einer Gitarre aus dem Hause IBANEZ entschlossen haben. Sie haben damit eine gute Wahl getroffen. Um Ihr neues Instrument stets im Bestzustand zu erhalten, sollten Sie die nachstehende Anleitung zur Pflege und Justierung Ihrer neuen Gitarre genau beachten, um lange ungetrübte Freude damit zu haben. Ihre Firma IBANEZ

Wartungshandbuch

IDENTIFIKATION DER GITARRENTEILE	65
ANBAUTEN	66
ERSETZEN VON SAITEN	66
STIMMEN	67
SAITENHOEHE	67
EINSTELLEN DES HALSES.....	68
INTONATION	68
REINIGEN	69
AUTO-TRIM-Stimmwirbel	70
DREHREGLER	70

Einstellungshandbuc

Edge/Lo-Pro-Edge-Tremolosteg	71
Edge-Pro-Tremolosteg	75
Edge-Zero-/ZR-2-Tremolosteg	79
FX-Edge-III-/FX-Edge-III-8-Steg.....	83
SynchroniZR.....	85
Fester Steg / Fester R-Steg (für 6-Saitige und 7-Saitige).....	88
TIGHT-TUNE-BRIDGE.....	89
SAITENHALTER GIBALTAR 08 / QUICK CHANGE TAILPIECE 08.....	90
GIBALTAR STANDARDSTEG (7-SAITIGE / 8-SAITIGE MODELLE)	90
Full-Tune-II-Steg.....	91
Steg für vollakustische Gitarre	92
Saitenhalter für vollakustische Gitarre (GB10)...	92
Gurtknopf für vollakustische Gitarre	92
PICKUPS	205
CONTROLS	206

INTRODUCTION

Nous vous remercions d'avoir acheté une guitare Ibanez. Ce manuel contient les informations concernant l'entretien et le réglage qui permettront à l'instrument de conserver toutes ses caractéristiques et ses qualités.

Manuel d'entretien

IDENTIFICATION DES ÉLÉMENTS DE LA GUITARE ...	93
FIXATIONS	94
REMPLACEMENT DES CORDES.....	94
ACCORDAGE	95
HAUTEUR DES CORDES.....	95
RÉGLAGE DU MANCHE	96
INTONATION.....	96
NETTOYAGE	97
Mécanique AUTO-TRIM.....	98
BOUTON DE POTENTIOMETRE.....	98

Manuel de réglage

Chevalet vibrato Edge/Lo-Pro Edge	99
Chevalet vibrato Edge-Pro.....	103
Chevalet vibrato Edge-Zero/ZR-2.....	107
Chevalet FX Edge III/FX Edge III-8	111
SynchroniZR.....	113
Chevalet Tight-End/Tight-End R (pour les guitares à 6 et 7 cordes).....	116
CHEVALET TIGHT-TUNE.....	117
CHEVALET GIBALTAR 08 / CORDIER QUICK CHANGE 08.....	118
CHEVALET GIBALTAR STANDARD (MODÈLES À 7 CORDES / 8 CORDES)	118
Chevalet Full Tune II.....	119
Chevalet de guitare acoustique.....	120
Cordier de guitare acoustique (GB10).....	120
Bouton de sangle de guitare acoustique.....	120
PICKUPS	205
CONTROLS	206

INTRODUCCIÓN

Gracias por adquirir una guitarra Ibanez. Para mantener su guitarra en las mejores condiciones posibles, lea este manual para obtener información sobre el cuidado y los ajustes del instrumento.

Manual de mantenimiento

IDENTIFICACIÓN DE LOS COMPONENTES DE LA GUITARRA	121
ARTÍCULOS SUMINISTRADOS	122
CAMBIO DE CUERDAS	122
AFINACIÓN.....	123
ALTURA DE LAS CUERDAS	123
AJUSTE DEL MÁSTIL.....	124
OCTAVACIÓN.....	124
LIMPIEZA	125
Clavijas AUTO-TRIM	126
BOTÓN DE CONTROL.....	126

Manual de ajustes

Puente de trémolo Edge/Lo-Pro Edge	127
Puente de trémolo Edge-Pro.....	131
Puente de trémolo Edge-Zero / ZR-2.....	135
Puente FX Edge III/FX Edge III-8	139
SynchroniZR.....	141
Puentes Tight-End y Tight-End R (para modelos de 6 y 7 cuerdas)	144
PUENTE TIGHT-TUNE	145
PUENTE GIBALTAR 08/CORDAL QUICK CHANGE 08"	146
PUENTE GIBALTAR ESTÁNDAR (MODELOS DE 7/8 CUERDAS)	146
Puente Full Tune II.....	147
Puente de guitarra de caja	148
Cordal para guitarras de caja (GB10)	148
Pivote de correa para guitarras de caja	148
PICKUPS.....	205
CONTROLS.....	206

INTRODUZIONE

Complimenti per aver acquistato una chitarra Ibanez.

Affinché la chitarra sia sempre nelle migliori condizioni possibili, leggere attentamente il presente manuale che informa su come mantenere e regolare lo strumento.

Istruzioni per la manutenzione

IDENTIFICAZIONE DELLE PARTI DELLA CHITARRA.....	149
ACCESSORI INCLUSI.....	150
SOSTITUZIONE DELLE CORDE	150
ACCORDATURA	151
ALTEZZA DELLE CORDE.....	151
REGOLAZIONE DEL MANICO.....	152
INTONAZIONE	152
PULIZIA.....	153
Perno AUTO-TRIM	154
MANOPOLA DI CONTROLLO	154

Istruzioni per la regolazione

Ponte tremolo Edge/Lo-Pro Edge	155
Ponte tremolo Edge-Pro.....	159
Ponte tremolo Edge-Zero / ZR-2	163
Ponte FX Edge III/FX Edge III-8	167
SynchroniZR.....	169
Ponte Tight-End / Ponte Tight-End R (chitarre a 6 e 7 corde)	172
PONTE / CORDIERA TIGHT-TUNE	173
PONTE GIBALTAR 08/CORDIERA QUICK CHANGE 08.....	174
PONTE GIBALTAR STANDARD (MODELLI A 7 E 8 CORDE).....	174
Ponte Full Tune II.....	175
Ponte per chitarra acustica.....	176
Cordiera per chitarra acustica (GB10)	176
Pirolo reggitracolla per chitarra acustica	176
PICKUPS.....	205
CONTROLS.....	206

引子

衷心感谢您选购Ibanez乐器！本说明书将说明如何保护乐器的漆面，并使您的吉他演奏保持刚出厂时的良好状态。

产品维护手册

吉他部件的说明	177
配件	178
更换琴弦	178
调音	179
弦高	179
琴颈调整	180
八度音调整	180
清洁	181
AUTO-TRIM弦准	182
COLLET 旋钮	182

调整手册

Edge/Lo-Pro Edge 颤音琴桥	183
Edge-Pro 颤音琴桥	187
Edge-Zero/ZR-2 颤音琴桥	191
FX Edge III/FX Edge III-8 琴桥	195
SynchroniZR	197
Tight-End 琴桥/Tight-End R 琴桥 (供六弦吉他和七弦吉他使用)	200
TIGHT-TUNE 琴桥	201
GIBALTAR琴桥 08 / QUICK CHANGE 拉弦板 08	202
GIBALTER STANDARD 琴桥 (7-弦 / 8-弦型号)	202
Full Tune II 琴桥	203
全原音吉他琴桥	204
全原声吉他拉弦板 (GB10)	204
全原声吉他条状按钮	204
PICKUPS	205
CONTROLS	206



安全にお使いいただくために

本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この冊子では、安全にお使いいただく上でお気をつけていただきたい点と、お手入れの際の注意点がまとめてあります。

表示記号について

本書では、本機を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために事項を下記の記号で表示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

📌 お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- 外部要因によって生じた本機の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

湿気の多い場所では演奏しないでください。

感電の恐れがありますので、直接雨がかかる野外や風呂場などの湿気の多い場所では演奏しないでください。



⚠ 注意

楽器を振り回さないでください。

プロのステージアクションをまねて、演奏中にギターを振り回したり体のまわりでギターを回したりすると、ギターがストラップから外れたりし、まわりの人に当たってけがをさせるなどの事故の原因になりますのでおやめください。



演奏中に顔を楽器に近づけないでください。

ギターの低音弦やベース等の太い弦が切れた場合、手や顔に当たってけがをする恐れがあります。弦が切れる前にこまめに新しいものと交換してください。特に目に弦が当たった場合などは失明の危険がありますので演奏中に弦に顔を近づけることはおやめください。

ギター、ベース用弦は消耗品です。弦が古くなっていると、通常の弾きかたをしているにもかかわらず（特別に強く弾いたりしなくても）、演奏中に弦が切れてしまう場合があります。



極端な大音量で鳴らさないでください。

ギターアンプ、ヘッドフォンを使用する場合に、長時間大音量で使用していると回復できない難聴になる恐れがあります。またアンプの故障の原因にもなりますので、極端な大音量での使用は避けてください。

さびた弦を使わないでください。

弦（特にギターの1、2、3弦）がさびてくると、弦で指を切ってけがをする恐れがあります。こまめに弦を新しいものと交換してください。



ストラップがゆるんだまま演奏しないでください。

ストラップを使って立って演奏する場合は、ストラップが確実にストラップピンにかかっていることを確認してください。ギターが足の上などに落下してけがをする恐れがあります。

ピックガードの尖ったところに注意してください。

エレクトリックギターの一部のモデルでは、デザイン上ピックアップの先端部分が非常に鋭くなっています。ピックングの際やクロスで清掃するときなどにけがをしないようにご注意ください。

△注意

フレットのエッジ部分でのけがに注意してください。

ギターのネックは木製品ですので、モデルによってはまれにネックの乾燥によってフレットがネックからはみ出してくることがあります。このような状態で演奏すると、フレットの端で手を傷つける恐れがあります。万一このようになった場合は、直ちに演奏を中止してお買い求めになった販売店に修理を依頼してください。

無理に弦を張らないでください。

弦を張る場合は、本来の音程以上に強く巻かないよう、チューニングをしながら丁寧に巻いてください。必要以上に強く弦を巻いてしまうと、新品の弦であっても切れてけがをする恐れがあります。また、切れた弦が目当たった場合などは失明の危険がありますので、弦を交換する際は、弦に顔を近づけることはおやめください。

トレモロに指をはさまないように注意してください。

トレモロシステムには弦の張力を支えるために非常に強いばねを使用しています。弦を交換する場合など、トレモロ部分で指をはさんでけがをしないようにご注意ください。



弦で手を傷つけないよう注意してください。

弦の切断部分（特にギターの1、2、3弦）は非常に鋭くなっており、直接触れると手を傷つける恐れがあります。特にギターのヘッドをクロスなどで清掃する場合に、糸巻き部分に手が当たってけがをしないようにご注意ください。弦を交換したら、弦の余った部分が指に当たらない程度まで短く切っておきましょう。



換気の悪い場所ではスプレー式クリーナーを使わないでください。

スプレー式のギタークリーナーなどを使用する場合は、換気に注意してください。風通しの悪い場所で使用すると中毒症状を起こす恐れがあります。また可燃性のものは火気に十分注意して作業してください。



ケースのふたやバッグのファスナーを開けたまま持ち運ばないでください。

ギターケース、バッグに入れて持ち運ぶ場合は、ケースの留め金やファスナーがしっかりとかかっていることを確認してください。ふたが開いてギターが落下する場合があります。

●お願い

古くなった電池を楽器に入れたままにしないでください。

乾電池を使用した製品では、乾電池の液漏れ等にご注意ください。また、乾電池は使用しない場合でも自然に放電してしまう特性がありますので、定期的に交換することをおすすめします。乾電池を捨てる場合は、自治体、電気店等の専用の回収箱をご利用ください。また、使用済みの乾電池を火の中に入れると爆発する恐れがあり非常に危険です。

ギターの表面を樹脂製品などに接触させたまま保管しないでください。

樹脂製品や家具などの塗装されたものに、ギターの表面を直接長時間接触させた場合、色移りしたり溶着したりしてお互い損なう恐れがあります。ギターケース、バッグに入れておくか、布製の袋に入れるなどして直接それらに接触しないように保管してください。

ベンジン、シンナーでは拭かないでください。

ギターの表面をクリーニングする場合にベンジン、シンナー等の薬品を使用すると、変質したり変色したりする恐れがあります。ギター用として販売されているクリーナーをご使用ください。

保管、運送などでは以下のような点にお気をつけてください。

- ギターは木製品です。投げたり落としたりすると容易に破損してしまいます。丁寧にお取り扱いください。
- 高温・多湿の場所、砂やほこりの多い場所を避け、換気の良い場所に保管してください。
- 直射日光が当たると、塗装等の色があせてくる恐れがあります。
- 雨の中で演奏するなどしてギターに直接水分がかかったり、炎天下での演奏など高温の場所に長時間さらされると、ボディ、ネック等の木部に狂いを生じる恐れがあります。



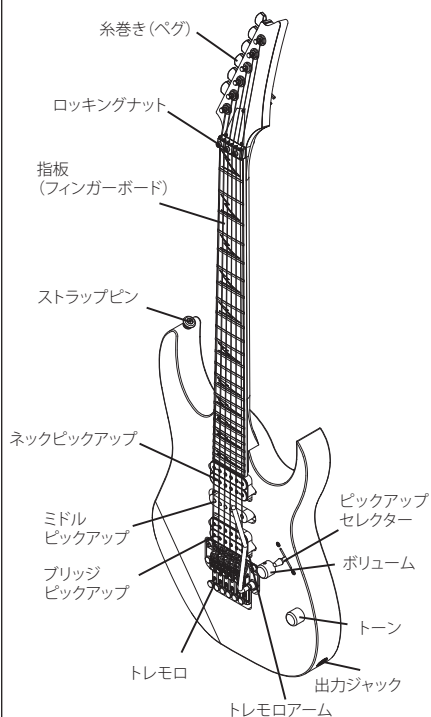
- 宅急便などを利用して輸送する場合は専用のハードギターケースを使用するか、丈夫なカートンを使用して緩衝材を十分つめて梱包し、ワレモノ扱いにしてください。楽器店で購入したときのカートンは運送用には適していない場合があります。そのまま出荷すると破損する恐れがあります。



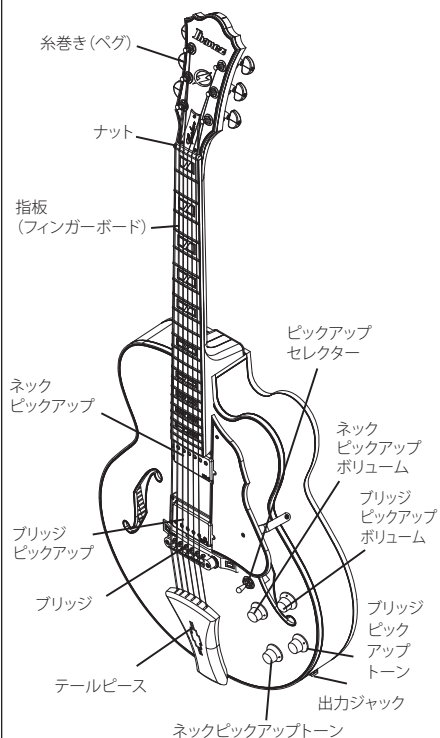


本体各部の名称

エレキギター



セミ、フルアコースティックギター



※ イラストはIbanezの代表的なモデルです。お買い求めのギターが必ずしもイラストと一致しない場合があります。

※ トレモロ/ブリッジの調整については、搭載されているトレモロ/ブリッジにより異なります。

詳しくは該当のトレモロ/ブリッジ項をご確認ください。

※ 各モデルのコントロールについては、「CONTROLS」項(P206)をご確認ください。

JP



付属品

	マルチ ツール	トレモロ アーム	六角レンチ					8mmパイ プレンチ
			1.5mm	2mm	2.5mm	3mm	4mm	
Edgeトレモロ・ブリッジ	○	○					○	
Edge-Proトレモロ・ブリッジ	○	○					○	
Edge-Zeroトレモロ・ブリッジ	○	○						
Lo-Pro Edgeトレモロ・ブリッジ	○	○					○	
FX EdgeIII-8ブリッジ	○							
SynchroniZRトレモロ・ブリッジ	○	○						
ジブラルタルスタンダード 6/7/8/9ブリッジ	○							
ジブラルタル08ブリッジ/クイ クチェンジ08テールピース	○							○
Tight-Tuneブリッジ	○							
Tight-End / Tight-End Rブリッジ	○							
ZR-2トレモロ・ブリッジ	○	○						
セミアコースティックギター			○				○	○
フルアコースティックギター								○

※ DiMarzio社製ピックアップ搭載モデルには、ポールピース高調整用六角レンチが付属します。

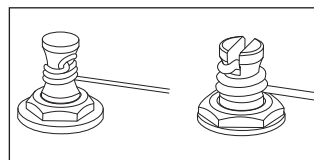
※ 7弦用Edge-Zeroトレモロ・ブリッジ搭載モデルには、強化スプリングが付属します。



弦の交換

弦は使用しているうちに劣化し性能が低下するため、ビレや音程の狂いが生じることがあります。弦に錆や変色が見られる場合や、音質の低下、音のビリつきが酷くなったと感じた場合には弦を交換してください。全ての弦を同時期に交換されることをお勧めします。折れ、ねじれ、傷等がある弦は本来の性能を発揮できませんので、ご使用にならないでください。

弦は糸巻き(ペグ)のポストから下へ2~3回、長さにして5~7cmを目安に、弦が交差しないように巻きます。交換作業に際しては全ての弦を一度に外してしまうのではなく1本ずつ交換を行うことで、ネックにかかる急激な力の変化やトレモロのバランスを崩してしまうリスクを軽減できます。



※ AUTO-TRIMペグ搭載モデルについては弦の巻き方が異なります。

詳しくは「AUTO-TRIMペグ」項(P12)をご確認ください。

※トレモロ/ブリッジに取り付けられた弦の着脱方法は、搭載されているトレモロ/ブリッジにより異なります。詳しくは該当のトレモロ/ブリッジ項をご確認ください。



チューニング

Ibanezのギターは、出荷時に下記のチューニングで各部の調整を行っています。

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	9th
6-strings	E	B	G	D	A	E	-	-	-
7-strings	E	B	G	D	A	E	B	-	-
8-strings	D#	A#	F#	C#	G#	D#	A#	F	-
9-strings	E	B	G	D	A	E	B	F#	C#

例外として、下記のモデルがあります。

RGD、APEX

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th
6-strings	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
7-strings	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th
	E	B	G	D	A	E	B	E

演奏、調整の際はチューニングメーターや音叉等を使用し、各弦の開放音を上記の音程にチューニングしてください。音程が高い場合は一度弦を緩めて音程を少し下げた後、巻き上げながら音程を合わせるようにするとチューニングが安定しやすくなります。表の音程以外でチューニングをする場合、または標準と異なるゲージの弦を使用する場合には、ネックの調整やイントネーションの調整が必要になる場合があります。ネックの調整、イントネーションの調整についてはそれぞれ「ネック調整」項(P10)、「弦長(イントネーション)」項(P10)をご確認ください。



ご注意

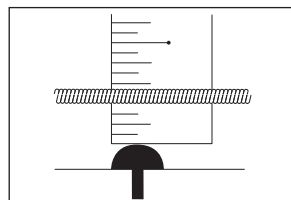
- ・ 極端なチューニングやエレキギター弦以外の弦の使用は、部品の破損や思わぬ怪我に繋がることがありますのでご注意ください。



弦高

弦高とはフレットと弦との距離のことです。

弦高の測定は、正確にチューニングを行った後、14フレットに定規をあて、フレットの先端から弦の下端までの距離を測定します。
弦高の目安は、1弦で1.5～1.7mm、6弦で2.0mm～2.2mmです。
7弦ギターの場合は7弦で2.2mm～2.4mm、8弦ギターは8弦で2.4mm～2.6mmになります。



上記の弦以外の弦高は、1弦から最低音弦へ向かって徐々に隙間が大きくなるように設定してください。弦高が高すぎると演奏性が悪化し、低すぎると弦ビレや音詰まり、サスティーンの劣化等を招きます。弦高を適正な値にしても弦ビレや音詰まりが発生する場合には、ネックの反りを調整する必要がある可能性があります。

詳しくは「ネック調整」項(P10)をご確認ください。

※ 弦高調整の方法は、搭載されているトレモロ/ブリッジの種類によって異なります。詳しくは該当トレモロ/ブリッジ項をご確認ください。

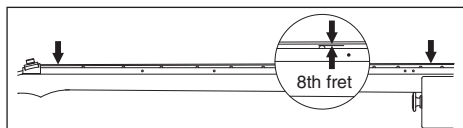


ネック調整

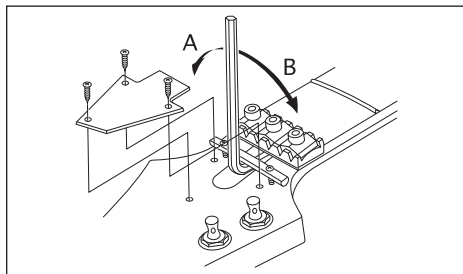
ネックには常に弦の張力がかかっており、チューニングの状態や弦のゲージを変更したときだけでなく、温度や湿度の変化によっても反り具合が微妙に変化します。適正な弦高調整とチューニングを行ってもビレや音詰まりが発生する場合は、ネックの反り具合を確認し、調整する必要があります。

1. ネックの状態を確認します。

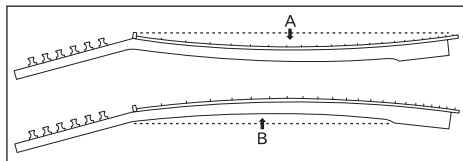
正確にチューニングを行った後、演奏時の状態にギターを持ち、1弦の1フレットと、ネックとボディの接合部分に最も近いフレットの両方を押さえた状態で、8フレットでの弦とフレットとの隙間を測ります。同様に最低音弦でも測定し、それぞれの隙間が0.3mm～0.5mmになるように調整します。



2. 隙間が0.3mmより小さい場合は、ネックのヘッド側に取り付けられたアジャストナットを六角レンチやソケットレンチを使用してA方向へ回して、ネックを順反り方向へ動かします。



3. 隙間が0.5mmより大きい場合は、アジャストナットをB方向に回して、ネックを逆反り方向に動かします。



※ アジャストナットは1/4回転を目安に、チューニングを確認しながら少しずつ行ってください。



ご注意

- ・ ネックの調整には十分な注意が必要です。無理な調整は故障の原因となりますので、正しく調整ができない場合はお買い求めの楽器店または弊社へご相談ください。

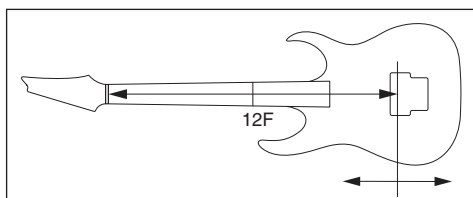


弦長(イントネーション)

弦のゲージを変更したり、変則チューニングでギターを使用する場合には、全てのフレットで正しい音程が得られるように、弦の長さ(イントネーション)を調整する必要があります。

正確にチューニングを行った後、演奏時の状態にギターを持ち、各弦の12フレットを押さえたときの音と、12フレット上でのハーモニクス音とを比較します。

12フレット上でのハーモニクス音よりも12フレットを押さえたときの音の方が音程が低い場合は、トレモロ/ブリッジのサドルを前方に動かして弦長を短くします。12フレットを押さえたときの音の方が高い場合は、サドルを後方に動かして弦長を長くします。



※ 正確なイントネーション調整を行うため、チューニングメーターを使用してください。

※ サドル位置の調整方法は、搭載されているトレモロ/ブリッジにより異なります。詳しくは該当のトレモロ/ブリッジ項をご確認ください。



お手入れ

演奏後は錆の発生を防ぐため、弦の裏側やフレット、ブリッジサドルやナット等の金属部品に付着した汗や油を拭き取ってください。金属部品に付着した埃や汚れ等は部品の機能に障害を及ぼすことがありますのでご注意ください。

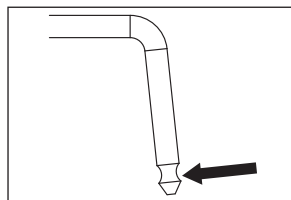
通常の拭きあげでは除去できない汚れは、少量の油を染み込ませた柔らかい布を使用して除去します。塗装面のお手入れは、揮発性の薬品や研磨剤の使用は避け、楽器専用のポリッシュを染み込ませた柔らかい布で丁寧に拭きあげてください。

オイルフィニッシュ仕上げのボディーやネックの汚れを除去する場合は、消しゴムや#1000以上の細目のサンドペーパー、#0000のスチールウール等を使用してください。

年に1～2回、家具用等の無色の仕上げオイルやガンオイルを少量使用して拭きあげると、乾燥を防止することができます。

塗装が施されていない指板面には、指板用のオイルや良質のレモンオイル等を少量含ませた布で、フレットの際まで丁寧に拭いてください。

トレモロアームを回したときに異音が発生する場合は、トレモロアーム先端の窪み部分にグリスを塗布してください。



バッテリー

ブリアンプやイコライザー等を搭載したギターには、バッテリーが使用されています。音量が小さくなる、音が歪む等機能の低下が見られる場合は、バッテリーを交換してください。

006P (9V) のバッテリーを搭載するモデルと、単三 (1.5V) 2本を搭載するモデルがあります。お買い上げのギターに搭載されているバッテリーの種類をご確認の上、同じタイプのバッテリーをご使用ください。

バッテリーはボディー裏側のバッテリーボックスに収納されています。

バッテリー搭載モデルは出力ジャックが電源スイッチを兼ねており、ジャックにプラグを挿入することで電源がオンになります。



ご注意

- ・バッテリーの消耗を防ぐため、長時間ご使用にならない場合はジャックからプラグを抜いて保管してください。



AUTO-TRIMペグ

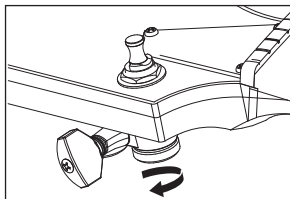
弦交換

■ 弦を外す

弦を緩め、本体下側にあるロックノブを回して弦のロックを解除します。

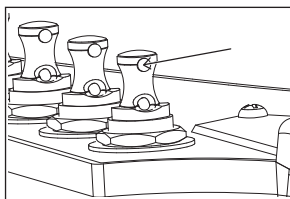
⚠️ ご注意

- ・ ロックを解除する際、弦が勢いよく外れる事がありますので注意してください。

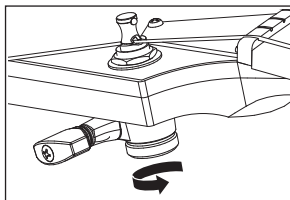


■ 弦を取り付ける

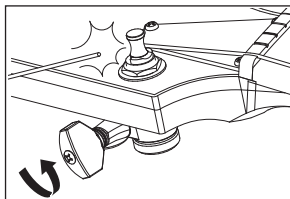
1. ポスト上部に付いている銀色のボールをブリッジ側へ向け、弦を通します。



2. 弦を引っ張りながらロックノブを回して、しっかりと弦をロックします。



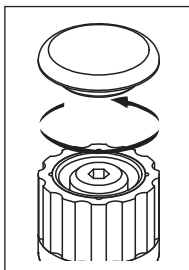
3. つまみを回していくと余分な弦が切れますので、そのままチューニングを行います。



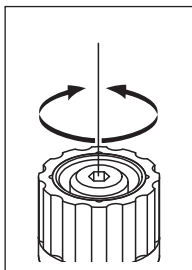
コレットノブ

コレットノブの取り外し

1. コレットノブ上部のキャップを回して外します。



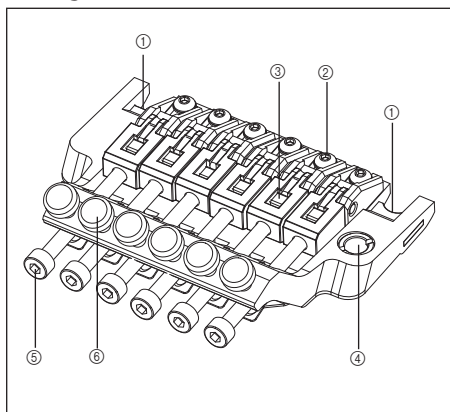
2. チャックを六角レンチ (3mm) で回して緩め、ノブを取り外します。



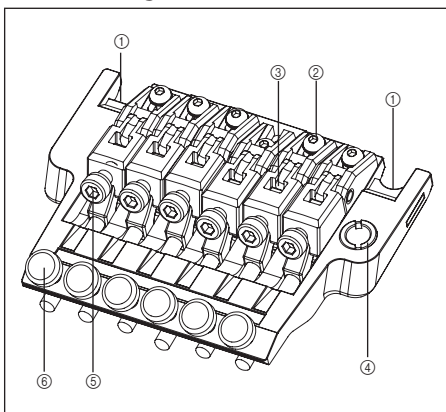


Edge/Lo-Pro Edgeトレモロ・ブリッジ

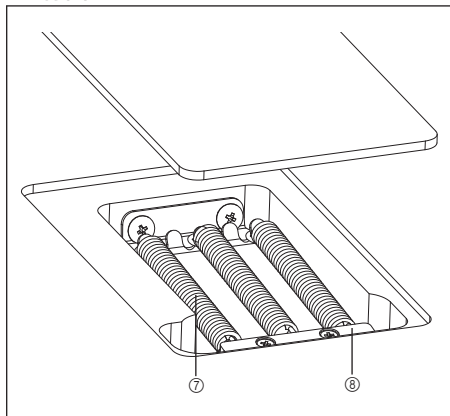
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



■ 背面

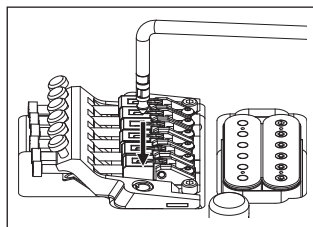


- ① ナイフエッジ
- ② サドル・ロック・ボルト
- ③ スtring・ホルダー・ブロック
- ④ アームソケット
- ⑤ String・ストッパー・ボルト
- ⑥ ファイン・チューニング・ボルト
- ⑦ トレモロ・スプリング
- ⑧ スプリング・ロック

JP

トレモロアームの取り付け

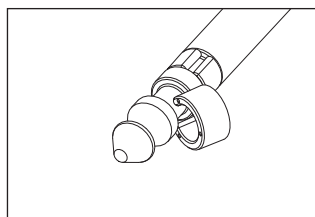
1. トレモロアームは挿し込み式です。ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って、テフロンワッシャが完全に隠れるまで確実に挿し込みます。



2. トレモロアームの締め付けは、テフロンワッシャの着脱で調整します。数が増えるほど締め付けが増し、全て外すとフリーになります。テフロンワッシャはスリット部分から斜めに着脱します。

⚠️ ご注意

- ・ テフロンワッシャを装着していても十分な締め付けが得られなくなった場合は、新しいワッシャと交換してください。

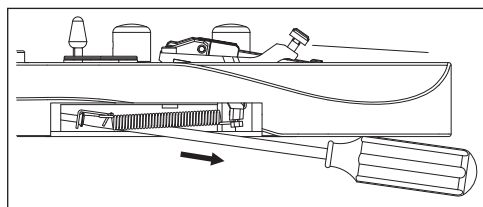
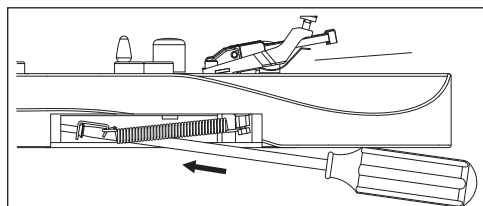
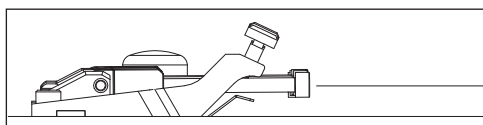


トレモロの取り付け角度調整

トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターのボディ裏側に装着されたトレモロ・スプリングの張力とのバランスで調整します。トレモロがギターのボディ表面とおおよそ平行になるように調整することで、最も優れた性能を発揮します。

1. 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。
2. トレモロが前方へ傾いている場合は、ボディ裏側のトレモロ・スプリング・カバーのスリットからプラスドライバーを挿し込み、スクリューを締め込んでトレモロ・スプリングの張力を強くします。
3. トレモロが後方へ傾いている場合は、スクリューを緩め、トレモロ・スプリングの張力を弱めます。

※ トレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。

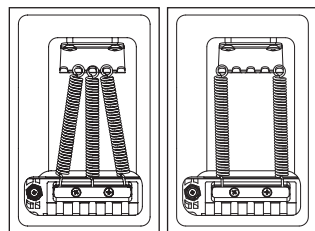
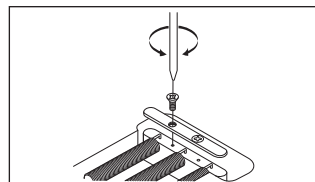


トレモロ・スプリング

工場出荷時は、3本のトレモロ・スプリングが並行に取り付けられた状態でセットアップされています。弦のゲージを変更したり、ダウンチューニングで使用するなど弦とトレモロ・スプリングとの張力バランスが大きく変化する場合には、トレモロ・スプリングの数や取り付け方の変更が必要になる場合があります。

1. スプリングロックをプラスドライバーで取り外します。
2. 張力を強めたい場合は、外側の2本のトレモロ・スプリングを斜めに取り付けます。
3. 張力を弱めたい場合は、中央のトレモロ・スプリングを取り外します。

4本以上のトレモロ・スプリングを装着する場合は、スプリングロックを取り付けているスクリュー穴を利用して取り付けます（スプリングロックは装着できなくなります）。





ご注意

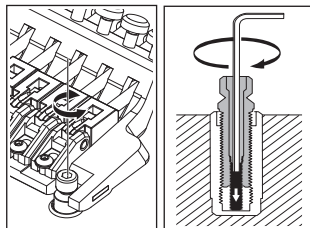
- ・トレモロ・スプリングの着脱は弦を十分に緩めてから行ってください。また、全てのスプリングを外すとトレモロがギターから外れますのでご注意ください。
- ・再度トレモロを取り付ける際は、トレモロのナイフエッジをスタッドボルトの溝に確実に挿し込んだ状態でトレモロ・スプリングを取り付けてください。

スタッド・ロック

Edge/Lo-Pro Edgeトレモロ・ブリッジは、スタッド・ロック機能を備えています。

1. 六角レンチ (1.5mm) をスタッドボルト上部の穴から挿入します。
2. スタッド・ロック・ボルトを時計方向に回し、スタッド・ロック・ボルトがアンカーナットに接触して回らなくなるまで締め込みます。

※ スタッド・ロックは、スタッド・ロック・ボルトを緩めると解除されます。



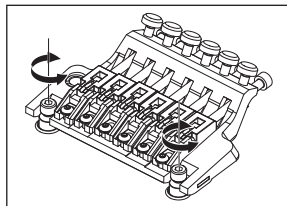
弦高調整

トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ (4mm) で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します (各弦ごとの調整は行いません)。



ご注意

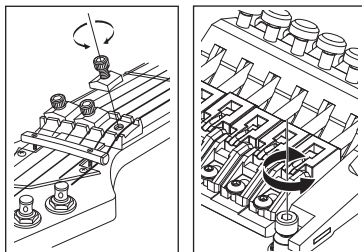
- ・弦高調整は、スタッド・ロックが解除されていることを確認してから行ってください。



イントネーション調整

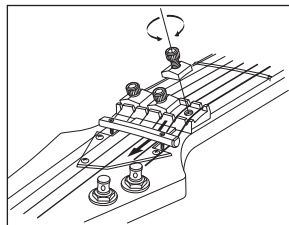
1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、十分に弦を緩めます。
2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で緩め、サドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。

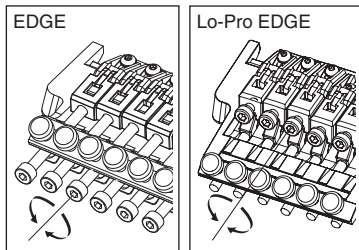


弦交換

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、糸巻きから弦を取り外します。

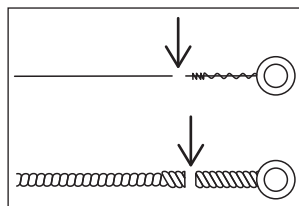


2. トレモロ本体のSTRING・STOPPER・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。



3. 新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします。

4. ボールエンドを切り落とした側の弦の先端をサドルとSTRING・ホルダー・ブロックとの間に挿入し、STRING・STOPPER・ボルトを締めて弦を固定します。



5. 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。

6. チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。

※ 全ての弦を一度に取り外すとトレモロの取り付け角度が大きく変化するため、弦交換は1本ずつ行うことをお勧めします。全ての弦を一度に取り外す場合にはトレモロの取り付け角度が大きく変化しないよう、トレモロ下部にクロス等を挟んで固定するとチューニングが比較的容易に行えます。

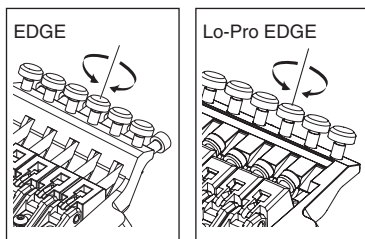


ご注意

- チューニングを行う前に、STRING・STOPPER・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ファイン・チューニング

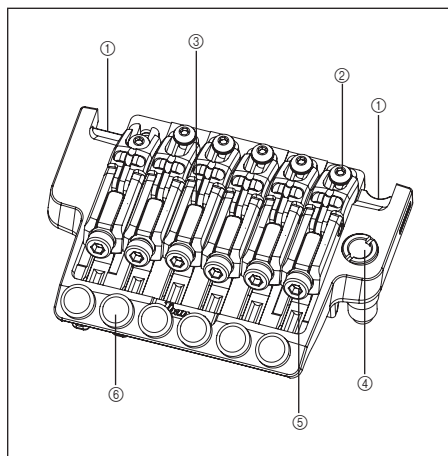
ロッキング・ナットで弦をロックした後も、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておく、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。





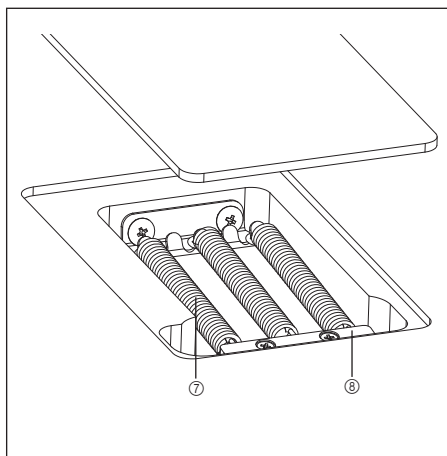
Edge-Proトレモロ・ブリッジ

■ 正面



- ① ナイフエッジ
- ② サドル・ロック・ボルト
- ③ スtring・ホルダー・ブロック
- ④ アームソケット
- ⑤ String・ストッパー・ボルト
- ⑥ ファイン・チューニング・ボルト

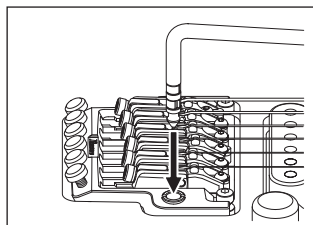
■ 背面



- ⑦ トレモロ・スプリング
- ⑧ スプリング・ロック

トレモロアームの取り付け

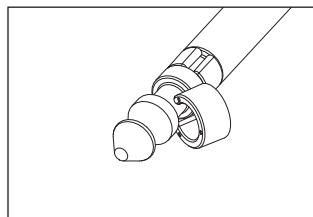
1. トレモロアームは差し込み式です。ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って、テフロンワッシャが完全に隠れるまで確実に挿し込みます。



2. トレモロアームの締め付けは、テフロンワッシャの着脱で調整します。数が増えるほど締め付けが増し、全て外すとフリーになります。テフロンワッシャはスリット部分から斜めに着脱します。

⚠ ご注意

- ・ テフロンワッシャを装着していても十分な締め付けが得られなくなった場合は、新しいワッシャと交換してください。



トレモロの取り付け角度調整

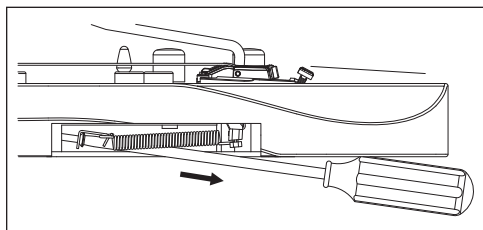
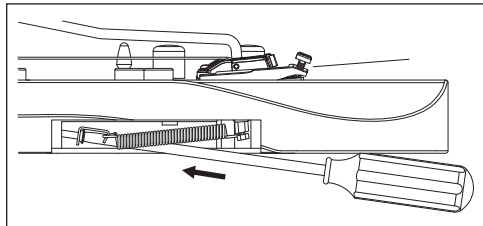
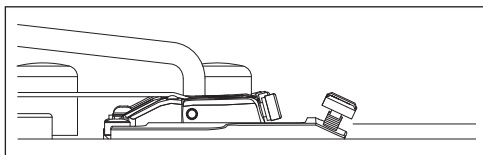
トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターのボディ裏側に装着されたトレモロ・スプリングの張力とのバランスで調整します。トレモロがギターのボディ表面とおおよそ平行になるように調整することで、最も優れた性能を発揮します。

1. 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。

2. トレモロが前方へ傾いている場合は、ボディ裏側のトレモロ・スプリング・カバーのスリットからプラスドライバーを差し込み、スクリューを締め込んでトレモロ・スプリングの張力を強くします。

3. トレモロが後方へ傾いている場合は、スクリューを緩め、トレモロ・スプリングの張力を弱めます。

※トレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。



トレモロ・スプリング

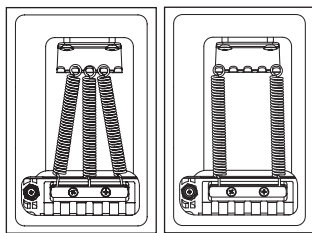
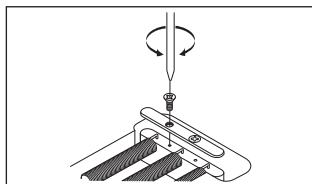
工場出荷時は、3本のトレモロ・スプリングが並行に取り付けられた状態でセットアップされています。弦のゲージを変更したり、ダウンチューニングで使用するなど弦とトレモロ・スプリングとの張力バランスが大きく変化する場合には、トレモロ・スプリングの数や取り付け方の変更が必要になる場合があります。

1. スプリングロックをプラスドライバーで取り外します。

2. 張力を強めたい場合は、外側の2本のトレモロ・スプリングを斜めに取り付けます。

3. 張力を弱めたい場合は、中央のトレモロ・スプリングを取り外します。

4本以上のトレモロ・スプリングを装着する場合は、スプリングロックを取り付けているスクリュー穴を利用して取り付けます（スプリングロックは装着できなくなります）。

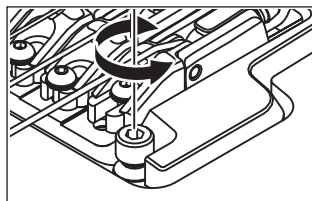


ご注意

- ・トレモロ・スプリングの着脱は弦を十分に緩めてから行ってください。また、全てのスプリングを外すとトレモロがギターから外れますのでご注意ください。
- ・再度トレモロを取り付ける際は、トレモロのナイフエッジをスタッドボルトの溝に確実に挿し込んだ状態でトレモロ・スプリングを取り付けてください。

弦高調整

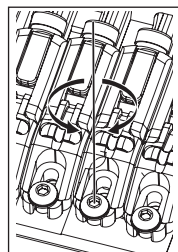
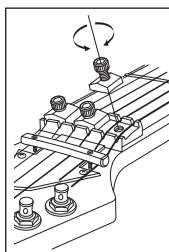
トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ(4mm)で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します(各弦ごとの調整は行えません)。



イントネーション調整

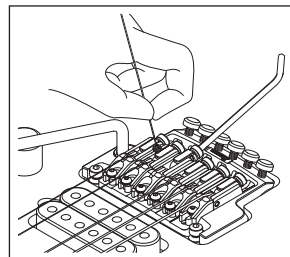
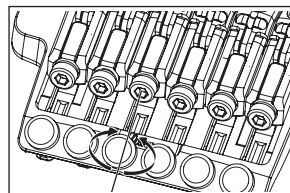
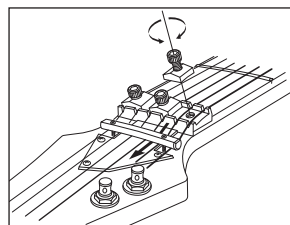
1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、十分に弦を緩めます。
2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ(2mm)で緩め、サドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。



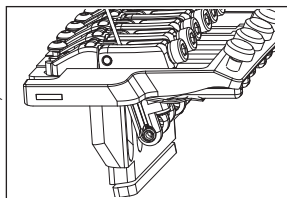
弦交換

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、糸巻きから弦を取り外します。
2. トレモロ本体のストリング・ストッパー・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。
3. 新しい弦のボールエンドをサドルとストリング・ホルダー・ブロックとの間に挿入します。
4. サドル下部に取り付けられたガイド・ストッパーにボールエンドが当たるまで弦を挿入し、ストリング・ストッパー・ボルトを締めて固定します。
5. 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。
6. チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。



※ 通常のロックングトレモロのように、ボールエンドを切った状態で弦をセットすることもできます。

※ 全ての弦を一度に取り外すとトレモロの取り付け角度が大きく変化するため、弦交換1本ずつ行うことをお勧めします。全ての弦を一度に取り外す場合にはトレモロの取り付け角度が大きく変化しないよう、トレモロ下部にクロス等を挟んで固定するとチューニングが比較的容易に行えます。

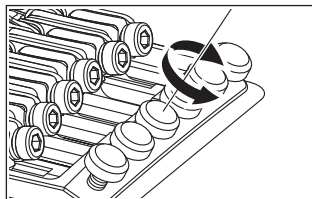


ご注意

- チューニングを行う前に、ストリング・ストップパー・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ファイン・チューニング

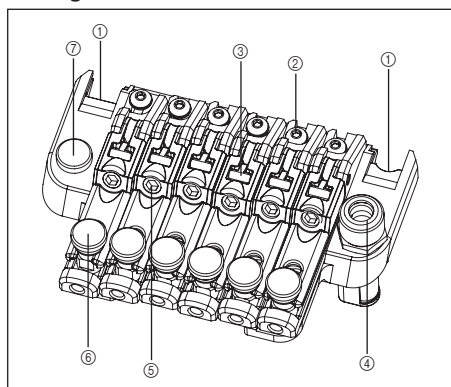
ロックング・ナットで弦をロックした後でも、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておく、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。



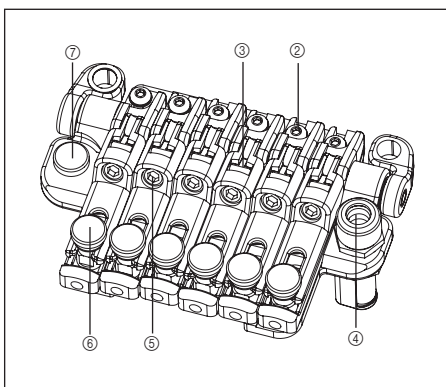


Edge-Zero / ZR-2トレモロ・ブリッジ

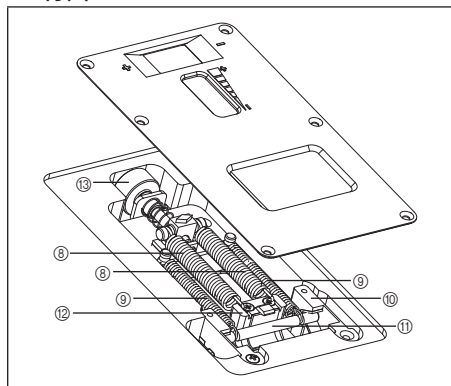
■ Edge-Zero



■ ZR2



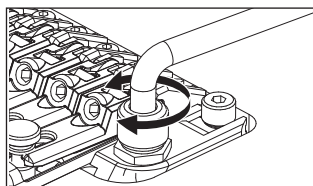
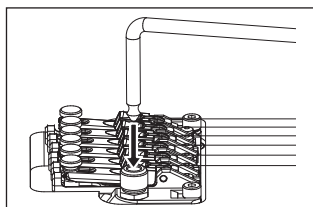
■ 背面



- ① ナイフエッジ
- ② サドル・ロック・ボルト
- ③ スtring・ホルダー・ブロック
- ④ アームソケット
- ⑤ String・ストッパー・ボルト
- ⑥ ファイン・チューニング・ボルト
- ⑦ イントネーション調整ボルト
- ⑧ メイン・スプリング
- ⑨ サブ・スプリング
- ⑩ ストッパー
- ⑪ ストップ・ロッド
- ⑫ トレモロ・ブロック
- ⑬ スプリング調整ノブ

トレモロアームの取り付け

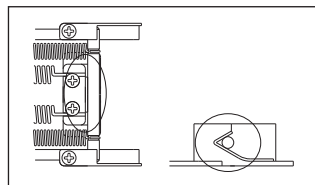
1. トレモロアームは挿し込み式です。ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って、カチッと音がするまで確実に挿し込みます。
2. トレモロアームの締め付けは、トルク調整キャップで調整します。時計方向に回すと締め付けが増し、逆に回すと締め付けが緩くなります。



JP

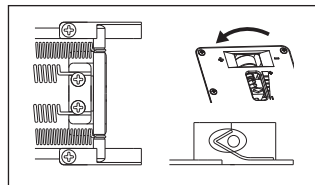
トレモロの取り付け角度調整/ゼロ・ポイント・システムの調整

トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターのボディ裏側に装着されたゼロ・ポイント・システムとのバランスで調整します。Edge-Zero/ZR2トレモロ・ブリッジは、ゼロ・ポイント・システムを正しく調整すると、トレモロがギターのボディ表面とおおよそ平行になるように設計されており、その状態で最も優れた性能を発揮します。ゼロ・ポイント・システムが正しく調整された状態とは、ストップ・ロッドがトレモロ・ブロックと密着し、且つストップ・ロッドがストップパーに接した状態を指します。

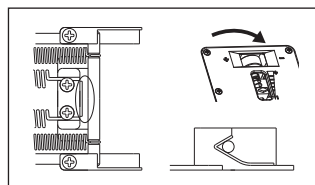


1. 正しくチューニングした状態で、ゼロ・ポイント・システムを確認します。

2. ストップ・ロッドがストップパーに接していない(トレモロ・ブロックがストップ・ロッドを押し上げている)場合は、ボディ裏側のスプリング調整ノブをプラス方向に回してメイン・スプリングの張力を強くします。



3. トレモロ・ブロックがストップ・ロッドと密着していない(トレモロが後方に傾いている)場合は、スプリング調整ノブをマイナス方向に回してメイン・スプリングの張力を弱めます。

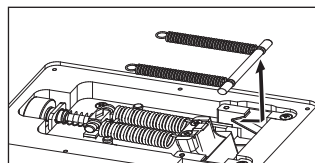


ゼロ・ポイント・システムの解除 (通常のフローティング・トレモロとして使用する場合)

ゼロ・ポイント・システムを解除することで通常のフローティング・トレモロ・ブリッジとしても使用できます。

ゼロ・ポイント・システムを解除したトレモロの取り付け角度は、弦の張力とトレモロ・ブロックに装着されたメイン・スプリングの張力とのバランスで調整します。

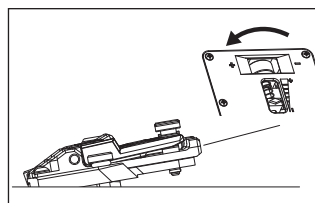
トレモロがギターのボディ表面とおおよそ平行になるように調整する事で、最も優れた性能を発揮します。



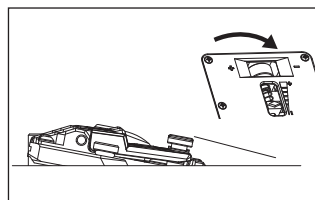
1. アーム・アップした状態(トレモロ・ブロックがストップ・ロッドから離れた状態)で、ストップ・ロッドとサブ・スプリングを取り外します。

2. 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。

3. トレモロが前方へ傾いている場合は、スプリング調整ノブをプラス方向に回してメイン・スプリングの張力を強くします。



4. トレモロが後方へ傾いている場合は、スプリング調整ノブをマイナス方向に回してメイン・スプリングの張力を弱めます。



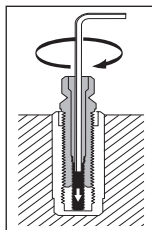
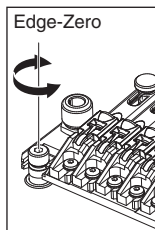
※ ゼロ・ポイント・システムを解除したトレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。

スタッド・ロック(Edge-Zeroトレモロ・ブリッジ)

Edge-Zeroトレモロ・ブリッジは、スタッド・ロック機能を備えています。

1. 六角レンチ(2mm)をスタッドボルト上部の穴から挿入します。
2. スタッド・ロック・ボルトを時計方向に回し、スタッド・ロック・ボルトがアンカーナットに接触して回らなくなるまで締め込みます。

※ スタッド・ロックは、スタッド・ロック・ボルトを緩めると解除されます。

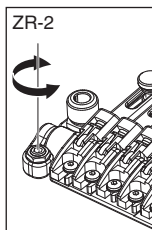
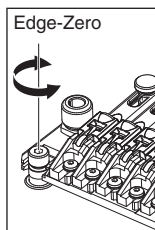


弦高調整

トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ(3mm)で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します(各弦ごとの調整は行えません)。

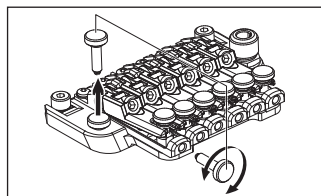
⚠ ご注意

- ・ 弦高調整は、スタッド・ロックが解除されていることを確認してから行ってください。

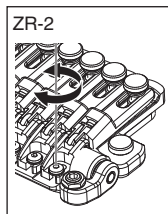
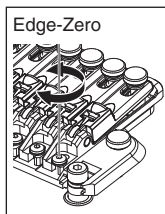


イントネーション調整

1. トレモロ本体に収納されているイントネーション調整ボルトを取り外し、サドル後部の調整穴にボルトの先端がトレモロ本体の壁に接触するまで締め込みます。
2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ(2mm)で緩め、イントネーション調整ボルトを回してサドル位置を調整します。

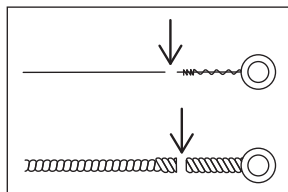
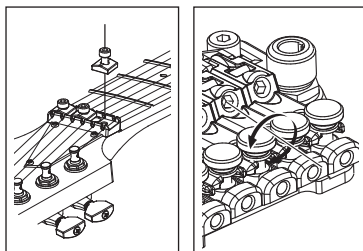


※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。チューニングは、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩めてから行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締め、イントネーション調整ボルトをトレモロ本体に収めてください。



弦交換

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、糸巻きから弦を取り外します。
2. トレモロ本体のストリング・ストッパー・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。
3. 新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします。
4. ボールエンドを切り落とした側の弦の先端をサドルとストリング・ホルダー・ブロックとの間に挿入し、ストリング・ストッパー・ボルトを締めて弦を固定します。
5. 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。
6. チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。

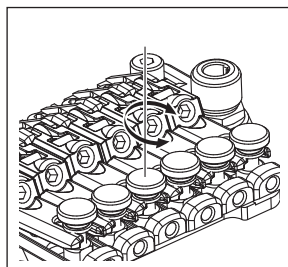


ご注意

- ・チューニングを行う前に、ストリング・ストッパー・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ファイン・チューニング

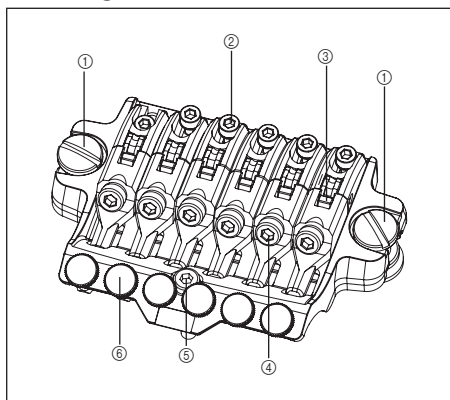
ロッキング・ナットで弦をロックした後も、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておくと、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。





FX Edge III/FX Edge III-8ブリッジ

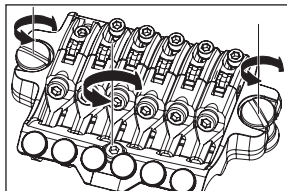
■ FX Edge III



- ①メインスタッド
- ②サドル・ロック・ボルト
- ③ストリング・ホルダー・ブロック
- ④ストリング・ストッパー・ボルト
- ⑤リアスタッド
- ⑥ファイン・チューニング・ボルト

弦高調整

- ブリッジ本体左右のメイン・スタッドをマイナスドライバーで回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します（各弦ごとの調整は行えません）。
- リア・スタッドを六角レンチ（3mm）で回して、ブリッジがギターのボディ表面とおおよそ平行になるように調整します。



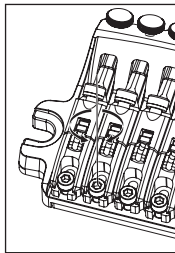
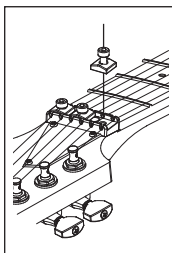
※ リア・スタッドの調整でも弦高が変化しますので、最終的な弦高の確認はリア・スタッドを調整した後行ってください。

メイン・スタッドの調整の際は、無理に回してネジ穴が傷つかないように、十分に弦を緩めてから行ってください。

イントネーション調整

- ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ（3mm）で緩め、十分に弦を緩めます。
- サドル・ロック・ボルトを六角レンチ（2mm）で緩め、サドル位置を調整します。

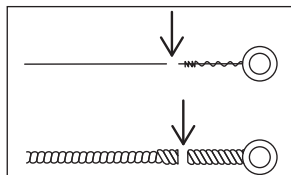
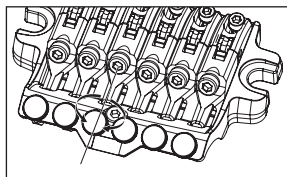
※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。



JP

弦交換

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、糸巻きから弦を取り外します。
2. ブリッジ本体のストリング・ストッパー・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。
3. 新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします。
4. ボールエンドを切り落とした側の弦の先端をサドルとストリング・ホルダー・ブロックとの間に挿入し、ストリング・ストッパー・ボルトを締めて弦を固定します。
5. 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。
6. チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。

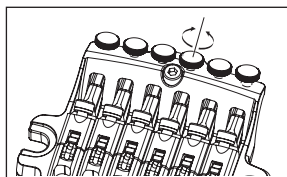


⚠️ ご注意

- ・チューニングを行う前に、ストリング・ストッパー・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ファイン・チューニング

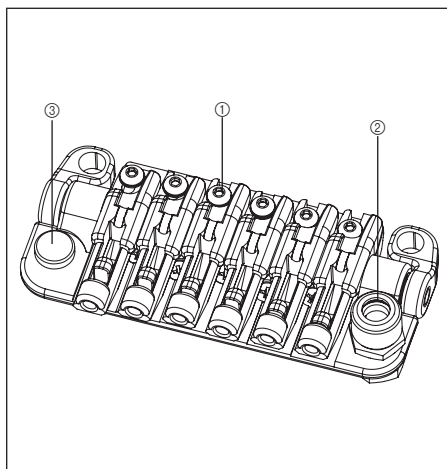
ロッキング・ナットで弦をロックした後も、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておくと、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。





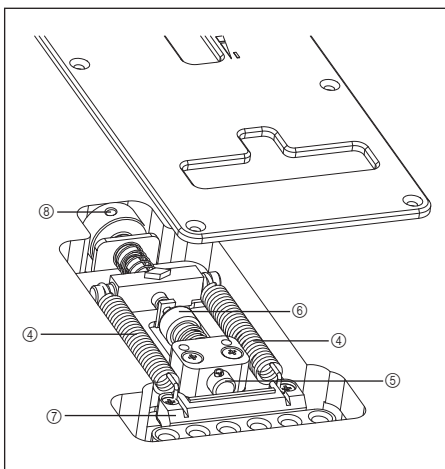
SynchroniZR (シンクロナイザー)

■ 正面



- ① サドル・ロック・ボルト
- ② アームソケット
- ③ インテンション調整ボルト

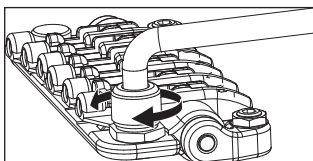
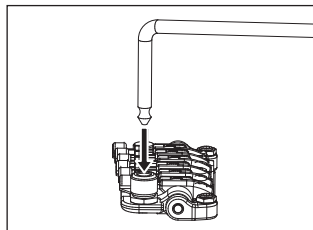
■ 背面



- ④ トレモロ・スプリング
- ⑤ アームアップ・ストッパー
- ⑥ アームアップ・ストッパー・ノブ
- ⑦ トレモロ・ブロック
- ⑧ スプリング調整ノブ

トレモロアームの取り付け

1. トレモロアームは挿し込み式です。
ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って、カチッと音がするまで確実に挿し込みます。
2. トレモロアームの締め付けは、トルク調整キャップで調整します。
時計方向に回すと締め付けが増し、逆に回すと締め付けが緩くなります。



JP

トレモロの取り付け角度調整

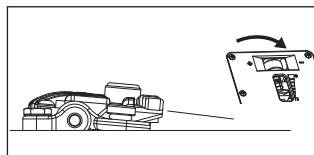
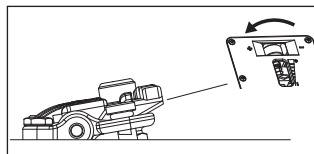
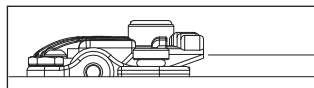
トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターのカッポ裏側に装着されたトレモロ・スプリングの張力とのバランスで調整します。トレモロがギターのカッポ表面とおおよそ平行になるように調整する事で、最も優れた性能を発揮します。

1. 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。

2. トレモロが前方へ傾いている場合は、カッポ裏側のスプリング調整ノブをプラス方向に回してトレモロ・スプリングの張力を強くします。

3. トレモロが後方へ傾いている場合は、スプリング調整ノブをマイナス方向に回してトレモロ・スプリングの張力を弱めます。

※ フローティング状態でのトレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。



アーム・アップ・ストッパー

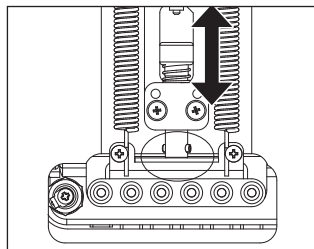
SynchroniZRIは、アーム・アップ・ストッパー機能を備えています。アーム・アップ側を固定することで、フローティング状態を解除します。

1. トレモロがギターのカッポ表面とおおよそ平行に調整されている事を確認します。

2. トレモロ・スプリング・カバーを外し、アーム・アップ・ストッパー・ノブを回して、アーム・アップ・ストッパーの先端がトレモロ・ブロックに接するように調整します。

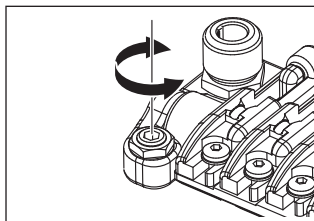
3. トレモロがギターのカッポ表面とおおよそ平行になっていることを再度確認し、スプリング調整ノブをプラス方向に数回転させます。

※ トレモロ・スプリングの張力が弱いと、トレモロ・ブロックが弦に引っ張られてチューニングが安定しないことがあります。チューニングの際にそのような症状が見られる場合は、スプリング調整ノブをさらにプラス方向に回してください。



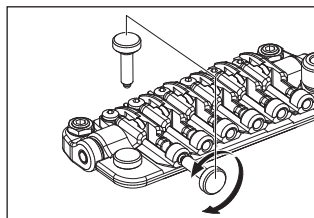
弦高調整

トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ (3mm) で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します (各弦ごとの調整は行えません)。



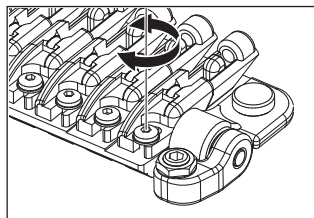
イントネーション調整

1. トレモロ本体に収納されているイントネーション調整ボルトを取り外し、サドル後部の調整穴にボルトの先端がトレモロ本体の壁に接触するまで締め込みます。



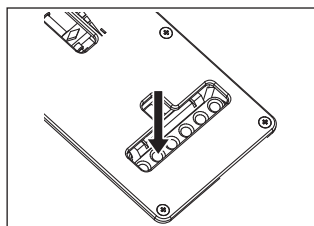
2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で緩め、イントネーション調整ボルトを回してサドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締め、イントネーション調整ボルトをトレモロ本体に収めてください。



弦交換

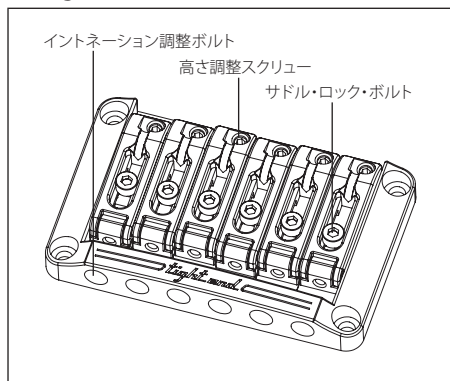
弦をギターの本体裏側から、トレモロ・ブロックを通して取り付けます。





Tight-Endブリッジ/Tight-End Rブリッジ(6弦用/7弦用)

■ Tight-Endブリッジ



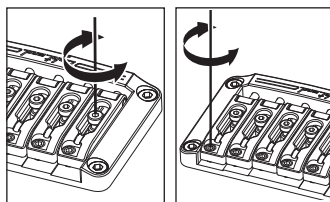
■ Tight-End Rブリッジ



弦高調整

1. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で緩めます。
2. サドルの高さ調整スクリューを六角レンチ (2mm) で回して、サドルの高さを調整します。

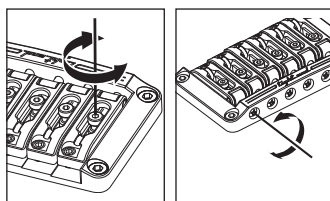
※ 調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルト締めてください。



イントネーション調整

1. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で緩めます。
2. イントネーション調整ボルトをプラスドライバーで回して、サドル位置を調整します。
3. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で締め、イントネーション調整スクリューをプラスドライバーで時計方向に軽く (サドルの位置に影響が出ない程度) に締めます。

※ イントネーションの確認は、正しいチューニングで行ってください。



弦交換

弦をギターのボディ裏側から、弦止めフェラルを通して取り付けます。

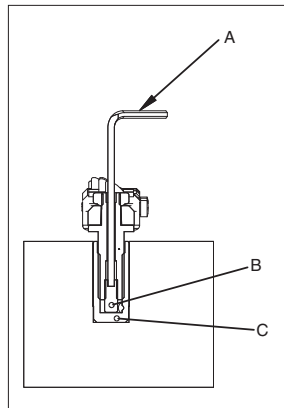


Tight-Tuneブリッジ

Tight-Tuneブリッジは、ブリッジの各可動部分をロックすることにより、無駄な振動を抑え、効率の良いサステインを得られるブリッジです。ブリッジにはより強固にブリッジとボディを固定するためのスタッド・ロック機能を備えています。また、テールピースにはボールエンドが外れないように保持するボールエンド・ロック機能を装備しました。

弦高調整

ブリッジ本体左右のロック・ナット (D) を緩め、六角レンチ (3mm) でスタッド・ボルト (E) を回して、ブリッジ全体の高さを調整します (各弦の調整は行いません)。調整が完了した後、ロック・ナットを締めてください。



スタッド・ロック機能

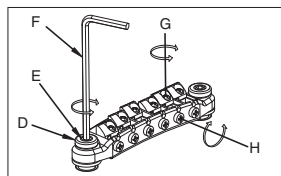
弦高調整を終えた後、六角レンチ (2mm) でスタッドボルト内部にあるスタッド・ロック・ボルト (B) を時計回りに回します。スタッド・ロック・ボルトがアンカーナット (C) に接触し、それ以上回らなくなるまで締め込んでください。

⚠ ご注意

弦高の調整を行うときは、必ずスタッド・ロック・ボルト (B) を六角レンチ (2mm) で反時計回りに十分に緩めてから行ってください。破損の原因になります。

イントネーション調整

調整するサドルのサドル・ロック・ボルト (G) をプラスドライバーで緩め、イントネーション調整スクリュー (H) をプラスドライバーで回してサドル位置を調整し、チューニングを行ってからイントネーションを確認します。正しいイントネーションが得られるまで同じ調整を繰り返した後、サドル・ロック・ボルトを締めてください。



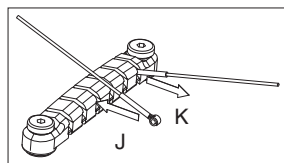
⚠ ご注意

イントネーション調整ボルト (H) が緩い場合、共振を起こすことがあります。その場合はサドルが動かない程度にイントネーション調整ボルトを軽く締めてください。

JP

弦交換

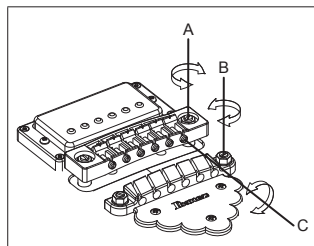
弦のボールエンドをテールピースの溝に、(J) の向きで取り付けます。ボールエンド・ロック機能により、ボールエンドが保持されます。弦を外す場合は、(K) の方向に弦を引っ張ると簡単に取り外すことができます。





ジブラルタル0 8ブリッジ/クイックチェンジ0 8 テールピース

弦高は、ブリッジ左右のスタッドボルト (A) をマイナスドライバーで回して調整します。調整の際には、あらかじめ付属のパイプレンチを使用しロックナットを緩めておき、調整後は再びロックナットを締めてブリッジを固定してください。各サドルのイントネーション調整はイントネーション調整ボルト (C) を回して行います。テールピースは、両側のアジャストボルト (B) をマイナスドライバーで回して高さを調整することができます。テールピースを高く設定する程弦のテンションが弱まり、タッチが柔らかくなります。調整の際にはブリッジと同様に、あらかじめロックナットを緩め、調整後再び固定してください。ブリッジ及びテールピースのロックナットが緩んでいると、弦ビレや共振の原因となります。



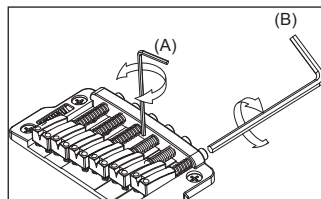
ジブラルタルスタンダード(II)・ブリッジ

弦はギターのボディ裏側から、弦止めフェラルを通して取り付けます。

弦高は各サドルの高さを付属の六角レンチ(1.5mm)で回して調整します(A)。

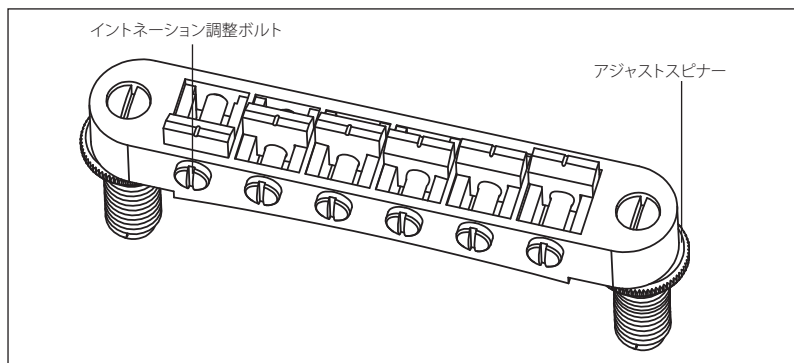
イントネーションはブリッジ後方から各サドルのイントネーション調整ボルトを付属の六角レンチ (2.5mm)で回して調整します(B)。

※ 7 弦用 / 8 弦用 / 9 弦用も調整方法は同じです。



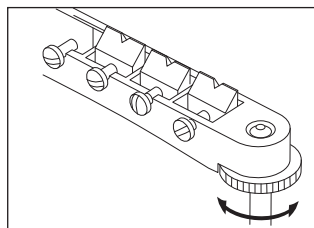


フルチューンIIブリッジ



弦高調整

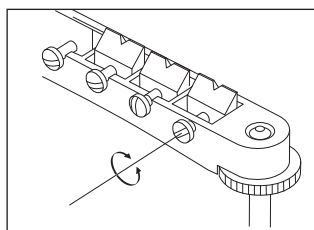
ブリッジ左右のアジャスト・スピナーを指で回して、ブリッジ全体の高さを調整します(各弦の調整は行えません。)



イントネーション調整

イントネーション調整ボルトをマイナスドライバーで回して、サドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、正しいチューニングで行ってください。

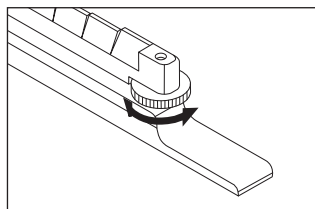




フルアコースティック・ギター・ブリッジ

弦高調整

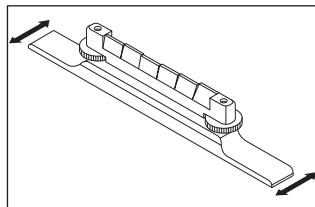
ブリッジ左右のアジャスト・スピナーを指で回して、ブリッジ全体の高さを調整します(各弦の調整は行えません。)



イントネーション調整

弦を緩め、ブリッジ全体を移動して、サドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、正しいチューニングで行ってください。



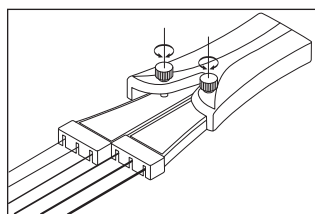
⚠️ ご注意

弦を緩めるときは、ブリッジが倒れないようにご注意ください。
全ての弦を一度に取り外すとブリッジが動いてしまうため、弦交換は1本ずつ行うことをお勧めします。



フルアコースティック・ギター・テールピース(GB10)

GB10に搭載されているフルアコースティック・ギター・テールピースには、1～3弦と4～6弦それぞれに高さ調整機構が付いています。調整つまみを締め込むほどテールピースの高さが下がります。



フルアコースティック・ギター・ストラップボタン

フルアコースティック・ギターには、ネック側のストラップボタンは取り付けられていません。
お取り付けの場合はお買い求めの楽器店が弊社へお問い合わせください。

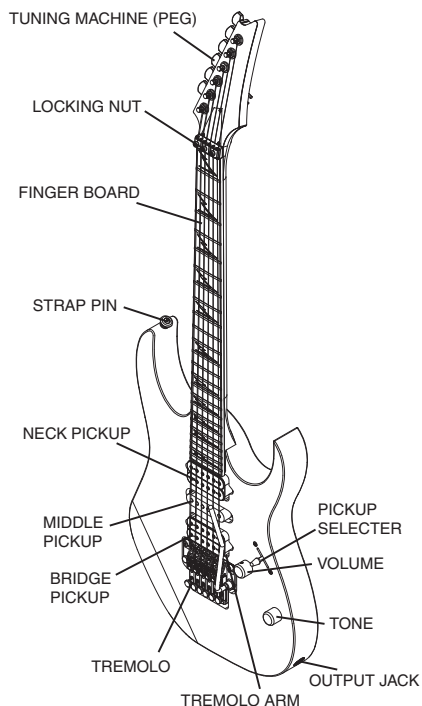
保証規定

1. 当保証書は、取扱説明書の指示内容に従った適切なご使用にも関わらず本製品が故障した場合においてのみ、ご購入日より1年間の無償修理をお約束するものです。
保証修理をご希望の場合は、お買い求め頂いた販売店様に当保証書と一緒に本製品をお持ち込みの上、ご依頼下さい。尚、インターネット等通信販売ご利用の場合も同様に、お買い求め頂いた販売店様が受付窓口になります。
 2. 本製品を販売店様に持ち込まず、販売店様へ送付される場合、それに要する費用は保証期間内であってもお客様のご負担となります。又、輸送中に生じた損傷、故障に関しては保証対象外となりますのでご注意ください。
 3. 保証期間内であっても以下の場合には有償修理となります。
 - ① 当保証書の提示が無い場合。
 - ② お買上げ年月日、お客様名、販売店名等が無記入のもの、または記入事項が改ざんされたもの。もしくは偽造されたもの。
 - ③ 不適切な使用方法(取扱説明書の指示内容に反する誤った取扱い等)や過酷な使用・保管状況(気温・湿度・日照等)、およびお客様側の不注意(転倒・落下等)により生じた損傷ならびに故障。
 - ④ 故障の原因が本製品および付属品以外の接続機器や使用環境に求められる場合。
 - ⑤ 弊社以外による修理、改造加工等が原因の場合。
 - ⑥ 電池や弦、真空管など消耗品の劣化によるもの。
 - ⑦ 天災(地震・洪水・突風他)、人災(火事・浸水他)、交通事故等により生じた損傷ならびに故障。
 - ⑧ 中古品、並行輸入品、個人売買品。
 4. 当保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう本製品と一緒に大切に保管してください。
 5. 当保証書は他人に譲渡できません。
 6. 本製品に初期不良が疑われる場合は、使用を中止して速やかにお買い求め頂いた販売店様までご連絡ください。
 7. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負いません。
 8. 当保証書は日本国内においてのみ有効です。
 9. その他ご不明な点に関しましては、お買い求め頂いた販売店様にご相談ください。
- ※ 当保証書は、お買い求めいただいた本製品に対し弊社から適正なアフターサービスを提供する事を目的に作成されており、記載いただいたお客様の個人情報は第三者に開示、譲渡、貸与することはありません。ただし下記の場合を除きます。
- * あらかじめお客様の同意が得られている場合。
 - * お客様からのお問い合わせに対する回答を目的に、星野楽器販売株式会社の関連会社や販売店等に開示することが必要と認められる場合。
 - * 統計データとしてお客様個人を識別できない状態に加工した場合。

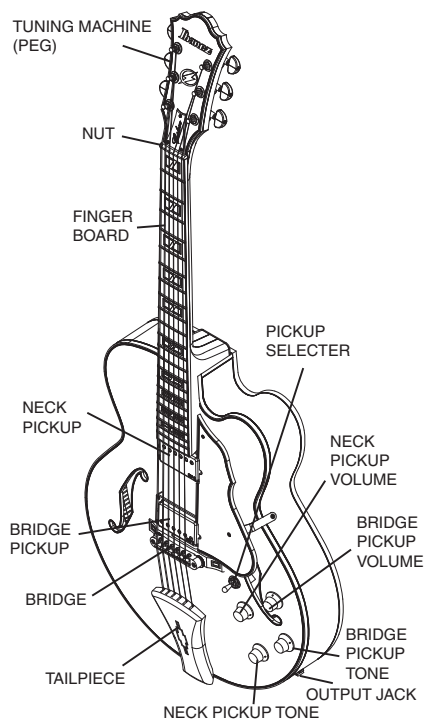


GUITAR PART IDENTIFICATION

Electric Guitar



Semi or Full Acoustic Guitar



※ These illustrations show typical Ibanez models. The guitar you purchased might not match the illustration.

※ Tremolo/bridge adjustments will differ depending on the type of tremolo/bridge that is installed.

For details, refer to the applicable tremolo/bridge section.

※ For details on the controls of each model, refer to the "CONTROLS" section (p. 206).



ATTACHMENTS

	Multi-tool	Tremolo arm	Allen wrench					8mm socket wrench
			1.5mm	2mm	2.5mm	3mm	4mm	
Edge tremolo bridge	○	○					○	
Edge-Pro tremolo bridge	○	○					○	
Edge-Zero tremolo bridge	○	○						
Lo-Pro Edge tremolo bridge	○	○					○	
FX Edge III-8 bridge	○							
SynchroniZR tremolo bridge	○	○						
Gibraltar Standard 6/7/8 bridge	○							
GIBALTAR BRIDGE 08 / QUICK CHANGE 08 TAILPIECE	○							○
TIGHT-TUNE BRIDGE	○							
Tight-End / Tight-End R bridge	○							
ZR-2 tremolo bridge	○	○						
Semi-acoustic guitars			○				○	○
Full acoustic guitars								○

※ Models equipped with DiMarzio pickups are shipped with an Allen wrench for adjusting the height of the pole pieces.

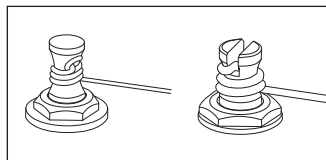
※ Reinforcement springs are included with models equipped with the 7-string Edge-Zero tremolo bridge.



STRING REPLACEMENT

Strings will deteriorate over time, causing buzzing or inaccurate pitch. Replace the strings whenever your strings begin to rust or become discolored. We recommend that you replace all of the strings as a set at the same time. Bent, twisted, or damaged strings will not produce the appropriate quality sound and therefore should not be used.

Wind the string around the tuning machine post two or three times from above, using about 5--7 cm of length and taking care that the string does not cross itself. The strings should be replaced one by one instead of removing all the strings at once. This is done to avoid stress on the neck and to reduce the risk of affecting tremolo balance.



※ When using a model with AUTO-TRIM pegs, the strings must be wound in a different way. For details, refer to the section "AUTO-TRIM peg" (p. 42).

※ The method for removing and installing strings attached to a tremolo/bridge will differ depending on the type of tremolo/bridge. For details, refer to the section for the tremolo/bridge installed on your guitar.



TUNING

When shipped from the factory, Ibanez guitars are set up using the following tunings.

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th
6-strings	E4	B3	G3	D3	A2	E2	-	-
7-strings	E4	B3	G3	D3	A2	E2	B1	-
8-strings	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

Note that following models are set up differently.

RGD, APEX

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th
6-strings	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
7-strings	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th
E	B	G	D	A	E	B	E

Use a tuner or tuning fork to tune up the sound of each open string to the above frequencies. If the pitch is higher than the above frequency, loosen the string to lower the pitch, and wind the string in small increments to tune it up. This is an easy way to stabilize your tuning. You may need to adjust the neck or the intonation if you tune your guitar to pitches other than those shown in these tables, or if you use strings of other than standard gauge.

For details on adjusting the neck or the intonation, refer to the sections “NECK ADJUSTMENT” (p. 40) or “INTONATION” (p. 40).



Memo

- Please note that extreme tuning or use of strings not intended for electric guitar may cause parts to break, and may cause unexpected injury.



STRING HEIGHT

Action refers to the distance between the frets and the string.

To measure the action, tune the guitar accurately; then place a ruler at the 14th fret and measure the distance from the top of the fret to the bottom of the string.

In general, this distance should be 1.5--1.7 mm for the first string, and 2.0 mm--2.2 mm for the sixth string.

For a seven-string guitar, the seventh string should be at 2.2 mm--2.4 mm. For an eight-string guitar, the eighth string should be at 2.4 mm--2.6 mm.

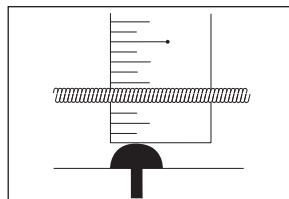
For strings other than those listed above, adjust the action so that the distance gradually increases from the first string toward the lowest string.

If the action is too high, the instrument will be difficult to play. If the action is too low, you may experience string buzz, muted notes, or poor sustain.

If you experience string buzz or muted notes even when the action is adjusted correctly, you might need to adjust the neck bow.

For details, refer to “NECK ADJUSTMENT” (p. 40).

※ The method of adjusting the action will depend on the type of tremolo/bridge with which your guitar is equipped. For details, refer to the appropriate tremolo/bridge section.



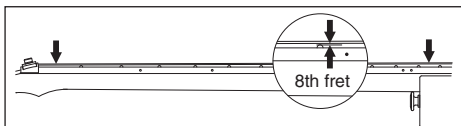


NECK ADJUSTMENT

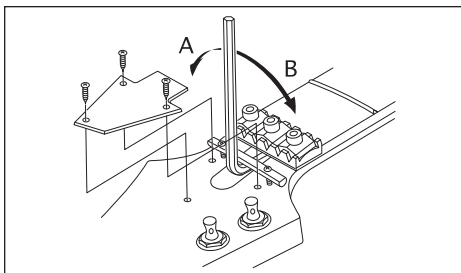
The neck is constantly bearing the tension of the strings, and its curvature will be subtly affected not only by the state of tuning and the string gauge, but also by changes in temperature and humidity. If you experience problems such as string buzz or muted notes even after the action and tuning are adjusted correctly, you should check and adjust the curvature of the neck.

1. Check the curvature of the neck

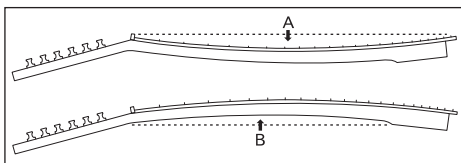
After tuning accurately, hold the guitar in playing position. Then press the first string at the first fret and also at the fret that is nearest to the point where the neck joins the body, and measure the gap between the string and fret at the eighth fret. In the same way, measure this gap for the lowest string, and make adjustments so that the gaps are in the range of 0.3 mm–0.5 mm.



2. If the gap is less than 0.3 mm, use the Allen wrench or socket wrench included with the guitar to turn the truss rod nut located at the headstock end of the neck in direction 'A', causing the neck curvature to be more convex.



3. If the gap is greater than 0.5 mm, turn the Allen wrench or socket wrench in direction 'B', causing the neck curvature to be more concave.



※ Adjust the truss rod nut in small increments of a quarter turn, checking the tuning while you do so.



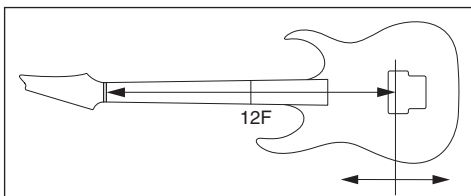
Memo

- You must take care when adjusting the neck. Forced adjustments can damage your guitar. If you are unable to adjust the neck correctly, please contact your dealer or the Ibanez Corporation.



INTONATION

If you've changed string gauges or are using your guitar with an alternative tuning, you'll need to adjust the string length (intonation) to ensure that the correct pitch is sounded at all frets. After tuning your guitar accurately, hold the guitar in playing position and compare the pitch of each string pressed down at the 12th fret with the pitch of the harmonic played at the 12th fret. If the pitch of the fretted note at the 12th fret is lower than the harmonic at that fret, move the saddle of the tremolo/bridge forward to shorten the string. Conversely, if the pitch of the fretted note is higher than the pitch of the harmonic, move the saddle backward to lengthen the string.



※ Use a tuning meter to ensure accurate intonation adjustments.

※ The method of adjusting the saddle position will differ depending on the installed model of tremolo/bridge.

For details, refer to the section for the tremolo/bridge that's installed on your guitar.



CLEANING

After playing, wipe sweat and oil off metal parts such as the underside of the strings, the frets, bridge saddles and nut. This will help to prevent rust. Dirt or dust that adheres to metal parts may adversely affect their function.

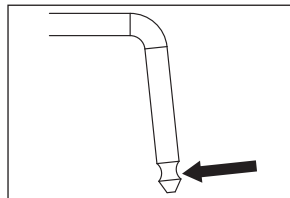
Wipe off stubborn dirt with a soft cloth moistened with a small amount of oil.

To clean the finished surface, do not use volatile or abrasive cleaning compounds; instead gently wipe using a soft cloth with polish formulated specifically for musical instruments.

To clean off dirt that has adhered to an oil finished body or neck, use a pencil eraser, fine sandpaper of #1000 or finer grade, or #0000 steel wool. You can prevent drying by polishing once or twice a year with a colorless furniture finish oil or gun oil applied to #0000 steel wool or a cloth.

Unfinished fingerboards should be carefully wiped with a cloth moistened with a small amount of fingerboard oil or high-quality lemon oil, wiping carefully to the edge of the frets.

If the tremolo arm should squeak when turning, apply some grease to the notch on the shorter side of the tremolo arm.



BATTERY

If your guitar has a built-in pre-amplifier or equalizer, it will be powered by a battery.

Replace the battery when you notice that the volume level has decreased or the sound has become distorted.

Some models use a 006P (9V) battery, and other models use two AA (1.5V) batteries.

Check the type of batteries used by your guitar, and replace them with the same type of batteries.

The batteries are found in the battery box located on the back of the body.

On models equipped with a battery, the output jack also functions as a power switch; inserting a plug into the jack will turn on the power.



Memo

- To prevent the battery from running down, remove the plug from the output jack if you will not be using it for an extended period.



AUTO-TRIM peg

STRING REPLACEMENT

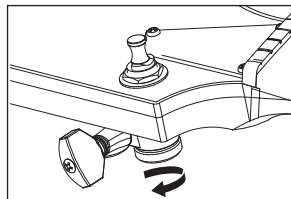
■ Removing a string

Loosen the string, and turn the lock knob located below the peg to unlock the string.



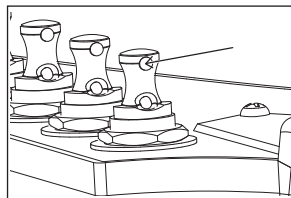
Memo

- Exercise care as the string may come out with great force immediately after you release the lock.

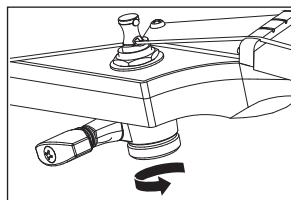


■ Installing a string

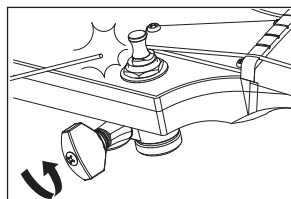
1. Turn the post so that the silver ball at the top is pointing toward the bridge, and then pass the string through the post.



2. While pulling the string, turn the lock knob to lock the string firmly.



3. As you turn the knob, the surplus string will break off. Continue tuning.

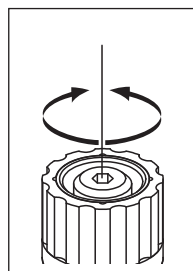
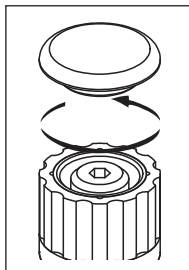


COLLET KNOB

Removing the collet knob

1. Rotate the cap on top of the collet knob and remove it.

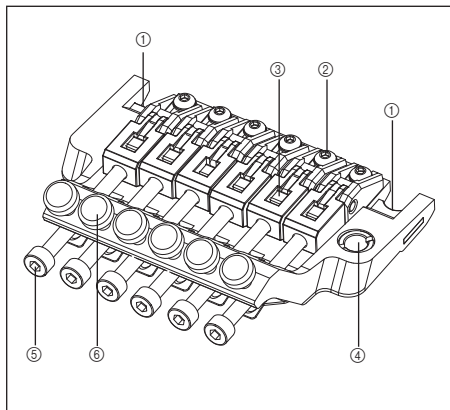
2. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the chuck, and remove the knob.



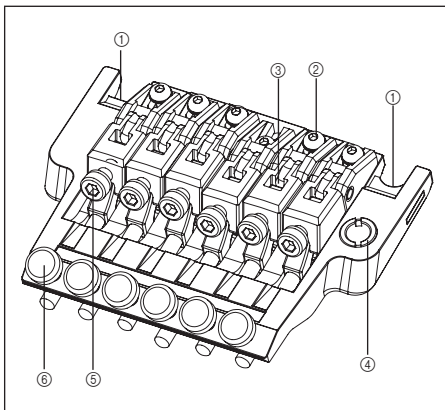


Edge/Lo-Pro Edge tremolo bridge

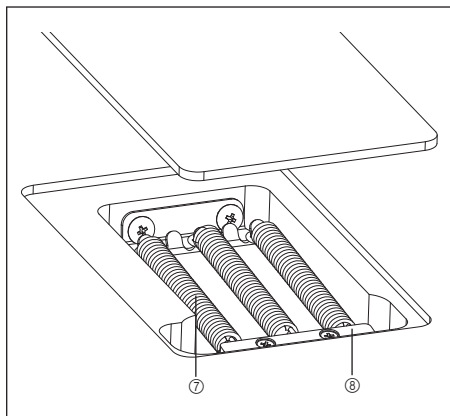
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



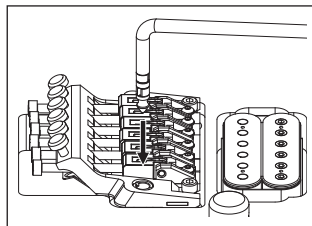
■ Rear



- ① Knife edge
- ② Saddle lock bolt
- ③ String holder block
- ④ Tremolo arm socket
- ⑤ String stopper bolt
- ⑥ Fine tuning bolt
- ⑦ Tremolo spring
- ⑧ Spring lock

Attaching the tremolo arm

- 1.** The tremolo arm employs a snap-in/snap-out design. Hold the corner of the tremolo arm, and press it firmly into the arm socket of the base plate.

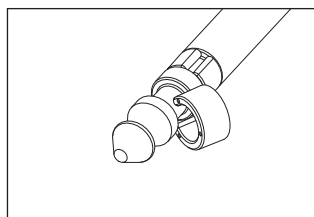


- 2.** The tightness of the tremolo arm attachment can be adjusted by adding or removing Teflon washers. Using a larger number of washers will make the attachment tighter, and removing all the washers will leave the arm free. The Teflon washers can be added or removed diagonally via the slit.



Memo

- If the arm is no longer held firmly in place even after you've added Teflon washers, replace the old Teflon washers with new ones.

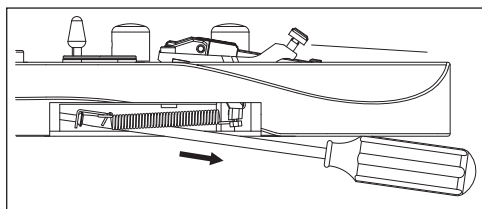
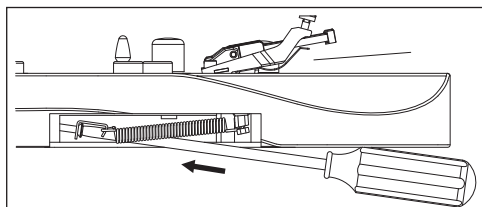
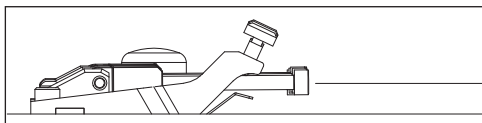


Adjusting the tremolo attachment angle

The tremolo attachment angle is adjusted by changing the balance between the string tension and the tension of the tremolo springs installed on the back of the guitar body. You'll obtain the optimal performance by adjusting this so that the tremolo is approximately horizontal to the surface of the guitar body.

- 1.** With the guitar tuned correctly, check the angle of the tremolo.
- 2.** If the tremolo is tilted toward the front, insert a Philips screwdriver through the slit in the tremolo spring cover on the back of the body, and tighten the screw to increase the tension of the tremolo springs.
- 3.** If the tremolo is tilted toward the rear, loosen the screw to decrease the tension of the tremolo springs.

※ The tremolo angle adjustment will affect the tuning, because the balance of tension between the strings and the springs will change each time you adjust the tension of the tremolo springs. You'll need to tune repeatedly while making this adjustment.

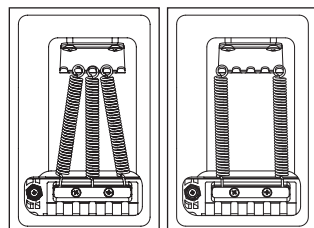
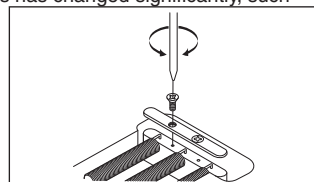


Tremolo springs

When the guitar is shipped from the factory, it is set up with three tremolo springs installed in parallel. If the balance of tension between the strings and the tremolo springs has changed significantly, such as when you've switched string gauges or are using a dropped tuning, you may need to change the number of tremolo springs or change the way in which they are installed.

- 1.** Use a Philips screwdriver to remove the spring lock.
- 2.** If you want to increase the tension, install the outer two tremolo springs diagonally.
- 3.** If you want to decrease the tension, remove the center tremolo spring.

If you want to install four or more tremolo springs, attach them using the screw holes that were being used to attach the spring lock. (It will no longer be possible to attach the spring lock.)





Memo

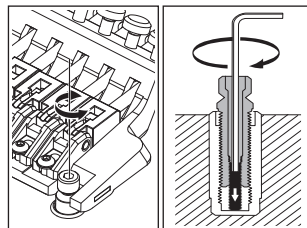
- Loosen the strings sufficiently before you install or remove tremolo springs. Be aware that if you remove all of the springs, the tremolo unit will detach from the guitar.
- To reattach the tremolo, insert the knife edge of the tremolo securely into the groove of the stud bolts, and then install the tremolo springs.

Stud lock

The Edge/Lo-Pro Edge tremolo bridge uses a stud lock mechanism.

- 1. Insert an Allen wrench (1.5 mm) through the hole in the top of the stud bolt.**
- 2. Turn the stud lock bolt clockwise, tightening it until it contacts the anchor nut and can no longer rotate.**

※ The stud lock will be released when you loosen the stud lock bolt.



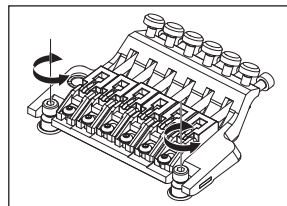
Adjusting the action

To adjust the height of the entire tremolo unit, use an Allen wrench (4mm) to turn the stud bolts located at the left and right of the tremolo unit. (It is not possible to make adjustments for each string individually.)



Memo

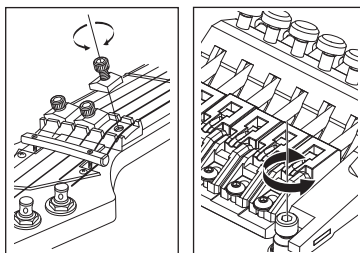
- Make sure that the stud lock is released before you adjust the action.



Adjusting the intonation

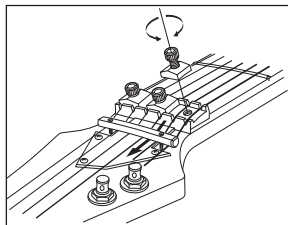
- 1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and loosen the strings sufficiently.**
- 2. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolts, and adjust the saddle position.**

※ Before checking the intonation, firmly tighten the saddle lock bolts and tune the guitar correctly. When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts and the pressure pad bolts of the locking nut.

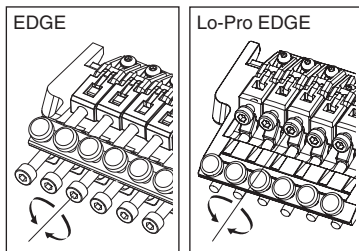


Replacing the strings

1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and remove the string from the tuning peg.

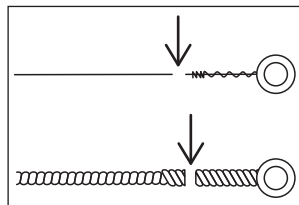


2. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the string stopper bolt of the tremolo unit; then pull the string out of the saddle and remove it.



3. Use wire cutters to cut off the ball end of the new string.

4. Insert the tip of the string from which you cut off the ball end between the saddle and the string holder block, and tighten the string stopper bolt to fasten the string.



5. Wind the string onto the tuning peg, and tune it.

6. When you've finished tuning, tighten the pressure pad bolts of the locking nut.

※ Removing all strings at the same time will cause the tremolo attachment angle to change significantly, so we recommend that you replace the strings one at a time. If you remove all strings at the same time, tuning will be easier if you wedge a piece of cloth below the tremolo to secure it so that the tremolo attachment angle won't change significantly.

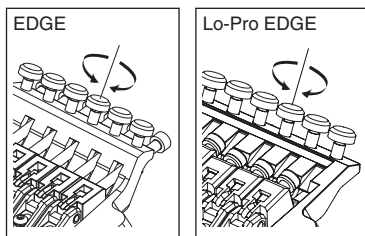


Memo

- Before you tune, make sure that the string stopper bolts are firmly tightened.

Fine tuning

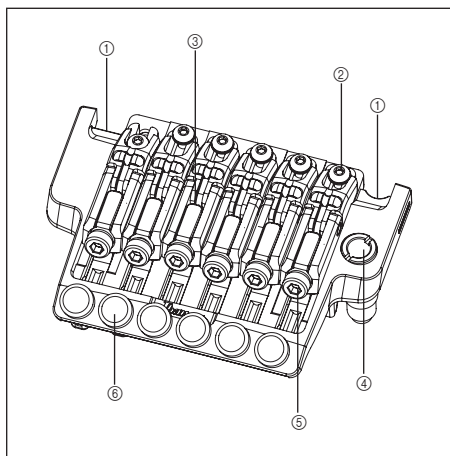
Even after you've used the locking nuts to lock the strings, you can use the fine tuners to fine-tune each string. The range of adjustment after the strings are locked will be widest if you leave all fine-tuning bolts near the center of their adjustable range before you tune.





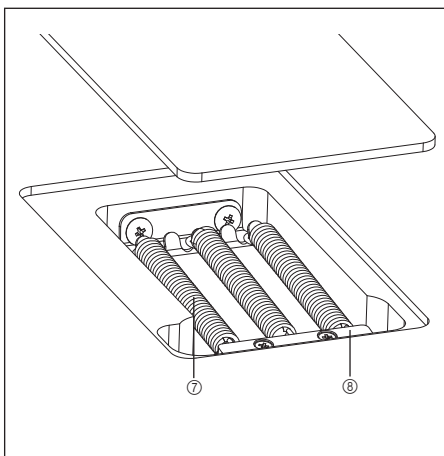
Edge-Pro tremolo bridge

Overview



- ① Knife edge
- ② Saddle lock bolt
- ③ String holder block
- ④ Tremolo arm socket
- ⑤ String stopper bolt
- ⑥ Fine tuning bolt

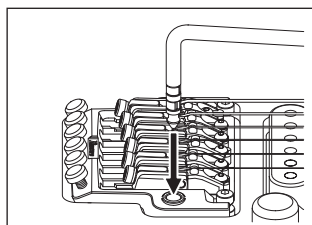
Rear



- ⑦ Tremolo spring
- ⑧ Spring lock

Attaching the tremolo arm

- 1.** The tremolo arm employs a snap-in/snap-out design. Holding the corner of the tremolo arm, press it firmly into the arm socket of the base plate until the Teflon washers are completely hidden.

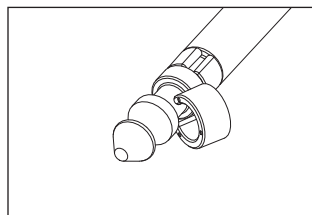


- 2.** The tightness of the tremolo arm can be adjusted by adding or removing Teflon washers. Adding washers will make the arm tighter, and removing all of the washers will leave the arm free. Insert or remove the washers diagonally through the slit.



Memo

- If the arm is no longer held firmly in place even after you've added Teflon washers, replace the old Teflon washers with new ones.



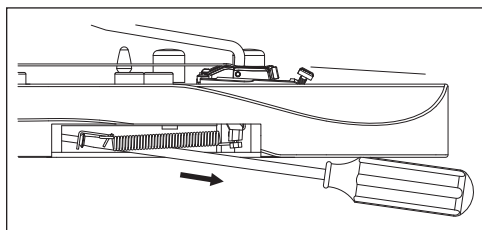
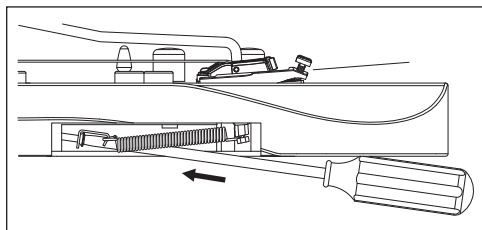
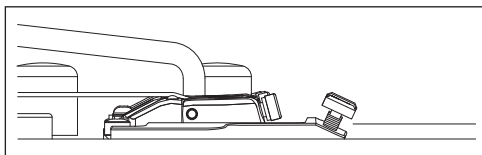
EN

Adjusting the tremolo attachment angle

The tremolo attachment angle is adjusted by changing the balance between the string tension and the tension of the tremolo springs installed on the back of the guitar body. You'll obtain the optimal performance by adjusting this so that the tremolo is approximately horizontal to the surface of the guitar body.

1. With the guitar tuned correctly, check the angle of the tremolo.
2. If the tremolo is tilted toward the front, insert a Philips screwdriver through the slit in the tremolo spring cover on the back of the body, and tighten the screw to increase the tension of the tremolo springs.
3. If the tremolo is tilted toward the rear, loosen the screw to decrease the tension of the tremolo springs.

※ The tremolo angle adjustment will affect the tuning, because the balance of tension between the strings and the springs will change each time you adjust the tension of the tremolo springs. You'll need to tune repeatedly while making this adjustment.

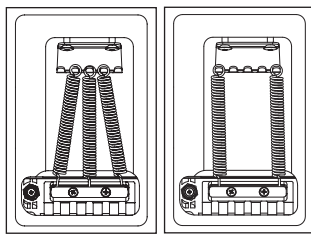
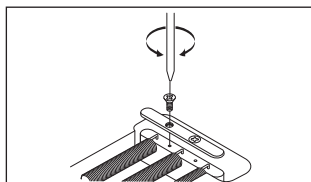


Tremolo springs

When the guitar is shipped from the factory, it is set up with three tremolo springs installed in parallel. If the balance of tension between the strings and the tremolo springs has changed significantly, such as when you've switched string gauges or are using a dropped tuning, you may need to change the number of tremolo springs or change the way in which they are installed.

1. Use a Philips screwdriver to remove the spring lock.
2. If you want to increase the tension, install the outer two tremolo springs diagonally.
3. If you want to decrease the tension, remove the center tremolo spring.

If you want to install four or more tremolo springs, attach them using the screw holes that were being used to attach the spring lock. (It will no longer be possible to attach the spring lock.)

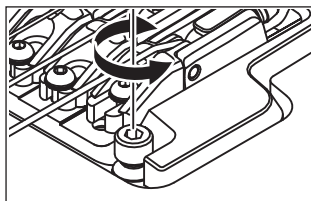


Memo

- Loosen the strings sufficiently before you install or remove tremolo springs. Be aware that if you remove all of the springs, the tremolo unit will detach from the guitar.
- To reattach the tremolo, insert the knife edge of the tremolo securely into the groove of the stud bolts, and then install the tremolo springs.

Adjusting the action

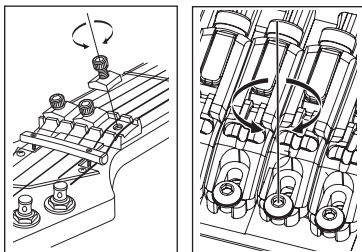
To adjust the height of the entire tremolo unit, use an Allen wrench (4 mm) to turn the stud bolts located at the left and right of the tremolo unit. (It is not possible to make adjustments for each string individually.)



Adjusting the intonation

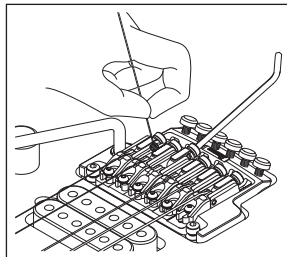
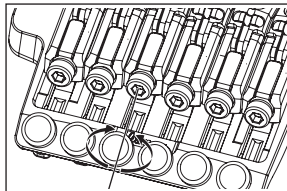
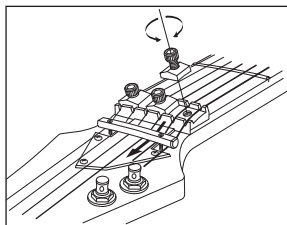
1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and loosen the strings sufficiently.
2. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolts, and adjust the saddle position.

※ Before checking the intonation, firmly tighten the saddle lock bolts and tune the guitar correctly. When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts and the pressure pad bolts of the locking nut.

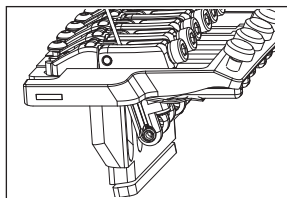


Replacing the strings

1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and remove the string from the tuning peg.
2. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the string stopper bolt of the tremolo unit; then pull the string out of the saddle and remove it.
3. Use wire cutters to cut off the ball end of the new string.
4. Insert the tip of the string from which you cut off the ball end between the saddle and the string holder block, and tighten the string stopper bolt to fasten the string.
5. Wind the string onto the tuning peg, and tune it.
6. When you've finished tuning, tighten the pressure pad bolts of the locking nut.



- ※ You can also insert the strings with the ball ends cut off, as on a conventional locking tremolo.
- ※ Removing all strings at the same time will cause the tremolo attachment angle to change significantly, so we recommend that you replace the strings one at a time. If you remove all strings at the same time, tuning will be easier if you wedge a piece of cloth below the tremolo to secure it so that the tremolo attachment angle won't change significantly.

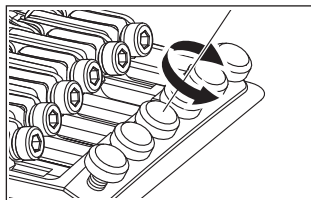


Memo

- Before you tune, make sure that the string stopper bolts are firmly tightened.
-

Fine tuning

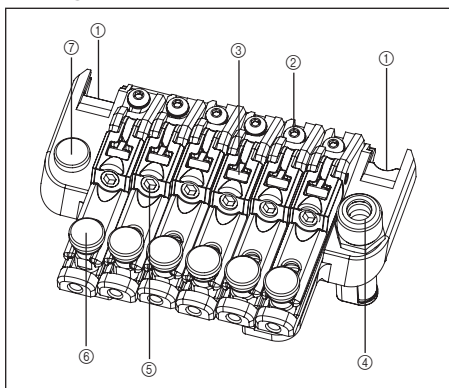
Even after you've used the locking nuts to lock the strings, you can use the fine tuners to fine-tune each string. The range of adjustment after the strings are locked will be widest if you leave all fine-tuning bolts near the center of their adjustable range before you tune.



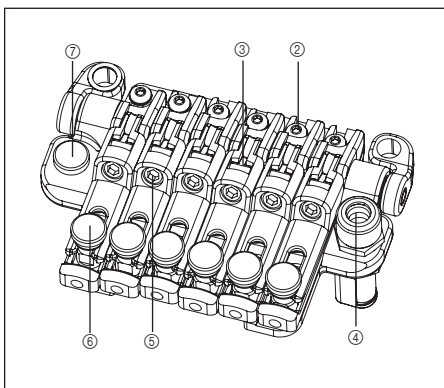


Edge-Zero / ZR-2 tremolo bridge

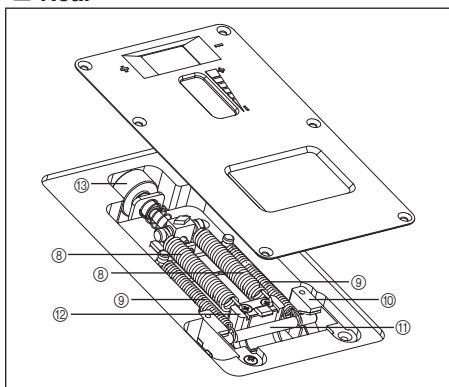
■ Edge-Zero



■ ZR2



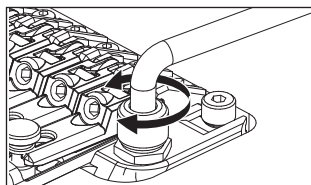
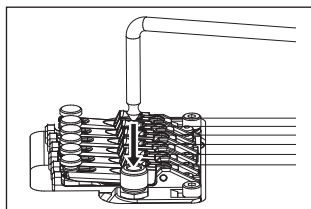
■ Rear



- ① Knife edge
- ② Saddle lock bolt
- ③ String holder block
- ④ Tremolo arm socket
- ⑤ String stopper bolt
- ⑥ Fine tuning bolt
- ⑦ Intonation adjustment bolt
- ⑧ Main spring
- ⑨ Sub spring
- ⑩ Stopper
- ⑪ Stop rod
- ⑫ Tremolo block
- ⑬ Spring adjustment knob

Attaching the tremolo arm

1. The tremolo arm employs a snap-in/snap-out design. Hold the corner of the tremolo arm, and press it firmly into the arm socket of the base plate.
2. Use the torque adjustment cap to adjust the tightness of the tremolo arm. Turning the cap clockwise will make it tighter, and turning the cap counterclockwise will make it looser.



EN

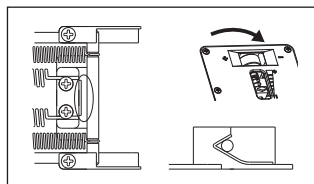
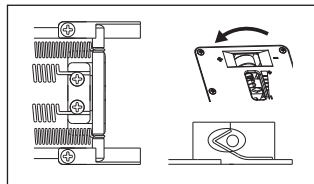
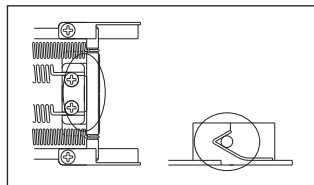
Tremolo angle adjustment / Zero point system adjustment

The tremolo attachment angle is adjusted by changing the balance between the string tension and the tension of the zero point system installed on the back of the guitar body.

The Edge-Zero/ZR2 tremolo bridge is designed so that the tremolo will be approximately parallel with the surface of the guitar body when the zero point system is adjusted correctly, and will perform optimally in this state.

When the zero point system is correctly adjusted, the stop rod will be in firm contact with the tremolo block and the stop rod will be touching the stopper.

1. With the guitar tuned correctly, check the zero point system.
2. If the stop rod is not touching the stopper (i.e., if the tremolo block is pushing up the stop rod), turn the spring adjustment knob located on the back of the body toward the “plus” direction to tighten the main spring.
3. If the tremolo block is not in firm contact with the stop rod (i.e., if the tremolo is tilted toward the rear), turn the spring adjustment knob toward the “minus” direction to loosen the main spring.



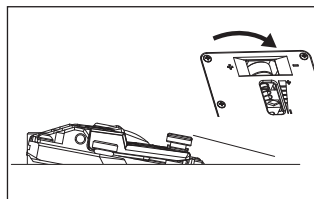
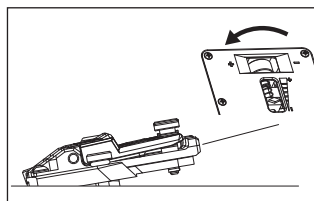
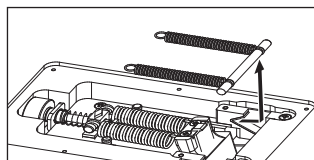
Disabling the zero point system (Using the unit as a conventional floating tremolo)

By disabling the zero point system you can also use the unit as a conventional floating tremolo bridge.

When the zero point system is disabled, the angle at which the tremolo is attached will be adjusted by the balance between the tension of the strings and the tension of the main springs attached to the tremolo block.

For optimal performance, adjust the tremolo so that it is approximately parallel with the surface of the guitar body.

1. While holding the arm in the upward position (i.e., with the tremolo block away from the stop rod), remove the stop rod and the sub-spring.
2. With the guitar tuned correctly, check the angle of the tremolo.
3. If the tremolo is tilted toward the front, turn the spring adjustment knob toward the “plus” direction to tighten the main spring.
4. If the tremolo is tilted toward the rear, turn the spring adjustment knob toward the “minus” direction to loosen the main spring.



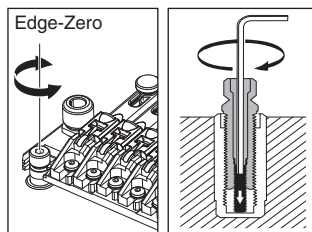
※ The tuning will be affected when you adjust the tremolo angle with the zero point system disabled, because the balance between the tension of the strings and the springs will change each time you adjust the tension of the tremolo springs. You'll need to tune repeatedly while making this adjustment.

Stud lock (Edge-Zero tremolo bridge)

The Edge-Zero tremolo bridge is equipped with a stud lock function.

1. Insert an Allen wrench (2 mm) through the hole at the top of the stud bolt.
2. Turning the stud lock bolt clockwise, tighten it until the stud lock bolt contacts the anchor nut and will no longer rotate.

※ To release the stud lock, loosen the stud lock bolt.



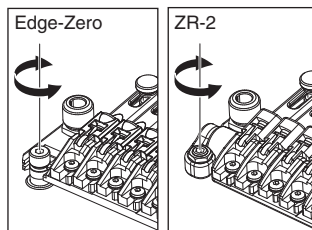
Adjusting the action

To adjust the height of the entire tremolo unit, use an Allen wrench (3 mm) to turn the stud bolts located at the left and right of the tremolo unit. (It is not possible to make adjustments for each string individually.)



Memo

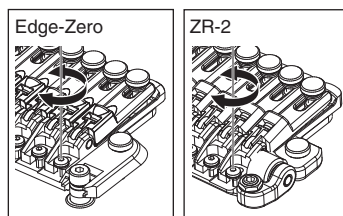
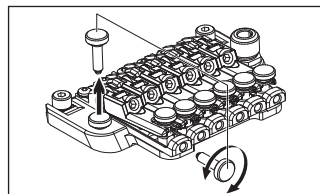
- Make sure that the stud lock is released before you adjust the action.



Adjusting the intonation

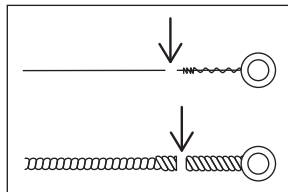
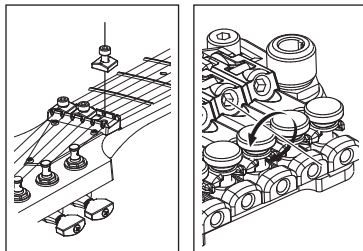
1. Remove the intonation adjustment bolts stored inside the tremolo unit, and screw them into the adjustment holes at the back of the saddle until the tip of each bolt contacts the wall of the tremolo unit.
2. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolt, and turn the intonation adjustment bolt to adjust the saddle position.

※ Before checking the intonation, firmly tighten the saddle lock bolts and tune the guitar correctly. Before tuning, use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut. When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts and the pressure pad bolts of the locking nut, and store the intonation adjustment bolts inside the tremolo unit.



Replacing the strings

1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and remove the string from the tuning peg.
2. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the string stopper bolt of the tremolo unit; then pull the string out of the saddle and remove it.
3. Use wire cutters to cut off the ball end of the new string.
4. Insert the tip of the string from which you cut off the ball end between the saddle and the string holder block, and tighten the string stopper bolt to fasten the string.
5. Wind the string onto the tuning peg, and tune it.
6. When you've finished tuning, tighten the pressure pad bolts of the locking nut.



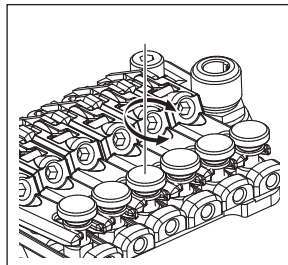
Memo

- Before you tune, make sure that the string stopper bolts are firmly tightened.

Fine tuning

Even after you've used the locking nuts to lock the strings, you can use the fine tuners to fine-tune each string.

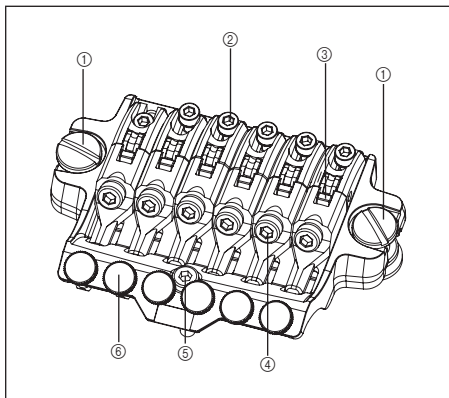
The range of adjustment after the strings are locked will be widest if you leave all fine-tuning bolts near the center of their adjustable range before you tune.





FX Edge III/FX Edge III-8 bridge

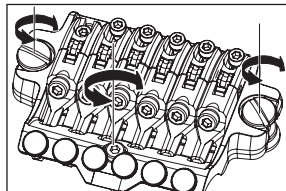
■ FX Edge III



- ① Main stud
- ② Saddle lock bolt
- ③ String holder block
- ④ String stopper bolt
- ⑤ Rear stud
- ⑥ Fine tuning bolt

Adjusting the action

1. To adjust the string height, use a slotted screwdriver to turn the main studs at the left and right of the bridge unit to adjust the height of the entire tremolo unit. (It is not possible to adjust the height of individual strings.)
2. Use an Allen wrench (3 mm) to turn the rear studs, adjusting them so that the bridge is approximately parallel with the surface of the guitar body.



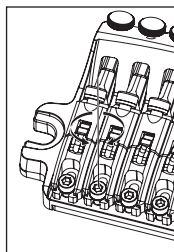
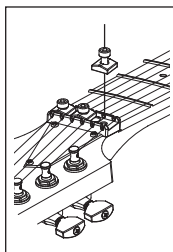
※ As the action will change when you adjust the rear studs, it is recommended that you check the final action after you've adjusted the rear studs.

To prevent the screw holes from being damaged, loosen the strings sufficiently before you adjust the main studs so that you will not have to use excessive force when turning the studs.

Adjusting the intonation

1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and loosen the strings sufficiently.
2. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolt, and adjust the saddle position.

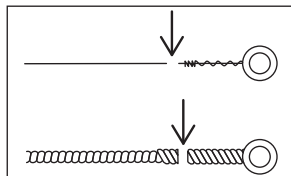
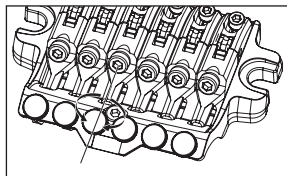
※ Before checking the intonation, firmly tighten the saddle lock bolts and tune the guitar correctly. When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts and the pressure pad bolts of the locking nut.



EN

Replacing the strings

1. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the pressure pad bolts of the locking nut, and remove the string from the tuning peg.
2. Use an Allen wrench (3 mm) to loosen the string stopper bolt of the bridge unit; then pull the string out of the saddle and remove it.
3. Use wire cutters to cut off the ball end of the new string.
4. Insert the tip of the string from which you cut off the ball end between the saddle and the string holder block, and tighten the string stopper bolt to fasten the string.
5. Wind the string onto the tuning peg, and tune it.
6. When you've finished tuning, tighten the pressure pad bolts of the locking nut.



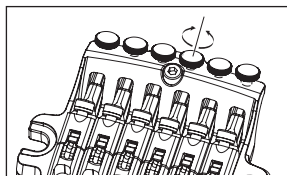
Memo

- Before you tune, make sure that the string stopper bolts are firmly tightened.

Fine tuning

Even after you've used the locking nuts to lock the strings, you can use the fine tuners to fine-tune each string.

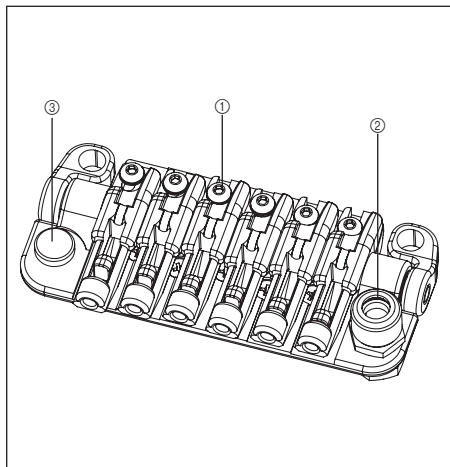
The range of adjustment after the strings are locked will be widest if you leave all fine-tuning bolts near the center of their adjustable range before you tune.





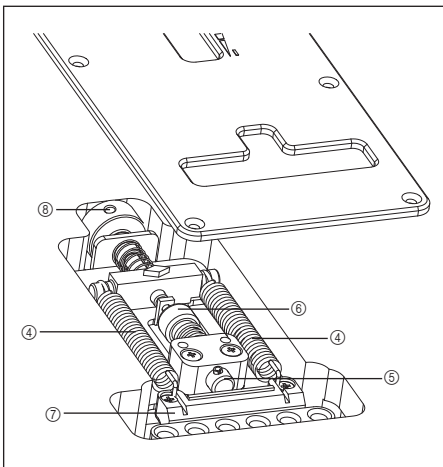
SynchroniZR

Overview



- ① Saddle lock bolt
- ② Tremolo arm socket
- ③ Intonation adjustment bolt

Rear

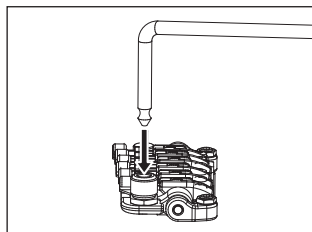


- ④ Tremolo spring
- ⑤ Tremolo block stopper
- ⑥ Tremolo block stopper knob
- ⑦ Tremolo block
- ⑧ Spring adjustment knob

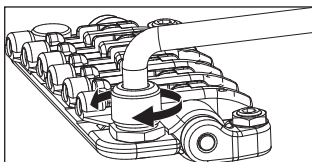
Attaching the tremolo arm

1. The tremolo arm employs a snap-in design.

Holding the corner of the tremolo arm, press it firmly into the arm socket of the base plate until it clicks into place.



2. The tightness of the tremolo arm can be adjusted by the torque adjustment cap. Turning the cap clockwise will make the arm tighter, and turning it counterclockwise will make the arm looser.



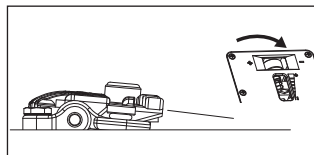
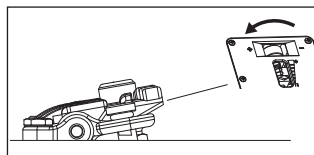
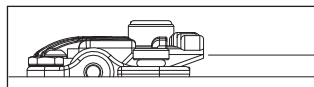
EN

Adjusting the tremolo attachment angle

The angle at which the tremolo is attached is adjusted by the balance between the tension of the strings and the tension of the tremolo springs installed in the back of the guitar body. The tremolo will perform optimally when adjusted so that it is approximately parallel with the surface of the guitar body.

1. With the guitar tuned correctly, check the angle of the tremolo.
2. If the tremolo is tilted forward, turn the spring adjustment knob located on the back of the body toward the “plus” direction to tighten the tremolo springs.
3. If the tremolo is tilted toward the rear, turn the spring adjustment knob toward the “minus” direction to loosen the tremolo springs.

※ Because the balance of tension between the strings and the springs will change each time you adjust the tension of the tremolo springs, adjusting the tremolo angle in the floating state will affect the tuning. You'll need to tune the guitar repeatedly while performing this adjustment.

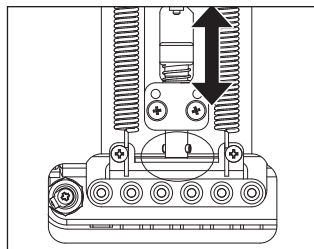


Arm-up stopper

The SynchroniZR has an arm-up stopper feature. This feature disables the floating state by locking the arm-up range of movement.

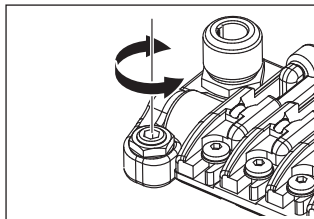
1. Make sure that the tremolo is adjusted so that it is approximately parallel with the surface of the guitar body.
2. Remove the tremolo spring cover, and turn the arm-up stopper knob so that the tip of the arm-up stopper contacts the tremolo block.
3. Once again make sure that that the tremolo is approximately parallel with the surface of the guitar body, and turn the spring adjustment knob several times in the “plus” direction.

※ If the tremolo spring tension is too weak, the tremolo block will be pulled by the strings, possibly causing the tuning to be unstable. If you experience this problem while tuning, turn the spring adjustment knob even farther in the “plus” direction.



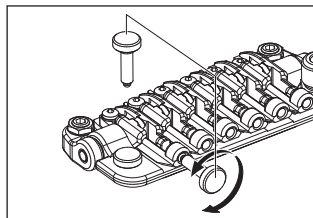
String height adjustment

To adjust the string height, adjust the height of the entire tremolo unit by using an Allen wrench (3 mm) to turn the stud bolts located at the left and right of the tremolo unit. (It is not possible to individually adjust the height of each string.)



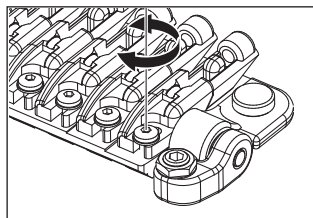
Intonation adjustment

1. Remove the intonation adjustment bolts stored in the tremolo unit, and screw them into the adjustment holes at the rear of the saddle until the bolt tips touch the wall of the tremolo unit.



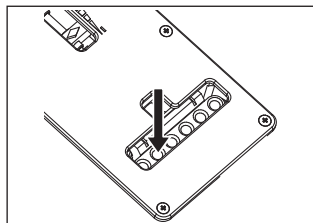
2. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolt, and turn the intonation adjustment bolt to adjust the saddle position.

※ Before checking the intonation, firmly tighten the saddle lock bolts and tune the guitar correctly. When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts and the pressure pad bolts of the locking nut, and store the intonation adjustment bolts inside the tremolo unit.



String replacement

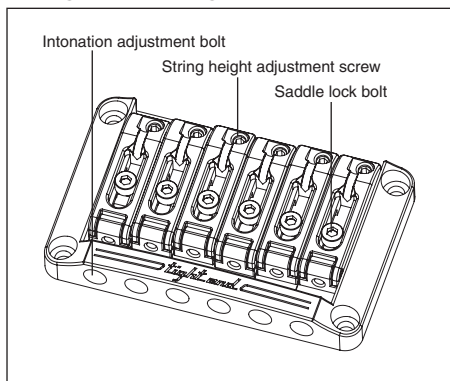
Install new strings by passing them through the tremolo block from the back side of the guitar body.



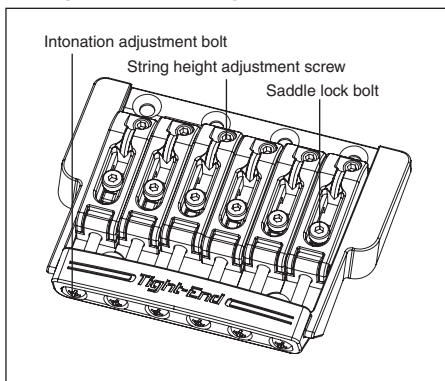


Tight-End bridge / Tight-End R bridge (for 6-string and 7-string)

■ Tight-End bridge



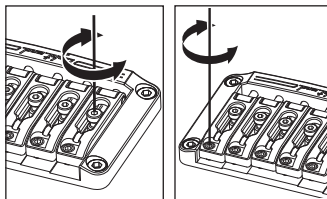
■ Tight-End R bridge



Adjusting the action

1. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolts.
2. To adjust the saddle height, use the Allen wrench (2 mm) to turn the saddle height adjustment screws.

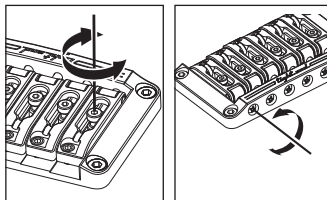
※ When you've finished making adjustments, tighten the saddle lock bolts.



Adjusting the intonation

1. Use an Allen wrench (2 mm) to loosen the saddle lock bolts.
2. Use a Phillips screwdriver to adjust the saddle position by turning the intonation adjustment bolt.
3. Use an Allen wrench (2 mm) to tighten the saddle lock bolts, and use a Phillips screwdriver to lightly tighten the intonation adjustment screw in the clockwise direction. (Tighten lightly, so as not to affect the saddle position.)

※ Make sure that the guitar is tuned correctly before you check the intonation.



String replacement

To install a new string, pass it through the string stopper ferrule from the back of the guitar body.



TIGHT-TUNE BRIDGE

The Tight-Tune bridge achieves the optimum level of stability and sound transference while suppressing unnecessary vibrations by allowing each movable part of the bridge to be locked. The bridge has a stud lock function for fixing the bridge more securely onto the body. Furthermore, the tailpiece is equipped with a ball-end lock function to retain the ball end so that it will not come off.

Adjusting the action

Loosen the locking nuts (D) on the right and left sides of the bridge unit, and adjust the height of the bridge unit by turning the stud lock screws (E) with a 3 mm Allen wrench. Note that it is not possible to adjust the height of individual strings. After completing the adjustment, tighten the locking nuts.

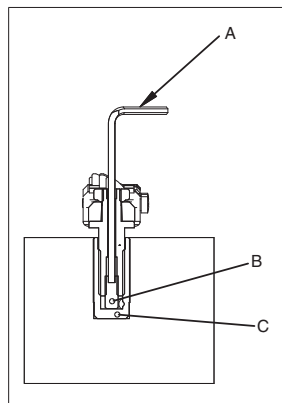
Stud lock function

After adjusting the action, turn the stud lock bolt (B) clockwise inside the stud bolt with a 2 mm Allen wrench. Keep tightening until the stud lock bolt contacts the anchor bolt (C) and the bolt cannot be turned any further.



Memo

When adjusting the action, be sure to fully loosen the stud lock bolt (B) beforehand by turning it counterclockwise with a 2 mm Allen wrench. Otherwise, damage may occur.



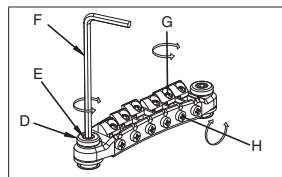
ADJUSTING THE INTONATION

Loosen the saddle lock screws (G) with a Phillips screwdriver, and turn the intonation adjustment screw (H) with a Phillips screwdriver to adjust the saddle position. Tune the guitar and check the intonation. Repeat these adjustments until the required intonation is reached, and then tighten the saddle lock screws.



Memo

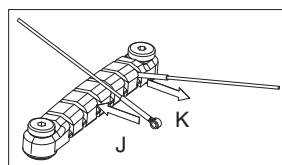
A loose intonation adjustment screw (H) may cause resonance. If this occurs, gently tighten the intonation adjustment screw, exercising care not to allow the saddle to move.



EN

Replacing the strings

Insert the ball-end of the string into the slot of the tailpiece in the direction shown by arrow (J). The ball-end lock function retains the ball-end. To remove the string, pull it toward direction (K).

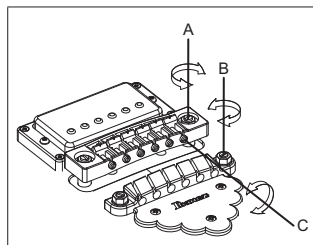




GIBRALTAR BRIDGE 08 / QUICK CHANGE 08 TAILPIECE

To adjust the string height, turn the stud bolts located at the left and right ends of the bridge (A) using a slotted (-) screw driver. Before adjustment, loosen the lock nut using an 8mm nut driver. After adjustment, tighten the lock nut again to fix the bridge. To adjust the tailpiece height, turn the adjustment screws (B) on both sides with a slotted (-) screw driver. Before adjustment, loosen the lock nut. After adjustment, fix it again in the same way as the bridge. If the lock nut of the bridge and tailpiece is loose, it may cause distortion or resonance. Raising the tailpiece will reduce the string tension, which will provide a softer feel and make it easier to bend the strings.

To adjust the intonation of each saddle, turn the intonation adjustment screw using a slotted (-) screw driver (C).



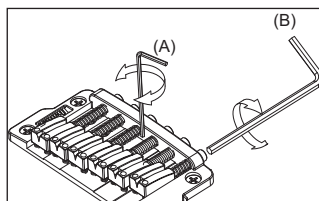
Gibraltar standard bridge (7-string / 8-string models)

To install a new string, pass it through the string stopper ferrule from the back of the guitar body.

To adjust the height of the strings, use a 1.5mm hexagonal wrench to turn and adjust the height of each saddle (A).

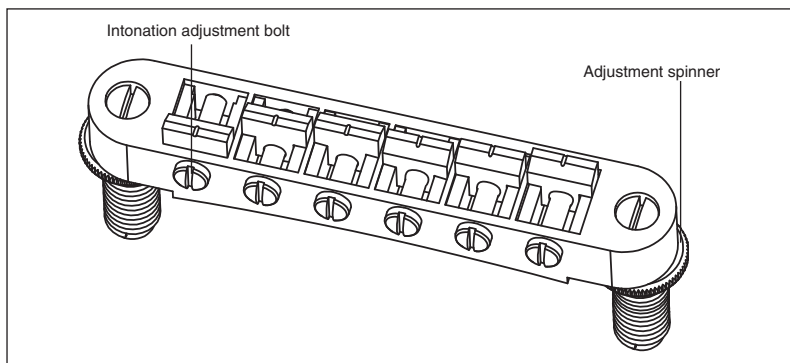
To adjust the intonation, use a 2.5mm hexagonal wrench to turn the intonation adjustment screws of each saddle on the back of the bridge (B).

※ The adjustment method is the same for 7-string and 8-string models.



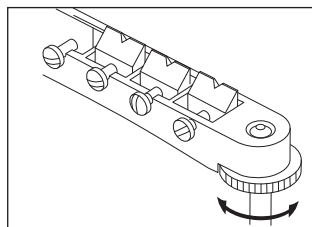


Full Tune II bridge



Adjusting the action

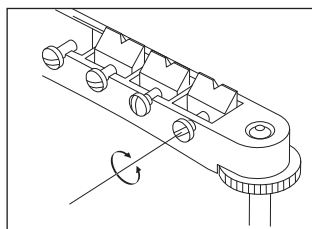
To adjust the height of the entire bridge, use your fingers to turn the adjustment spinners located at the left and right ends of the bridge. (It is not possible to individually adjust the height of each string.)



Adjusting the intonation

To adjust the saddle position, use a slotted screwdriver to turn the intonation adjustment bolt.

※ Tune the guitar correctly before checking the intonation.

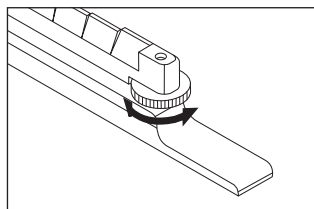




Full acoustic guitar bridge

Adjusting the action

To adjust the height of the entire bridge, use your fingers to turn the adjustment spinners located at the left and right ends of the bridge. (It is not possible to individually adjust the height of each string.)



Adjusting the intonation

To adjust the saddle position, loosen the strings and move the entire bridge.

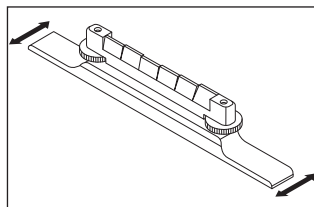
※ Tune the guitar correctly before checking the intonation.



Memo

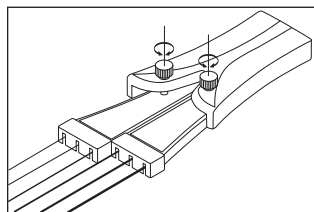
When loosening the strings, take care that the bridge does not fall over.

When replacing the strings, we recommend that you replace them one by one, since the bridge location will shift if you remove all strings at once.



Full acoustic guitar tailpiece (GB10)

The full acoustic guitar tailpiece installed on the GB10 allows the height of strings 1--3 and the height of strings 4--6 to be adjusted independently. Tightening the adjustment knob will lower the height of the tailpiece.



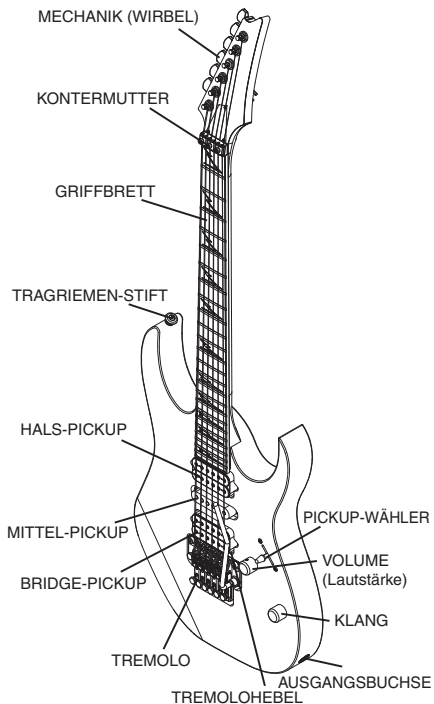
Full acoustic guitar strap button

Full acoustic guitars do not have a strap button installed on the neck side of the instrument. If you would like to have a strap button installed, please contact your dealer or Ibanez Corporation.

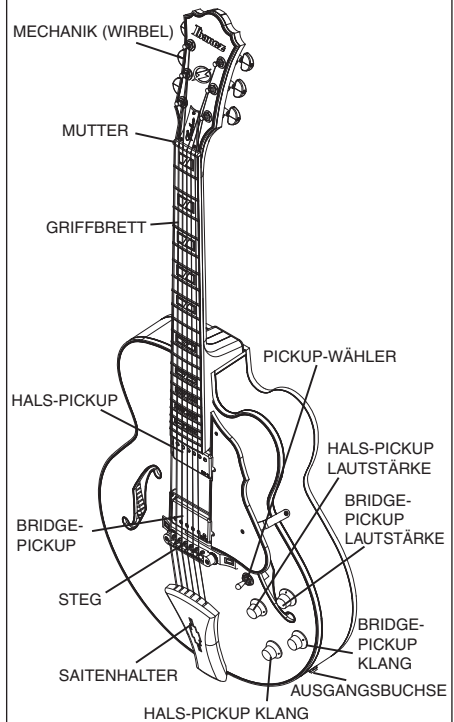


IDENTIFIKATION DER GITARRENTEILE

E-Gitarre



Halb- oder Vollakustische Gitarre



※ Diese Abbildungen zeigen typische Modelle von Ibanez. Es ist evtl. nicht genau die von Ihnen erworbene Gitarre abgebildet.

※ Die Einstellungen von Tremolo und Steg hängen von der Art des montierten Tremolos/Stegs ab.

Näheres finden Sie im entsprechenden Abschnitt zu Tremolo/Steg.

※ Näheres zu den Einstellmöglichkeiten der einzelnen Modelle finden Sie im Abschnitt „CONTROLS (Einstellelemente)“ (S. 206).



ANBAUTEN

	Multi-tool	Tremolohebel	Inbusschlüssel					8-mm-Steckschlüssel
			1,5 mm	2 mm	2,5 mm	3 mm	4 mm	
Edge-Tremolosteg	○	○					○	
Edge-Pro-Tremolosteg	○	○					○	
Edge-Zero-Tremolosteg	○	○						
Lo-Pro-Edge-Tremolosteg	○	○					○	
FX-Edgell-8-Steg	○							
SynchroniZR-Tremolosteg	○	○						
Gibraltar Standardsteg 6/7/8 -Steg	○							
SAITENHALTER GIBRALTAR 08 / QUICK CHANGE TAILPIECE 08	○							○
TIGHT-TUNE-BRIDGE	○							
Tight-End-Steg / Tight-End-R-Steg	○							
ZR-2-Tremolosteg	○	○						
Halbakustische Gitarren			○				○	○
Akustische Gitarren								○

※ Modelle, die mit DiMarzio-Tonabnehmern ausgestattet sind, werden mit einem Inbusschlüssel zur Höhereinstellung der Polkerne geliefert.

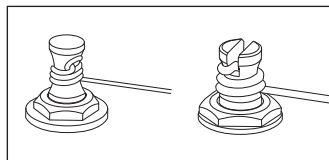
※ Bei Modellen mit 7-saitigem Edge-Zero-Tremolosteg werden Verstärkungsfedern mitgeliefert.



ERSETZEN VON SAITEN

Saiten altern mit der Zeit und verursachen Schnarrtöne oder lassen sich nicht mehr richtig stimmen. Ersetzen Sie die Saiten, sobald sie beginnen zu rosten oder sich zu verfärben. Wir empfehlen Ihnen, den kompletten Satz Saiten gleichzeitig zu wechseln. Verbogene, verdrehte oder beschädigte Saiten erzielen keinen hochwertigen Sound und sollten daher nicht verwendet werden.

Wickeln Sie die Saite zwei- bis dreimal von oben um den Wirbelkörper, indem Sie 5–7 cm der Saitenlänge verwenden, und achten Sie darauf, dass die Windungen sich nicht überkreuzen. Sie sollten jeweils nur eine Saite austauschen, anstatt alle Saiten auf einmal zu lösen. Dies vermeidet eine Überlastung des Halses und eine Beeinträchtigung der Tremolobalance.



※ Wenn Sie ein Modell mit AUTO-TRIM-Stimmwirbeln verwenden, müssen die Saiten anders gewickelt werden. Näheres erfahren Sie im Abschnitt „AUTO-TRIM-Stimmwirbel“ (S. 70).

※ Die Vorgehensweise beim Aus- und Einfädeln der Saiten an einem Tremolo/Steg hängt von der Art des Tremolos bzw. Stegs ab. Näheres erfahren Sie im Abschnitt über das an Ihrer Gitarre installierte Tremolo bzw. deren Steg.



STIMMEN

Bei Auslieferung ab Werk wurden die Ibanez-Gitarren mit den folgenden Stimmungen versehen.

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
6-Saitige	E4	H3	G3	D3	A2	E2	-	-
7-Saitige	E4	H3	G3	D3	A2	E2	H1	-
8-Saitige	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

Beachten Sie, dass die folgenden Modelle anders eingestellt werden.

RGD, APEX

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
6-Saitige	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
7-Saitige	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
E	B	G	D	A	E	B	E

Verwenden Sie ein Stimmgerät oder eine Stimmgabel, um die Tonhöhe jeder offenen Saite auf die oben angegebenen Frequenzen einzustellen. Wenn die Tonhöhe über der angegebenen Frequenz liegt, lösen Sie die Saite, um die Tonhöhe ein gutes Stück zu senken, und spannen Sie die Saite in kleinen Schritten, um sie wieder heraufzustimmen. Auf diese Weise erhalten Sie eine möglichst stabile Stimmung. Sie müssen evtl. den Hals oder die Intonation verändern, wenn Sie die Gitarre auf andere als die in diesen Tabellen angegebenen Tonhöhen stimmen möchten oder wenn Sie Saiten mit anderen Stärken als den Standardstärken verwenden. Näheres zum Einstellen des Halses oder der Intonation erfahren Sie in den Abschnitten „EINSTELLEN DES HALSES“ (S. 68) und „INTONATION“ (S. 68).



Hinweis

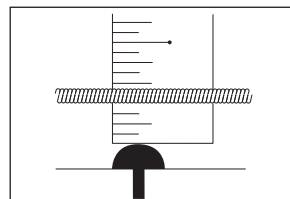
- Beachten Sie, dass durch extreme Stimmungen oder Verwendung von Saiten, die nicht für die E-Gitarre geeignet sind, Teile brechen und unerwartete Verletzungen verursacht werden können.



SAITENHOEHE

Die Saitenlage („Action“) bezeichnet den Abstand zwischen den Bündlen und der Saite.

Um die Saitenlage zu messen, stimmen Sie die Gitarre genau; platzieren Sie ein Lineal am 14. Bund und messen Sie den Abstand von der Oberkante des Bundes bis zur Unterkante der Saite. Generell sollte der Abstand bei der ersten Saite 1,5–1,7 mm und bei der sechsten Saite 2,0–2,2 mm betragen. Bei einer 7-saitigen Gitarre sollte die siebte Saite einen Abstand von 2,2–2,4 mm aufweisen. Bei einer 8-saitigen Gitarre sollte die achte Saite einen Abstand von 2,4–2,6 mm haben.



Bei Anderen als den aufgeführten Saiten stellen Sie die Saitenlage so ein, dass der Abstand schrittweise von der ersten Saite bis zur tiefsten ansteigt.

Ist die Saitenlage zu hoch, ist das Instrument schwer zu spielen. Ist die Saitenlage zu niedrig, schnarren die Saiten, werden abgedämpft oder klingen schneller aus.

Wenn Saiten schnarren oder abgedämpft werden, obwohl die Saitenlage richtig eingestellt ist, müssen Sie eventuell die Halskrümmung einstellen.

Näheres lesen Sie unter „EINSTELLEN DES HALSES“ (S. 68).

※ Die Einstellmethode für die Saitenlage hängt von der Art des Tremolos/Stegs Ihrer Gitarre ab. Näheres finden Sie im entsprechenden Abschnitt zu Tremolo/Steg.

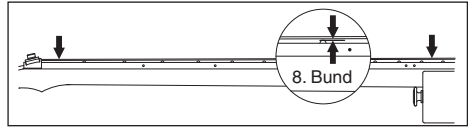


EINSTELLEN DES HALSES

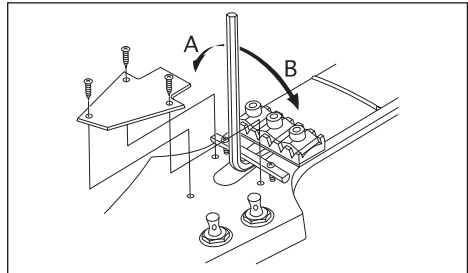
Der Hals steht andauernd unter der Spannung der aufgezogenen Saiten, und dessen Krümmung ändert sich fortwährend nicht nur durch die Stimmung und die Saitenstärke, sondern auch durch Schwankungen von Temperatur und Feuchtigkeit. Wenn Sie Probleme mit schnarrenden oder abgedämpften Saiten haben, obwohl Saitenlage und Stimmung richtig eingestellt wurden, prüfen Sie die Halskrümmung und stellen Sie sie ggf. ein.

1. Prüfen Sie die Halskrümmung.

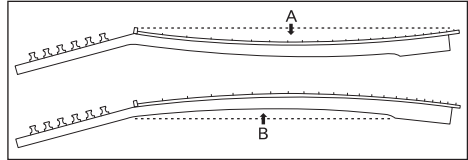
Nachdem Sie die Gitarre genau gestimmt haben, halten Sie sie in Spielposition. Drücken Sie dann die erste Saite am ersten Bund sowie den Bund, der dem Punkt am nächsten ist, an dem der Hals in den Korpus läuft, und messen Sie den Abstand zwischen der Saite und dem achten Bund. Messen Sie diesen Abstand ebenso bei der tiefsten Saite, und stellen Sie den Hals so ein, dass die Abstände im Bereich zwischen 0,3–0,5 mm liegen.



2. Wenn der Abstand weniger als 0,3 mm beträgt, verwenden Sie den mit der Gitarre gelieferten Inbus- oder Steckschlüssel, um die Halsstabmutter am Kopfende des Halses in Richtung ‚A‘ zu drehen, sodass die Halskrümmung sich mehr Richtung konvex ändert.



3. Wenn der Abstand mehr als 0,5 mm beträgt, drehen Sie den Inbus- oder Steckschlüssel in Richtung ‚B‘, sodass die Halskrümmung sich mehr Richtung konkav ändert.



※ Stellen Sie die Halsstabmutter in kleinen Schritten von einer Vierteldrehung ein, und prüfen Sie währenddessen die Stimmung.



Hinweis

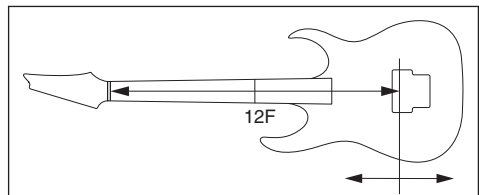
- Beim Einstellen des Halses sollten Sie vorsichtig sein.

Gewaltsames Einstellen kann Ihrer Gitarre Schaden zufügen. Wenn Sie den Hals nicht richtig einstellen können, wenden Sie sich an Ihren Händler oder an die Firma Ibanez.



INTONATION

Wenn Sie die Saitenstärke verändert haben oder Ihre Gitarre auf eine abweichende Stimmung gestimmt haben, müssen Sie die Saitenlänge einstellen (intonieren), um sicherzustellen, dass auf allen Bünden die jeweils richtige Tonhöhe gespielt wird. Nachdem Sie Ihre Gitarre genau gestimmt haben, halten Sie sie in Spielposition und vergleichen Sie die Tonhöhe jeder Saite, gespielt auf dem 12. Bund, mit der Tonhöhe des Obertons in Höhe des 12. Bundes.



Wenn die Tonhöhe der auf dem 12. Bund gespielten Note niedriger ist als der Oberton in Nähe dieses Bundes, schieben Sie den Sattel am Tremolo/Steg nach vorne, sodass die Saite verkürzt wird. Wenn hingegen die Tonhöhe der auf dem 12. Bund gespielten Note höher ist als der Oberton in Nähe dieses Bundes, schieben Sie den Sattel am Tremolo/Steg nach hinten, sodass die Saite verlängert wird.

※ Verwenden Sie ein Stimmgerät, um eine genaue Intonation einstellen zu können.

※ Die Einstellmethode für die Sattelposition hängt von der Art des montierten Tremolos/Stegs ab. Näheres erfahren Sie im Abschnitt über das an Ihrer Gitarre installierte Tremolo bzw. deren Steg.





REINIGEN

Wischen Sie nach dem Gitarrespiel Schweiß und Fett von Metallteilen wie der Unterseite der Saiten, den Bündeln, den Satteln, dem Steg und der Einstellschraube ab. Dadurch verhindern Sie Korrosion. Schmutz oder Staub an Metallteilen können deren Funktion beeinträchtigen.

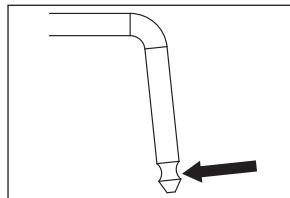
Wischen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem mit ein wenig Öl getränkten Tuch ab.

Zum Reinigen der lackierten Oberflächen sollten Sie keine löse- oder scheuermittelhaltigen Reinigungsmittel verwenden; wischen Sie diese Flächen stattdessen mit einem weichen Tuch und einer speziellen Politur für Musikinstrumente sauber.

Um Schmutz zu entfernen, der einem ölbehandelten Korpus oder Hals anhaftet, verwenden Sie ein Radiergummi, feines Sandpapier der Körnung 1000 oder feiner oder Stahlwolle mit dem Feinheitsgrad Nr. 0000. Einem Austrocknen des Holzes können Sie vorbeugen, indem Sie ein- bis zweimal im Jahr die Gitarre mit farbloser Möbelpolitur oder Waffenöl mithilfe von Stahlwolle Nr. 0000 oder eines Tuches einreiben.

Unbehandelte Griffbretter sollten sorgfältig bis heran an die Bünde mit einem Tuch mit einer kleinen Menge Griffbrettöl oder Zitronenöl guter Qualität abgerieben werden.

Falls der Tremolohebel bei Betätigung quietschen sollte, geben Sie etwas Fett in die Kerbe an der kürzeren Seite des Tremolohebels.



BATTERIE

Wenn Ihre Gitarre einen eingebauten Vorverstärker oder Equalizer besitzt, werden diese durch eine Batterie versorgt. Ersetzen Sie die Batterie, sobald Sie bemerken, dass die Lautstärke abgenommen hat oder der Ton verzerrt ist.

Einige Modelle verwenden eine Batterie des Typs 006P (9 V), andere verwenden zwei AA-Batterien (1,5 V).

Prüfen Sie, welche Batterien Ihre Gitarre benötigt, und ersetzen Sie sie durch den gleichen Typ.

Die Batterien befinden sich im Batteriefach an der Rückseite des Korpus.

Bei Modellen, die mit einer Batterie ausgestattet sind, fungiert die Ausgangsbuchse gleichzeitig als Ein-/Ausschalter; sobald Sie einen Stecker hineinstecken, schaltet sich die Elektronik ein.



Hinweis

- Um zu vermeiden, dass die Batterie leer wird, ziehen Sie immer den Stecker aus der Ausgangsbuchse, wenn Sie die Gitarre längere Zeit nicht verwenden.



AUTO-TRIM-Stimmwirbel

WECHSELN DER SAITEN

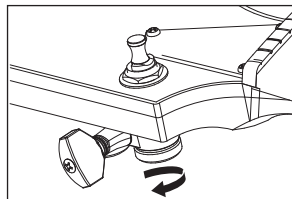
■ Entfernen einer Saite

Lockern Sie die Saite, und drehen Sie die Feststellschraube unterhalb des Stimmwirbels, um die Saite zu lösen.



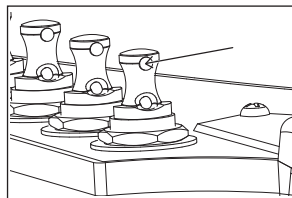
Hinweis

- Seien Sie vorsichtig, da die Saite sofort und mit großer Kraft herauspringen kann, sobald Sie die Schraube gelöst haben.

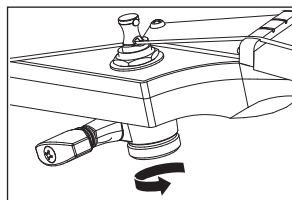


■ Aufziehen einer Saite

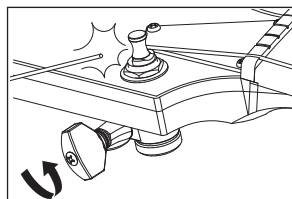
1. Drehen Sie die Achse so, dass die Silberkugel oben in Richtung des Stegs weist, und fädeln Sie dann die Saite durch die Achse.



2. Während Sie die Saite gespannt halten, drehen Sie an der Feststellschraube, um die Saite zu befestigen.



3. Während Sie an der Schraube drehen, wird das überstehende Saitenende abgeschnitten. Fahren Sie mit dem Stimmen fort.

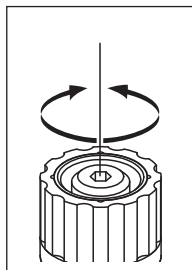
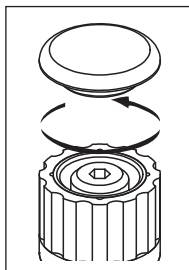


DREHREGLER

Abnehmen des Drehreglers

1. Drehen Sie die Kappe oben auf dem Drehregler und entfernen Sie sie.

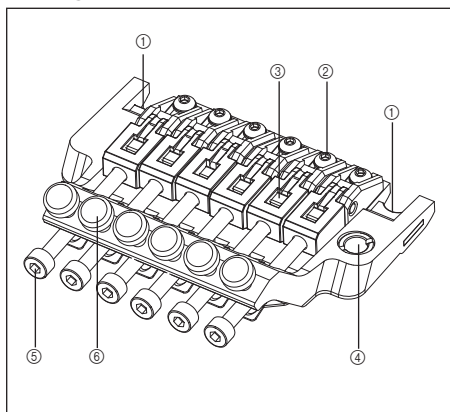
2. Lösen Sie mit einem Inbusschlüssel (3 mm) das Spannfutter, und nehmen Sie den Reglergriff ab.



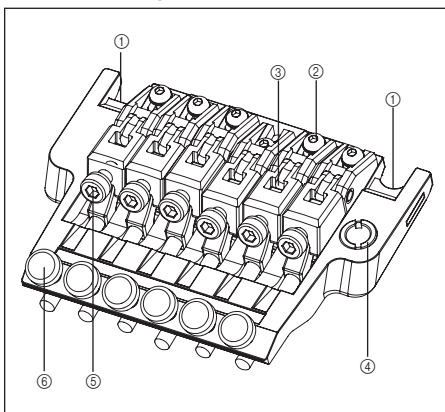


Edge/Lo-Pro-Edge-Tremolosteg

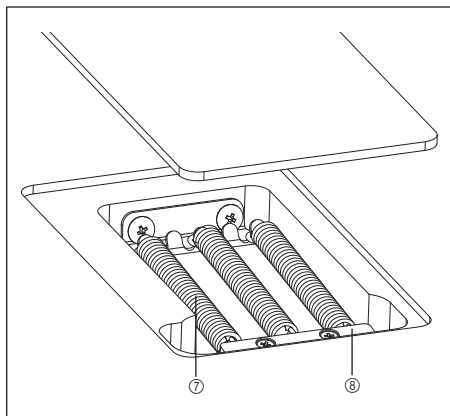
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



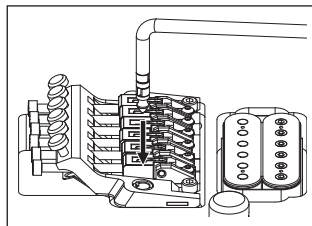
■ Rückseite



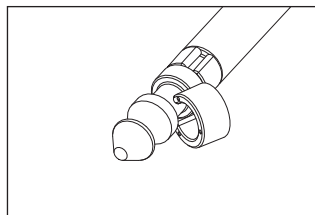
- ① Messerkante
- ② Sattelklemmschraube
- ③ Saitenklammblock
- ④ Tremoloarm Buchse
- ⑤ Saitenklemmschraube
- ⑥ Feinstimmschraube
- ⑦ Tremolofeder
- ⑧ Federbefestigungsschraube

Montage des Tremolohebels

- 1.** Der Tremolohebel besitzt eine Ein-/Ausrastfunktion. Halten Sie den Tremolohebel in der Beuge fest, und drücken Sie ihn fest in die entsprechende Aufnahme in der Grundplatte.



- 2. Die Festigkeit des Tremolohebels lässt sich durch Hinzufügen oder Entfernen von Teflonunterlegscheiben einstellen. Wenn Sie mehrere Unterlegscheiben verwenden, wird die Festigkeit höher, wenn Sie alle Scheiben entfernen, bewegt sich der Hebel frei. Die Teflon-Unterlegscheiben können mithilfe des Schlitzes diagonal hinzugefügt oder entfernt werden.**



Hinweis

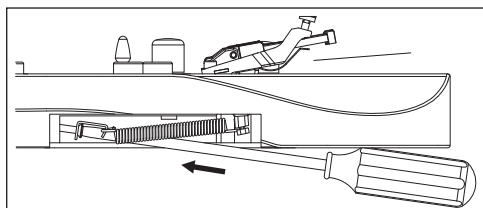
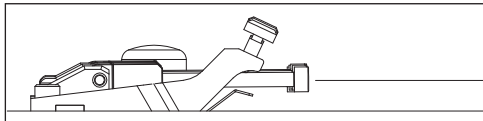
- Wenn der Hebel auch nach dem Hinzufügen von Teflonunterlegscheiben nicht mehr richtig fest sitzt, ersetzen Sie die alten Unterlegscheiben durch neue.

Einstellen des Winkels der Tremoloeinheit

Der Winkel der Tremoloeinheit wird eingestellt, indem das Verhältnis zwischen der Saitenspannung und der Spannung der Tremolofedern an der Korpusrückseite verändert wird. Sie erhalten die optimale Spielfähigkeit, indem Sie dieses Verhältnis so einstellen, dass das Tremolo in etwa parallel zur Korpusoberfläche liegt.

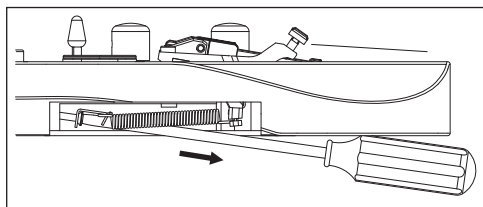
- 1. Prüfen Sie den Winkel des Tremolos bei genau gestimmter Gitarre.**

- 2. Wenn das Tremolo nach vorne geneigt ist, führen Sie einen Kreuzschlitzschraubendreher durch den Spalt in der Abdeckung der Tremolofedern an der Korpusrückseite ein, und ziehen Sie die Schraube an, um die Spannung der Tremolofedern zu erhöhen.**



- 3. Ist das Tremolo nach hinten geneigt, lösen Sie die Schraube, um die Spannung der Tremolofedern zu verringern.**

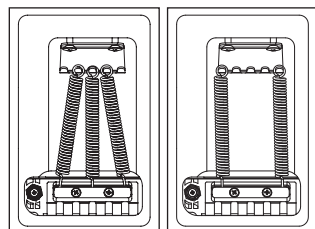
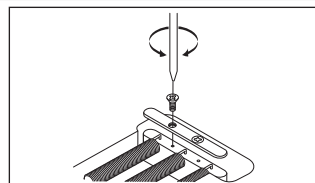
※ Der Winkel der Tremoloeinheit beeinflusst auch die Stimmung, da sich das Verhältnis zwischen Saiten- und Federspannung bei jeder Einstellung der Tremolofedern ändert. Während dieser Einstellung müssen Sie die Gitarre fortwährend nachstimmen.



Tremolofedern

Bei Auslieferung der Gitarre wurde sie mit drei parallel installierten Tremolofedern eingestellt. Wenn das Spannungsverhältnis zwischen Saiten und Tremolofedern sich deutlich verändert hat, z. B. weil Sie Saiten anderer Stärke verwenden oder die Gitarre tiefer gestimmt haben, können Sie die Anzahl der Tremolofedern oder die Stellung der Federn verändern.

- 1. Verwenden Sie einen Kreuzschlitzschraubendreher, um die Sicherungsleiste zu lösen.**
- 2. Wenn Sie die Spannung erhöhen möchten, installieren Sie die äußeren beiden Tremolofedern diagonal.**
- 3. Wenn Sie die Spannung verringern möchten, entfernen Sie die mittlere Tremolofeder.**



Wenn Sie vier oder mehr Tremolofedern einsetzen möchten, befestigen Sie diese mittels der Schraubenlöcher, die zur Befestigung der Sicherungsleiste dienten. (Es ist dann nicht mehr möglich, die Sicherungsleiste zu montieren.)



Hinweis

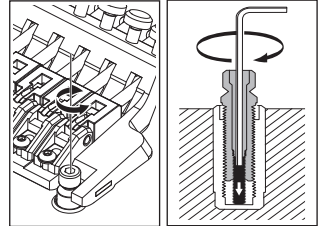
- Lösen Sie die Saiten ausreichend, bevor Sie Tremolofedern einsetzen oder herausnehmen. Bedenken Sie, dass durch Entfernen aller Federn die Tremoloeinheit nicht mehr mit der Gitarre verbunden ist.
- Um das Tremolo wieder zu montieren, platzieren Sie die Messerkante des Tremolos sicher in der Kerbe der Stehbolzen und setzen Sie dann die Tremolofedern ein.

Stehbolzensicherung

Der Edge/Lo-Pro-Edge-Tremolosteg verwendet einen Sicherungsmechanismus für die Stehbolzen.

- 1. Führen Sie einen Inbusschlüssel (1,5 mm) durch die obere Öffnung des Stehbolzens.**
- 2. Drehen Sie die Stehbolzen-Sicherungsschraube im Uhrzeigersinn, bis sie fest an der Anker Mutter sitzt und sich nicht weiter drehen lässt.**

※ Die Stehbolzensicherung löst sich, wenn Sie die Stehbolzen-Sicherungsschraube lösen.



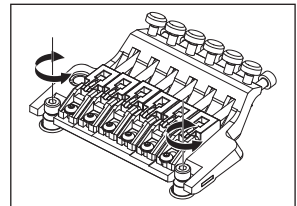
Einstellen der Saitenlage

Verwenden Sie zum Einstellen der Höhe der gesamten Tremoloeinheit einen Inbusschlüssel (4mm), um die Stehbolzen links und rechts der Tremoloeinheit zu verstellen. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten einzustellen.)



Hinweis

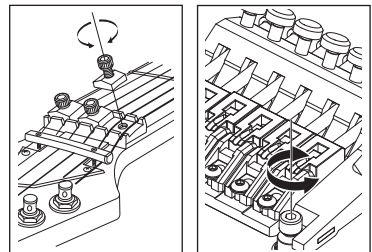
- Achten Sie darauf, dass die Stehbolzensicherung gelöst ist, bevor Sie die Saitenlage einstellen.



Einstellen der Intonation

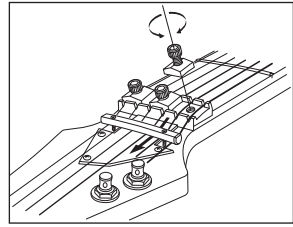
- 1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und entspannen Sie die Saiten ausreichend.**
- 2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungs-schrauben, und stellen Sie die Sattelposition ein.**

※ Bevor Sie die Intonation prüfen, ziehen Sie die Sattelsicherungs-schrauben fest und stimmen Sie die Gitarre genau. Wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungs-schrauben und die Schrauben der Klemm-plättchen fest.



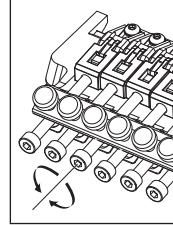
Wechseln der Saiten

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und ziehen Sie die Saite aus dem Stimmwirbel heraus.

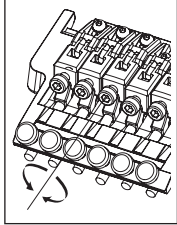


2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Saitenstopperschrauben der Tremoloeinheit, ziehen Sie die Saite aus dem Sattel heraus und entfernen Sie sie.

EDGE



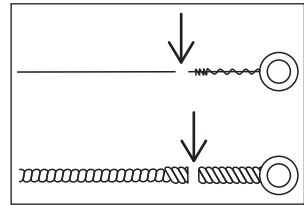
Lo-Pro EDGE



3. Schneiden Sie mit einem Seitenschneider das Kugelende der neuen Saite ab.

4. Führen Sie das Ende der Saite, von dem Sie die Kugel abgeschnitten haben, zwischen Sattel und dem Block des Saitenhalters ein, und drehen Sie die Saitenstopperschraube fest, um die Saite zu befestigen.

5. Wickeln Sie die Saite um den Stimmwirbel, und stimmen Sie sie.



6. Wenn Sie fertig gestimmt haben, ziehen Sie die Schrauben der Druckplättchen fest.

※ Wenn Sie alle Saiten zugleich entfernen, ändert sich der Winkel der Tremoloeinheit beträchtlich, weshalb wir empfehlen, die Saiten einzeln und nacheinander zu wechseln. Wenn Sie trotzdem alle Saiten gleichzeitig entfernen möchten, wird das Stimmen einfacher, wenn Sie ein Stoffstück unter die Tremoloeinheit schieben, sodass sich der Winkel der Tremoloeinheit nicht stark ändert.



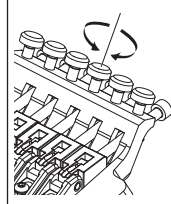
Hinweis

- Stellen Sie vor dem Stimmen sicher, dass die Saitenstopperschrauben richtig festgezogen wurden.

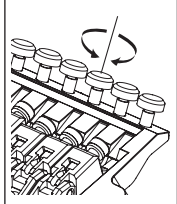
Feinstimmung

Auch wenn Sie die Schrauben der Klemmplättchen festgezogen haben, können Sie die einzelnen Saiten mit den Feinstimmschrauben stimmen. Der Einstellbereich dieser Schrauben nach dem Festziehen der Klemmplättchenschrauben ist am größten, wenn Sie vor dem Stimmen darauf achten, dass die Feinstimmschrauben etwa in der Mitte des Einstellwegs sind.

EDGE



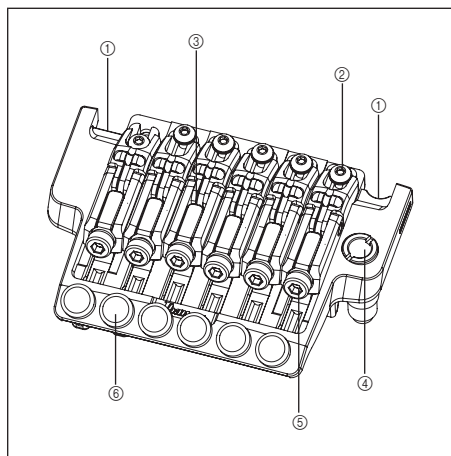
Lo-Pro EDGE





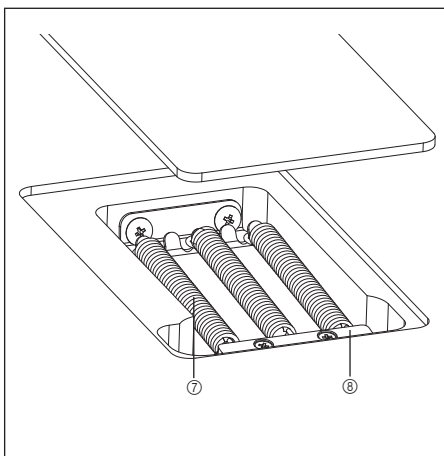
Edge-Pro-Tremolosteg

■ Überblick



- ① Messerkante
- ② Sattelklemmschraube
- ③ Saitenklemmblock
- ④ Tremoloarm Buchse
- ⑤ Saitenklemmschraube
- ⑥ Feinstimmschraube

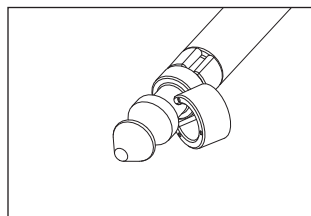
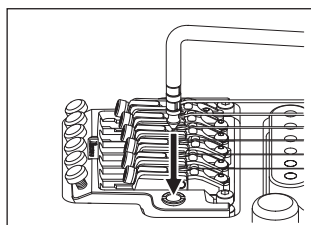
■ Rückseite



- ⑦ Tremolofeder
- ⑧ Federbefestigungsschraube

Montage des Tremolohebels

- 1.** Der Tremolohebel besitzt eine Ein-/Ausrastfunktion. Halten Sie den Tremolohebel in der Beuge fest, und drücken Sie ihn fest in die entsprechende Aufnahme in der Grundplatte, bis die Teflon-Unterlegscheiben nicht mehr zu sehen sind.
- 2.** Die Festigkeit des Tremolohebels lässt sich durch Hinzufügen oder Entfernen von Teflonunterlegscheiben einstellen. Wenn Sie Unterlegscheiben hinzufügen, wird die Festigkeit höher, wenn Sie alle Unterlegscheiben entfernen, bewegt sich der Hebel frei. Die Teflon-Unterlegscheiben können mithilfe des Schlitzes diagonal hinzugefügt oder entfernt werden.



Hinweis

- Wenn der Hebel auch nach dem Hinzufügen von Teflonunterlegscheiben nicht mehr richtig fest sitzt, ersetzen Sie die alten Unterlegscheiben durch neue.

Einstellen des Winkels der Tremoloeinheit

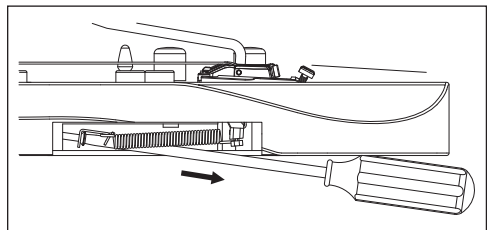
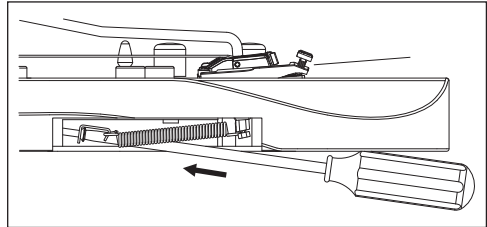
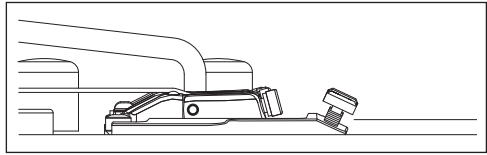
Der Winkel der Tremoloeinheit wird eingestellt, indem das Verhältnis zwischen der Saitenspannung und der Spannung der Tremolofedern an der Korpusrückseite verändert wird. Sie erhalten die optimale Spielfähigkeit, indem Sie dieses Verhältnis so einstellen, dass das Tremolo in etwa parallel zur Korpusoberfläche liegt.

1. Prüfen Sie den Winkel des Tremolos bei genau gestimmter Gitarre.

2. Wenn das Tremolo nach vorne geneigt ist, führen Sie einen Kreuzschlitzschraubendreher durch den Spalt in der Abdeckung der Tremolofedern an der Korpusrückseite ein, und ziehen Sie die Schraube an, um die Spannung der Tremolofedern zu erhöhen.

3. Ist das Tremolo nach hinten geneigt, lösen Sie die Schraube, um die Spannung der Tremolofedern zu verringern.

※ Der Winkel der Tremoloeinheit beeinflusst auch die Stimmung, da sich das Verhältnis zwischen Saiten- und Federspannung bei jeder Einstellung der Tremolofedern ändert. Während dieser Einstellung müssen Sie die Gitarre fortwährend nachstimmen.



Tremolofedern

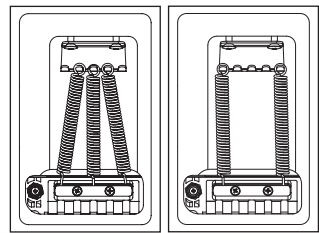
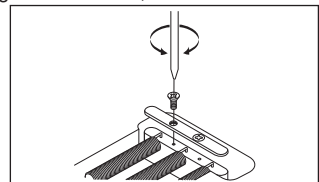
Bei Auslieferung der Gitarre wurde sie mit drei parallel installierten Tremolofedern eingestellt. Wenn das Spannungsverhältnis zwischen Saiten und Tremolofedern sich deutlich verändert hat, z. B. weil Sie Saiten anderer Stärke verwenden oder die Gitarre tiefer gestimmt haben, können Sie die Anzahl der Tremolofedern oder die Stellung der Federn verändern.

1. Verwenden Sie einen Kreuzschlitzschraubendreher, um die Sicherungsleiste zu lösen.

2. Wenn Sie die Spannung erhöhen möchten, installieren Sie die äußeren beiden Tremolofedern diagonal.

3. Wenn Sie die Spannung verringern möchten, entfernen Sie die mittlere Tremolofeder.

Wenn Sie vier oder mehr Tremolofedern einsetzen möchten, befestigen Sie diese mittels der Schraubenlöcher, die zur Befestigung der Sicherungsleiste dienen. (Es ist dann nicht mehr möglich, die Sicherungsleiste zu montieren.)

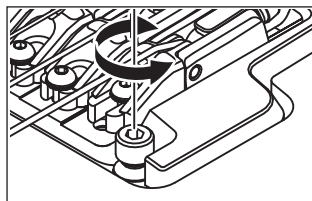


Hinweis

- Lösen Sie die Saiten ausreichend, bevor Sie Tremolofedern einsetzen oder herausnehmen. Bedenken Sie, dass durch Entfernen aller Federn die Tremoloeinheit nicht mehr mit der Gitarre verbunden ist.
- Um das Tremolo wieder zu montieren, platzieren Sie die Messerkante des Tremolos sicher in der Kerbe der Stehbolzen und setzen Sie dann die Tremolofedern ein.

Einstellen der Saitenlage

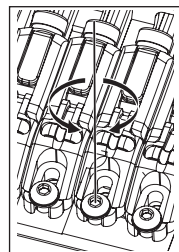
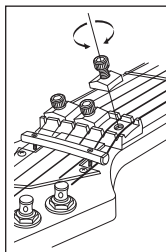
Verwenden Sie zum Einstellen der Höhe der gesamten Tremoloeinheit einen Inbusschlüssel (4 mm), um die Stehbolzen links und rechts der Tremoloeinheit zu verstellen. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten einzustellen.)



Einstellen der Intonation

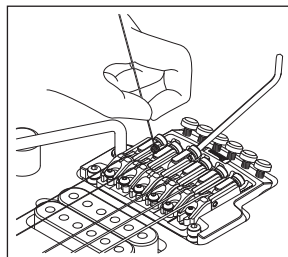
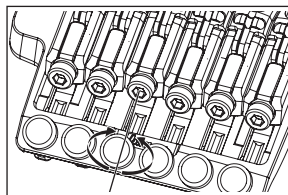
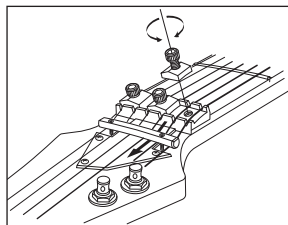
1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und entspannen Sie die Saiten ausreichend.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschrauben, und stellen Sie die Sattelposition ein.

※ Bevor Sie die Intonation prüfen, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben fest und stimmen Sie die Gitarre genau. Wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben und die Schrauben der Klemmplättchen fest.

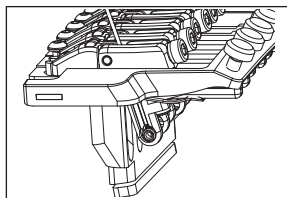


Wechseln der Saiten

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und ziehen Sie die Saite aus dem Stimmwirbel heraus.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Saitenstopperschrauben der Tremoloeinheit, ziehen Sie die Saite aus dem Sattel heraus und entfernen Sie sie.
3. Schneiden Sie mit einem Seitenschneider das Kugelende der neuen Saite ab.
4. Führen Sie das Ende der Saite, von dem Sie die Kugel abgeschnitten haben, zwischen Sattel und dem Block des Saitenhalters ein, und drehen Sie die Saitenstopperschraube fest, um die Saite zu befestigen.
5. Wickeln Sie die Saite um den Stimmwirbel, und stimmen Sie sie.
6. Wenn Sie fertig gestimmt haben, ziehen Sie die Schrauben der Druckplättchen fest.



- ※ Sie können die Saiten auch mit abgeschnittenen Kugelenenden einführen, wie bei einem herkömmlichen Floyd-Rose-Tremolo.
- ※ Wenn Sie alle Saiten zugleich entfernen, ändert sich der Winkel der Tremoloeinheit beträchtlich, weshalb wir empfehlen, die Saiten einzeln und nacheinander zu wechseln. Wenn Sie trotzdem alle Saiten gleichzeitig entfernen möchten, wird das Stimmen einfacher, wenn Sie ein Stoffstück unter die Tremoloeinheit schieben, sodass sich der Winkel der Tremoloeinheit nicht stark ändert.

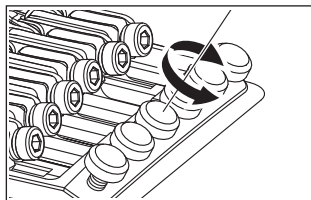


Hinweis

- Stellen Sie vor dem Stimmen sicher, dass die Saitenstopperschrauben richtig festgezogen wurden.

Feinstimmung

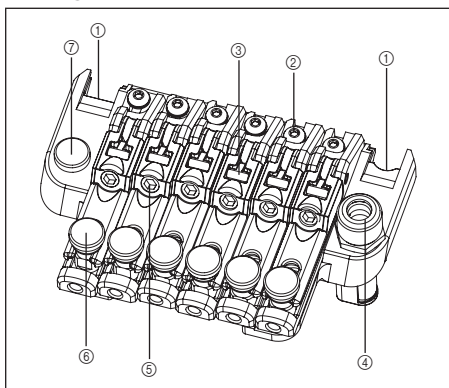
Auch wenn Sie die Schrauben der Klemmplättchen festgezogen haben, können Sie die einzelnen Saiten mit den Feinstimmschrauben stimmen. Der Einstellbereich dieser Schrauben nach dem Festziehen der Klemmplättchenschrauben ist am größten, wenn Sie vor dem Stimmen darauf achten, dass die Feinstimmschrauben etwa in der Mitte des Einstellwegs sind.



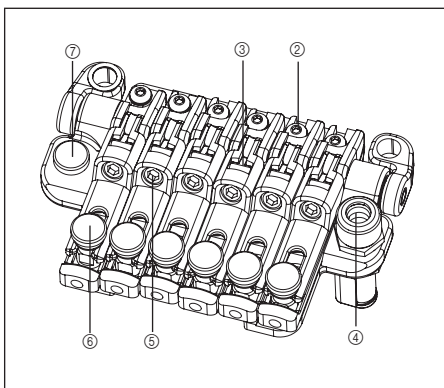


Edge-Zero-/ZR-2-Tremolosteg

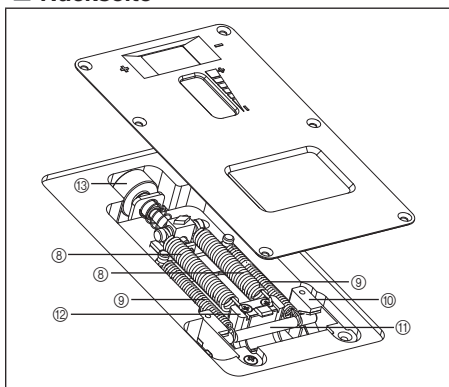
■ Edge-Zero



■ ZR2



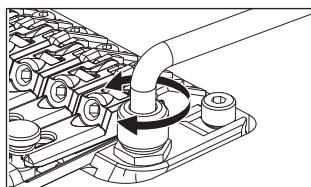
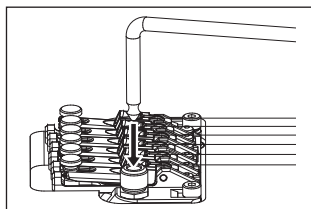
■ Rückseite



- ① Messerkante
- ② Sattelklemmschraube
- ③ Saitenklemmblock
- ④ Tremoloarm Buchse
- ⑤ Saitenklemmschraube
- ⑥ Feinstimmschraube
- ⑦ Mensureinstellschraube
- ⑧ Tremolzugfeder
- ⑨ Null-Punkt-Federn
- ⑩ Stopper
- ⑪ Null-Punkt-Stange
- ⑫ Tremoloblock
- ⑬ Federeinstellknopf

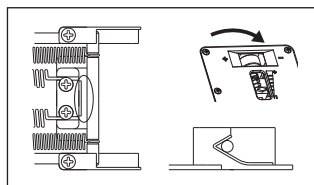
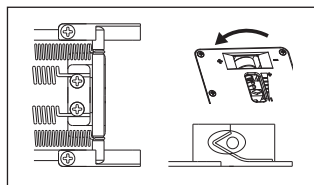
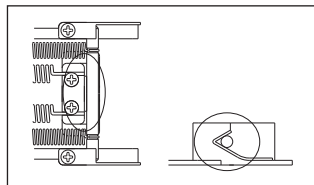
Montage des Tremolohebels

- 1.** Der Tremolohebel besitzt eine Ein-/Ausrastfunktion. Halten Sie den Tremolohebel in der Beuge fest, und drücken Sie ihn fest in die entsprechende Aufnahme in der Grundplatte.
- 2.** Drehen Sie die Biegemoment-Einstellkappe, um die Festigkeit des Tremolohebels einzustellen. Durch Drehen der Kappe im Uhrzeigersinn wird der Hebel fester, und durch Drehen der Kappe gegen den Uhrzeigersinn wird der Hebel lockerer.



Einstellen des Winkels der Tremoloeinheit / Einstellen des Zero-Point-Systems

Der Winkel der Tremoloeinheit wird eingestellt, indem das Verhältnis zwischen der Saitenspannung und der Spannung des Nullpunktsystems (Zero Point) an der Korpusrückseite verändert wird. Der Edge-Zero/ZR2-Tremolosteg ist so beschaffen, dass das Tremolo in etwa parallel mit der Oberfläche der Korpusdecke liegt, wenn das Nullpunktsystem richtig eingestellt ist, und es erbringt in diesem Zustand optimale Leistung. Wenn das Nullpunktsystem richtig eingestellt ist, hat die Stoppstange festen Kontakt mit dem Tremoloblock und die Stoppstange berührt den Stopper.



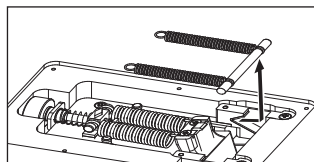
- 1. Prüfen Sie das Nullpunktsystem bei genau gestimmter Gitarre.**
- 2. Wenn die Stoppstange den Stopper nicht berührt (d. h. wenn der Tremoloblock die Stoppstange anhebt), drehen Sie an der Federeinstellschraube an der Korpusrückseite in Richtung „Plus“, um die Hauptfeder zu spannen.**
- 3. Wenn der Tremoloblock keinen Kontakt mit der Stoppstange hat (d. h. wenn das Tremolo nach hinten geneigt ist), drehen Sie an der Federeinstellschraube an der Korpusrückseite in Richtung „Minus“, um die Hauptfeder zu entspannen.**

Deaktivieren des Nullpunktsystems (Verwendung als herkömmliches schwebendes Tremolo)

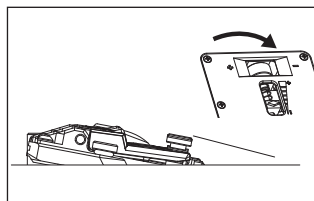
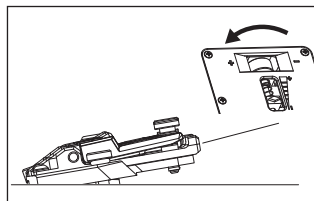
Wenn Sie das Nullpunktsystem deaktivieren, können Sie es als herkömmliches schwebendes Tremolo verwenden.

Wenn das Nullpunktsystem deaktiviert ist, wird der Winkel, in dem das Tremolo befestigt ist, durch die Balance zwischen der Saitenspannung und der Spannung der Hauptfedern des Tremoloblocks bestimmt.

Für optimale Spielfähigkeit stellen Sie das Tremolo so ein, dass es in etwa parallel zur Korpusdecke liegt.



- 1. Entfernen Sie die Stoppstange und die Nebenfeder, während Sie den Hebel in Aufwärtsstellung halten (d. h. so, dass der Tremoloblock von der Stoppstange entfernt ist).**
- 2. Prüfen Sie den Winkel des Tremolos bei genau gestimmter Gitarre.**
- 3. Ist das Tremolo nach vorne geneigt, drehen Sie die Federeinstellschraube in Richtung „Plus“, um die Spannung der Hauptfeder zu erhöhen.**
- 4. Ist das Tremolo nach hinten geneigt, drehen Sie die Federeinstellschraube in Richtung „Minus“, um die Spannung der Hauptfeder zu verringern.**



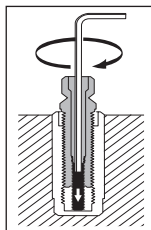
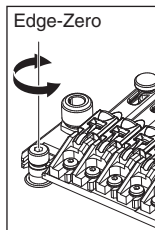
※ Bei deaktiviertem Nullpunktsystem beeinflusst der Winkel der Tremoloeinheit auch die Stimmung, da sich das Verhältnis zwischen Saiten- und Federspannung bei jeder Einstellung der Spannung der Tremolofedern ändert. Während dieser Einstellung müssen Sie die Gitarre fortwährend nachstimmen.

Stehbolzensicherung (Edge-Zero-Tremolosteg)

Der Edge-Zero-Tremolosteg ist mit einer Stehbolzensicherung versehen.

1. Führen Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) durch die obere Öffnung des Stehbolzens.
2. Drehen Sie die Stehbolzen-Sicherungsschraube im Uhrzeigersinn, bis sie fest an der Anker Mutter sitzt und sich nicht weiter drehen lässt.

※ Um die Stehbolzensicherung zu lösen, lösen Sie die Stehbolzen-Sicherungsschraube.



Einstellungsanleitung

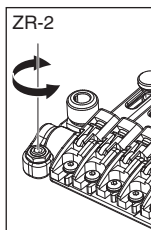
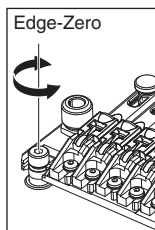
Einstellen der Saitenlage

Verwenden Sie zum Einstellen der Höhe der gesamten Tremoloeinheit einen Inbusschlüssel (3 mm), um die Stehbolzen links und rechts der Tremoloeinheit zu verstellen. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten einzustellen.)



Hinweis

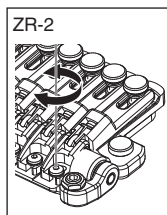
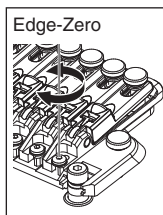
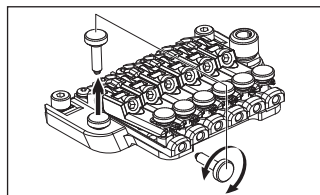
- Achten Sie darauf, dass die Stehbolzensicherung gelöst ist, bevor Sie die Saitenlage einstellen.



Einstellen der Intonation

1. Entfernen Sie die Intonationseinstellschrauben aus der Tremoloeinheit, und drehen Sie diese in die Gewinde an der Tremolorückseite ein, bis die Spitze der einzelnen Schrauben die Kante der Tremoloeinheit berühren.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschraube, und stellen Sie die Sattelstellung mit der Intonationseinstellschraube ein.

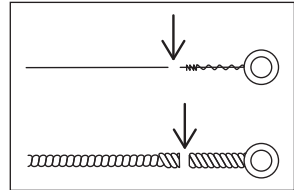
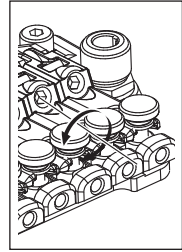
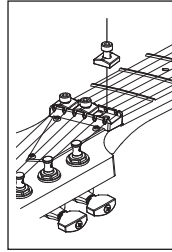
※ Bevor Sie die Intonation prüfen, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben fest und stimmen Sie die Gitarre genau. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen. Wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben und die Schrauben der Klemmplättchen fest, und drehen Sie die Intonationseinstellschrauben wieder in die Tremoloeinheit ein.



DE

Wechseln der Saiten

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und ziehen Sie die Saite aus dem Stimmwirbel heraus.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Saitenstopperschrauben der Tremoloeinheit, ziehen Sie die Saite aus dem Sattel heraus und entfernen Sie sie.
3. Schneiden Sie mit einem Seitenschneider das Kugelende der neuen Saite ab.
4. Führen Sie das Ende der Saite, von dem Sie die Kugel abgeschnitten haben, zwischen Sattel und dem Block des Saitenhalters ein, und drehen Sie die Saitenstopperschraube fest, um die Saite zu befestigen.
5. Wickeln Sie die Saite um den Stimmwirbel, und stimmen Sie sie.
6. Wenn Sie fertig gestimmt haben, ziehen Sie die Schrauben der Druckplättchen fest.

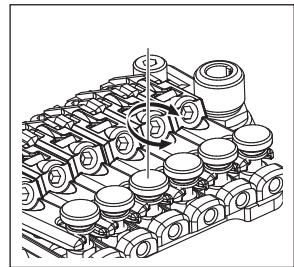


Hinweis

- Stellen Sie vor dem Stimmen sicher, dass die Saitenstopperschrauben richtig festgezogen wurden.

Feinstimmung

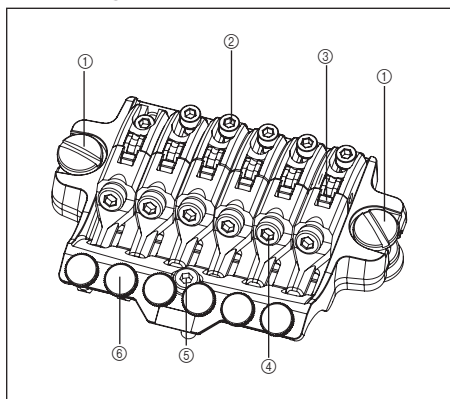
Auch wenn Sie die Schrauben der Klemmplättchen festgezogen haben, können Sie die einzelnen Saiten mit den Feinstimmschrauben stimmen. Der Einstellbereich dieser Schrauben nach dem Festziehen der Klemmplättchenschrauben ist am größten, wenn Sie vor dem Stimmen darauf achten, dass die Feinstimmschrauben etwa in der Mitte des Einstellwegs sind.





FX-Edge-III-/FX-Edge-III-8-Steg

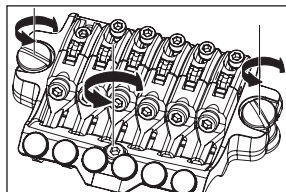
■ FX Edge III



- ① Hauptbolzen
- ② Sattelklemmschraube
- ③ Saitenklemmblock
- ④ Saitenklemmschraube
- ⑤ Rückbolzen
- ⑥ Feinstimmschraube

Einstellen der Saitenlage

1. Zum Einstellen der Höhe verwenden Sie einen Schlitzschraubendreher, um die Hauptstehbolzen links und rechts der Stegeinheit zu drehen und so die Höhe der gesamten Tremoloeinheit zu verstellen. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten zu verstellen.)
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Drehen der Stehbolzen, sodass der Steg in etwa parallel zur Korpusdecke liegt.

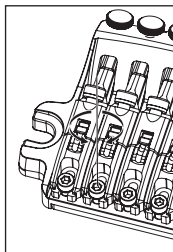
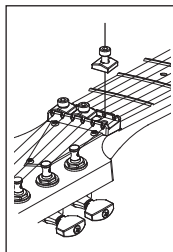


※ Da sich die Saitenlage durch Einstellen der hinteren Stehbolzen ändert, wird empfohlen, die endgültige Saitenlage nach Einstellen der Stehbolzen zu prüfen. Um eine Beschädigung der Gewinde zu vermeiden, lösen Sie vor dem Einstellen der Stehbolzen die Saiten ausreichend, so dass Sie beim Drehen der Bolzen nicht zu viel Kraft aufwenden müssen.

Einstellen der Intonation

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und entspannen Sie die Saiten ausreichend.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschraube, und stellen Sie die Sattelposition ein.

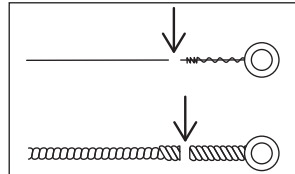
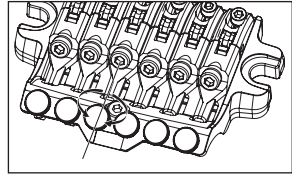
※ Bevor Sie die Intonation prüfen, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben fest und stimmen Sie die Gitarre genau. Wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben und die Schrauben der Klemmplättchen fest.



DE

Wechseln der Saiten

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Schrauben der Druckplättchen, und ziehen Sie die Saite aus dem Stimmwirbel heraus.
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (3 mm) zum Lösen der Saitenstopperschrauben der Stegeinheit, ziehen Sie die Saite aus dem Sattel heraus und entfernen Sie sie.
3. Schneiden Sie mit einem Seitenschneider das Kugelende der neuen Saite ab.
4. Führen Sie das Ende der Saite, von dem Sie die Kugel abgeschnitten haben, zwischen Sattel und dem Block des Saitenhalters ein, und drehen Sie die Saitenstopperschraube fest, um die Saite zu befestigen.
5. Wickeln Sie die Saite um den Stimmwirbel, und stimmen Sie sie.
6. Wenn Sie fertig gestimmt haben, ziehen Sie die Schrauben der Druckplättchen fest.

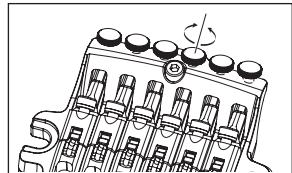


Hinweis

- Stellen Sie vor dem Stimmen sicher, dass die Saitenstopperschrauben richtig festgezogen wurden.

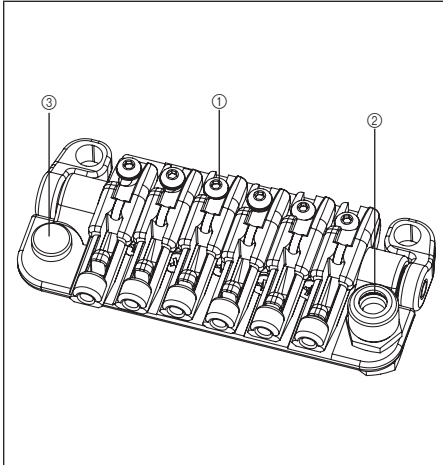
Feinstimmung

Auch wenn Sie die Schrauben der Klemmplättchen festgezogen haben, können Sie die einzelnen Saiten mit den Feinstimmschrauben stimmen. Der Einstellbereich dieser Schrauben nach dem Festziehen der Klemmplättchenschrauben ist am größten, wenn Sie vor dem Stimmen darauf achten, dass die Feinstimmschrauben etwa in der Mitte des Einstellwegs sind.



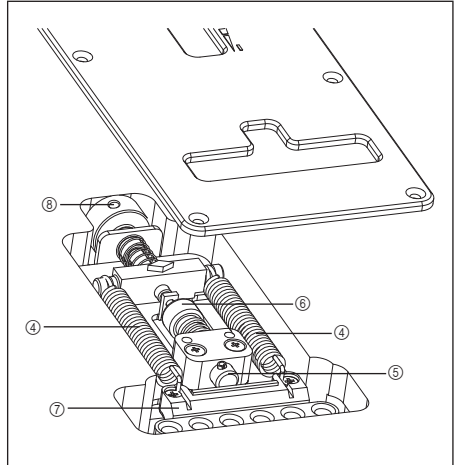


■ Überblick



- ① Sattelmehrschraube
- ② Tremoloarm Buchse
- ③ Menseureinstellschraube

■ Rückseite

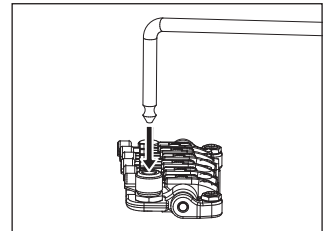


- ④ Tremolofeder
- ⑤ Tremoloblock Stopper
- ⑥ Tremoloblock Stopperschraube
- ⑦ Tremoloblock
- ⑧ Federeinstellknopf

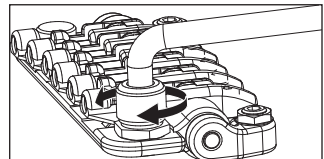
Montage des Tremolohebels

1. Der Tremolohebel besitzt eine Einrastfunktion.

Halten Sie den Tremolohebel in der Beuge fest, und drücken Sie ihn fest in die entsprechende Aufnahme in der Grundplatte, bis sie einrastet.

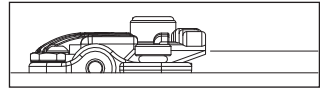


2. Die Festigkeit des Tremolohebels lässt sich durch Drehen der Drehmoment-Einstellkappe einstellen. Durch Drehen der Kappe im Uhrzeigersinn wird der Hebel fester, und durch Drehen gegen den Uhrzeigersinn wird der Hebel lockerer.



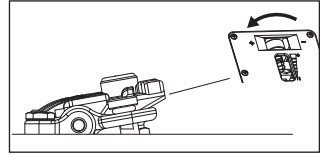
Einstellen des Winkels der Tremoloeinheit

Der Winkel der Tremoloeinheit wird eingestellt, indem das Verhältnis zwischen der Saitenspannung und der Spannung der Tremolofedern an der Korpusrückseite verändert wird. Das Tremolo lässt sich optimal spielen, wenn es so eingestellt wird, dass es in etwa parallel zur Korpusdecke liegt.



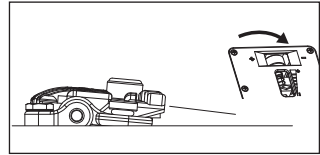
1. Prüfen Sie den Winkel des Tremolos bei genau gestimmter Gitarre.

2. Ist das Tremolo nach vorne geneigt, drehen Sie die Federeinstellschraube an der Korpusrückseite in Richtung „Plus“, um die Spannung der Tremolofedern zu erhöhen.



3. Ist das Tremolo nach hinten geneigt, drehen Sie die Federeinstellschraube in Richtung „Minus“, um die Spannung der Tremolofedern zu verringern.

※ Da sich das Verhältnis zwischen Saiten- und Federspannung bei jeder Einstellung der Spannung der Tremolofedern ändert, beeinflusst der Winkel der Tremoloeinheit im schwebenden Zustand auch die Stimmung. Während dieser Einstellung müssen Sie die Gitarre fortwährend nachstimmen.



Stoppfunktion bei angehobenem Hebel

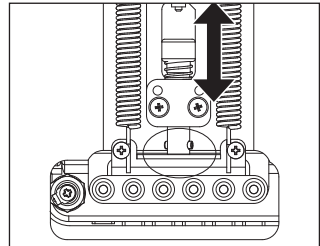
Der SynchroniZR-Steg hat eine Stoppfunktion bei angehobenem Hebel. Diese Funktion hebt den Schwebezustand auf, indem die Aufwärtsrichtung des Tremolohebels begrenzt wird.

1. Achten Sie darauf, dass das Tremolo so eingestellt ist, dass es in etwa parallel zur Oberfläche der Korpusdecke liegt.

2. Entfernen Sie die Abdeckung der Tremolofedern, und drehen Sie den Hebelstopp-Regler so, dass die Spitze des Stoppers den Tremoloblock berührt.

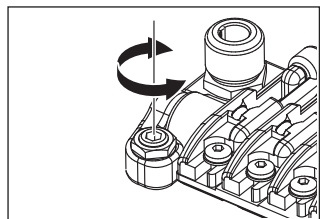
3. Stellen Sie erneut sicher, dass das Tremolo in etwa parallel zur Oberfläche der Korpusdecke liegt, und drehen Sie die Federeinstellschraube an der Korpusrückseite mehrmals in Richtung „Plus“.

※ Wenn die Spannung der Tremolofeder zu gering ist, wird das Tremolo von den Saiten gezogen, sodass die Stimmung möglicherweise instabil ist. Wenn Sie während des Stimmens auf dieses Problem stoßen, drehen Sie die Federeinstellschraube noch weiter in Richtung „Plus“.



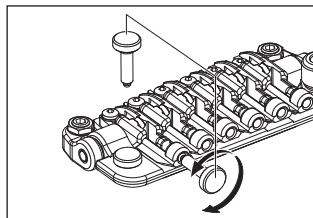
Einstellen der Saitenhöhe

Zum Einstellen der Saitenhöhe stellen Sie die Höhe der gesamten Tremoloeinheit mit einem Inbusschlüssel (3 mm) ein, indem Sie die Stehbolzen links und rechts der Tremoloeinheit verstellen. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten zu verstellen.)



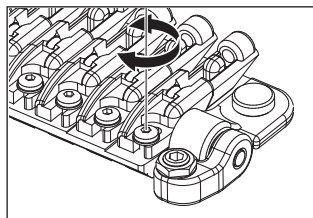
Einstellen der Intonation

1. Entfernen Sie die Intonationseinstellschrauben aus der Tremoloeinheit, und drehen Sie diese in die Gewinde an der Tremolorückseite ein, bis die Spitze der einzelnen Schrauben die Kante der Tremoloeinheit berühren.



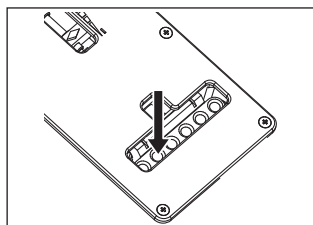
2. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschraube, und stellen Sie die Sattelstellung mit der Intonationseinstellschraube ein.

※ Bevor Sie die Intonation prüfen, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben fest und stimmen Sie die Gitarre genau. Wenn Sie die Einstellungen abgeschlossen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben und die Schrauben der Klemmplättchen fest, und drehen Sie die Intonationseinstellschrauben wieder in die Tremoloeinheit ein.



Wechseln der Saiten

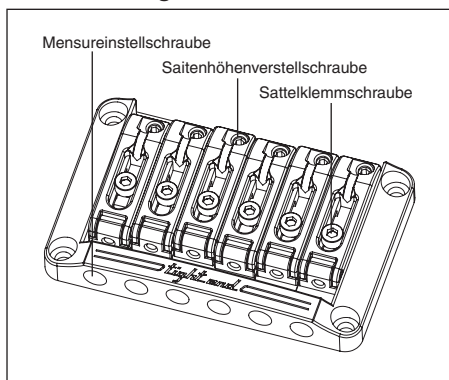
Ziehen Sie neue Saiten auf, indem Sie sie von der Korpusrückseite her durch den Tremoloblock führen.



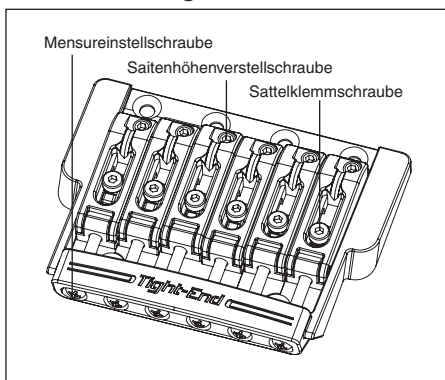


Fester Steg / Fester R-Steg (für 6-Saitige und 7-Saitige)

■ Fester Steg



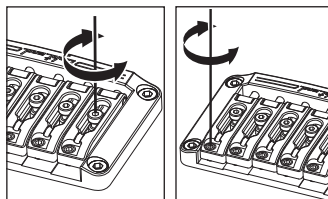
■ Fester R-Steg



Einstellen der Saitenlage

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschrauben.
2. Zum Einstellen der Sattelhöhe verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Drehen der Einstellschrauben für die Sattelhöhe.

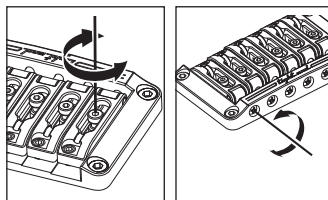
※ Nachdem Sie die Einstellung vorgenommen haben, ziehen Sie die Sattelsicherungsschrauben wieder fest.



Einstellen der Intonation

1. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Lösen der Sattelsicherungsschrauben.
2. Verwenden Sie einen Kreuzschlitzschraubendreher zum Einstellen der Sattelposition, indem Sie die Intonationseinstellschraube drehen.
3. Verwenden Sie einen Inbusschlüssel (2 mm) zum Festziehen der Sattelsicherungsschraube, und drehen Sie die Intonationseinstellschraube mit einem Kreuzschlitzschraubendreher im Uhrzeigersinn leicht fest. (Ziehen Sie diese nur leicht an, sodass die Sattelposition sich nicht verschiebt.)

※ Achten Sie darauf, dass die Gitarre genau gestimmt ist, bevor Sie die Intonation einstellen.



Wechseln der Saiten

Um eine neue Saite aufzuziehen, führen Sie sie von der Korpusrückseite aus durch die Saitenstopperhülse.

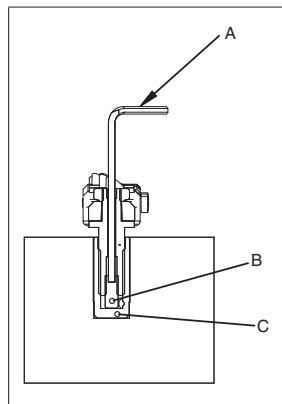


TIGHT-TUNE-BRIDGE

Die Tight-Tune-Brücke erreicht eine optimale Stabilität und Schallübertragung bei gleichzeitiger Unterdrückung unerwünschter Vibrationen, indem jeder Teil der Brücke verriegelt werden kann. Die Brücke besitzt eine Schraubenbolzenverriegelung, um sie sicherer am Korpus zu befestigen. Außerdem ist der Saitenhalter mit einer Kugelenden-Verriegelungsfunktion ausgestattet, um das Kugelende zu sichern, so dass es sich nicht lösen kann.

Einstellen der Saitenlage

Lösen Sie die Saitenstopperschrauben (D) links und rechts an der Brückeneinheit und stellen Sie die Höhe der Brückeneinheit ein, indem Sie mit einem 3-mm-Inbusschlüssel die Sicherungsbolzen (E) drehen. Beachten Sie, dass es nicht möglich ist, die Höhe einzelner Saiten zu verstellen. Ziehen Sie nach erfolgter Einstellung die Saitenstopperschrauben an.



Schraubenbolzenverriegelung

Drehen Sie nach dem Einstellen der Saitenlage mit einem 2-mm-Inbusschlüssel den Sicherungsbolzen (B) im Schraubpfosten im Uhrzeigersinn. Ziehen Sie den Sicherungsbolzen fest, bis er den Ankerbolzen berührt (C) und nicht weiter gedreht werden kann.

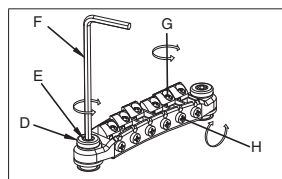


Hinweis

Achten Sie beim Einstellen der Saitenlage darauf, zuvor den Sicherungsbolzen (B) vollständig zu lösen, indem Sie ihn mit einem 2-mm-Inbusschlüssel gegen den Uhrzeigersinn drehen. Anderenfalls können Schäden auftreten.

Einstellen der Intonation

Lösen Sie mit einem Kreuzschlitzschraubendreher die Sattelsicherungsschrauben (G) und drehen Sie mit einem Kreuzschlitzschraubendreher die Intonations-Einstellschraube (H), um die Sattelposition einzustellen. Stimmen Sie die Gitarre und prüfen Sie die Intonation. Wiederholen Sie diese Justierungen, bis die erforderliche Intonation erreicht ist, und ziehen Sie dann die Sattelsicherungsschrauben an.

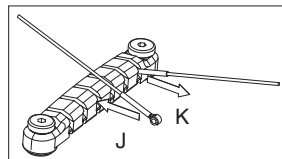


Hinweis

Eine lockere Intonations-Einstellschraube (H) kann Resonanzen erzeugen. Ziehen Sie in diesem Fall die Intonations-Einstellschraube vorsichtig an. Achten Sie dabei darauf, dass sich der Sattel nicht bewegen darf.

Wechseln der Saiten

Stecken Sie das Kugelende der Saite in der durch den Pfeil angezeigten Richtung in den Schlitz am Saitenhalter (J). Die Kugelenden-Verriegelungsfunktion hält das Kugelende fest. Um die Saite zu entfernen, ziehen Sie sie in die durch den Pfeil (K) angezeigte Richtung.



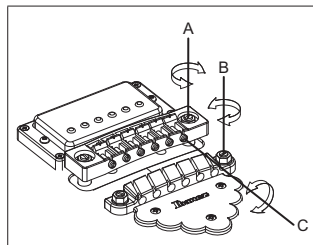


SAITENHALTER GIBRALTAR 08 / QUICK CHANGE TAILPIECE 08

Verwenden Sie einen Schlitzschraubendreher, um die Pfosten links und rechts an der Bridge und damit die Saitenlage zu verstellen (A). Lösen Sie vor der Einstellung die Sicherungsmutter mit einer 8-mm-Schraubnuss. Ziehen Sie nach der Einstellung die Sicherungsmutter wieder fest, um die Bridge zu fixieren.

Zur Einstellung der Höhe des Saitenhalters drehen Sie die Einstellschrauben (B) an beiden Seiten mit einem Schlitzschraubendreher (-). Lösen Sie vor der Einstellung die Sicherungsmutter. Ziehen Sie nach der Einstellung genau wie bei der Bridge die Sicherungsmutter fest. Wenn die Sicherungsmutter der Bridge und/oder des Saitenhalters locker sind, kann das zu Verzerrungen oder Resonanzen führen. Durch Höherstellen des Saitenhalters wird die Saitenspannung verringert, was für ein sanfteres Spielgefühl und leichteres Bending der Saiten sorgt.

Zur Einstellung der Intonation jedes Sattels drehen Sie mit einem Schlitzschraubendreher an der Intonations-Einstellschraube (-) (C).



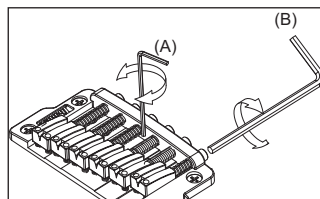
GIBRALTAR STANDARDSTEG (7-SAITIGE / 8-SAITIGE MODELLE)

Um eine neue Saite aufzuziehen, führen Sie diese von der Korpusrückenseite aus durch die Saitenhülsen.

Zum Einstellen der Saitenlage jeder Saite benutzen Sie einen 1,5-mm- Innensechskantschlüssel zum Drehen und Einstellen der Höhe jedes Sattels (A).

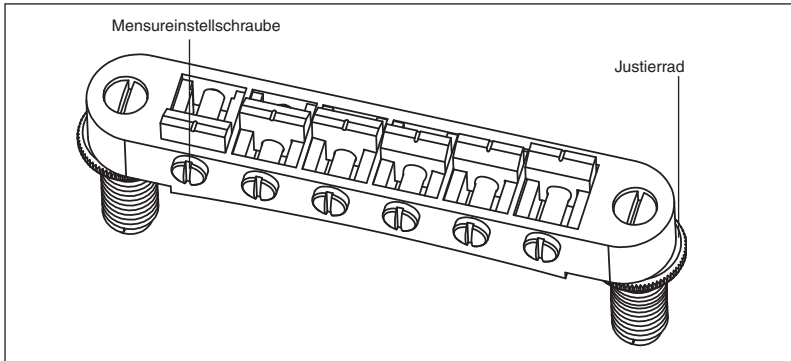
Zum Einstellen der Intonation jeder Saite benutzen Sie einen 2,5-mm- Innensechskantschlüssel zum Drehen der Einstellschraube jedes Sattels hinten an der Bridge (B).

※ Die Einstellmethode ist für 7-saitige und 8-saitige Modelle die gleiche.



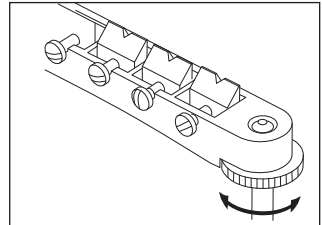


Full-Tune-II-Steg



Einstellen der Saitenlage

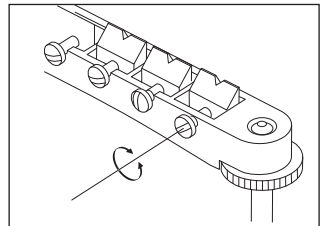
Zum Einstellen der Höhe des gesamten Stegs stellen Sie die Rändelschrauben links und rechts des Stegs von Hand ein. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten zu verstellen.)



Einstellen der Intonation

Zum Einstellen der Sattelposition verwenden Sie einen Schlitzschraubendreher, um die Intonationseinstellschraube zu drehen.

※ Stimmen Sie die Gitarre genau, bevor Sie die Intonation prüfen.

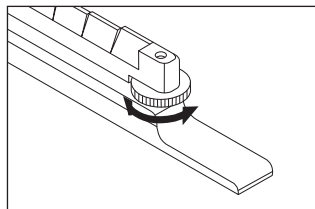




Steg für vollakustische Gitarre

Einstellen der Saitenlage

Zum Einstellen der Höhe des gesamten Stegs stellen Sie die Rändelschrauben links und rechts des Stegs von Hand ein. (Es ist nicht möglich, die Höhe einzelner Saiten zu verstellen.)



Einstellen der Intonation

Zum Einstellen der Sattelposition lösen Sie die Saiten und verstellen Sie den gesamten Steg.

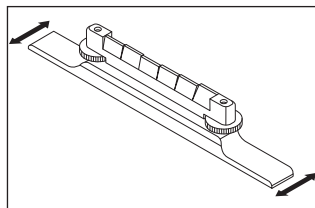
※ Stimmen Sie die Gitarre genau, bevor Sie die Intonation prüfen.



Hinweis

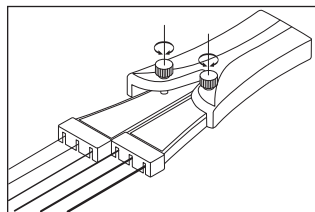
Achten Sie beim Lösen der Saiten darauf, dass der Steg nicht herunterfällt.

Beim Wechseln der Saiten empfehlen wir, die Saiten einzeln nacheinander zu wechseln, da sich die Stegposition verschiebt, wenn Sie alle Saiten zugleich entfernen.



Saitenhalter für vollakustische Gitarre (GB10)

Der an der GB10 installierte Saitenhalter für vollakustische Gitarren ermöglicht eine unabhängige Einstellung der Höhe der Saiten 1–3 und der Höhe der Saiten 4–6. Durch Eindrehen des Einstellreglers verringert sich die Höhe des Saitenhalters.



Gurtnopf für vollakustische Gitarre

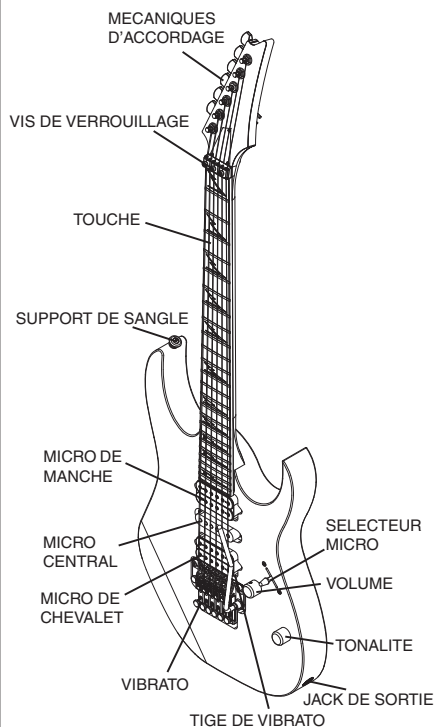
Vollakustische Gitarren besitzen keinen Gurtnopf an der Halsseite des Instruments.

Wenn Sie einen Gurtnopf an Ihrer Gitarre montieren lassen möchten, wenden Sie sich an Ihren Händler oder an die Firma Ibanez.

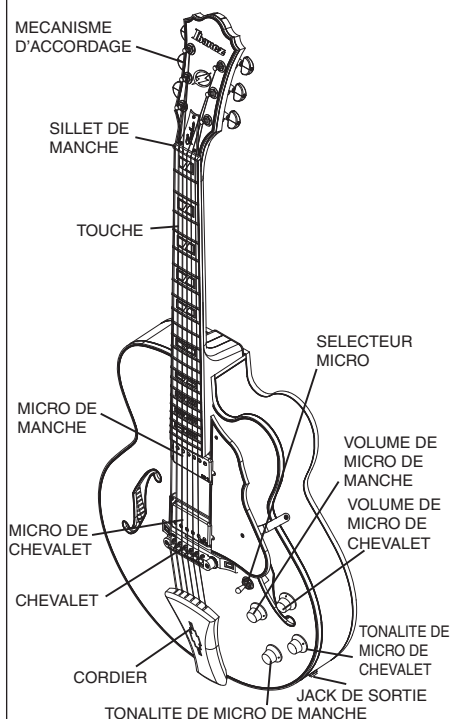


IDENTIFICATION DES ÉLÉMENTS DE LA GUITARE

Guitare électrique



Guitare acoustique ou semi-acoustique



※ Ces illustrations représentent des modèles Ibanez courants. La guitare que vous avez achetée peut ne pas correspondre à ces illustrations.

※ Les réglages de chevalet/vibrato diffèrent selon le type de chevalet/vibrato installé.

Pour plus d'informations, reportez-vous à la section chevalet/vibrato correspondante.

※ Pour plus d'informations sur les commandes de chaque modèle, reportez-vous à la section « CONTROLS (Commandes) » (p. 206).



FIXATIONS

	Multi-outils	Tige de vibrato	Clé Allen					Clé à douille 8 mm
			1,5 mm	2 mm	2,5 mm	3 mm	4 mm	
Chevalet vibrato Edge	○	○					○	
Chevalet vibrato Edge-Pro	○	○					○	
Chevalet vibrato Edge-Zero	○	○						
Chevalet vibrato Lo-Pro Edge	○	○					○	
Chevalet FX Edge III-8	○							
Chevalet vibrato SynchroniZR	○	○						
Chevalet Gibraltar standard 6/7/8	○							
CHEVALET GIBRALTAR 08 / CORDIER QUICK CHANGE 08	○							○
CHEVALET TIGHT-TUNE	○							
Chevalet Tight-End / Chevalet Tight-End R	○							
Chevalet vibrato ZR-2	○	○						
Guitares semi-acoustiques			○				○	○
Guitares acoustiques								○

※ Les modèles équipés de micros DiMarzio sont livrés avec une clé Allen permettant de régler la hauteur des pièces polaires.

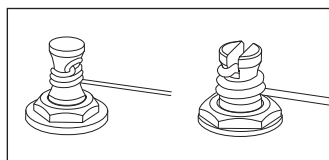
※ Des ressorts de renfort sont fournis avec les modèles équipés d'un chevalet de vibrato Edge-Zero 7 cordes.



REEMPLACEMENT DES CORDES

Au fur et à mesure de leur utilisation, les cordes se détériorent, provoquant ainsi des bourdonnements et des distorsions du son. Remplacez les cordes dès qu'elles commencent à rouiller ou à se décolorer. Nous vous conseillons de remplacer simultanément l'ensemble des cordes. Toute corde endommagée, entortillée ou tordue risque de ne pas produire la qualité sonore appropriée et ne doit par conséquent pas être utilisée.

Enroulez la corde autour de la mécanique d'accordage, effectuez 2 ou 3 tours en partant du haut à l'aide d'environ 5 à 7 cm de corde et en évitant les croisements. Il est préférable de remplacer les cordes une par une, plutôt que de les enlever toutes en une fois afin d'éviter d'exercer une tension trop forte au niveau du manche et d'affecter l'équilibre du vibrato.



※ En cas d'utilisation d'un modèle doté de mécaniques AUTO-TRIM, les cordes doivent être enroulées différemment. Pour plus d'informations, reportez-vous à la section « Mécanique AUTO-TRIM » (p. 98).

※ La méthode à appliquer pour enlever et mettre en place des cordes fixées à un chevalet/vibrato diffère selon le type de chevalet/vibrato. Pour plus d'informations, reportez-vous à la section relative au chevalet/vibrato installé sur votre guitare.



ACCORDAGE

À la sortie d'usine, les guitares Ibanez sont accordées de la façon suivante :

	1ère	2e	3e	4e	5e	6e	7e	8e
6 cordes	E4	B3	G3	D3	A2	E2	-	-
7 cordes	E4	B3	G3	D3	A2	E2	B1	-
8 cordes	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

Notez que les modèles suivants sont accordés différemment.

RGD, APEX

	1ère	2e	3e	4e	5e	6e	7e
6 cordes	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
7 cordes	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

1ère	2e	3e	4e	5e	6e	7e	8e
E	B	G	D	A	E	B	E

Utilisez un accordeur ou un diapason pour accorder chaque corde ouverte aux fréquences susmentionnées. Si le son produit est plus haut que la fréquence ci-dessus, détendez la corde pour en réduire la hauteur, et enroulez la corde par petits incréments pour l'accorder. Cette méthode simple permet de stabiliser votre accordage. Vous risquez de devoir régler le manche ou l'intonation si vous accordez votre guitare d'une manière différente de celle indiquée dans ces tableaux, ou si vous utilisez des cordes différentes du calibre standard.

Pour plus d'informations sur le réglage du manche ou de l'intonation, reportez-vous aux sections « RÉGLAGE DU MANCHE » (p. 96) ou « INTONATION » (p. 96).



Mémo

- Notez qu'un accordage extrême ou l'utilisation de cordes non conçues pour les guitares électriques peut casser des éléments ou vous blesser.



HAUTEUR DES CORDES

La hauteur correspond à la distance séparant les frettes et la corde.

Pour mesurer la hauteur, accordez la guitare correctement ; placez ensuite une règle au niveau de la 14^e frette et mesurez la distance entre le haut de la frette et le bas de la corde.

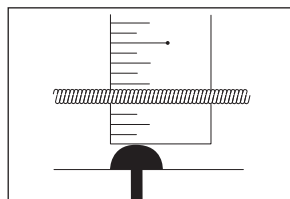
En général, cette distance doit être comprise entre 1,5 et 1,7 mm pour la première corde et entre 2 et 2,2 mm pour la sixième.

Sur une guitare à sept cordes, la septième corde doit se situer entre 2,2 et 2,4 mm. Sur une guitare à huit cordes, la huitième corde doit se situer entre 2,4 et 2,6 mm.

Pour des cordes autres que celles susmentionnées, réglez la hauteur de manière à ce que la distance augmente progressivement à partir de la première corde. Si la hauteur est trop importante, il sera difficile de jouer de l'instrument. Si elle est trop faible, les cordes risquent de produire un bourdonnement, des notes muettes ou une tenue de note limitée. Si un bourdonnement ou des notes muettes sont produites même si la hauteur est réglée correctement, vous devez ajuster l'incurvation du manche.

Pour plus d'informations, reportez-vous à la section « RÉGLAGE DU MANCHE » (p. 96).

※ La méthode de réglage de la hauteur dépend du type de chevalet/vibrato installé sur votre guitare. Pour plus d'informations, reportez-vous à la section relative au chevalet/vibrato approprié.



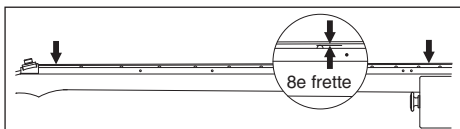


RÉGLAGE DU MANCHE

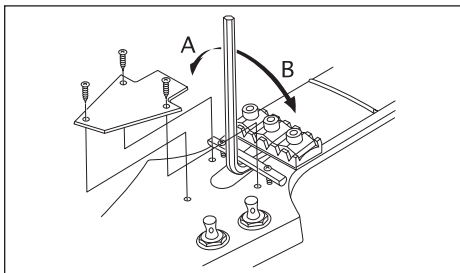
Le manche supporte constamment la tension des cordes. Sa courbe est sensible non seulement à l'accordage et au calibre des cordes, mais aussi aux variations de température et d'humidité. Si des problèmes tels que des bourdonnements et des notes muettes surviennent même après avoir réglé la hauteur et l'accordage de la guitare, vérifiez et ajustez la courbe du manche.

1. Vérifiez la courbe du manche.

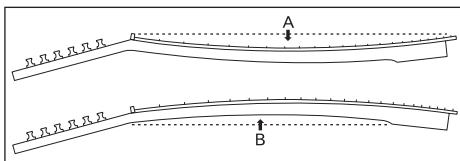
Une fois votre guitare correctement accordée, maintenez-la en position de jeu. Appuyez ensuite sur la première corde au niveau de la première frette et à l'endroit où le manche rejoint la caisse. Mesurez l'écart qui sépare la corde et la huitième frette. De la même manière, mesurez cet écart pour la corde la plus basse, et effectuez les réglages de manière à ce que les écarts se situent entre 0,3 et 0,5 mm.



2. Si l'écart est inférieur à 0,3 mm, utilisez la clé Allen ou la clé à douille fournie avec la guitare pour faire tourner l'écrou de la tige de réglage situé au bout du manche dans la direction « A » afin de rendre la courbe du manche plus convexe.



3. Si l'écart est supérieur à 0,5 mm, tournez la clé Allen ou la clé à douille dans la direction « B » afin de rendre la courbe du manche plus concave.



※ Réglez l'écrou de la tige de réglage par petits incréments d'un quart de tour, tout en vérifiant l'accordage.



Mémo

- Il convient d'être vigilant lors du réglage du manche.
Les réglages forcés peuvent endommager votre guitare. Si vous ne parvenez pas à régler le manche correctement, contactez votre revendeur ou Ibanez Corporation.

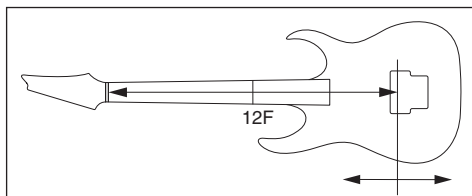


INTONATION

Si vous avez modifié le calibre des cordes ou si votre guitare est accordée de manière personnalisée, vous devez régler la longueur des cordes (intonation) pour assurer la justesse des notes à chaque frette.

Une fois votre guitare correctement accordée, maintenez-la en position de jeu et comparez la hauteur du son de la corde appuyée au niveau de la 12e frette avec l'harmonique jouée à la 12e frette.

Si la hauteur de la note jouée à la 12e frette est inférieure à l'harmonique de cette frette, déplacez le silet du chevalet/vibrato vers l'avant pour raccourcir la corde. Inversement, si la hauteur de la note jouée est supérieure à celle de l'harmonique, déplacez le silet vers l'arrière pour allonger la corde.



※ Utilisez un accordeur pour garantir un réglage correct de l'intonation.

※ La méthode de réglage de la position du silet diffère selon le modèle de chevalet/vibrato installé. Pour plus d'informations, reportez-vous à la section relative au chevalet/vibrato installé sur votre guitare.





NETTOYAGE

Après avoir joué, essuyez toute trace de transpiration ou de graisse des parties métalliques telles que le dessous des cordes, les frettes, les sillets de chevalet et les écrous. Vous préviendrez ainsi la formation de rouille. La poussière ou la rouille s'accumulant sur les parties métalliques risque de nuire au fonctionnement de l'instrument.

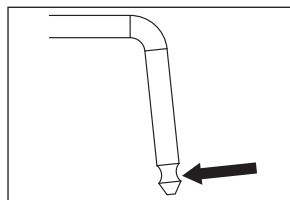
Nettoyez les traces tenaces à l'aide d'un chiffon doux imbibé d'un peu d'huile.

Pour nettoyer la surface vernie, n'utilisez pas de produits abrasifs ou volatils mais essuyez plutôt délicatement l'instrument à l'aide d'un chiffon doux et d'un produit spécialement conçu pour les instruments de musique.

Pour nettoyer la poussière collée sur une caisse ou un manche dont la finition est huilée, utilisez un pinceau gomme, du papier de verre # 1000 ou plus fin ou de la laine d'acier # 0000. Afin de prévenir le dessèchement, lustrez-les une ou deux fois par an à l'aide d'huile d'arme ou de cire d'ameublement incolore appliquée avec un chiffon doux ou de la laine d'acier # 0000.

Les touches sans produit de finition doivent être essuyées délicatement à l'aide d'un chiffon imbibé d'une petite quantité d'huile spéciale pour touche ou d'huile essentielle de citron de haute qualité, en veillant tout particulièrement au bord des frettes.

Si la tige de vibrato grince lorsque vous la tournez, graissez le cran situé sur le côté le plus court de la tige.



PILE

Si votre guitare dispose d'un préamplificateur ou d'un égaliseur intégré, ces éléments sont alimentés par une pile. Remplacez la pile dès que vous remarquez une baisse du volume ou une déformation du son.

Certains modèles utilisent une pile 006P (9 V), d'autres deux piles AA (1,5 V).

Vérifiez le type de piles utilisées dans votre guitare et remplacez-les par des piles du même type.

Les piles se trouvent dans un logement situé à l'arrière de la caisse.

Sur les modèles équipés d'une pile, le jack de sortie fait également office d'interrupteur d'alimentation ; l'instrument se trouve sous tension dès que vous insérez une fiche dans le jack.



Mémo

- Pour éviter que la pile ne s'use, retirez la fiche du jack de sortie si vous n'utilisez pas votre instrument pendant une période prolongée.



Mécanique AUTO-TRIM

REEMPLACEMENT DES CORDES

■ Retrait d'une corde

Détendez la corde et tournez le bouton de verrouillage situé en dessous de la mécanique pour libérer la corde.



Mémo

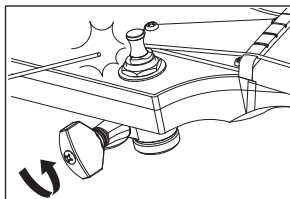
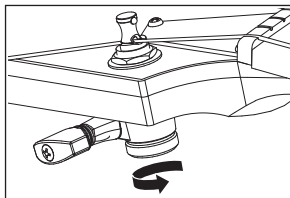
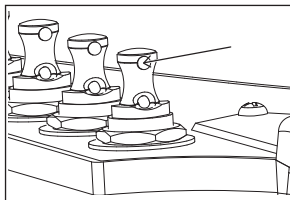
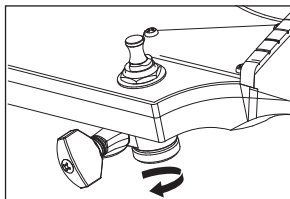
- Soyez vigilant car la corde peut s'éjecter violemment dès que vous déverrouillez le mécanisme.

■ Mise en place d'une corde

1. Tournez la cheville de manière à ce que la boule en argent située en haut soit orientée vers le chevalet, puis faites passer la corde dans la cheville.

2. Tout en tirant la corde, tournez le bouton de verrouillage afin de la bloquer fermement.

3. Lorsque vous tournez le bouton, la corde qui dépasse est coupée. Poursuivez l'accordage.

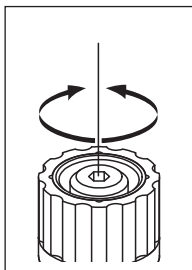
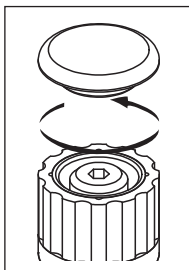


BOUTON DE POTENTIOMETRE

Démontage du bouton

1. Faites pivoter le cache au-dessus du bouton de potentiomètre et enlevez-le.

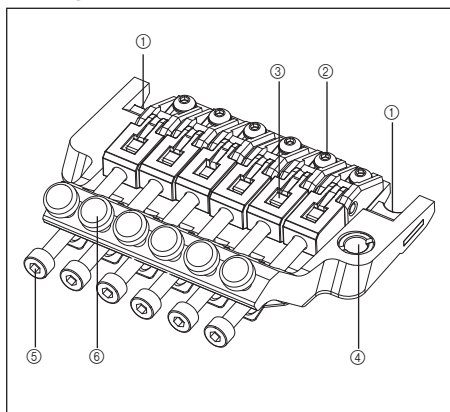
2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez le mandrin et enlevez le bouton.



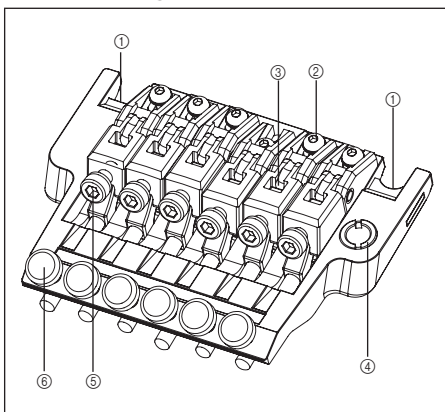


Chevalet vibrato Edge/Lo-Pro Edge

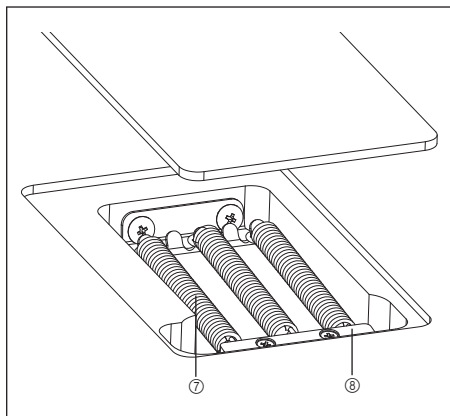
Edge



Lo-Pro Edge



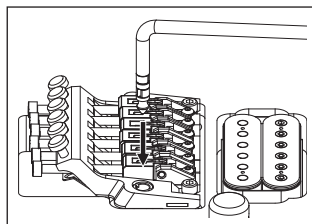
Arrière



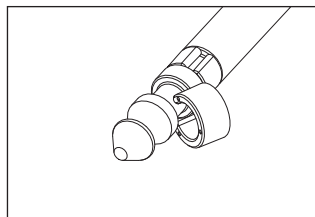
- ① Pontet edge
- ② Vis de blocage du sillet
- ③ Bloc support corde
- ④ Support de tige vibrato
- ⑤ Vis de blocage de corde
- ⑥ Vis de réglage fin
- ⑦ Ressort de vibrato
- ⑧ Blocage du ressort

Fixation de la tige de vibrato

- 1.** La tige de vibrato à clip permet d'être facilement installée/désinstallée. Maintenez l'angle formé par la tige de vibrato et insérez la tige fermement dans la douille du support principal.



- 2.** Le serrage de la fixation de la tige de vibrato peut être réglé en ajoutant ou en enlevant des rondelles de Teflon. Utiliser un plus grand nombre de rondelles resserre la fixation ; enlever toutes les rondelles libère la tige. Les rondelles de Teflon peuvent être ajoutées ou enlevées en diagonale via la fente.



⚠ Mémo

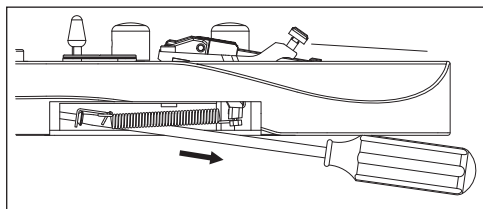
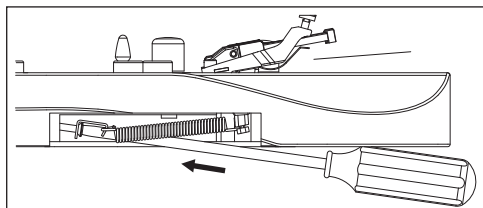
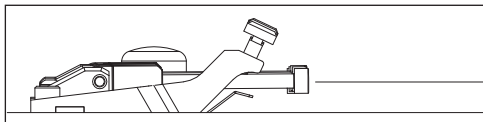
- Si vous sentez que la tige n'est plus fixée aussi solidement même après l'ajout de rondelles de Teflon, remplacez les rondelles de Teflon usagées par de nouvelles.

Réglage de l'angle d'attaque du vibrato

L'angle d'attaque du vibrato est réglé en équilibrant la tension des cordes et celle des ressorts de vibrato se trouvant à l'arrière de la caisse de la guitare. Pour des performances optimales, réglez le vibrato de manière à ce qu'il soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.

- 1.** Une fois la guitare accordée, vérifiez l'angle du vibrato.
- 2.** Si le vibrato est incliné vers l'avant, insérez un tournevis cruciforme dans la fente de la plaque de protection des ressorts de vibrato fixée à l'arrière de la guitare, puis tournez la vis pour augmenter la tension des ressorts de vibrato.
- 3.** S'il est incliné vers l'arrière, desserrez la vis pour réduire la tension des ressorts de vibrato.

※ Le réglage de l'angle de vibrato a une influence sur l'accordage, étant donné que l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts est modifié à chaque fois que vous réglez la tension des ressorts de vibrato. Vous devez à chaque fois accorder l'instrument lorsque vous procédez à ce réglage.

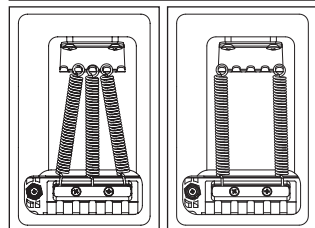
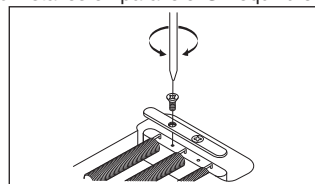


Ressorts de vibrato

À la sortie d'usine, la guitare est réglée avec trois ressorts de vibrato installés en parallèle. Si l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts de vibrato a changé de manière significative, comme lorsque vous changez de calibre de cordes ou utilisez un accordage diminué, vous devrez peut-être changer le nombre de ressorts de vibrato ou modifier leur installation.

- 1.** Utilisez un tournevis cruciforme pour retirer le mécanisme de verrouillage du ressort.
- 2.** Pour augmenter la tension, installez les deux ressorts de vibrato extérieurs en diagonale.
- 3.** Pour la diminuer, retirez le ressort de vibrato central.

Si vous souhaitez installer quatre ressorts de vibrato ou plus, fixez-les à l'aide des trous de vis utilisés pour fixer le mécanisme de verrouillage du ressort. (Il ne sera plus possible de fixer le mécanisme de verrouillage du ressort.)





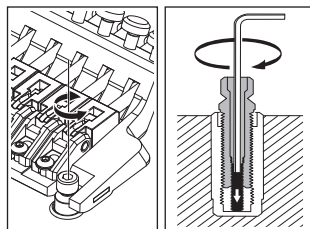
Mémo

- Desserrez suffisamment les cordes avant d'installer ou de retirer les ressorts de vibrato. N'oubliez pas que si vous retirez tous les ressorts, l'unité de vibrato se détachera de la guitare.
- Pour remettre le vibrato en place, insérez le couteau du vibrato dans la rainure des vis de réglage, puis installez les ressorts de vibrato.

Verrouillage de la tige

Le chevalet vibrato Edge/Lo-Pro Edge utilise un mécanisme de verrouillage de la tige.

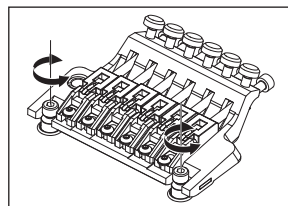
- 1. Insérez une clé Allen (1,5 mm) dans le trou supérieur de la vis de réglage.**
- 2. Tournez la vis de réglage dans le sens des aiguilles d'une montre, en la serrant jusqu'à ce qu'elle entre en contact avec l'écrou d'ancrage et qu'elle se bloque.**



※ Le mécanisme de verrouillage de la tige est libéré lorsque vous desserrez la vis de réglage.

Réglage de la hauteur

Pour régler la hauteur de toute l'unité de vibrato, dévissez les vis situées de part et d'autre de l'unité de vibrato à l'aide d'une clé Allen (4 mm). (Ce réglage ne peut pas être effectué individuellement pour chaque corde.)

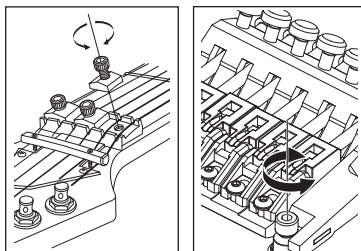


Mémo

- Veillez à libérer le mécanisme de verrouillage avant de régler la hauteur.

Réglage de l'intonation

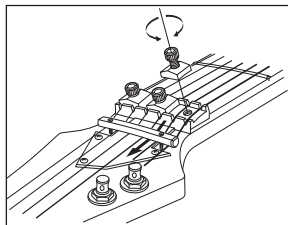
- 1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis détendez suffisamment les cordes.**
- 2. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du sillet et réglez la position de ce dernier.**



※ Avant de vérifier l'intonation, serrez fermement les vis de blocage du sillet et accordez la guitare. Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du sillet ainsi que les vis de protection de l'écrou de blocage.

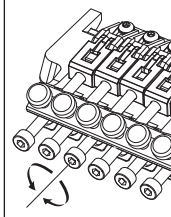
Remplacement des cordes

1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis retirez la corde de la mécanique d'accordage.

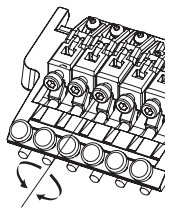


2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez l'écrou de blocage de la corde de l'unité de vibrato, puis retirez la corde du sillet en tirant dessus.

EDGE



Lo-Pro EDGE

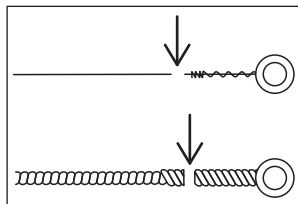


3. Sectionnez la nouvelle corde au niveau de la boule.

4. Insérez l'extrémité coupée de la corde entre le sillet et le bloque-cordes, puis serrez l'écrou de blocage de la corde pour tendre celle-ci.

5. Enroulez la corde autour de la mécanique d'accordage et accordez l'instrument.

6. Une fois l'accordage effectué, serrez les vis de protection de l'écrou de blocage.



※ Si vous retirez simultanément l'ensemble des cordes, l'angle d'attaque du vibrato s'en trouvera considérablement modifié ; nous vous conseillons par conséquent de remplacer les cordes une par une. Si vous les retirez toutes en même temps, l'accordage sera plus facile si vous placez un morceau de tissu sous le vibrato afin qu'il reste en place et que l'angle d'attache du vibrato ne soit pas trop modifié.



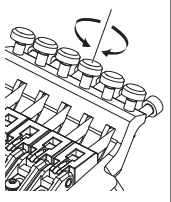
Mémo

- Avant l'accordage, assurez-vous que les écrous de blocage de la corde sont bien serrés.

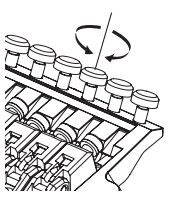
Accordage de précision

Même après avoir serré les vis de blocage des cordes, vous pouvez utiliser les vis d'accordage de précision pour un réglage plus fin de chaque corde. Notez que la plage d'ajustement, une fois les cordes bloquées, sera plus importante si vous laissez toutes les vis d'accordage fin au centre de leur plage de réglage avant l'accordage.

EDGE



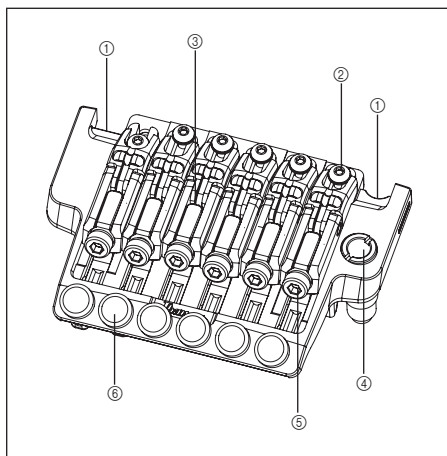
Lo-Pro EDGE





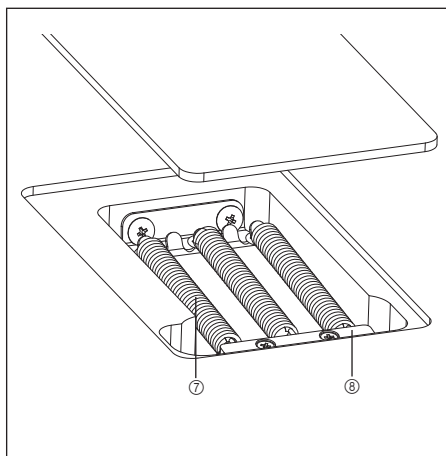
Chevalet vibrato Edge-Pro

■ Vue d'ensemble



- ① Pontet edge
- ② Vis de blocage du sillet
- ③ Bloc support corde
- ④ Support de tige vibrato
- ⑤ Vis de blocage de corde
- ⑥ Vis de réglage fin

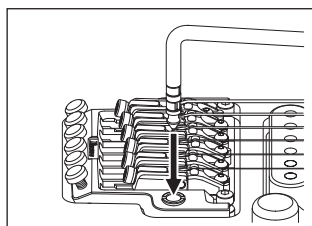
■ Arrière



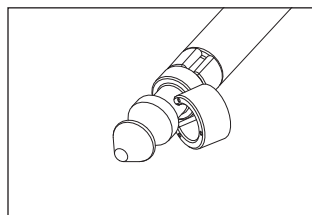
- ⑦ Ressort de vibrato
- ⑧ Blocage du ressort

Fixation de la tige de vibrato

1. La tige de vibrato à clip permet d'être facilement installée/désinstallée. Tout en maintenant l'angle formé par la tige de vibrato, insérez la tige fermement dans la douille du support principal jusqu'à ce que les rondelles de Teflon soient complètement masquées.



2. Le serrage de la tige de vibrato peut être réglé en ajoutant ou en enlevant des rondelles de Teflon. Ajouter des rondelles resserre la tige ; enlever toutes les rondelles la libère. Insérez ou enlevez les rondelles en diagonale via la fente.



Mémo

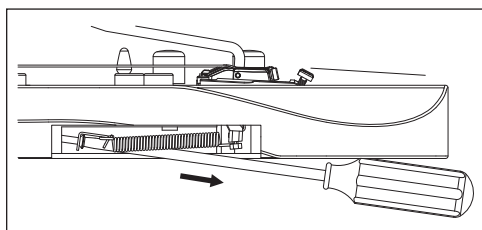
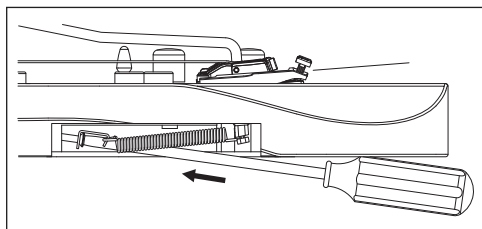
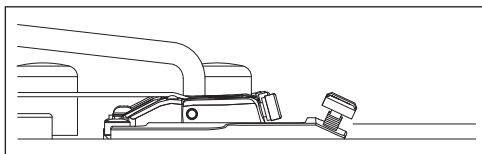
- Si vous sentez que la tige n'est plus fixée aussi solidement même après l'ajout de rondelles de Teflon, remplacez les rondelles de Teflon usagées par de nouvelles.

Réglage de l'angle d'attaque du vibrato

L'angle d'attaque du vibrato est réglé en équilibrant la tension des cordes et celle des ressorts de vibrato se trouvant à l'arrière de la caisse de la guitare. Pour des performances optimales, réglez le vibrato de manière à ce qu'il soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.

1. Une fois la guitare accordée, vérifiez l'angle du vibrato.
2. Si le vibrato est incliné vers l'avant, insérez un tournevis cruciforme dans la fente de la plaque de protection des ressorts de vibrato fixée à l'arrière de la guitare, puis tournez la vis pour augmenter la tension des ressorts de vibrato.
3. S'il est incliné vers l'arrière, desserrez la vis pour réduire la tension des ressorts de vibrato.

※ Le réglage de l'angle de vibrato a une influence sur l'accordage, étant donné que l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts est modifié à chaque fois que vous réglez la tension des ressorts de vibrato. Vous devez à chaque fois accorder l'instrument lorsque vous procédez à ce réglage.

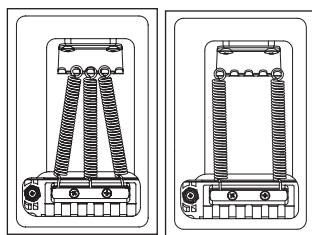
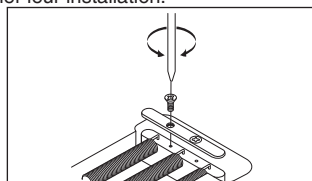


Ressorts de vibrato

À la sortie d'usine, la guitare est réglée avec trois ressorts de vibrato installés en parallèle. Si l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts de vibrato a changé de manière significative, comme lorsque vous changez de calibre de cordes ou utilisez un accordage diminué, vous devrez peut-être changer le nombre de ressorts de vibrato ou modifier leur installation.

1. Utilisez un tournevis cruciforme pour retirer le mécanisme de verrouillage du ressort.
2. Pour augmenter la tension, installez les deux ressorts de vibrato extérieurs en diagonale.
3. Pour la diminuer, retirez le ressort de vibrato central.

Si vous souhaitez installer quatre ressorts de vibrato ou plus, fixez-les à l'aide des trous de vis utilisés pour fixer le mécanisme de verrouillage du ressort. (Il ne sera plus possible de fixer le mécanisme de verrouillage du ressort.)

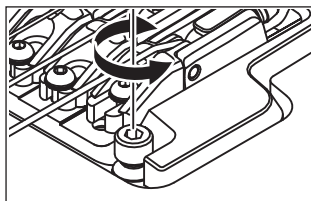


Mémo

- Desserrez suffisamment les cordes avant d'installer ou de retirer les ressorts de vibrato. N'oubliez pas que si vous retirez tous les ressorts, l'unité de vibrato se détachera de la guitare.
- Pour remettre le vibrato en place, insérez le couteau du vibrato dans la rainure des vis de réglage, puis installez les ressorts de vibrato.

Réglage de la hauteur

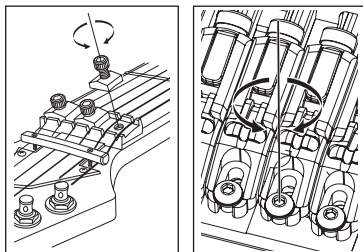
Pour régler la hauteur de toute l'unité de vibrato, dévissez les vis situées de part et d'autre de l'unité de vibrato à l'aide d'une clé Allen (4 mm). (Ce réglage ne peut pas être effectué individuellement pour chaque corde.)



Réglage de l'intonation

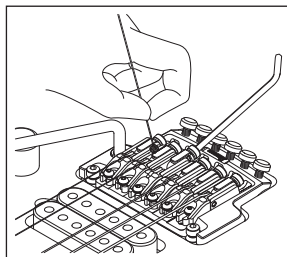
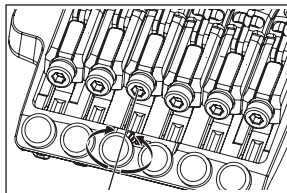
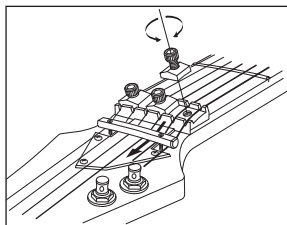
1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis détendez suffisamment les cordes.
2. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du sillet et réglez la position de ce dernier.

※ Avant de vérifier l'intonation, serrez fermement les vis de blocage du sillet et accordez la guitare. Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du sillet ainsi que les vis de protection de l'écrou de blocage.

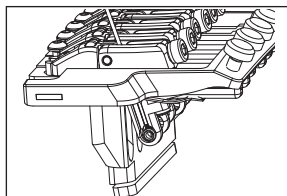


Remplacement des cordes

1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis retirez la corde de la mécanique d'accordage.
2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez l'écrou de blocage de la corde de l'unité de vibrato, puis retirez la corde du sillet en tirant dessus.
3. Sectionnez la nouvelle corde au niveau de la boule.
4. Insérez l'extrémité coupée de la corde entre le sillet et le bloque-cordes, puis serrez l'écrou de blocage de la corde pour tendre celle-ci.
5. Enroulez la corde autour de la mécanique d'accordage et accordez l'instrument.
6. Une fois l'accordage effectué, serrez les vis de protection de l'écrou de blocage.



- ※ Vous pouvez également insérer les cordes coupées au niveau de la boule, comme sur un vibrato à blocage traditionnel.
- ※ Si vous retirez simultanément l'ensemble des cordes, l'angle d'attache du vibrato s'en trouvera considérablement modifié ; nous vous conseillons par conséquent de remplacer les cordes une par une. Si vous les retirez toutes en même temps, l'accordage sera plus facile si vous placez un morceau de tissu sous le vibrato afin qu'il reste en place et que l'angle d'attache du vibrato ne soit pas trop modifié.



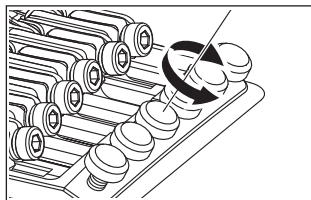
Mémo

- Avant l'accordage, assurez-vous que les écrous de blocage de la corde sont bien serrés.

Accordage de précision

Même après avoir utilisé les écrous de blocage pour bloquer les cordes, vous pouvez utiliser les vis d'accordage de précision pour accorder chaque corde avec précision.

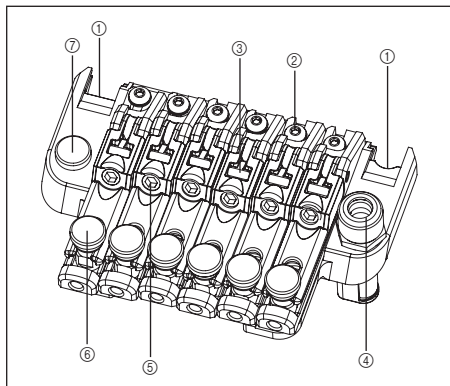
Le serrage, une fois les cordes bloquées, sera plus important si vous réglez grossièrement les accordeurs de précision avant l'accordage.



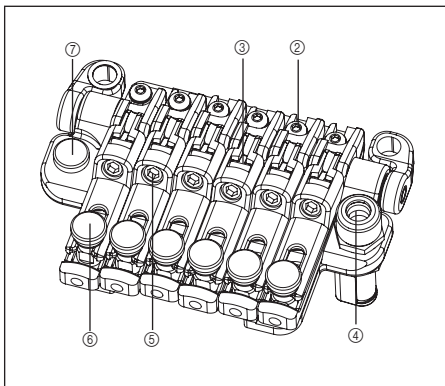


Chevalet vibrato Edge-Zero/ZR-2

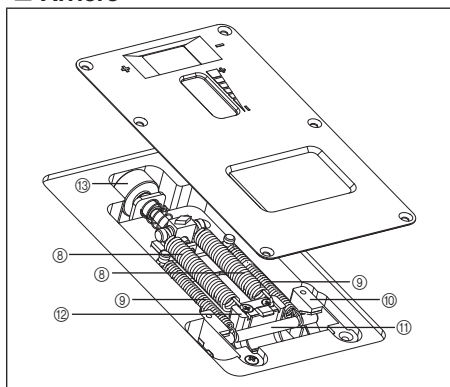
■ Edge-Zero



■ ZR2



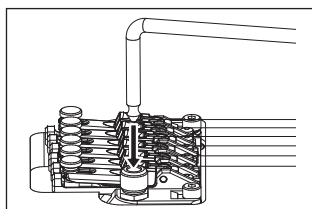
■ Arrière



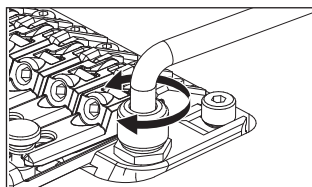
- ① Pontet edge
- ② Vis de blocage du sillet
- ③ Bloc support corde
- ④ Support de tige vibrato
- ⑤ Vis de blocage de corde
- ⑥ Vis de réglage fin
- ⑦ Vis de réglage d'accord
- ⑧ Ressort principal
- ⑨ Ressort additionnel
- ⑩ Butée
- ⑪ Tige d'arrêt
- ⑫ Bloc vibrato
- ⑬ Molette de réglage de tension du ressort

Fixation de la tige de vibrato

1. La tige de vibrato à clip permet d'être facilement installée/désinstallée. Maintenez l'angle formé par la tige de vibrato et insérez la tige fermement dans la douille du support principal.



2. À l'aide de la molette de réglage de tension, réglez la tension de la tige de vibrato. Si vous serrez la molette dans le sens des aiguilles d'une montre, vous augmentez la tension de la tige ; si vous la serrez dans le sens inverse, vous diminuez sa tension.



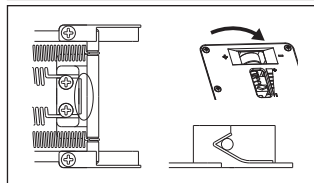
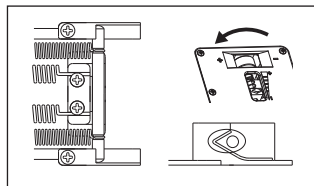
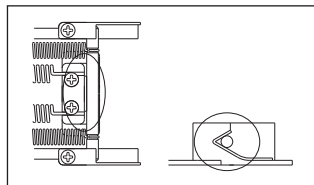
FR

Réglage de l'angle du vibrato/Réglage du système Zero Point

L'angle d'attaque du vibrato est réglé en équilibrant la tension des cordes et celle du système Zero Point se trouvant au dos de la caisse de la guitare.

Le chevalet de vibrato Edge-Zero/ZR2 est conçu pour que le vibrato soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare lorsque le système Zero Point est réglé correctement ; les performances sont ainsi optimales.

Lorsque le système Zero Point est correctement réglé, la tige d'arrêt entre en contact étroit avec le bloc vibrato et touche le stopper.



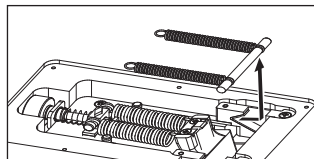
1. Une fois la guitare accordée, vérifiez le système Zero Point.

2. Si la tige d'arrêt n'est pas en contact avec le stopper (c'est-à-dire, si le bloc vibrato est relevé vers la tige d'arrêt), tournez la vis de réglage du ressort située au dos de la guitare dans le sens « plus » pour serrer le ressort principal.

3. Si le bloc vibrato n'entre pas en contact étroit avec la tige d'arrêt (c'est-à-dire, si le vibrato est incliné vers l'arrière), tournez cette même vis dans le sens « moins » pour desserrer le ressort principal.

Désactivation du système Zero Point (utilisation de l'unité comme un vibrato flottant traditionnel)

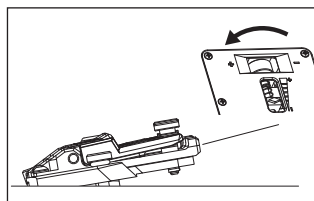
Si vous désactivez le système Zero Point, vous pouvez également utiliser l'unité comme un chevalet flottant traditionnel. Le système Zero Point étant désactivé, l'angle selon lequel le vibrato est fixé sera réglé en fonction de l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts principaux fixés au bloc vibrato. Pour des performances optimales, réglez le vibrato de manière à ce qu'il soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.



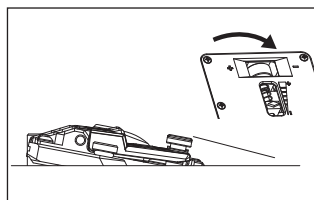
1. Tout en relevant la tige (c.-à-d., le bloc vibrato orienté de l'autre côté de la tige d'arrêt), retirez la tige d'arrêt ainsi que le ressort inférieur.

2. Une fois la guitare accordée, vérifiez l'angle du vibrato.

3. Si le vibrato est incliné vers l'avant, tournez la vis de réglage du ressort dans le sens « plus » pour serrer le ressort principal.



4. Si le vibrato est incliné vers l'arrière, tournez la vis de réglage du ressort dans le sens « moins » pour desserrer le ressort principal.



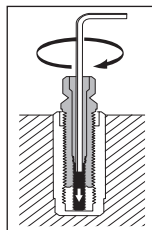
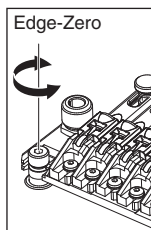
※ L'accordage est modifié lorsque vous réglez l'angle de vibrato et que le système Zero Point est désactivé. En effet, l'équilibre entre la tension des cordes et des ressorts change à chaque fois que vous réglez la tension des ressorts de vibrato. Vous devez à chaque fois accorder l'instrument lorsque vous procédez à ce réglage.

Mécanisme de verrouillage de la tige (chevalet de vibrato Edge-Zero)

Le chevalet vibrato Edge-Zero est équipé d'une fonction de verrouillage de la tige.

1. Insérez une clé Allen (2 mm) dans le trou supérieur de la vis de réglage.
2. Tournez la vis de réglage dans le sens des aiguilles d'une montre, serrez jusqu'à ce qu'elle entre en contact avec l'écrou d'ancrage et qu'elle se bloque.

※ Pour libérer le mécanisme de verrouillage de la tige, desserrez la vis de réglage.



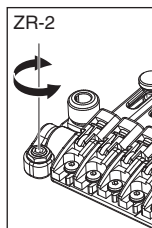
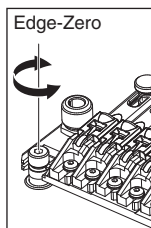
Réglage manuel

Réglage de la hauteur

Pour régler la hauteur de toute l'unité de vibrato, dévissez les vis situées de part et d'autre de l'unité de vibrato à l'aide d'une clé Allen (3 mm). (Ce réglage ne peut pas être effectué individuellement pour chaque corde.)

! Mémo

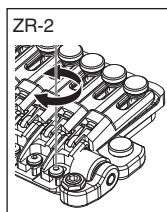
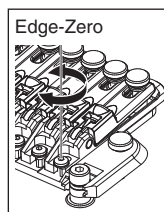
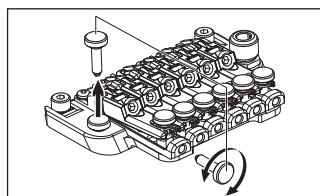
- Veillez à libérer le mécanisme de verrouillage avant de régler la hauteur.



Réglage de l'intonation

1. Otez les vis de réglage d'intonation se trouvant dans l'unité de vibrato et vissez-les dans les trous d'ajustement à l'arrière du sillet de sorte que l'extrémité de chaque vis soit en contact avec la paroi de l'unité de vibrato.
2. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du sillet et tournez la vis de réglage d'intonation pour régler la position de ce dernier.

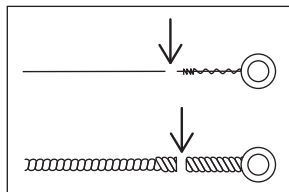
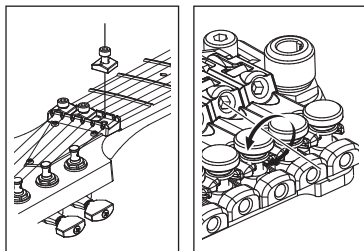
※ Avant de vérifier l'intonation, serrez fermement les vis de blocage du sillet et accordez la guitare. Avant de procéder à l'accordage, desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage à l'aide d'une clé Allen (3 mm). Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du sillet ainsi que les vis de protection de l'écrou de blocage et rangez les vis de réglage d'intonation dans l'unité de vibrato.



FR

Remplacement des cordes

1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis retirez la corde de la mécanique d'accordage.
2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez l'écrou de blocage de la corde de l'unité de vibrato, puis retirez la corde du sillet en tirant dessus.
3. Sectionnez la nouvelle corde au niveau de la boule.
4. Insérez l'extrémité coupée de la corde entre le sillet et le bloque-cordes, puis serrez l'écrou de blocage de la corde pour tendre celle-ci.
5. Enroulez la corde autour de la mécanique d'accordage et accordez l'instrument.
6. Une fois l'accordage effectué, serrez les vis de protection de l'écrou de blocage.



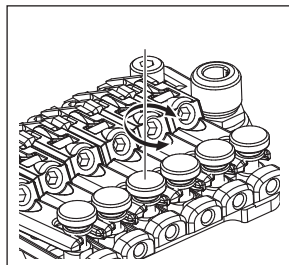
Mémo

- Avant l'accordage, assurez-vous que les écrous de blocage de la corde sont bien serrés.

Accordage de précision

Même après avoir serré les vis de blocage des cordes, vous pouvez utiliser les vis d'accordage de précision pour un réglage plus fin de chaque corde.

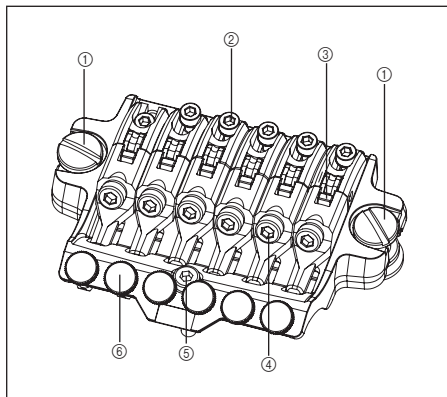
Notez que la plage d'ajustement, une fois les cordes bloquées, sera plus importante si vous laissez toutes les vis d'accordage fin au centre de leur plage de réglage avant l'accordage.





Chevalet FX Edge III/FX Edge III-8

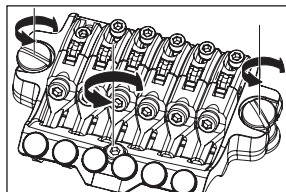
■ FX Edge III



- ① Vis principale
- ② Vis de blocage du sillet
- ③ Bloc support corde
- ④ Vis de blocage de corde
- ⑤ Vis arrière
- ⑥ Vis de réglage fin

Réglage de la hauteur

1. Pour régler la hauteur de la corde, utilisez un tournevis pour écrous à fente afin de tourner les vis principales de part et d'autre du chevalet et ainsi régler la hauteur de toute l'unité de vibrato. (Il n'est pas possible de régler la hauteur de chaque corde.)
2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), tournez les vis arrière, en les réglant de sorte que le chevalet soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.

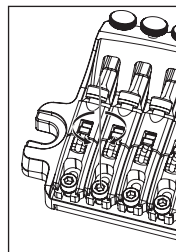
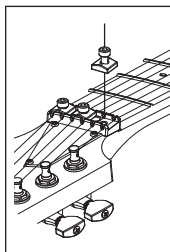


※ La hauteur étant modifiée au moment du réglage des vis arrières, nous vous conseillons de vérifier la hauteur finale une fois les vis arrières réglées. Pour éviter d'endommager les trous de vis, desserrez suffisamment les cordes avant de régler les vis principales de façon à ne pas forcer de manière excessive lorsque vous tournez les vis.

Réglage de l'intonation

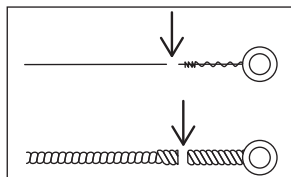
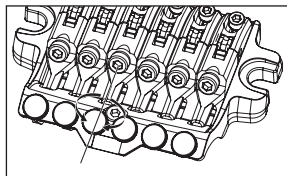
1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis détendez mécaniquement d'accordage.
2. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez la vis de blocage du sillet et réglez la position de ce dernier.

※ Avant de vérifier l'intonation, serrez fermement les vis de blocage du sillet et accordez la guitare. Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du sillet ainsi que les vis de protection de l'écrou de blocage.



Remplacement des cordes

1. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez les vis de protection de l'écrou de blocage, puis retirez la corde de la mécanique d'accordage.
2. À l'aide d'une clé Allen (3 mm), desserrez l'écrou de blocage de la corde du chevalet, puis retirez la corde du sillet en tirant dessus.
3. Sectionnez la nouvelle corde au niveau de la boule.
4. Insérez l'extrémité coupée de la corde entre le sillet et le bloque-cordes, puis serrez l'écrou de blocage de la corde pour tendre celle-ci.
5. Enroulez la corde autour de la mécanique d'accordage et accordez l'instrument.
6. Une fois l'accordage effectué, serrez les vis de protection de l'écrou de blocage.



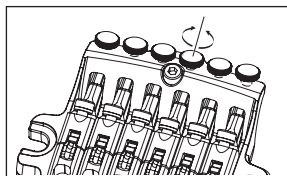
Mémo

- Avant l'accordage, assurez-vous que les écrous de blocage de la corde sont bien serrés.

Accordage de précision

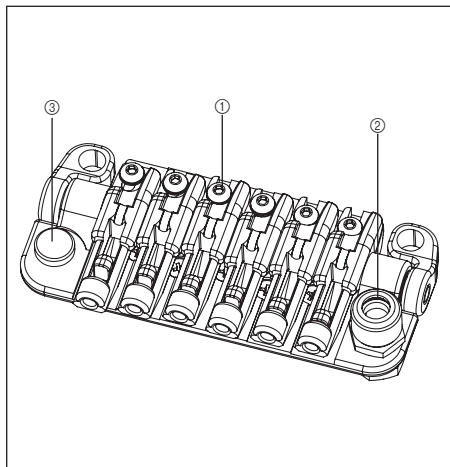
Même après avoir serré les vis de blocage des cordes, vous pouvez utiliser les vis d'accordage de précision pour un réglage plus fin de chaque corde.

Notez que la plage d'ajustement, une fois les cordes bloquées, sera plus importante si vous laissez toutes les vis d'accordage fin au centre de leur plage de réglage avant l'accordage.



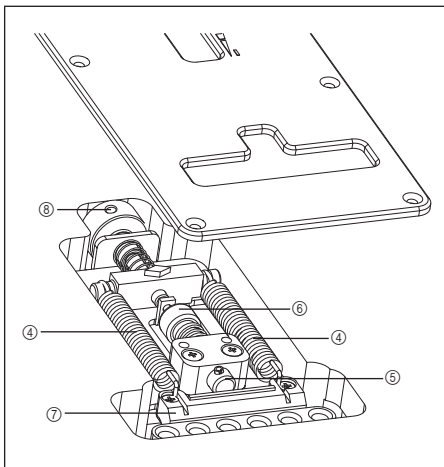


■ Vue d'ensemble



- ① Vis de blocage du sillet
- ② Support de tige vibrato
- ③ Vis de réglage d'accord

■ Arrière

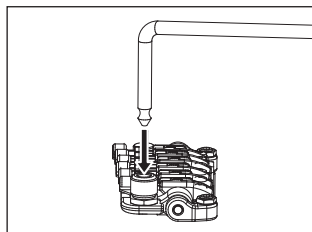


- ④ Ressort de vibrato
- ⑤ Butée de blocage du vibrato
- ⑥ Molette de blocage vibrato
- ⑦ Bloc vibrato
- ⑧ Molette de réglage de tension du ressort

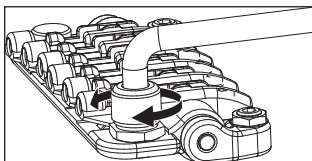
Fixation de la tige de vibrato

1. La tige de vibrato à clip permet d'être facilement installée.

Tout en maintenant l'angle formé par la tige de vibrato, insérez la tige fermement dans la douille du support principal jusqu'à ce qu'elle s'encliquette.



2. La tension de la tige de vibrato peut être réglée à l'aide de la molette de réglage de tension. Si vous serrez la molette dans le sens des aiguilles d'une montre, vous augmentez la tension de la tige ; si vous la serrez dans le sens inverse, vous diminuez sa tension.

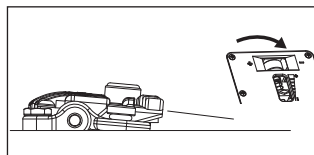
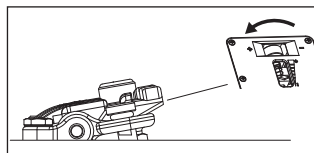
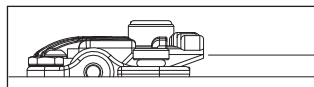


Réglage de l'angle d'attaque du vibrato

L'angle du vibrato est réglé en équilibrant la tension des cordes et celle des ressorts de vibrato se trouvant au dos de la guitare. Pour des performances optimales, réglez le vibrato de manière à ce qu'il soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.

1. Une fois la guitare accordée, vérifiez l'angle du vibrato.
2. Si le vibrato est incliné vers l'avant, tournez la vis de réglage du ressort se trouvant au dos de la guitare dans le sens « plus » pour serrer les ressorts du vibrato.
3. Si le vibrato est incliné vers l'arrière, tournez la vis de réglage du ressort dans le sens « moins » pour desserrer les ressorts du vibrato.

※ Étant donné que l'équilibre entre la tension des cordes et celle des ressorts est modifié à chaque fois que vous réglez la tension des ressorts de vibrato, le réglage de l'angle de vibrato a une influence sur l'accordage. Vous devez à chaque fois accorder la guitare au fur et à mesure que vous procédez à cet ajustement.

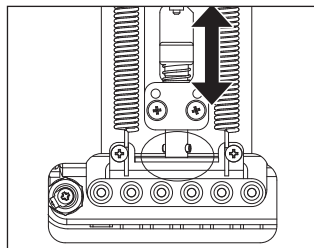


Fonction « Arm-up and stopper »

Le vibrato SynchroniZR comporte une fonction « Arm-up and stopper ». Avec cette fonction, le vibrato n'est plus flottant, la tige étant verrouillée en position relevée.

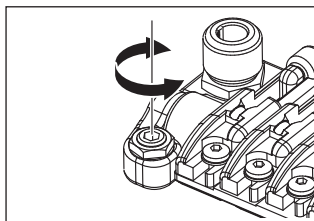
1. Veillez à régler le vibrato de manière à ce qu'il soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare.
2. Retirez la plaque de protection des ressorts du vibrato et tournez la molette de la tige et du stopper de sorte que l'extrémité de la tige du stopper soit en contact avec le bloc vibrato.
3. Veillez de nouveau à ce que le vibrato soit plus ou moins parallèle à la surface de la caisse de la guitare et tournez plusieurs fois la vis de réglage du ressort dans le sens « plus ».

※ Si la tension du ressort de vibrato est trop faible, le bloc vibrato sera tiré par les cordes, l'accordage risque alors d'être instable. Dans ce cas, tournez encore la vis de réglage du ressort dans le sens « plus ».



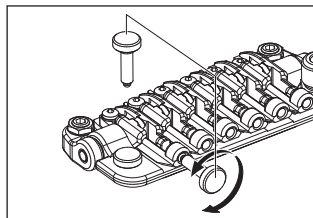
Réglage de la hauteur des cordes

Pour régler la hauteur de la corde, ajustez la hauteur de toute l'unité de vibrato en tournant les vis situées de part et d'autre de l'unité de vibrato à l'aide d'une clé Allen (3 mm). (Il n'est pas possible de régler la hauteur de chaque corde.)



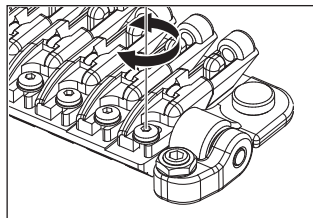
Réglage de l'intonation

1. Ôtez les vis de réglage d'intonation se trouvant dans l'unité de vibrato et vissez-les dans les trous d'ajustement à l'arrière du sillet jusqu'à ce que l'extrémité des vis soit en contact avec la paroi de l'unité de vibrato.



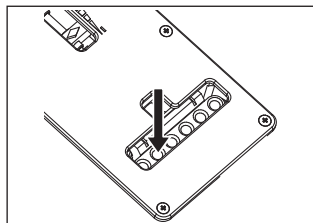
2. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du sillet et tournez la vis de réglage d'intonation pour régler la position de ce dernier.

※ Avant de vérifier l'intonation, serrez fermement les vis de blocage du sillet et accordez la guitare. Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du sillet ainsi que les vis de protection de l'écrou de blocage et rangez les vis de réglage d'intonation dans l'unité de vibrato.



Remplacement des cordes

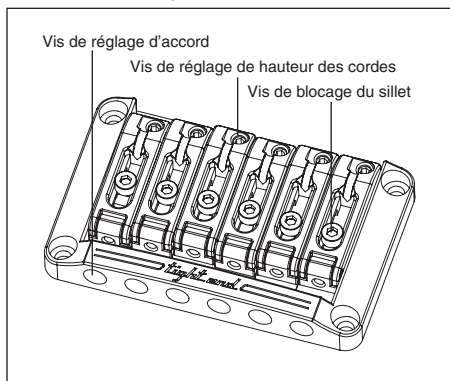
Installez les nouvelles cordes en les faisant passer à travers le bloc vibrato au dos de la guitare.



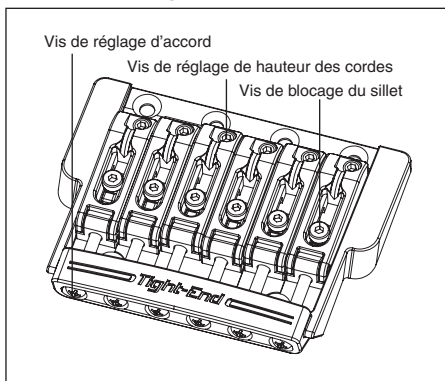


Chevalet Tight-End/Tight-End R (pour les guitares à 6 et 7 cordes)

■ Chevalet Tight-End



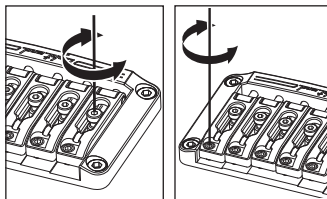
■ Chevalet Tight-End R



Réglage de la hauteur

1. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du silet.
2. Pour régler la hauteur des pontets, serrez les vis de réglage à l'aide d'une clé Allen (2 mm).

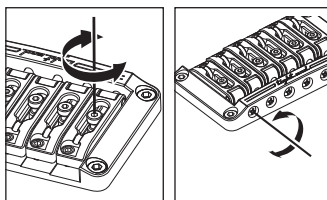
※ Une fois les réglages terminés, serrez les vis de blocage du silet.



Réglage de l'intonation

1. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), desserrez les vis de blocage du silet.
2. Utilisez un tournevis cruciforme pour régler la position des pontets en tournant la vis de réglage d'intonation.
3. À l'aide d'une clé Allen (2 mm), serrez les vis de blocage du silet et, à l'aide d'un tournevis cruciforme, serrez légèrement les vis de réglage d'intonation dans le sens des aiguilles d'une montre. (Serrez légèrement afin de ne pas modifier la position des pontets.)

※ Vérifiez que la guitare est accordée correctement avant de contrôler l'intonation.



Remplacement des cordes

Pour placer une nouvelle corde, faites-la passer par le mécanisme de maintien de cordes par le dos de la guitare.



CHEVALET TIGHT-TUNE

Le chevalet Tight-Tune offre une meilleure stabilité et une transmission sonore optimale tout en supprimant les vibrations gênantes grâce au blocage de chaque partie du chevalet. Il est équipé d'un mécanisme de blocage des vis afin de le fixer en toute sécurité sur la caisse de la guitare. En outre, le cordier est équipé d'un mécanisme de blocage de la boule qui retient cette dernière pour éviter qu'elle ne s'enlève.

Reglage de la hauteur

Serrez les écrous de blocage (D) de part et d'autre du chevalet et réglez la hauteur de ce dernier en serrant les vis de blocage (E) à l'aide d'une clé Allen de 3 mm. Notez qu'il n'est pas possible de régler la hauteur de chaque corde. Une fois le réglage effectué, serrez les écrous de blocage.

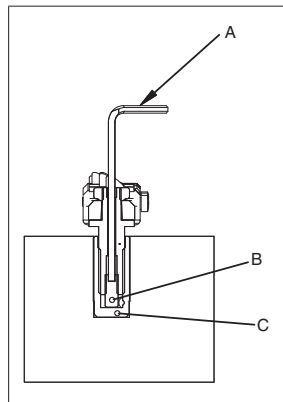
Fonction de blocage des vis

Une fois la hauteur réglée, serrez la vis de blocage (B) dans le sens des aiguilles d'une montre à l'aide d'une clé Allen de 2 mm. Serrez jusqu'à ce que la vis de blocage touche la vis de scellement (C) et jusqu'à ce qu'elle ne puisse plus tourner.



Mémo

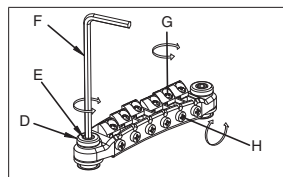
Lors du réglage de la hauteur, veillez à desserrer complètement la vis de blocage (B) au préalable en la tournant dans le sens inverse des aiguilles d'une montre à l'aide d'une clé Allen de 2 mm. Sinon, vous risquez d'endommager l'instrument.



Reglage de l'intonation

A l'aide d'un tournevis cruciforme, desserrez les vis de blocage des pontets (G) et serrez la vis de réglage d'intonation (H) pour régler la position des pontets.

Accordez la guitare et vérifiez l'intonation. Répétez ces opérations jusqu'à ce que vous obteniez l'intonation souhaitée, puis serrez les vis de blocage des pontets.

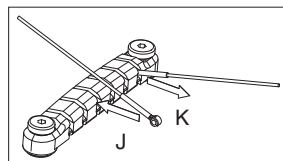


Mémo

Si une vis de réglage d'intonation est desserrée (H), une résonance peut se produire. Si c'est le cas, serrez délicatement la vis de réglage d'intonation en veillant à ne pas déplacer le pontet.

Remplacement des cordes

Insérez la boule de la corde dans l'encoche du cordier dans le sens indiqué par la flèche (J). Le mécanisme de blocage de la boule retient la boule. Pour retirer la corde, tirez-la dans le sens indiqué par la flèche (K).





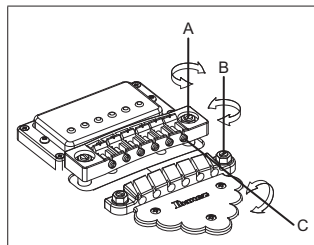
CHEVALET GIBRALTAR 08 / CORDIER QUICK CHANGE 08

Pour ajuster la hauteur de la corde, tournez les vis situées de part et d'autre du chevalet (A) à l'aide d'un tournevis plat (-). Avant de procéder au réglage, desserrez l'écrou de blocage à l'aide d'une clé de 8 mm. Après le réglage, serrez de nouveau l'écrou de blocage pour fixer le chevalet.

Pour ajuster la hauteur du cordier, serrez et desserrez les vis de réglage (B) à l'aide d'un tournevis plat (-). Avant de procéder au réglage, desserrez l'écrou de blocage. Après le réglage, fixez-le de nouveau de la même manière que pour le chevalet.

Si l'écrou de blocage du chevalet et du cordier est desserré, une distorsion ou une résonance peut se produire. L'augmentation de la hauteur du cordier réduira la tension des cordes, ce qui procurera un toucher plus doux et facilitera le tirage des cordes.

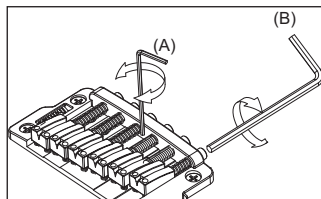
Pour ajuster l'intonation de chaque sillet, tournez la vis de réglage de l'intonation à l'aide d'un tournevis plat (-) (C).



CHEVALET GIBRALTAR STANDARD (MODÈLES À 7 CORDES / 8 CORDES)

Pour placer une nouvelle corde, faites-la passer par le mécanisme de maintien de cordes par le dos de la guitare. Pour ajuster la hauteur des cordes, utilisez une clé hexagonale de 1,5 mm pour tourner les vis et régler la hauteur de chaque pontet (A).

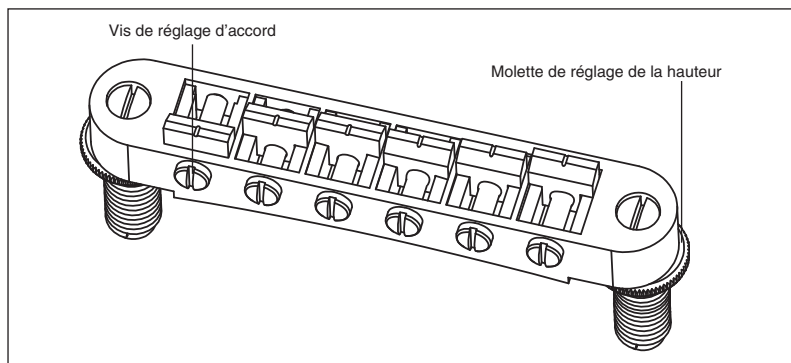
Pour ajuster l'intonation, utilisez une clé hexagonale de 2,5 mm pour tourner les vis de réglage de l'intonation de chaque pontet au dos du chevalet (B).



※ La technique de réglage est identique pour les modèles à 7 et 8 cordes.

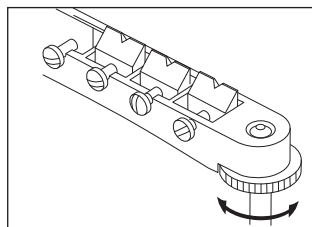


Chevalet Full Tune II



Réglage de la hauteur

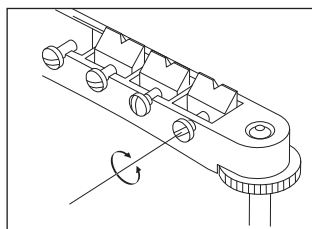
Pour ajuster la hauteur de l'ensemble du chevalet, tournez avec le doigt les molettes d'ajustement placées de part et d'autre du chevalet. (Il n'est pas possible de régler la hauteur de chaque corde.)



Réglage de l'intonation

Pour régler la position des pontets, serrez les vis de réglage d'intonation à l'aide d'un tournevis pour écrous à fente.

※ Accordez la guitare correctement avant de vérifier l'intonation.

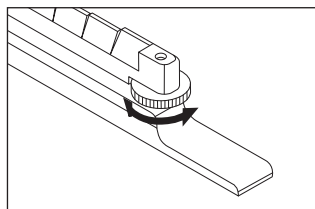




Chevalet de guitare acoustique

Réglage de la hauteur

Pour ajuster la hauteur de l'ensemble du chevalet, tournez avec le doigt les molettes d'ajustement placées de part et d'autre du chevalet. (Il n'est pas possible de régler la hauteur de chaque corde.)



Réglage de l'intonation

Pour régler la position des pontets, desserrez les cordes afin de déplacer l'ensemble du chevalet.

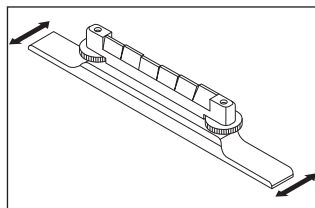
※ Accordez la guitare correctement avant de vérifier l'intonation.



Mémo

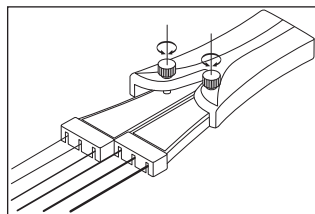
Lorsque vous détendez les cordes, veillez à ce que le chevalet ne tombe pas.

Lors du remplacement des cordes, il est recommandé de les remplacer l'une après l'autre, sinon le chevalet risque de se déplacer si vous les retirez toutes en même temps.



Cordier de guitare acoustique (GB10)

Ce cordier acoustique, équipant la GB10, permet de régler indépendamment la hauteur des cordes 1 à 3 et 4 à 6. Serrez la vis d'ajustement pour baisser le cordier.



Bouton de sangle de guitare acoustique

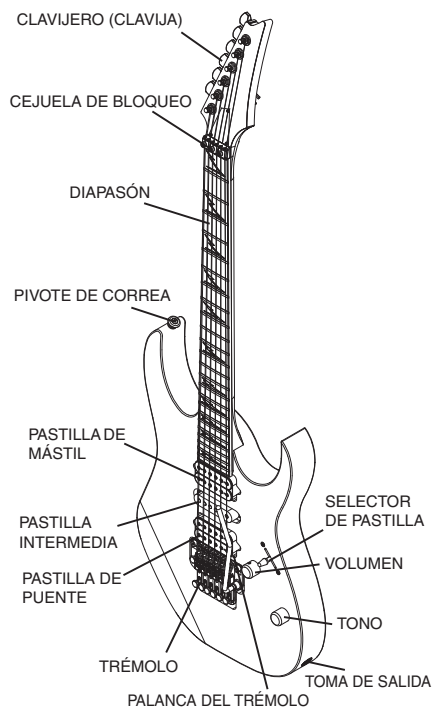
Les guitares acoustiques ne sont pas équipées de bouton de sangle sur le côté du manche de l'instrument.

Si vous souhaitez en installer un, contactez votre revendeur ou Ibanez Corporation.

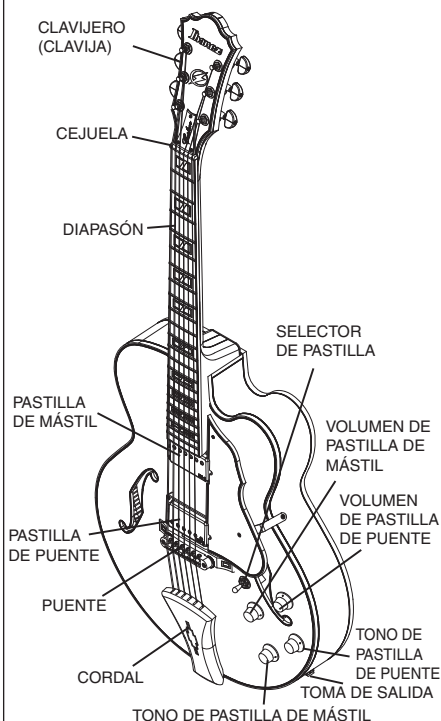


IDENTIFICACIÓN DE LOS COMPONENTES DE LA GUITARRA

Guitarra eléctrica



Guitarras semiacústicas o de caja



※ Estas ilustraciones muestran los modelos Ibanez típicos. Es posible que la guitarra adquirida no coincida con la ilustración.

※ Los ajustes del trémolo/puente variarán según el tipo de trémolo/puente instalado.

Para obtener más información, consulte la sección correspondiente al trémolo/puente.

※ Para obtener más información sobre los controles de cada modelo, consulte la sección “CONTROLS (Controles)” (pág. 206).



ARTÍCULOS SUMINISTRADOS

	Herramienta multiusos	Palanca del trémolo	Llave Allen					Llave de tubo de 8 mm
			1,5 mm	2 mm	2,5 mm	3 mm	4 mm	
Puente de trémolo Edge	○	○					○	
Puente de trémolo Edge-Pro	○	○					○	
Puente de trémolo Edge-Zero	○	○						
Puente de trémolo Lo-Pro Edge	○	○					○	
Puente FX EdgeIII-8	○							
Puente de trémolo SynchroniZR	○	○						
Puente Gibraltar estándar 6/7/8	○							
PUENTE GIBRALTAR 08/ CORDAL QUICK CHANGE 08	○							○
PUENTE TIGHT-TUNE	○							
Puente Tight-End / Puente Tight-End R	○							
Puente de trémolo ZR-2	○	○						
Guitarras semiacústicas			○				○	○
Guitarras de caja								○

※ Los modelos equipados con pastillas DiMarzio se suministran con una llave Allen para ajustar la altura de las piezas polares.

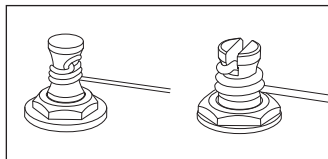
※ Los modelos equipados con el puente de trémolo Edge-Zero de 7 cuerdas incluyen muelles de refuerzo.



CAMBIO DE CUERDAS

Las cuerdas se deterioran con el tiempo, provocando zumbidos o tonos inadecuados. Sustituya las cuerdas siempre que comiencen a oxidarse o decolorarse. Recomendamos sustituir todo el juego de cuerdas al mismo tiempo. Unas cuerdas dobladas, con torceduras o dañadas no producirán un sonido de la calidad adecuada, por lo que no deben utilizarse.

Enrolle la cuerda alrededor del clavijero dos o tres vueltas empezando desde arriba, usando unos 5 a 7 cm de longitud y teniendo cuidado de que la cuerda no cruce por encima de sí misma. Las cuerdas deben cambiarse una a una, en lugar de extraer todas las cuerdas de una vez. De esta forma, el mástil no sufrirá presión y se reducirá el riesgo de influir en el equilibrio del trémolo.



※ Si utiliza un modelo con clavijas AUTO-TRIM, las cuerdas deben enrollarse de forma distinta. Para obtener más información, consulte la sección "Clavijas AUTO-TRIM" (pág. 126).

※ El método para quitar y poner las cuerdas fijadas al trémolo/puente variará según el tipo de trémolo/puente. Para obtener más información, consulte la sección del trémolo/puente instalado en su guitarra.



AFINACIÓN

Cuando se envían de fábrica, las guitarras Ibanez se ajustan mediante las siguientes afinaciones.

	1ª	2ª	3ª	4ª	5ª	6ª	7ª	8ª
6 cuerdas	E4	B3	G3	D3	A2	E2	-	-
7 cuerdas	E4	B3	G3	D3	A2	E2	B1	-
8 cuerdas	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

Observe que los siguientes modelos se ajustan de forma distinta.

RGD, APEX

	1ª	2ª	3ª	4ª	5ª	6ª	7ª
6 cuerdas	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
7 cuerdas	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

1ª	2ª	3ª	4ª	5ª	6ª	7ª	8ª
E	B	G	D	A	E	B	E

Utilice un afinador o un diapasón para afinar el sonido de cada cuerda suelta a las frecuencias anteriormente mencionadas. Si el tono es mayor que la frecuencia mencionada, afloje la cuerda para bajar el tono y enrolle la cuerda poco a poco para subir el tono. Esta es una forma sencilla de estabilizar la afinación. Es posible que tenga que ajustar el mástil o la octavación si afina la guitarra a un tono distinto de los mostrados en estas tablas, o si utiliza cuerdas con un calibre distinto del normal. Para obtener más información sobre el ajuste del mástil o la octavación, consulte las secciones "AJUSTE DEL MÁSTIL" (pág. 124) u "OCTAVACIÓN" (pág. 124).



Nota

- Tenga en cuenta que una afinación extrema o el uso de cuerdas no pensadas para guitarras eléctricas pueden provocar la rotura de las piezas y daños inesperados.



ALTURA DE LAS CUERDAS

La acción hace referencia a la distancia entre los trastes y la cuerda.

Para medir la acción, afine la guitarra con precisión; a continuación, coloque una regla junto al 14º traste y mida la distancia desde la parte superior del traste hasta la parte inferior de la cuerda.

En general, esta distancia debería ser de entre 1,5 y 1,7 mm para la primera cuerda y de entre 2,0 mm y 2,2 mm para la sexta cuerda.

En el caso de guitarras de siete cuerdas, la séptima cuerda debería quedar a una altura de entre 2,2 mm y 2,4 mm. En caso de guitarras de ocho cuerdas, la octava cuerda debería quedar a una altura de entre 2,4 mm y 2,6 mm.

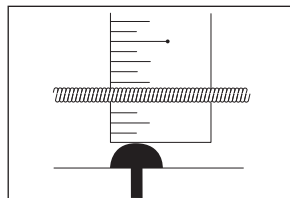
En caso de cuerdas distintas de las enumeradas anteriormente, ajuste la acción de forma que la distancia aumente gradualmente desde la primera cuerda hasta la cuerda más grave.

Si la acción es demasiado alta, será más difícil tocar el instrumento. Si la acción es demasiado baja, es posible que la cuerda zumbe, no se oigan algunas notas o el sostenido resulte pobre.

Si nota que las cuerdas vibran o no se oyen algunas notas aunque la acción esté bien ajustada, es posible que tenga que ajustar la inclinación del mástil.

Para obtener más información, consulte "AJUSTE DEL MÁSTIL" (pág. 124).

※ El método para ajustar la acción dependerá del tipo de trémolo/puente que tenga la guitarra. Para obtener más información, consulte la sección correspondiente al puente/trémolo.



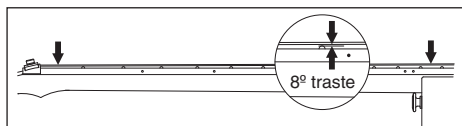


AJUSTE DEL MÁSTIL

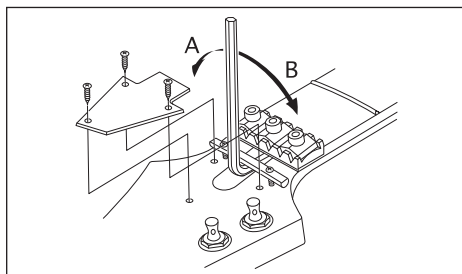
El mástil sufre constantemente la tensión de las cuerdas, por lo que su curvatura se ve ligeramente afectada no solamente por el estado de la afinación y el calibre de la cuerda, sino también por los cambios de temperatura y humedad. Si nota algún problema, como zumbidos en las cuerdas o notas mudas aunque la acción y la afinación sean correctas, deberá comprobar y ajustar la curvatura del mástil.

1. Comprobar la curvatura del mástil

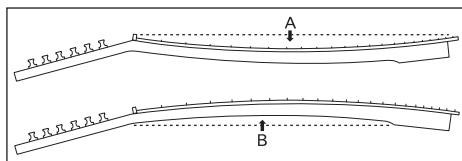
Tras afinar la guitarra de forma precisa, sujétela en posición de ejecución. A continuación, presione la primera cuerda en el primer traste y en el traste más cercano al punto donde el mástil se une al cuerpo, y mida el espacio entre la cuerda y el octavo traste. Siga este mismo procedimiento para medir el espacio en la cuerda más grave y realice los ajustes necesarios para que los espacios no rebasen el rango de entre 0,3 y 0,5 mm.



2. Si el espacio es inferior a 0,3 mm, use la llave Allen o la llave de tubo incluida con la guitarra para girar la tuerca del alma situada en el extremo del mástil en sentido 'A', lo que hará que la curvatura del mástil sea más convexa.



3. Si el espacio es superior a 0,5 mm, gire la llave Allen o la llave de tubo en sentido 'B', lo que hará que la curvatura del mástil sea más cóncava.



※ Gire la tuerca del alma con pequeños incrementos de un cuarto de vuelta, comprobando la afinación mientras tanto.



Nota

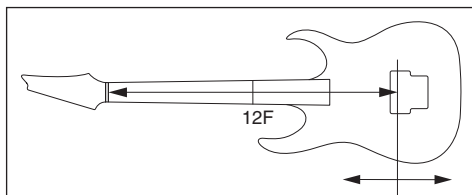
- Debe tener cuidado a la hora de ajustar el mástil.

Si fuerza el ajuste puede dañar la guitarra. Si no es capaz de ajustar el mástil correctamente, póngase en contacto con su distribuidor o con Ibanez Corporation.



OCTAVACIÓN

Si ha cambiado el calibre de las cuerdas o utiliza su guitarra con otra afinación, tendrá que ajustar la longitud de las cuerdas (octavación) para garantizar que en todos los trastes suene el tono apropiado. Tras afinar la guitarra con precisión, sujétela en posición de ejecución y compare el tono de cada cuerda presionada en el traste 12 con el armónico ejecutado en ese mismo traste.



Si el tono de la nota trasteada en el traste 12 es más grave que el armónico de ese mismo traste, mueva la silleta del trémolo/puente hacia delante para acortar la cuerda. De modo inverso, si el tono de la nota trasteada es más agudo que el del armónico, mueva la silleta hacia atrás para alargar la cuerda.

※ Use un afinador para ajustar la octavación de forma precisa.

※ El método para ajustar la posición de la silleta dependerá del modelo de trémolo/puente instalado. Para obtener más información, consulte la sección del trémolo/puente instalado en su guitarra.





LIMPIEZA

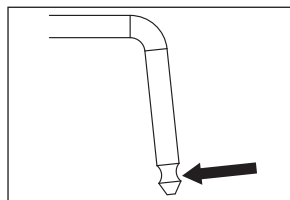
Después de tocar, elimine la transpiración y la grasilla de todas las piezas metálicas, como la parte inferior de las cuerdas, los trastes, las silletas de puente y las tuercas. Así evitará la oxidación. La suciedad o el polvo adheridos a las piezas metálicas pueden afectar negativamente a su funcionamiento.

Elimine la suciedad persistente con un paño suave humedecido en una pequeña cantidad de aceite. Para limpiar la superficie de acabado, no utilice compuestos de limpieza volátiles o abrasivos; utilice un paño suave con un pulimento especial para instrumentos musicales.

Para eliminar la suciedad adherida al mástil o al cuerpo con acabado en aceite, utilice una goma de borrar, un papel de lija fino del N.º 1000 o más fino o lana de acero del N.º 0000. Puede evitar la sequedad puliendo una o dos veces al año mediante un aceite para acabados de muebles incoloro o graso lubricante aplicado en lana de acero del N.º 0000 o un paño.

Los diapasones sin acabado deben limpiarse cuidadosamente con un paño en el que se haya aplicado una pequeña cantidad de aceite para diapasones o un aceite de limón de gran calidad, limpiando cuidadosamente el borde de los trastes.

Si la palanca del trémolo chirría al girar, aplique un poco de grasa en la muesca del lado más corto de la palanca del trémolo.



BATERÍA

Si su guitarra tiene un preamplificador incorporado o un ecualizador, este se alimentará mediante una batería. Sustituya la batería cuando detecte que el volumen ha disminuido o que el sonido está distorsionado.

Algunos modelos utilizan una batería 006P (9 V) y otros modelos utilizan dos baterías AA (1,5 V).

Compruebe el tipo de baterías que utiliza su guitarra y sustitúyalas con baterías del mismo tipo.

Las baterías se encuentran en un compartimento situado en la parte posterior del cuerpo del instrumento.

En los modelos con una batería, la toma de salida también funciona como interruptor de alimentación, por lo que al insertar una clavija en la toma, la guitarra se encenderá.



Nota

- Para evitar que se agote la batería, extraiga la clavija de la toma de salida si no la va a utilizar durante un periodo prolongado de tiempo.



Clavijas AUTO-TRIM

CAMBIO DE CUERDAS

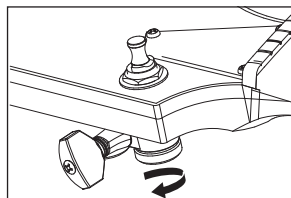
■ Quitar una cuerda

Suelte la cuerda y gire la manilla de bloqueo situada bajo la clavija para desbloquear la cuerda.



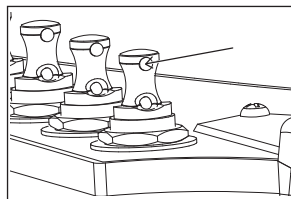
Nota

- Tenga cuidado, ya que la cuerda podría soltarse con mucha fuerza en el momento en que libere el bloqueo.

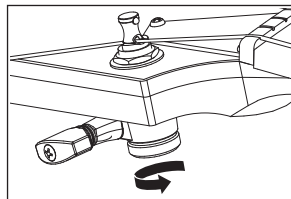


■ Poner una cuerda

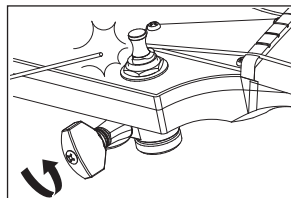
1. Gire el clavijero de forma que la bola plateada en la parte superior quede mirando al puente y, a continuación, pase la cuerda por el clavijero.



2. Al tirar de la cuerda, gire la manilla de bloqueo para bloquear la cuerda firmemente.



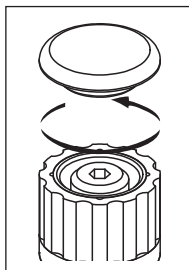
3. Al girar la manilla, la cuerda sobrante se cortará. Siga afinando.



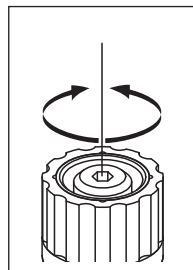
BOTÓN DE CONTROL

Extracción del botón de control

1. Gire la tapa situada en la parte superior del botón y retírela.



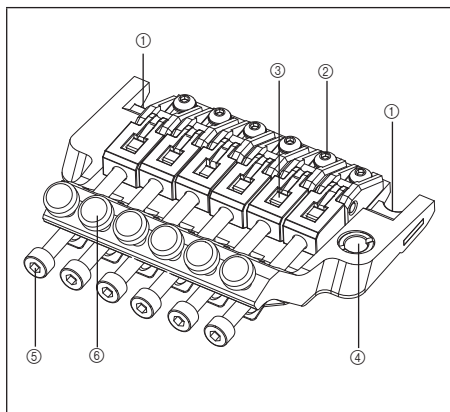
2. Utilice una llave Allen (3 mm) para aflojar el perno y extraiga el botón.



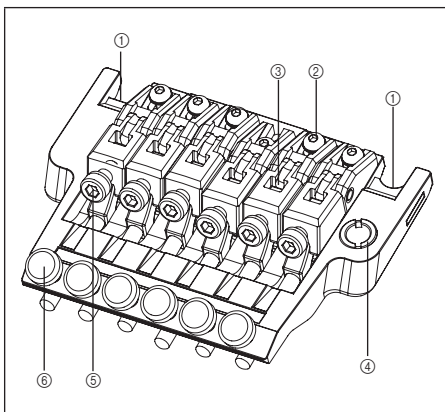


Puente de trémolo Edge/Lo-Pro Edge

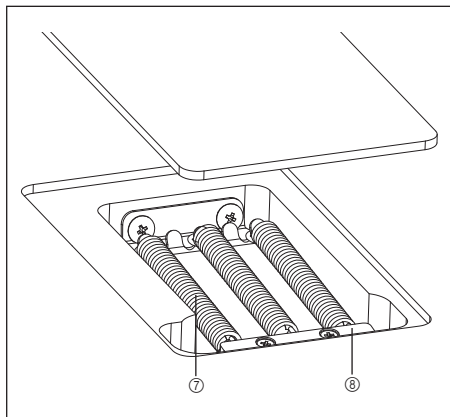
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



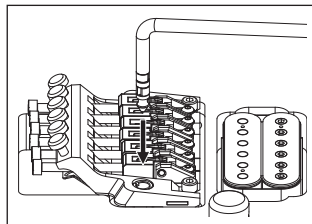
■ Parte trasera



- ① Filo anclaje puente
- ② Tornillo bloqueo silleta
- ③ Bloque de soporte de la cuerda
- ④ Alojamiento de la palanca
- ⑤ Tornillo de tope de cuerda
- ⑥ Tornillo microafinación
- ⑦ Muelle del trémolo
- ⑧ Bloqueo de los muelles

Colocación de la palanca del trémolo

- 1.** La palanca del trémolo presenta un diseño de acoplamiento a presión. Sujete la palanca del trémolo por el ángulo y empujela firmemente por el receptáculo del plato base.

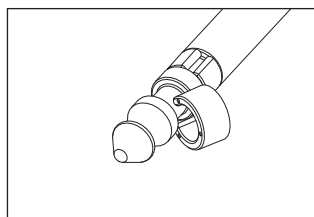


2. La dureza de la palanca del trémolo puede ajustarse añadiendo o quitando arandelas Teflón. Cuantas más arandelas se utilicen, la sujeción será más firme y si quita todas las arandelas, la palanca quedará libre. Las arandelas Teflón pueden añadirse o quitarse en diagonal a través de la ranura.



Nota

- Si la palanca no está firmemente sujeta en su lugar después de añadir las arandelas Teflón, reemplace las arandelas Teflón antiguas por unas nuevas.



Adaptación del ángulo de ajuste del trémolo

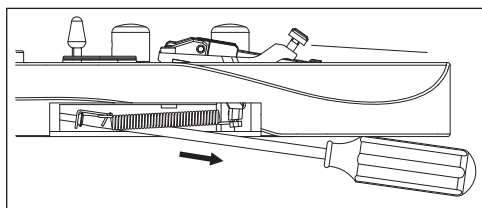
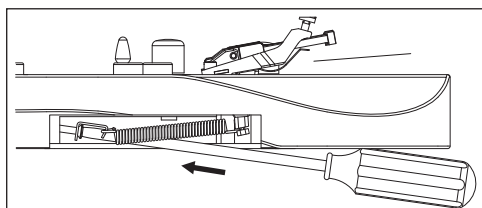
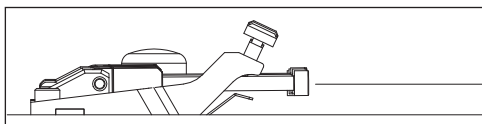
El ángulo de ajuste del trémolo se adapta equilibrando la tensión entre las cuerdas y los muelles del trémolo instalados en la parte posterior del cuerpo de la guitarra. Para conseguir un rendimiento óptimo, ajuste este ángulo de forma que el trémolo quede más o menos horizontal respecto a la superficie del cuerpo de la guitarra.

1. Con la guitarra bien afinada, compruebe el ángulo del trémolo.

2. Si el trémolo está inclinado hacia delante, inserte un destornillador Philips a través de la ranura en la tapa del muelle del trémolo en la parte posterior del cuerpo y apriete el tornillo para aumentar la tensión en los muelles.

3. Si el trémolo está inclinado hacia atrás, suelte el tornillo para reducir la tensión de los muelles del trémolo.

※ El ajuste del ángulo del trémolo afectará a la afinación, ya que el equilibrio de la tensión entre las cuerdas y los muelles cambiará cada vez que ajuste la tensión de los muelles del trémolo. Mientras hace este ajuste, deberá afinar la guitarra repetidamente.



Muelles del trémolo

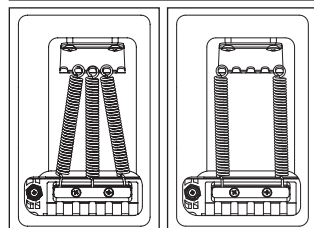
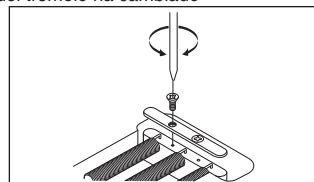
Cuando la guitarra es suministrada de fábrica, está equipada con tres muelles de trémolo instalados en paralelo. Si el equilibrio de la tensión entre las cuerdas y los muelles del trémolo ha cambiado significativamente, como sucede cuando se cambia el calibre de las cuerdas o se usa una afinación más grave, es posible que tenga que cambiar el número de muelles del trémolo o la forma en que están instalados.

1. Utilice un destornillador Philips para retirar el bloqueo de los muelles.

2. Si desea aumentar la tensión, coloque en diagonal los dos muelles exteriores del trémolo.

3. Si desea reducir la tensión, retire el muelle central del trémolo.

Si desea instalar cuatro o más muelles de trémolo, fíjelos en los orificios utilizados originalmente para sujetar el bloqueo de los muelles. (Ya no será posible mantener el bloqueo de los muelles).





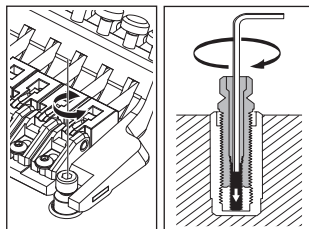
Nota

- Afloje las cuerdas lo suficiente antes de instalar o extraer muelles de trémolo. Tenga en cuenta que si retira todos los muelles, la unidad del trémolo se soltará de la guitarra.
- Para volver a instalar el trémolo, inserte de forma segura el borde afilado del trémolo en la ranura de los pernos y vuelva a colocar los muelles del trémolo.

Bloqueo del perno

El puente de trémolo Edge/Lo-Pro Edge utiliza un mecanismo de bloqueo del perno.

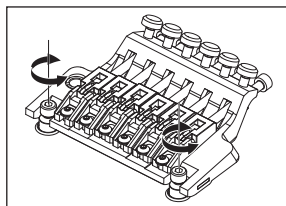
- 1. Inserte una llave Allen (1,5 mm) por el orificio situado en la parte superior del perno.**
- 2. Gire el tornillo de bloqueo del perno en sentido de las agujas del reloj, apretándolo hasta que haga contacto con la tuerca de anclaje y ya no pueda girar más.**



※ El bloqueo del perno se soltará si afloja el tornillo de bloqueo del perno.

Ajuste de la acción

Para ajustar la altura de toda la unidad del trémolo, use una llave Allen (4mm) para girar los pernos situados a la derecha y a la izquierda de la unidad del trémolo. (No es posible realizar ajustes para cada cuerda por separado).



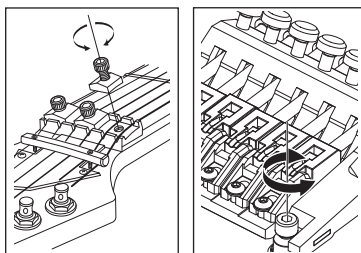
Nota

- Asegúrese de que el bloqueo del perno está suelto antes de ajustar la acción.

Ajuste de la octavación

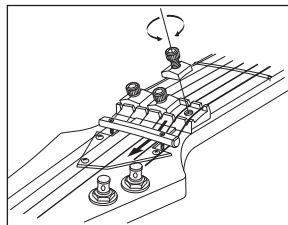
- 1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y afloje las cuerdas lo suficiente.**
- 2. Use una llave Allen (2 mm) para soltar los tornillos de bloqueo de la silleta y ajuste la posición de la silleta.**

※ Antes de comprobar la octavación, apriete firmemente los tornillos de bloqueo de la silleta y afine la guitarra correctamente. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta y los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



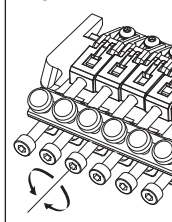
Sustitución de las cuerdas

1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los pernos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y saque la cuerda de la clavija de afinación.

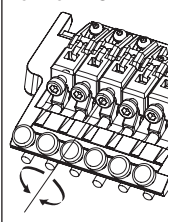


2. Use una llave Allen (3 mm) para soltar el tornillo de tope de cuerda de la unidad del trémolo y, a continuación, saque la cuerda de la silleta y retírela.

EDGE



Lo-Pro EDGE

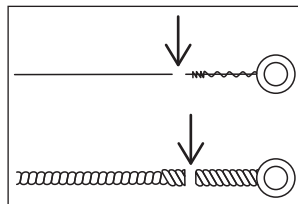


3. Use un cortaalambres para cortar el extremo de bola de la nueva cuerda.

4. Inserte el extremo de la cuerda que acaba de cortar entre la silleta y el bloque de soporte de la cuerda, y apriete el tornillo de tope de cuerda para fijar la cuerda.

5. Enrolle la cuerda alrededor de la clavija y afínala.

6. Cuando haya terminado de afinar la cuerda, apriete los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



※ Si quita todas las cuerdas al mismo tiempo, el ángulo de ajuste del trémolo cambiará significativamente, por lo que recomendamos cambiar las cuerdas una por una. Si quita todas las cuerdas al mismo tiempo, la afinación será más fácil si inserta un pedazo de tela bajo el trémolo para asegurarlo, de forma que el ángulo de ajuste no cambie demasiado.



Nota

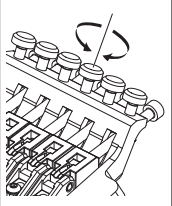
- Antes de comenzar a afinar, asegúrese de que los tornillos de tope de cuerda están apretados firmemente.

Afinación de precisión

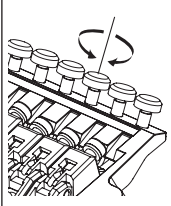
Aun después de haber bloqueado las cuerdas con las tuercas de bloqueo, puede usar los afinadores de precisión para terminar de afinar cada cuerda.

El rango de ajuste una vez bloqueadas las cuerdas será mayor si todos los pernos de afinación de precisión se encuentran en el centro de su rango de ajuste antes de comenzar la afinación.

EDGE



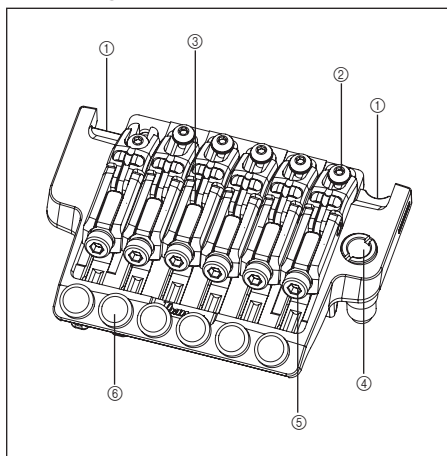
Lo-Pro EDGE





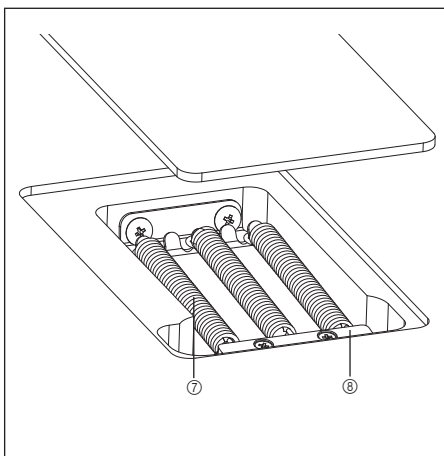
Puente de trémolo Edge-Pro

■ Vista general



- ① Filo anclaje puente
- ② Tornillo bloqueo silleta
- ③ Bloque de soporte de la cuerda
- ④ Alojamiento de la palanca
- ⑤ Tornillo de tope de cuerda
- ⑥ Tornillo microafinación

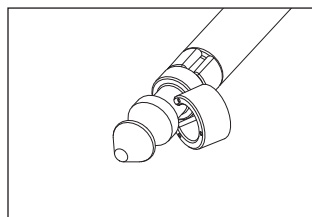
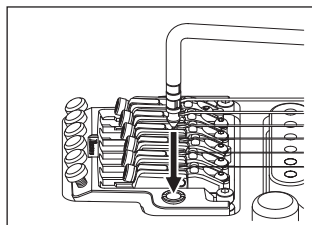
■ Parte trasera



- ⑦ Muelle del trémolo
- ⑧ Bloqueo de los muelles

Colocación de la palanca del trémolo

- 1.** La palanca del trémolo presenta un diseño de acoplamiento a presión. Sujete la palanca del trémolo por el ángulo y empújela firmemente por el receptáculo del plato base hasta que las arandelas Teflón queden completamente ocultas.
- 2.** La dureza de la palanca del trémolo puede ajustarse añadiendo o quitando arandelas Teflón. Si añade arandelas, la palanca estará más dura y si quita todas las arandelas, la palanca quedará libre. Añada o quite las arandelas en diagonal a través de la ranura.



Nota

- Si la palanca no está firmemente sujeta en su lugar después de añadir las arandelas Teflón, reemplace las arandelas Teflón antiguas por unas nuevas.

Adaptación del ángulo de ajuste del trémolo

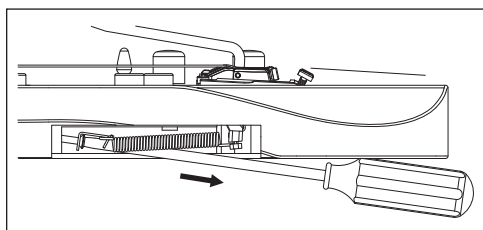
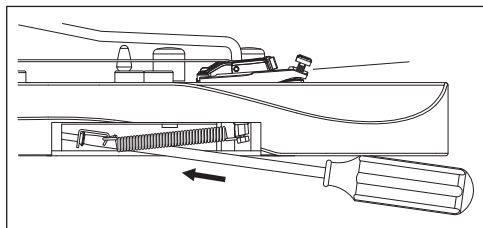
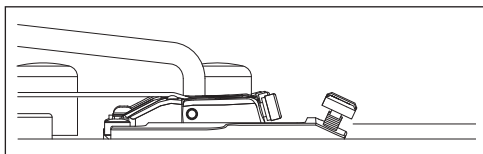
El ángulo de ajuste del trémolo se adapta equilibrando la tensión entre las cuerdas y los muelles del trémolo instalados en la parte posterior del cuerpo de la guitarra. Para conseguir un rendimiento óptimo, ajuste este ángulo de forma que el trémolo quede más o menos horizontal respecto a la superficie del cuerpo de la guitarra.

1. Con la guitarra bien afinada, compruebe el ángulo del trémolo.

2. Si el trémolo está inclinado hacia delante, inserte un destornillador Philips a través de la ranura en la tapa del muelle del trémolo en la parte posterior del cuerpo y apriete el tornillo para aumentar la tensión en los muelles.

3. Si el trémolo está inclinado hacia atrás, suelte el tornillo para reducir la tensión de los muelles del trémolo.

※ El ajuste del ángulo del trémolo afectará a la afinación, ya que el equilibrio de la tensión entre las cuerdas y los muelles cambiará cada vez que ajuste la tensión de los muelles del trémolo. Mientras hace este ajuste, deberá afinar la guitarra repetidamente.



Muelles del trémolo

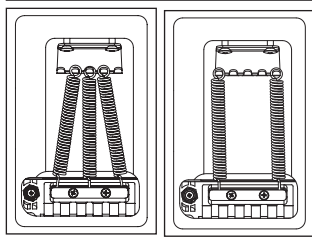
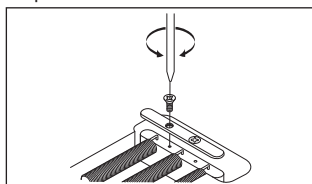
Cuando la guitarra es suministrada de fábrica, está equipada con tres muelles de trémolo instalados en paralelo. Si el equilibrio de la tensión entre las cuerdas y los muelles del trémolo ha cambiado significativamente, como sucede cuando se cambia el calibre de las cuerdas o se usa una afinación más grave, es posible que tenga que cambiar el número de muelles del trémolo o la forma en que están instalados.

1. Utilice un destornillador Philips para retirar el bloqueo de los muelles.

2. Si desea aumentar la tensión, coloque en diagonal los dos muelles exteriores del trémolo.

3. Si desea reducir la tensión, retire el muelle central del trémolo.

Si desea instalar cuatro o más muelles de trémolo, fíjelos en los orificios utilizados originalmente para sujetar el bloqueo de los muelles. (Ya no será posible mantener el bloqueo de los muelles).

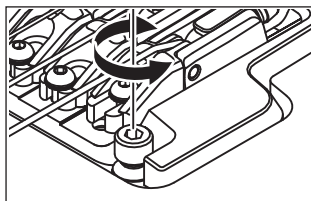


Nota

- Afloje las cuerdas lo suficiente antes de instalar o extraer muelles de trémolo. Tenga en cuenta que si retira todos los muelles, la unidad del trémolo se soltará de la guitarra.
- Para volver a instalar el trémolo, inserte de forma segura el borde afilado del trémolo en la ranura de los pernos y vuelva a colocar los muelles del trémolo.

Ajuste de la acción

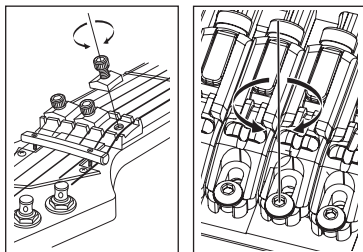
Para ajustar la altura de toda la unidad del trémolo, use una llave Allen (4 mm) para girar los pernos situados a la derecha y a la izquierda de la unidad del trémolo. (No es posible realizar ajustes para cada cuerda por separado).



Ajuste de la octavación

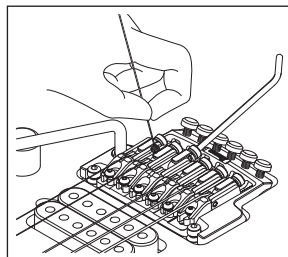
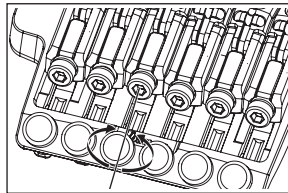
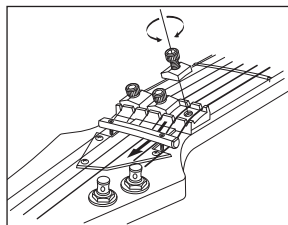
1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y afloje las cuerdas lo suficiente.
2. Use una llave Allen (2 mm) para soltar los tornillos de bloqueo de la silleta y ajuste la posición de la silleta.

※ Antes de comprobar la octavación, apriete firmemente los tornillos de bloqueo de la silleta y afine la guitarra correctamente. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta y los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



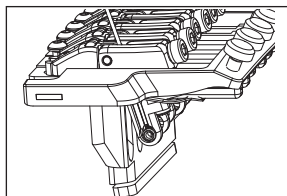
Sustitución de las cuerdas

1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los pernos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y saque la cuerda de la clavija de afinación.
2. Use una llave Allen (3 mm) para soltar el tornillo de tope de cuerda de la unidad del trémolo y, a continuación, saque la cuerda de la silleta y retírela.
3. Use un cortaalambres para cortar el extremo de bola de la nueva cuerda.
4. Inserte el extremo de la cuerda que acaba de cortar entre la silleta y el bloque de soporte de la cuerda, y apriete el tornillo de tope de cuerda para fijar la cuerda.
5. Enrolle la cuerda alrededor de la clavija y afínala.
6. Cuando haya terminado de afinar la cuerda, apriete los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



※ También puede insertar las cuerdas con los extremos de bola cortados igual que se haría en un trémolo de bloque convencional.

※ Si quita todas las cuerdas al mismo tiempo, el ángulo de ajuste del trémolo cambiará significativamente, por lo que recomendamos cambiar las cuerdas una por una. Si quita todas las cuerdas al mismo tiempo, la afinación será más fácil si inserta un pedazo de tela bajo el trémolo para asegurarlo, de forma que el ángulo de ajuste no cambie demasiado.



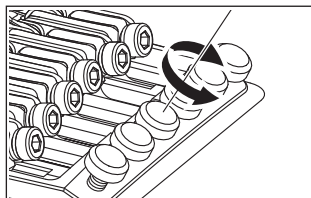
Nota

- Antes de comenzar a afinar, asegúrese de que los tornillos de tope de cuerda están apretados firmemente.

Afinación de precisión

Aun después de haber bloqueado las cuerdas con las tuercas de bloqueo, puede usar los afinadores de precisión para terminar de afinar cada cuerda.

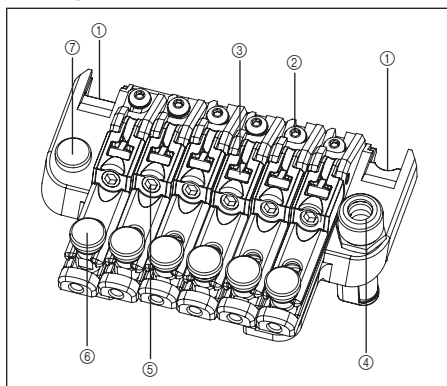
El rango de ajuste una vez bloqueadas las cuerdas será mayor si todos los pernos de afinación de precisión se encuentran en el centro de su rango de ajuste antes de comenzar la afinación.



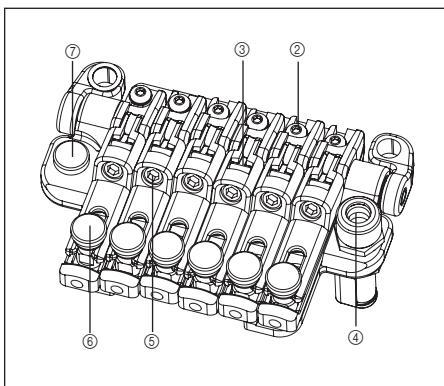


Puente de trémolo Edge-Zero / ZR-2

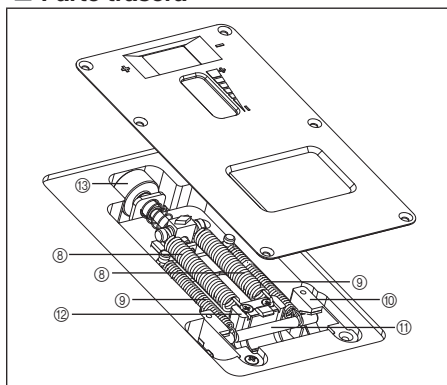
■ Edge-Zero



■ ZR2



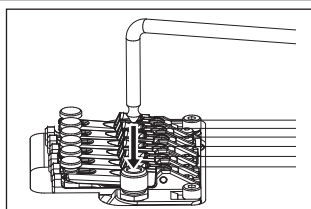
■ Parte trasera



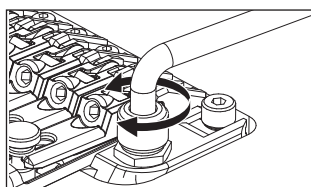
- ① Filo anclaje puente
- ② Tornillo bloqueo silleta
- ③ Bloque de soporte de la cuerda
- ④ Alojamiento de la palanca
- ⑤ Tornillo de tope de cuerda
- ⑥ Tornillo microafinación
- ⑦ Tornillo de ajuste de octavación
- ⑧ Muelle principal
- ⑨ Muelle secundario
- ⑩ Tope
- ⑪ Varilla de tope
- ⑫ Bloque del trémolo
- ⑬ Manilla de ajuste del muelle

Colocación de la palanca del trémolo

1. La palanca del trémolo presenta un diseño de acoplamiento a presión. Sujete la palanca del trémolo por el ángulo y empújela firmemente por el receptáculo del plato base.



2. Use el tapón de ajuste de la torsión para ajustar la dureza de la palanca del trémolo. Si gira el tapón en sentido de las agujas del reloj, la palanca estará más dura y, si lo gira en sentido contrario a las agujas del reloj, estará más suave.



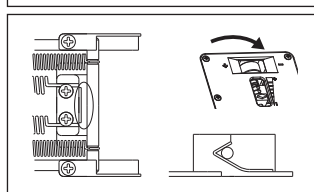
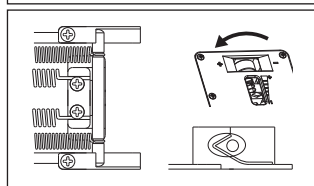
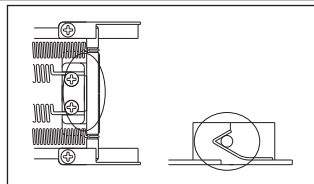
ES

Ajuste del ángulo del trémolo y del sistema Zero Point

El ángulo de ajuste del trémolo se adapta equilibrando la tensión entre las cuerdas y el sistema Zero Point instalado en la parte posterior del cuerpo de la guitarra.

El puente de trémolo Edge-Zero/ZR2 está diseñado de forma que, si el sistema Zero Point se ajusta correctamente, el trémolo quedará más o menos paralelo a la superficie del cuerpo de la guitarra, ofreciendo una ejecución óptima.

Si el sistema Zero Point está ajustado correctamente, la varilla de tope estará en contacto firme con el bloque del trémolo y tocando el tope.

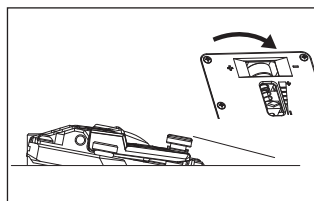
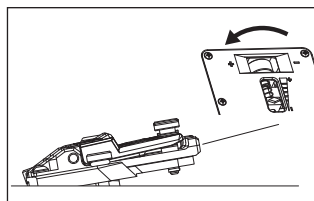
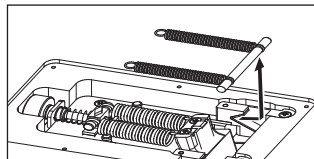


1. Con la guitarra bien afinada, compruebe el sistema Zero Point.
2. Si la varilla de tope no está tocando el tope (es decir, si el bloque del trémolo empuja hacia arriba la varilla de tope), gire la manilla de ajuste del muelle situada en la parte posterior del cuerpo en sentido "positivo" para apretar el muelle principal.
3. Si el bloque del trémolo no está en contacto firme con la varilla de tope (es decir, si el trémolo está inclinado hacia atrás), gire la manilla de ajuste del muelle en sentido "negativo" para aflojar el muelle principal.

Desactivación del sistema Zero Point (uso de la unidad como un trémolo flotante convencional)

Al desactivar el sistema Zero Point también puede usar la unidad como un puente de trémolo flotante convencional.

Cuando el sistema Zero Point está desactivado, el ángulo en que se fija el trémolo se ajustará equilibrando la tensión de las cuerdas y la tensión de los muelles principales fijados al bloque del trémolo. Para conseguir un rendimiento óptimo, ajuste el trémolo de forma que quede más o menos paralelo con la superficie del cuerpo de la guitarra.



1. Manteniendo la palanca hacia arriba (es decir, con el bloque del trémolo alejado de la varilla de tope), retire la varilla de tope y el muelle secundario.
2. Con la guitarra bien afinada, compruebe el ángulo del trémolo.
3. Si el trémolo está inclinado hacia delante, gire la manilla de ajuste del muelle en sentido "positivo" para apretar el muelle principal.
4. Si el trémolo está inclinado hacia atrás, gire la manilla de ajuste del muelle en sentido "negativo" para aflojar el muelle principal.

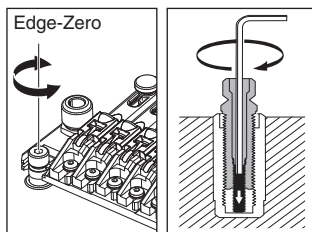
※ Si ajusta el ángulo del trémolo con el sistema Zero Point desactivado, la afinación se verá afectada, ya que el equilibrio entre la tensión de las cuerdas y los muelles cambiará cada vez que ajuste la tensión de los muelles del trémolo. Mientras hace este ajuste, deberá afinar la guitarra repetidamente.

Bloqueo del perno (puente de trémolo Edge Zero)

El puente de trémolo Edge-Zero cuenta con una función de bloqueo del perno.

1. Inserte una llave Allen (2 mm) a través del orificio situado en la parte superior del perno.
2. Gire el tornillo de bloqueo del perno en sentido de las agujas del reloj, apretándolo hasta que haga contacto con la tuerca de anclaje y ya no pueda girar más.

※ Para soltar el bloqueo del perno, afloje el tornillo.



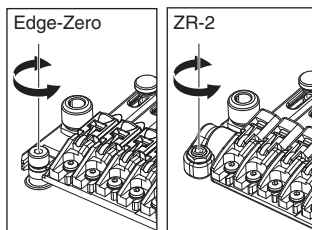
Ajuste de la acción

Para ajustar la altura de toda la unidad del trémolo, use una llave Allen (3 mm) para girar los pernos situados a la derecha y a la izquierda de la unidad del trémolo. (No es posible realizar ajustes para cada cuerda por separado).



Nota

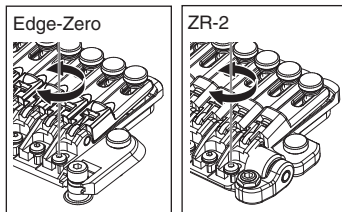
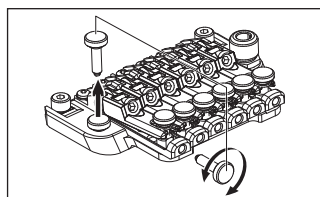
- Asegúrese de que el bloqueo del perno está suelto antes de ajustar la acción.



Ajuste de la octavación

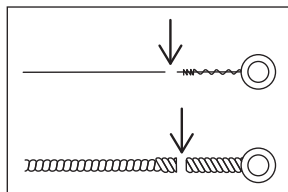
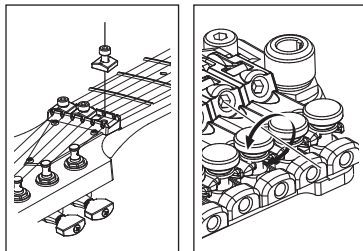
1. Extraiga los tornillos de octavación guardados en la unidad del trémolo y apriételos en los orificios de ajuste en la parte posterior de la silleta hasta que el extremo de cada tornillo toque la pared de la unidad del trémolo.
2. Use una llave Allen (2 mm) para soltar el tornillo de bloqueo de la silleta y gire el tornillo de ajuste de octavación para adaptar la posición de la silleta.

※ Antes de comprobar la octavación, apriete firmemente los tornillos de bloqueo de la silleta y afine la guitarra correctamente. Antes de comenzar a afinar, use una llave Allen (3 mm) para soltar los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta y los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo, y guarde los tornillos de octavación dentro de la unidad del trémolo.



Sustitución de las cuerdas

1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los pernos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y saque la cuerda de la clavija de afinación.
2. Use una llave Allen (3 mm) para soltar el tornillo de tope de cuerda de la unidad del trémolo y, a continuación, saque la cuerda de la silleta y retírela.
3. Use un cortaalambres para cortar el extremo de bola de la nueva cuerda.
4. Inserte el extremo de la cuerda que acaba de cortar entre la silleta y el bloque de soporte de la cuerda, y apriete el tornillo de tope de cuerda para fijar la cuerda.
5. Enrolle la cuerda alrededor de la clavija y afinela.
6. Cuando haya terminado de afinar la cuerda, apriete los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



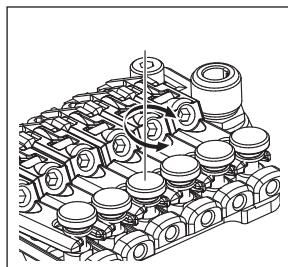
Nota

- Antes de comenzar a afinar, asegúrese de que los tornillos de tope de cuerda están apretados firmemente.

Afinación de precisión

Aun después de haber bloqueado las cuerdas con las tuercas de bloqueo, puede usar los afinadores de precisión para terminar de afinar cada cuerda.

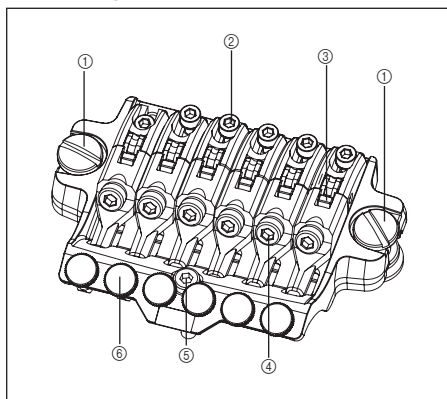
El rango de ajuste una vez bloqueadas las cuerdas será mayor si todos los pernos de afinación de precisión se encuentran en el centro de su rango de ajuste antes de comenzar la afinación.





Puente FX Edge III/FX Edge III-8

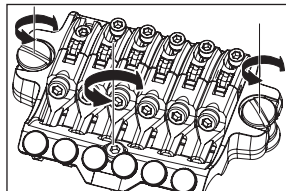
■ FX Edge III



- ① Tornillo principal
- ② Tornillo bloqueo silleta
- ③ Bloque de soporte de la cuerda
- ④ Tornillo de tope de cuerda
- ⑤ Tornillo posterior
- ⑥ Tornillo microafinación

Ajuste de la acción

1. Para ajustar la altura de la cuerda, utilice un destornillador plano para girar los pernos principales a la derecha y a la izquierda del puente para ajustar la altura de la unidad de trémolo. (No es posible ajustar la altura de cada cuerda individualmente).
2. Use una llave Allen (3 mm) para girar los tornillos posteriores, ajustándolos de forma que el puente quede más o menos paralelo con la superficie del cuerpo de la guitarra.



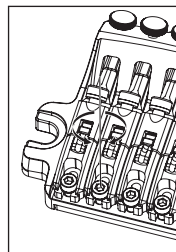
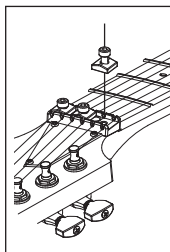
※ Como la acción variará al ajustar los pernos posteriores, recomendamos que compruebe la acción final una vez ajustados los pernos posteriores.

Para evitar que los orificios sufran daños, afloje las cuerdas lo suficiente antes de ajustar los pernos principales, de forma que no tenga que ejercer una fuerza excesiva para girar los pernos.

Ajuste de la octavación

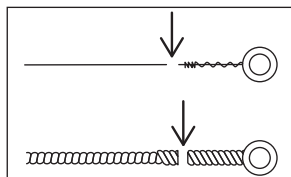
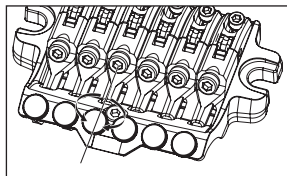
1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y afloje las cuerdas lo suficiente.
2. Use una llave Allen (2 mm) para soltar el tornillo de bloqueo de la silleta y ajuste la posición de la silleta.

※ Antes de comprobar la octavación, apriete firmemente los tornillos de bloqueo de la silleta y afine la guitarra correctamente. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta y los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



Sustitución de las cuerdas

1. Use una llave Allen (3 mm) para soltar los pernos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo y saque la cuerda de la clavija de afinación.
2. Use una llave Allen (3 mm) para soltar el tornillo de tope de cuerda del puente y, a continuación, saque la cuerda de la silleta y retírela.
3. Use un cortaalambres para cortar el extremo de bola de la nueva cuerda.
4. Inserte el extremo de la cuerda que acaba de cortar entre la silleta y el bloque de soporte de la cuerda, y apriete el tornillo de tope de cuerda para fijar la cuerda.
5. Enrolle la cuerda alrededor de la clavija y afínela.
6. Cuando haya terminado de afinar la cuerda, apriete los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo.



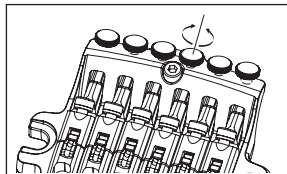
Nota

- Antes de comenzar a afinar, asegúrese de que los tornillos de tope de cuerda están apretados firmemente.

Afinación de precisión

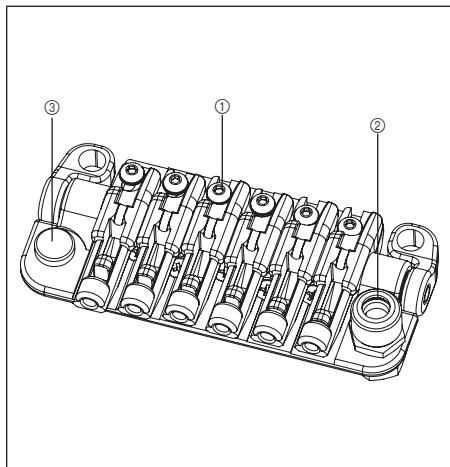
Aun después de haber bloqueado las cuerdas con las tuercas de bloqueo, puede usar los afinadores de precisión para terminar de afinar cada cuerda.

El rango de ajuste una vez bloqueadas las cuerdas será mayor si todos los pernos de afinación de precisión se encuentran en el centro de su rango de ajuste antes de comenzar la afinación.



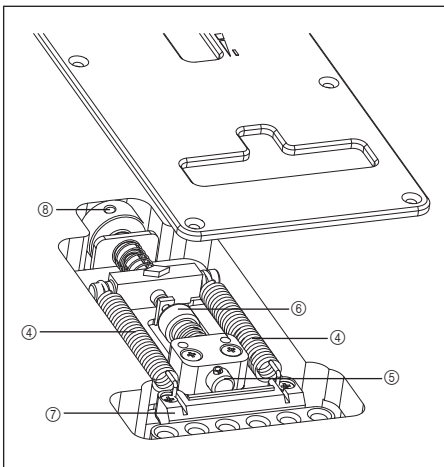


■ Vista general



- ① Tornillo bloqueo silleta
- ② Alojamiento de la palanca
- ③ Tornillo de ajuste de octavación

■ Parte trasera

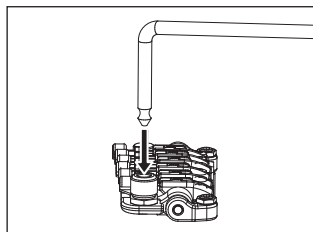


- ④ Muelle del trémolo
- ⑤ Tope del bloque del trémolo
- ⑥ Botón tope del bloque del trémolo
- ⑦ Bloque del trémolo
- ⑧ Manilla de ajuste del muelle

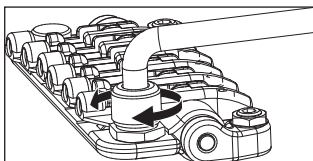
Colocación de la palanca del trémolo

- 1.** La palanca del trémolo presenta un diseño de acoplamiento a presión.

Sujete la palanca del trémolo por el ángulo y empújela firmemente por el receptáculo del plato base hasta que encaje en su lugar.



- 2.** La dureza de la palanca del trémolo puede ajustarse con el tapón de ajuste de la torsión. Si gira el tapón en sentido de las agujas del reloj aumentará la dureza de la palanca y, si lo hace en sentido contrario a las agujas del reloj, la palanca será más suave.



Adaptación del ángulo de ajuste del trémolo

El ángulo del trémolo se ajusta según el equilibrio entre la tensión de las cuerdas y de los muelles del trémolo instalados en la cara posterior del cuerpo de la guitarra.

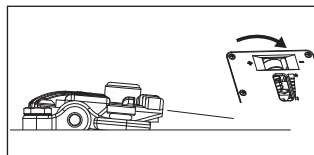
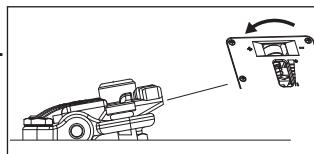
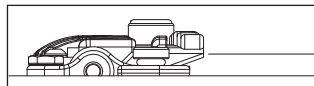
El trémolo ofrecerá un rendimiento óptimo si se ajusta de forma que quede más o menos paralelo con la superficie del cuerpo de la guitarra.

1. Con la guitarra bien afinada, compruebe el ángulo del trémolo.

2. Si el trémolo está inclinado hacia delante, gire la manilla de ajuste del muelle situada en la parte posterior del cuerpo de la guitarra en sentido "positivo" para apretar los muelles del trémolo.

3. Si el trémolo está inclinado hacia atrás, gire la manilla de ajuste del muelle en sentido "negativo" para aflojar los muelles del trémolo.

✖ Como el equilibrio de la tensión entre las cuerdas y los muelles cambia cada vez que se ajusta la tensión de los muelles del trémolo, el ajuste del ángulo del trémolo flotante afectará a la afinación. Mientras hace este ajuste, deberá afinar la guitarra repetidamente.



Tope de palanca arriba

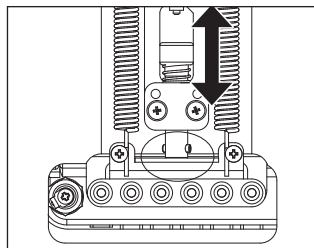
El sistema SynchroniZR presenta una función de tope de palanca arriba. Esta función desactiva el estado flotante limitando el rango de subida de la palanca.

1. Asegúrese de que el trémolo está ajustado de forma que quede más o menos paralelo con la superficie del cuerpo de la guitarra.

2. Retire la tapa de los muelles del trémolo y gire la manilla del tope de palanca arriba de forma que la punta del tope toque el bloque del trémolo.

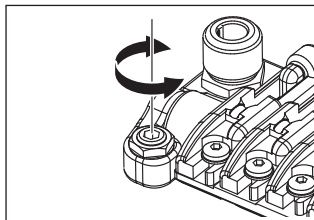
3. Una vez más, asegúrese de que el trémolo está en paralelo con la superficie del cuerpo de la guitarra y gire la manilla de ajuste de los muelles varias vueltas en sentido "positivo".

✖ Si la tensión de los muelles del trémolo es demasiado floja, las cuerdas tirarán del bloque del trémolo, haciendo que la afinación sea inestable. Si tiene este problema durante la afinación, gire la manilla de ajuste de los muelles aún más en sentido "positivo".



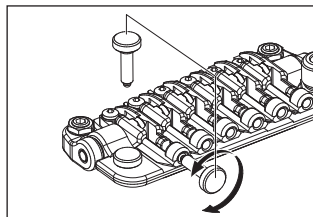
Ajuste de la altura de las cuerdas

Para ajustar la altura de las cuerdas, ajuste la altura de toda la unidad del trémolo con una llave Allen (3 mm), girando los pernos situados a la derecha y a la izquierda de la unidad del trémolo. (No es posible ajustar la altura de cada cuerda individualmente).



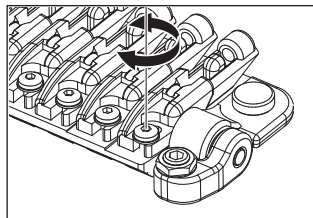
Octavación

1. Extraiga los tornillos de octavación guardados en la unidad del trémolo y apriételos en los orificios de ajuste en la parte posterior de la silleta hasta que el extremo de cada tornillo toque la pared de la unidad del trémolo.



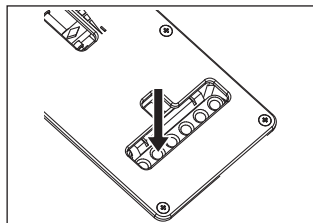
2. Use una llave Allen (2 mm) para soltar el tornillo de bloqueo de la silleta y gire el tornillo de ajuste de octavación para adaptar la posición de la silleta.

※ Antes de comprobar la octavación, apriete firmemente los tornillos de bloqueo de la silleta y afine la guitarra correctamente. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta y los tornillos de la tuerca de presión de la cejuela de bloqueo, y guarde los tornillos de octavación dentro de la unidad del trémolo.



Cambio de cuerdas

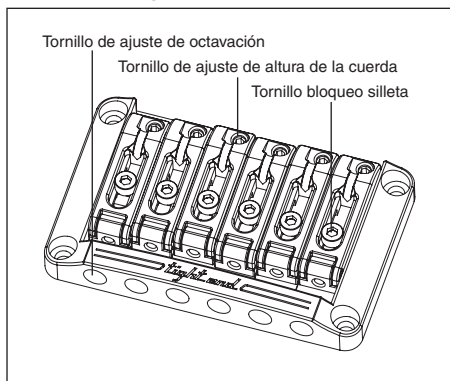
Instale las cuerdas nuevas pasándolas a través del bloque del trémolo desde la parte posterior de la guitarra.



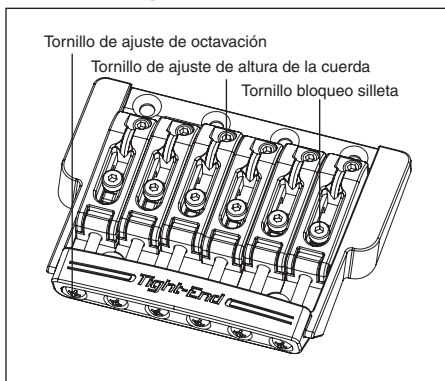


Puentes Tight-End y Tight-End R (para modelos de 6 y 7 cuerdas)

■ Puente Tight-End



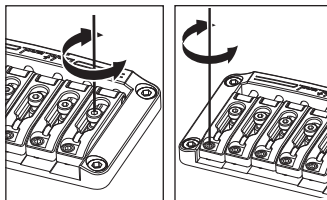
■ Puente Tight-End R



Ajuste de la acción

1. Use una llave Allen (2 mm) para soltar los tornillos de bloqueo de la silleta.
2. Para ajustar la altura de la silleta, use la llave Allen (2 mm) para girar los tornillos de ajuste de la altura de la silleta.

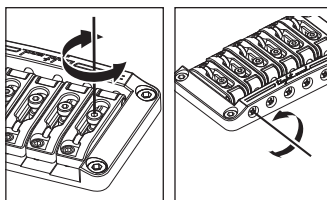
※ Cuando haya terminado de hacer los ajustes, apriete los tornillos de bloqueo de la silleta.



Ajuste de la octavación

1. Use una llave Allen (2 mm) para soltar los tornillos de bloqueo de la silleta.
2. Use un destornillador Phillips para ajustar la posición de la silleta girando el tornillo de octavación.
3. Use una llave Allen (2 mm) para apretar los tornillos de bloqueo de la silleta y use un destornillador Phillips para apretar ligeramente el tornillo de octavación en sentido de las agujas del reloj. (Apriételo ligeramente para no que no afecte a la posición de la silleta).

※ Asegúrese de que la guitarra está bien afinada antes de comprobar la octavación.



Cambio de cuerdas

Para instalar una nueva cuerda, pásela a través de la abrazadera de tope de la cuerda desde la parte posterior del cuerpo de la guitarra.



PUENTE TIGHT-TUNE

El puente Tight-Tune consigue el nivel óptimo de estabilidad y transferencia de sonido, a la vez que suprime las vibraciones innecesarias ya que permite bloquear todas las partes móviles del puente. El puente dispone de una función de bloqueo del perno que permite fijar el puente al cuerpo de manera más segura. Además, el cordal dispone de una función de bloqueo del extremo de bola que permite retener dicho extremo para que no se salga.

Ajustar la acción

Aloje las tuercas de bloqueo (D) en las caras derecha e izquierda del puente, y ajuste la altura del puente girando los tornillos de bloqueo del perno (E) con una llave Allen de 3 mm. Tenga en cuenta que no resulta posible ajustar la altura de las cuerdas individuales. Una vez completado el ajuste, apriete las tuercas de bloqueo.

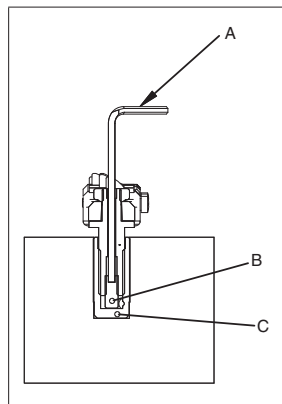
Función de bloqueo del perno

Una vez ajustada la acción, gire el tornillo de bloqueo del perno (B) en sentido horario y en el interior del perno con una llave Allen de 2 mm. Siga apretando hasta que el tornillo de bloqueo del perno entre en contacto con el perno de fijación (C) y el perno ya no pueda girar más.



Nota

Cuando ajuste la acción, primero afloje siempre totalmente el tornillo de bloqueo del perno (B) girándolo en sentido anti horario con una llave Allen de 2 mm. En caso contrario, podría provocar daños en el instrumento.



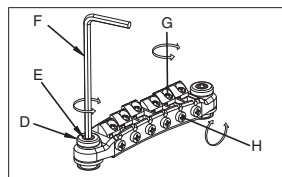
Ajustar la octavación

Aloje los tornillos de bloqueo de la silleta (G) con un destornillador Phillips, y gire el tornillo de octavación (H) con un destornillador Phillips para ajustar la posición de la silleta. Afine la guitarra y compruebe la octavación. Repita estos ajustes hasta alcanzar la octavación requerida, y luego apriete los tornillos de bloqueo de la silleta.



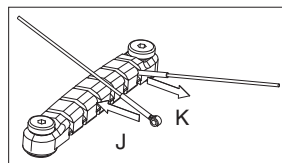
Nota

Si el tornillo de octavación está flojo (H) puede producirse resonancia. En este caso, apriete ligeramente el tornillo de octavación, teniendo cuidado con que la silleta no se mueva.



Sustitución de las cuerdas

Inserte el extremo de bola de la cuerda en la ranura del cordal, en la dirección mostrada por la flecha (J). La función de bloqueo del extremo de bola retiene dicho extremo. Para retirar la cuerda, tire de ella en la dirección indicada en la figura (K).

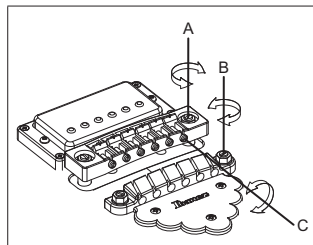




PUENTE GIBRALTAR 08/CORDAL QUICK CHANGE 08"

Para ajustar la altura de las cuerdas, gire los pernos situados en los extremos izquierdo y derecho del puente (A) con un destornillador plano (-). Antes de proceder al ajuste, afloje la contratuerca con una llave de tuercas de 8 mm. Después del ajuste, vuelva a apretar la contratuerca para fijar el puente. Para ajustar la altura del cordal gire los tornillos de ajuste (B) en ambos lados con un destornillador plano (-). Antes de proceder al ajuste, afloje la contratuerca. Después del ajuste, vuelva a fijarla del mismo modo que el puente. Si la contratuerca del puente y del cordal está floja, puede provocar distorsión o resonancia. Al elevar el cordal se reducirá la tensión de las cuerdas; esto producirá un tacto más blando y será más fácil mover las cuerdas.

Para ajustar la octavación de cada silleta, gire el tornillo de ajuste de octavación con un destornillador plano (-) (C).

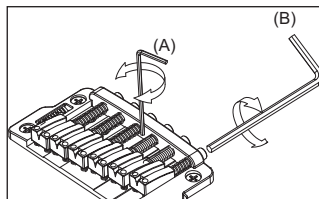


PUENTE GIBRALTAR ESTÁNDAR (MODELOS DE 7/8 CUERDAS)

Para instalar una nueva cuerda, pásela a través de la abrazadera de tope de la cuerda desde la parte posterior del cuerpo de la guitarra.

Para ajustar la altura de las cuerdas, utilice una llave hexagonal de 1,5 mm para girar y ajustar la altura de cada silleta (A).

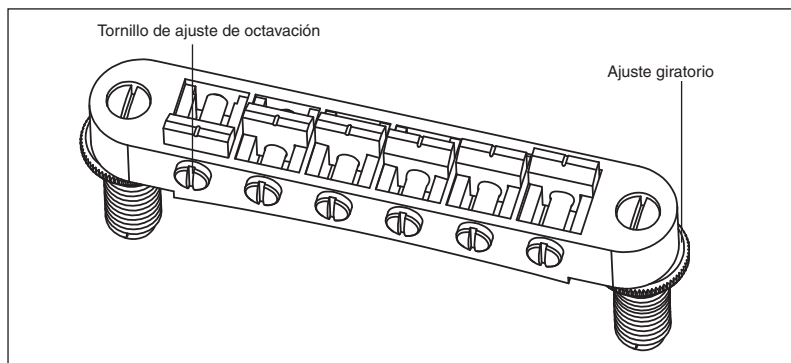
Para ajustar la octavación, utilice una llave hexagonal de 2,5 mm para girar los tornillos de ajuste de la octavación de cada silleta en la parte posterior del puente (B).



※ El método de ajuste es el mismo para los modelos de 7 y 8 cuerdas.

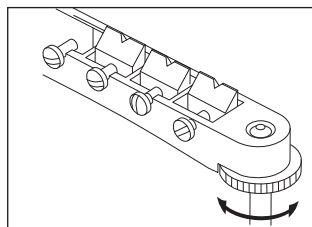


Puente Full Tune II



Ajuste de la acción

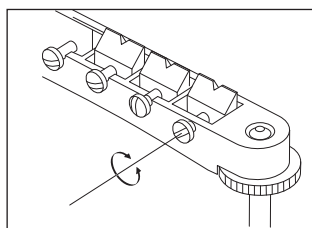
Para ajustar la altura de todo el puente, utilice sus dedos para girar los dispositivos giratorios de ajuste situados en los extremos derecho e izquierdo del puente. (No es posible ajustar la altura de cada cuerda individualmente).



Ajuste de la octavación

Para ajustar la posición de la silleta, utilice un destornillador plano para girar el tornillo de octavación.

※ Afine la guitarra correctamente antes de comprobar la octavación.

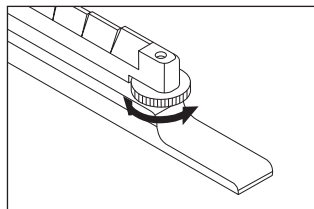




Puente de guitarra de caja

Ajuste de la acción

Para ajustar la altura de todo el puente, utilice sus dedos para girar los dispositivos giratorios de ajuste situados en los extremos derecho e izquierdo del puente. (No es posible ajustar la altura de cada cuerda individualmente).



Ajuste de la octavación

Para ajustar la posición de la silleta, afloje las cuerdas y mueva el puente completo.

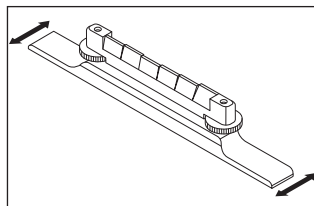
※ Afine la guitarra correctamente antes de comprobar la octavación.



Nota

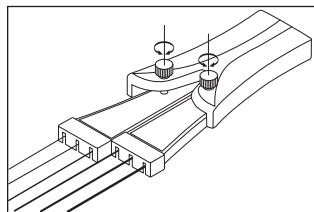
Al aflojar las cuerdas, tenga cuidado de que el puente no se caiga.

Al cambiar las cuerdas, le recomendamos que las sustituya una por una, ya que la posición del puente cambiará si quita todas las cuerdas de una vez.



Cordal para guitarras de caja (GB10)

El cordal para guitarras de caja instalado en el modelo GB10 permite ajustar por separado la altura de las cuerdas 1--3 y la altura de las cuerdas 4--6. Al apretar la manilla de ajuste bajará la altura del cordal.



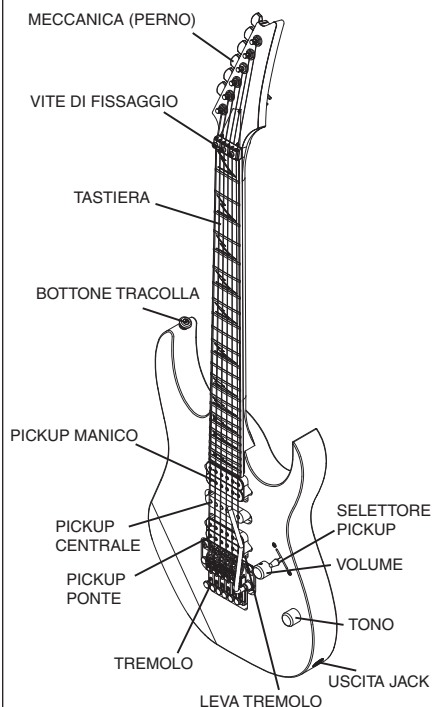
Pivote de correa para guitarras de caja

Las guitarras de caja no tienen el pivote de la correa instalado en el lado del mástil del instrumento. Si desea instalar un pivote de correa, póngase en contacto con su distribuidor o con Ibanez Corporation.

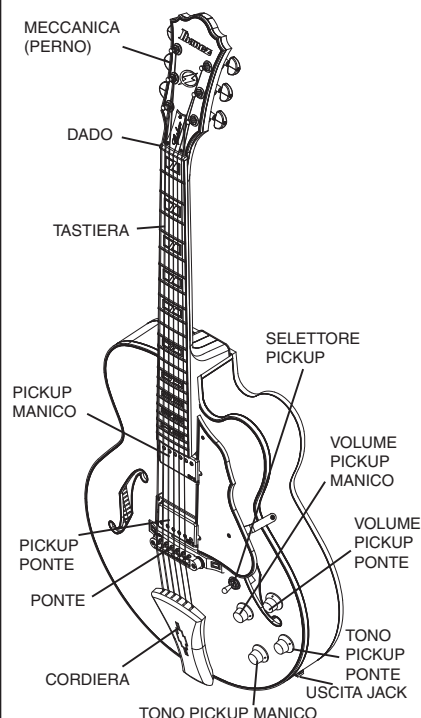


IDENTIFICAZIONE DELLE PARTI DELLA CHITARRA

Chitarra elettrica



Chitarra semiacustica o acustica



※ Le illustrazioni mostrano alcuni modelli tipici prodotti da Ibanez. La chitarra in vostro possesso potrebbe non corrispondere a uno dei modelli illustrati.

※ Le regolazioni possono differire in base al tipo di tremolo/ponte montato sul proprio strumento.

Per maggiori dettagli, fare riferimento alla sezione del tremolo/ponte corrispondente.

※ Per maggiori dettagli sui controlli di ciascun modello, fare riferimento al capitolo "CONTROLS (Controlli)" (pag. 206).



ACCESSORI INCLUSI

	Strumento multiuso	Leva tremolo	Chiave a brugola					Chiave a esagono incassato da 8 mm
			1,5 mm	2 mm	2,5 mm	3 mm	4 mm	
Ponte tremolo Edge	○	○					○	
Ponte tremolo Edge-Pro	○	○					○	
Ponte tremolo Edge-Zero	○	○						
Ponte tremolo Lo-Pro Edge	○	○					○	
Ponte FX EdgeIII-8	○							
Ponte tremolo SynchroniZR	○	○						
Ponte Gibraltar Standard 6/7/8	○							
PONTE GIBRALTAR 08/ CORDIERA QUICK CHANGE 08	○							○
PONTE / CORDIERA TIGHT-TUNE	○							
Ponte Tight-End / Ponte Tight-End R	○							
Ponte tremolo ZR-2	○	○						
Chitarre semiacustiche			○				○	○
Chitarre acustiche								○

※ I modelli equipaggiati con pickup DiMarzio includono una chiave a brugola per la regolazione dell'altezza dei poli dei pickup.

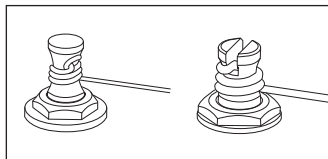
※ I modelli con il ponte tremolo Edge-Zero a 7 corde includono molle di rinforzo supplementari.



SOSTITUZIONE DELLE CORDE

Le corde con il tempo si deteriorano, causando ronzio e un'intonazione imprecisa. Sostituire le corde non appena si notano segni di ruggine o scolorimento. Si raccomanda di sostituire l'intera muta di corde in una volta. Corde piegate, attorcigliate o danneggiate non possono produrre un suono accettabile e per tale motivo non dovrebbero essere utilizzate.

Avvolgere due o tre volte la corda attorno al perno della meccanica partendo da sopra, utilizzando circa 5-7 cm di corda e prestando attenzione a non farla incrociare. Se possibile, rimuovere le corde singolarmente; evitare di togliere l'intera muta in una volta. In questo modo si riduce il rischio di stressare il manico e di condizionare il bilanciamento del tremolo.



※ Con i perni AUTO-TRIM, le corde devono essere avvolte in modo diverso. Per maggiori dettagli, fare riferimento al capitolo "Perno AUTO-TRIM" (pag. 154).

※ Il metodo di montaggio e smontaggio delle corde differisce in base al tipo di tremolo/ponte di cui è dotata la chitarra. Per maggiori dettagli, fare riferimento al tremolo/ponte montato sulla propria chitarra.



ACCORDATURA

Le chitarre Ibanez vengono impostate in fabbrica sulle seguenti accordature.

	1 ^a	2 ^a	3 ^a	4 ^a	5 ^a	6 ^a	7 ^a	8 ^a
6 corde	MI4	SI3	SOL3	RE3	LA2	MI2	-	-
7 corde	MI4	SI3	SOL3	RE3	LA2	MI2	SI1	-
8 corde	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

I seguenti modelli sono accordati in maniera differente.

RGD, APEX

	1 ^a	2 ^a	3 ^a	4 ^a	5 ^a	6 ^a	7 ^a
6 corde	RE4	LA3	FA3	DO3	SOL2	RE2	-
7 corde	RE4	LA3	FA3	DO3	SOL2	RE2	LA1

TAM100

1 ^a	2 ^a	3 ^a	4 ^a	5 ^a	6 ^a	7 ^a	8 ^a
E	B	G	D	A	E	B	E

Utilizzare un accordatore o un diapason per intonare ciascuna corda in base alle frequenze sopra indicate. Se l'intonazione risulta crescente, allentare la corda per abbassarne l'intonazione, quindi avvolgerla lentamente fino a raggiungere l'intonazione corretta. Questo è il modo più semplice di ottenere un'accordatura stabile. Un'accordatura differente o l'utilizzo di una muta di corde dalla scalatura diversa potrebbe rendere necessaria la regolazione del manico o dell'intonazione. Per maggiori dettagli sulla regolazione del manico o dell'intonazione, fare riferimento ai capitoli "REGOLAZIONE DEL MANICO" (pag. 152) e "INTONAZIONE" (pag. 152).



Nota

- L'utilizzo di corde non adatte alla chitarra elettrica o di accordature dalla tensione estrema potrebbero causare la rottura di parti dello strumento e provocare infortuni.

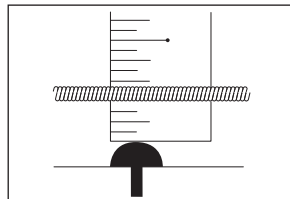


ALTEZZA DELLE CORDE

Il termine "action" si riferisce alla distanza che intercorre tra i tasti (ferretti) e le corde.

Per misurare l'action, accordare con precisione la chitarra; quindi, posizionare un righello al 14° tasto e misurare la distanza che intercorre tra la sommità del ferretto e il fondo della corda.

In generale, questa distanza dovrebbe essere compresa tra 1,5 e 1,7 mm per il MI cantino e tra 2,0 mm e 2,2 mm per il MI basso. Per le chitarre a sette corde, il valore della settima corda dovrebbe essere compreso tra 2,2 mm e 2,4 mm. Per le chitarre a 8 corde, il valore dell'ottava corda dovrebbe essere compreso tra 2,4 e 2,6 mm.



I valori di action delle altre corde possono essere calcolati in modo proporzionale, in maniera che la distanza aumenti gradualmente dalla seconda corda verso la corda più bassa in tonalità.

Se l'action è troppo grande, lo strumento sarà difficile da suonare. Se l'action è troppo bassa, lo strumento potrebbe produrre ronzii, note mute o avere un sustain insufficiente.

Se si verificano ronzii o note mute anche dopo aver impostato correttamente l'action, è possibile che si renda necessario regolare la curvatura del manico.

Per maggiori dettagli, consultare il capitolo "REGOLAZIONE DEL MANICO" (pag. 152).

※ Il metodo di regolazione dell'action dipende dal tipo di tremolo/ponte di cui è dotata la chitarra. Per maggiori dettagli, fare riferimento alla sezione del tremolo/ponte corrispondente.

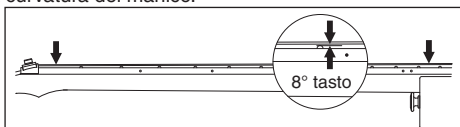


REGOLAZIONE DEL MANICO

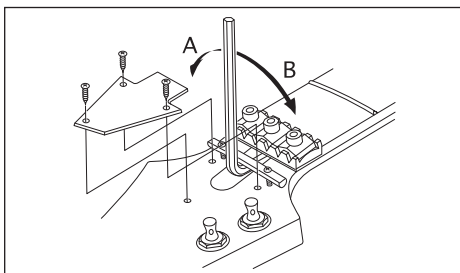
Il manico è costantemente sotto tensione a causa delle corde, e la sua curvatura può essere condizionata non solo dalla scalatura delle corde e dal tipo di accordatura, ma anche dai cambiamenti di temperatura e umidità. Se anche dopo aver regolato l'action e aver accordato lo strumento correttamente si verificano ronzii o note mute, è buona norma controllare e regolare la curvatura del manico.

1. Controllo della curvatura del manico

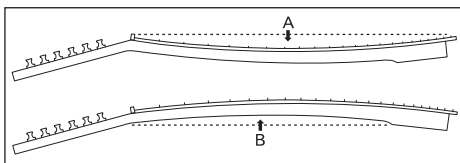
Dopo aver accordato la chitarra, tenerla in posizione per suonare. Premere la prima corda al primo tasto e al tasto più vicino al punto in cui il manico si unisce al corpo, e misurare la distanza tra la corda e il ferretto all'ottavo tasto. Ripetere l'operazione per la corda più bassa, ed effettuare la regolazione in modo che la distanza sia nell'ordine di 0,3-0,5 mm.



2. Se la distanza è inferiore a 0,3 mm, utilizzare la chiave a brugola inclusa con la chitarra per girare il dado del truss rod nella paletta in direzione 'A', per aumentare la convessità della curvatura del manico.



3. Se la distanza è maggiore di 0,5 mm, girare la chiave a brugola o a esagono incassato in direzione 'B', per rendere la curvatura del manico più concava.



※ Agire sul dado del truss rod con piccoli incrementi di un quarto di giro, controllando di volta in volta l'intonazione.



Nota

- Nel regolare il manico, procedere con cautela. Regolazioni forzate possono danneggiare la chitarra. Se non si è in grado di regolare correttamente il manico, rivolgersi al proprio rivenditore oppure a Ibanez Corporation.



INTONAZIONE

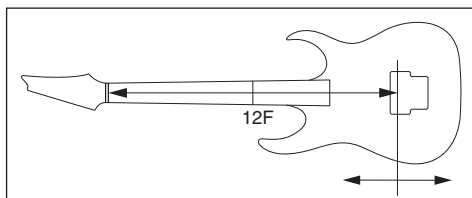
Se si è montata una muta di corde dalla scalatura differente o si sta utilizzando un'accordatura alternativa, è necessario regolare la lunghezza delle corde (intonazione) in modo da assicurare un'intonazione corretta per tutti i tasti della chitarra.

Dopo aver accordato la chitarra con precisione, tenerla in posizione per suonare e confrontare la tonalità di ogni corda premuta all'altezza del 12° tasto con l'armonico suonato all'altezza del medesimo tasto.

Se l'intonazione della nota premuta è calante rispetto all'armonico, spostare in avanti la selletta del tremolo/ponte per accorciare la lunghezza della corda. Viceversa, se l'intonazione della nota premuta è crescente rispetto all'armonico, spostare indietro la selletta per allungare la corda.

※ Utilizzare un accordatore elettronico per controllare accuratamente i valori di intonazione.

※ Il metodo di regolazione delle sellette dipende dal tipo di tremolo/ponte montato sulla chitarra. Per maggiori dettagli, fare riferimento al tremolo/ponte montato sulla propria chitarra.





PULIZIA

Dopo aver suonato, eliminare il sudore e le tracce di olio dalle parti metalliche della chitarra (ad esempio i ferretti, i tasti, le sellette e i dadi). Questo impedirà la formazione di ruggine. La sporcizia o la polvere accumulata sulle parti metalliche ne condiziona il funzionamento.

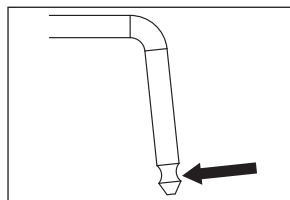
Rimuovere lo sporco ostinato con un panno morbido imbevuto con una piccola quantità di olio.

Per eliminare lo sporco dalle superfici con finitura laccata, non utilizzare detergenti abrasivi o volatili; piuttosto, utilizzare un panno morbido in combinazione con un lucidante specifico per strumenti musicali.

Per eliminare lo sporco dalla superficie di un corpo o di un manico con finitura ad olio, utilizzare una gomma da cancellare, carta vetrata fine a partire dal n. 1000 o lana di acciaio n. 0000. Per far sì che la finitura non si asciughi troppo, lucidare una o due volte all'anno con olio incolore per mobili o con olio per armi da fuoco applicato su lana di acciaio n. 0000 o su un panno.

Le tastiere prive di finitura dovrebbero essere pulite accuratamente con un panno inumidito con una piccola quantità di olio per tastiere, oppure olio di limone di ottima qualità, agendo con cautela fino al bordo del tasto.

Se la leva tremolo cigola durante l'accordatura, applicare un po' di lubrificante sulla dentellatura del segmento più corto della leva tremolo.



BATTERIA

Se la chitarra è dotata di un preamplificatore o equalizzatore integrato, sarà presente anche una batteria di alimentazione.

Sostituire la batteria quando si nota un abbassamento del livello di volume o la distorsione del suono.

Alcuni modelli utilizzano una batteria 006P (9 V), altri una coppia di batterie di tipo AA (1,5 V).

Controllare la batteria montata sulla propria chitarra e sostituirla con una dello stesso tipo.

Le batterie sono allocate nell'apposito vano nella parte posteriore del corpo chitarra.

Nei modelli dotati di batteria, il jack di uscita opera anche come interruttore di accensione; l'inserimento del cavo nel jack determina l'accensione della sezione di amplificazione.



Nota

- Per impedire che la batteria si scarichi, rimuovere il cavo dalla chitarra se questa non deve essere utilizzata per un lungo periodo.



Perno AUTO-TRIM

SOSTITUZIONE DELLE CORDE

■ Smontaggio di una corda

Allentare la corda e ruotare la manopola di bloccaggio sotto il perno per sbloccare la corda.

⚠ Nota

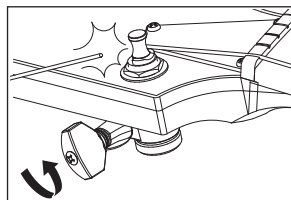
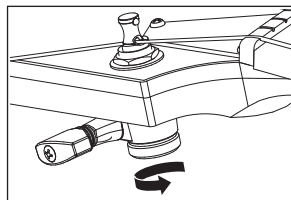
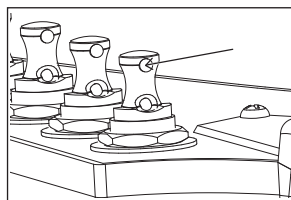
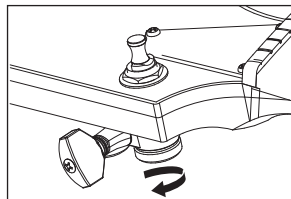
- Prestare attenzione, in quanto la corda potrebbe essere rilasciata all'improvviso subito dopo aver ruotato la manopola.

■ Montaggio di una corda

1. Girare il perno in maniera da orientare il pallino argentato in alto verso il ponte, quindi infilare la corda nel foro del perno.

2. Tirando la corda, ruotare la manopola di bloccaggio per fermare saldamente la corda.

3. Girando la chiave, la corda in eccesso viene tagliata. Continuare con l'accordatura della corda.

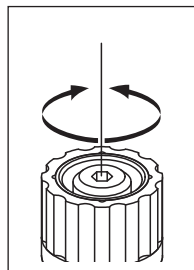
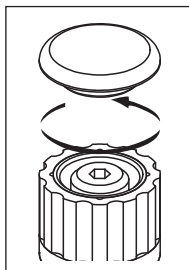


MANOPOLA DI CONTROLLO

Rimozione della manopola di controllo

1. Girare il tappo nella parte superiore della manopola e rimuoverlo.

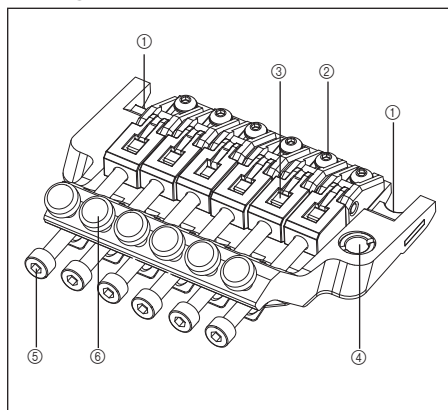
2. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare il mandrino, e togliere la manopola.



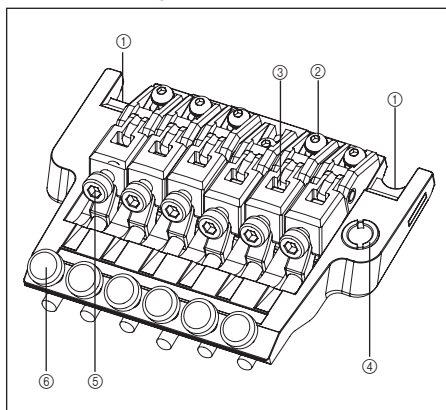


Ponte tremolo Edge/Lo-Pro Edge

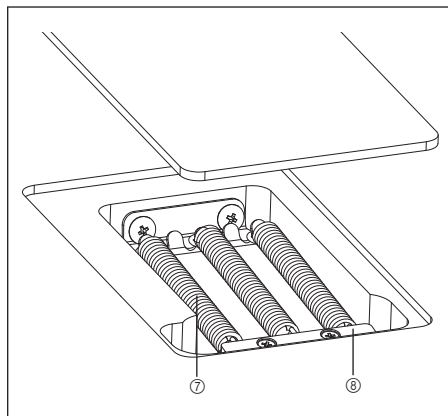
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



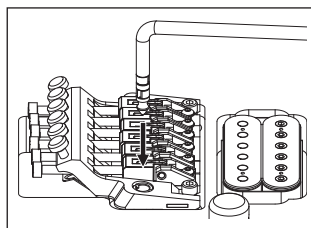
■ Retro



- ① Lama di coltello
- ② Vite blocca-selletta
- ③ Blocco reggicorda
- ④ Sede leva
- ⑤ Vite stringi-blocchetto
- ⑥ Vite di regolazione fine dell'accordatura
- ⑦ Molla del tremolo
- ⑧ Blocco molle

Montaggio della leva tremolo

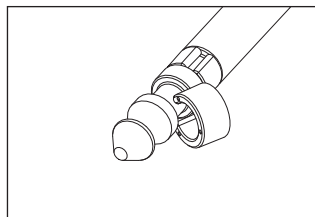
- 1.** La leva tremolo è del tipo a scatto. Afferrare la leva nella parte ad angolo e inserirla fermamente nell'apposita sede sulla piastra base.



2. Il gioco della leva tremolo può essere regolato aggiungendo o togliendo rondelle in Teflon. Utilizzando un buon numero di rondelle è possibile diminuire il gioco della leva; rimuovendole tutte, la leva sarà più libera di oscillare. Le rondelle in Teflon possono essere aggiunte o rimosse diagonalmente attraverso la fessura.

Nota

- Se la leva non rimane salda anche dopo aver aggiunto le rondelle in Teflon, sostituire le rondelle vecchie con delle nuove.



Regolazione dell'inclinazione del tremolo

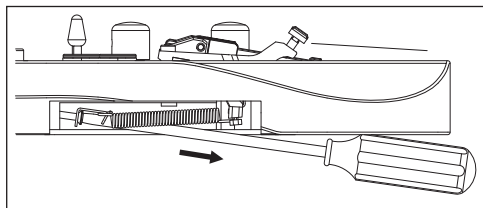
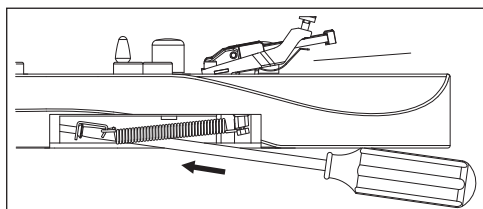
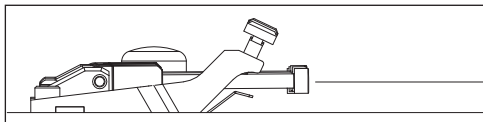
L'angolo di inclinazione del tremolo può essere regolato cambiando il bilanciamento tra la tensione delle corde e la tensione delle molle montate sul retro del corpo chitarra. In una regolazione ideale, il tremolo giace all'incirca orizzontalmente sulla superficie del corpo chitarra.

1. Con la chitarra accordata correttamente, verificare l'inclinazione del tremolo.

2. Se il tremolo è inclinato in avanti, inserire un cacciavite Philips attraverso la fessura della placca di protezione delle molle sul retro della chitarra, e incrementare la tensione delle molle agendo sull'apposita vite.

3. Se il tremolo è inclinato indietro, allentare la vite per diminuire la tensione delle molle.

※ La regolazione dell'inclinazione del tremolo influisce sull'accordatura, dato che il bilanciamento di tensione tra le corde e le molle cambia ogni volta che si modifica la tensione delle molle. Ciò significa che sarà necessario accordare la chitarra a ogni variazione apportata.



Molle del tremolo

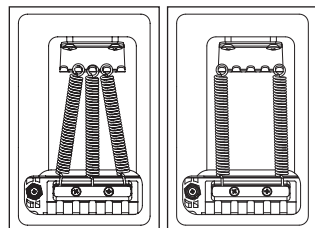
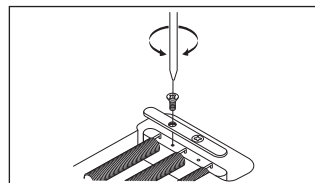
All'uscita dalla fabbrica, la chitarra è fornita di tre molle del tremolo montate in parallelo. Se si nota una variazione significativa nel bilanciamento di tensione tra le corde e le molle, come ad esempio dopo aver montato una muta di corde con scalatura differente, potrebbe essere necessario rimuovere una delle molle, oppure il modo in cui queste sono montate.

1. Utilizzare un cacciavite Philips per rimuovere il dispositivo di bloccaggio delle molle.

2. Se si desidera aumentare la tensione, montare diagonalmente le due molle esterne del tremolo.

3. Se viceversa si desidera allentare la tensione, rimuovere la molla centrale del tremolo.

Se si desidera montare un tremolo a quattro o più molle, utilizzare i fori delle viti dedicati al dispositivo di bloccaggio delle molle. (In questo caso non sarà più possibile rimontare il dispositivo di bloccaggio).



⚠ Nota

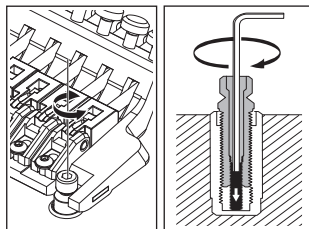
- Allentare a sufficienza le corde prima di montare o rimuovere le molle del tremolo. Rimuovendo tutte le molle, l'unità tremolo si staccherà dalla chitarra.
- Per rimontare in sede il tremolo, inserire l'estremità a lama di coltello nell'incasso tra i piloni, quindi rimontare le molle tremolo.

Bloccaggio dei piloni

Il ponte tremolo Edge/Lo-Pro Edge impiega un meccanismo di bloccaggio dei piloni.

- 1. Inserire una chiave a brugola da 1,5 mm nel foro di entrata del meccanismo di bloccaggio.**
- 2. Girare il pilone di bloccaggio in senso orario, continuando a serrare fino a che il contatto con la borchia di ancoraggio ne impedirà ulteriormente la rotazione.**

※ Il pilone viene rilasciato quando si allenta la rispettiva vite di bloccaggio.

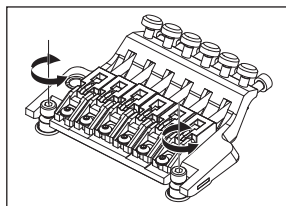


Regolazione dell'action

Per regolare l'altezza dell'intera unità tremolo, utilizzare una chiave a brugola (4mm) e agire sui piloni posizionati ai lati dell'unità stessa. (Non è possibile effettuare la regolazione singolarmente per ogni corda).

⚠ Nota

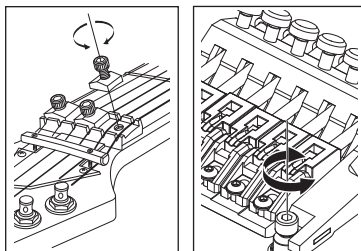
- Assicurarsi che il pilone di bloccaggio sia in posizione di rilascio prima di regolare l'action.



Regolazione dell'intonazione

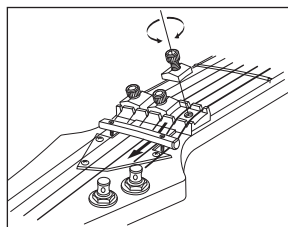
- 1. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e allentare sufficientemente la corda.**
- 2. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio della selletta, e regolarne la posizione.**

※ Prima di controllare l'intonazione, serrare saldamente le viti di bloccaggio della selletta e accordare correttamente la chitarra. Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio della selletta e il bloccacorde alla paletta.

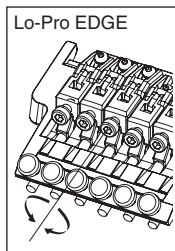
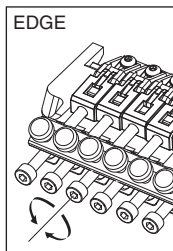


Sostituzione delle corde

1. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e rimuovere la corda dal perno della meccanica.



2. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la vite di arresto della corda sull'unità tremolo; quindi far uscire la corda fuori dalla selletta per rimuoverla.

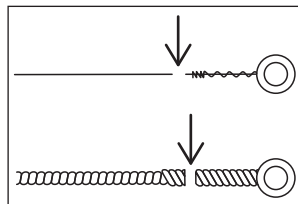


3. Utilizzare delle tronchesi per tagliare il pallino all'estremità della nuova corda.

4. Inserire l'estremità della corda dalla quale è stato rimosso il pallino tra la selletta e il blocco reggicorda, quindi agire sulla vite di arresto della corda per fermarla.

5. Avvolgere la corda sul perno della meccanica e accordarla.

6. Una volta terminata l'accordatura, serrare le viti del bloccacorde alla paletta.



※ Dato che l'inclinazione del tremolo cambia considerevolmente quando le corde vengono rimosse tutte insieme, è consigliabile sostituire una corda alla volta. Se comunque si rende necessario rimuovere insieme tutte le corde, inserire un panno morbido sotto il blocco tremolo, in modo da non far cambiare troppo l'inclinazione del tremolo.

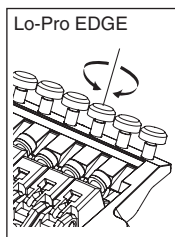
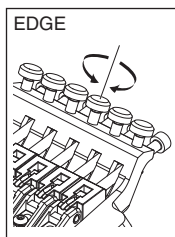


Nota

- Prima di accordare la chitarra, assicurarsi che le viti di arresto delle corde risultino ben serrate.

Accordatura di precisione

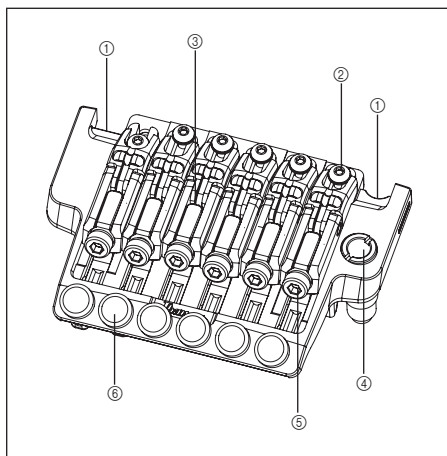
Anche dopo aver agito sui dadi di bloccaggio, è possibile regolare in dettaglio l'intonazione di ciascuna corda utilizzando gli accordatori di precisione. L'intervallo di regolazione delle corde bloccate sarà più ampio se prima di iniziare l'operazione si avrà cura di lasciare le viti degli accordatori di precisione all'incirca a metà del rispettivo margine di azione.





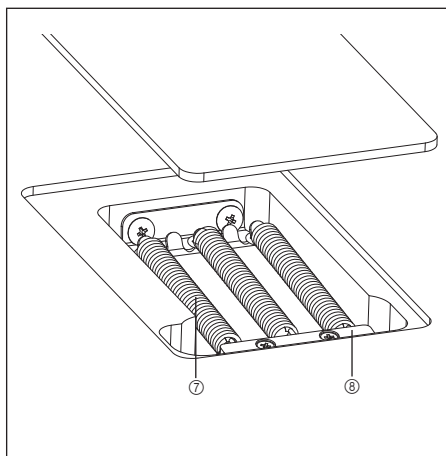
Ponte tremolo Edge-Pro

■ Panoramica



- ① Lama di coltello
- ② Vite blocca-selletta
- ③ Blocco reggicorda
- ④ Sede leva
- ⑤ Vite stringi-blocchetto
- ⑥ Vite di regolazione fine dell'accordatura

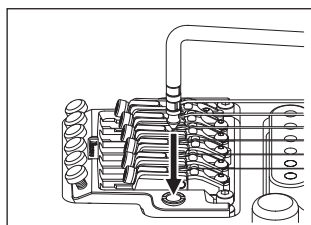
■ Retro



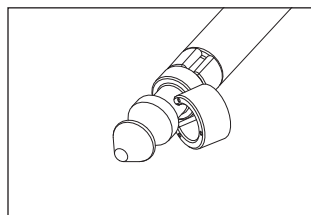
- ⑦ Molla del tremolo
- ⑧ Blocco molle

Montaggio della leva tremolo

1. La leva tremolo è del tipo a scatto. Afferrare la leva nella parte ad angolo e inserirla fermamente nell'apposita sede sulla piastra base, fino a nascondere completamente alla vista le rondelle in Teflon.



2. Il gioco della leva tremolo può essere regolato aggiungendo o togliendo le rondelle in Teflon. Aggiungendo delle rondelle è possibile diminuire il gioco della leva; togliendole tutte, la leva sarà libera di oscillare. Le rondelle possono essere aggiunte o rimosse diagonalmente attraverso la fessura.



⚠ Nota

- Se la leva non rimane salda anche dopo aver aggiunto le rondelle in Teflon, sostituire le rondelle vecchie con delle nuove.

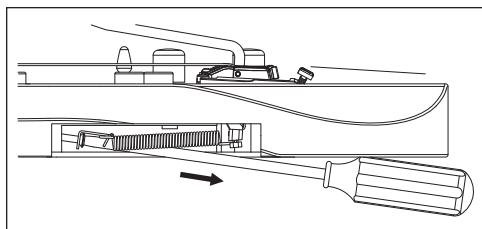
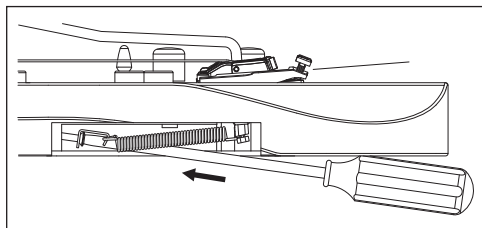
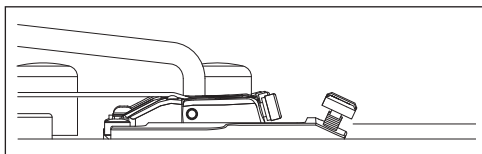
Regolazione dell'inclinazione del tremolo

L'angolo di inclinazione del tremolo può essere regolato cambiando il bilanciamento tra la tensione delle corde e la tensione delle molle montate sul retro del corpo chitarra. In una regolazione ideale, il tremolo giace all'incirca orizzontalmente sulla superficie del corpo chitarra.

1. Con la chitarra accordata correttamente, verificare l'inclinazione del tremolo.

2. Se il tremolo è inclinato in avanti, inserire un cacciavite Philips attraverso la fessura della placca di protezione delle molle sul retro della chitarra, e incrementare la tensione delle molle agendo sull'apposita vite. Se il tremolo è inclinato indietro, allentare la vite per diminuire la tensione delle molle.

※ La regolazione dell'inclinazione del tremolo influisce sull'accordatura, dato che il bilanciamento di tensione tra le corde e le molle cambia ogni volta che si modifica la tensione delle molle. Ciò significa che sarà necessario accordare la chitarra a ogni variazione apportata.



Molle del tremolo

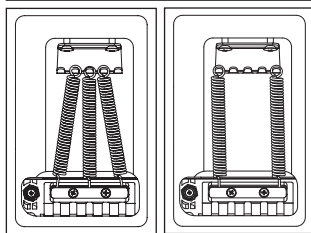
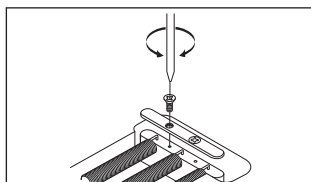
All'uscita dalla fabbrica, la chitarra è fornita di tre molle del tremolo montate in parallelo. Se si nota una variazione significativa nel bilanciamento di tensione tra le corde e le molle del tremolo, come ad esempio dopo aver montato una muta di corde con scalatura differente, potrebbe essere necessario rimuovere una delle molle, oppure il modo in cui queste sono montate.

1. Utilizzare un cacciavite Philips per rimuovere il dispositivo di bloccaggio delle molle.

2. Se si desidera aumentare la tensione, montare diagonalmente le due molle esterne del tremolo.

3. Se viceversa si desidera allentare la tensione, rimuovere la molla centrale del tremolo.

Se si desidera montare un tremolo a quattro o più molle, utilizzare i fori delle viti dedicati al dispositivo di bloccaggio delle molle. (In questo caso non sarà più possibile rimontare il dispositivo di bloccaggio).

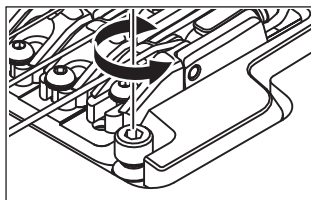


Nota

- Allentare a sufficienza le corde prima di montare o rimuovere le molle del tremolo. Rimuovendo tutte le molle, l'unità tremolo si staccherà dalla chitarra.
- Per rimontare in sede il tremolo, inserire l'estremità a lama di coltello nell'incasso tra i piloni, quindi rimontare le molle tremolo.

Regolazione dell'action

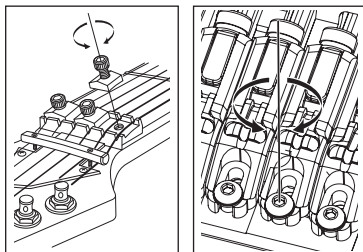
Per regolare l'altezza dell'intera unità tremolo, utilizzare una chiave a brugola da 4 mm e agire sui piloni posizionati ai lati dell'unità stessa. (Non è possibile effettuare la regolazione singolarmente per ogni corda).



Regolazione dell'intonazione

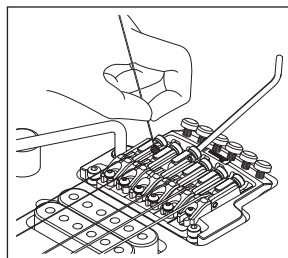
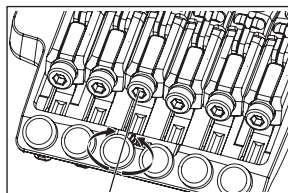
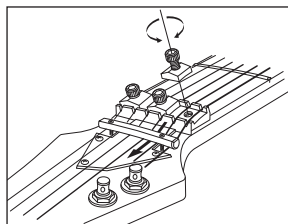
- 1.** Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e allentare sufficientemente la corda.
- 2.** Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio della selletta, e regolarne la posizione.

※ Prima di controllare l'intonazione, serrare saldamente la viti di bloccaggio della selletta e accordare correttamente la chitarra. Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio della selletta e il bloccacorde alla paletta.

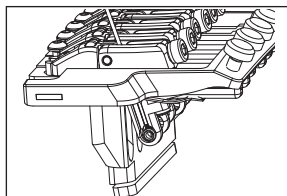


Sostituzione delle corde

- 1.** Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e rimuovere la corda dal perno della meccanica.
- 2.** Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la vite di arresto della corda sull'unità tremolo; quindi far uscire la corda fuori dalla selletta per rimuoverla.
- 3.** Utilizzare delle tronchesi per tagliare il pallino all'estremità della nuova corda.
- 4.** Inserire l'estremità della corda dalla quale è stato rimosso il pallino tra la selletta e il blocco reggicorda, quindi agire sulla vite di arresto della corda per fermarla.
- 5.** Avvolgere la corda sul perno della meccanica e accordarla.
- 6.** Una volta terminata l'accordatura, serrare le viti del bloccacorde alla paletta.



- ※ È anche possibile montare corde con il pallino tagliato, proprio come con un tremolo a bloccaggio convenzionale.
- ※ Dato che l'inclinazione del tremolo cambia considerevolmente quando le corde vengono rimosse tutte insieme, è consigliabile sostituire una corda alla volta. Se comunque si rende necessario rimuovere insieme tutte le corde, inserire un panno morbido sotto il blocco tremolo, in modo da non far cambiare troppo l'inclinazione del tremolo.



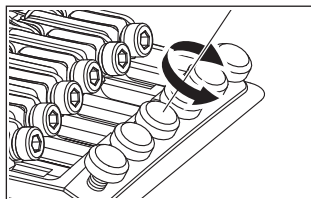
Nota

- Prima di accordare la chitarra, assicurarsi che le viti di arresto delle corde risultino ben serrate.

Accordatura di precisione

Anche dopo aver agito sui dadi di bloccaggio, è possibile regolare in dettaglio l'intonazione di ciascuna corda utilizzando gli accordatori di precisione.

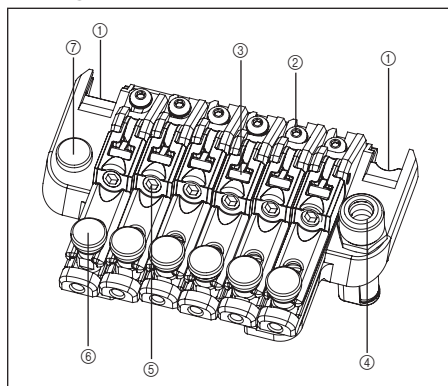
L'intervallo di regolazione delle corde bloccate sarà più ampio se prima di iniziare l'operazione si avrà cura di lasciare le viti degli accordatori di precisione all'incirca a metà del rispettivo margine di azione.



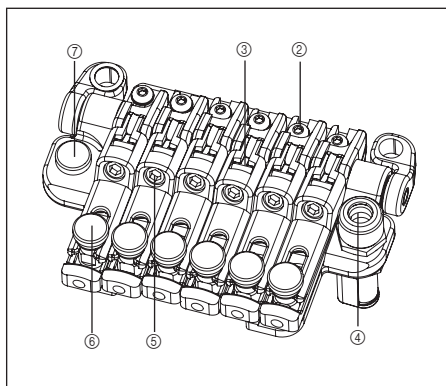


Ponte tremolo Edge-Zero / ZR-2

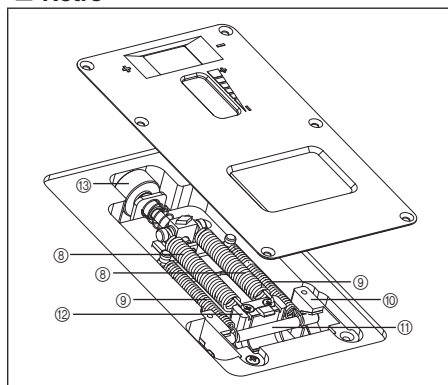
■ Edge-Zero



■ ZR2



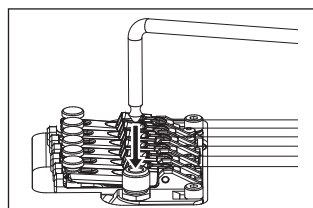
■ Retro



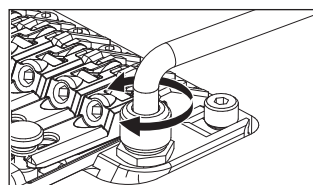
- ① Lama di coltello
- ② Vite blocca-sellette
- ③ Blocco reggicorda
- ④ Sede leva
- ⑤ Vite stringi-blocchetto
- ⑥ Vite di regolazione fine dell'accordatura
- ⑦ Vite di regolazione dell'intonazione
- ⑧ Molla principale
- ⑨ Sottomolla
- ⑩ Sede della barra di arresto
- ⑪ Barra di arresto
- ⑫ Blocco inerziale del tremolo
- ⑬ Pomello regola-tensione

Montaggio della leva tremolo

1. La leva tremolo è del tipo a scatto. Afferrare la leva nella parte ad angolo e inserirla fermamente nell'apposita sede sulla piastra base.



2. Utilizzare il cilindro di regolazione della tensione per regolare il gioco della leva tremolo. Ruotare il cilindro in senso orario per diminuire il gioco della leva; ruotarlo in senso antiorario per renderla più libera.

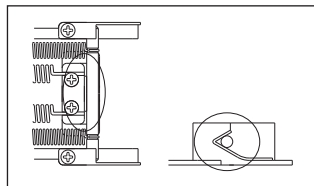


Regolazione dell'inclinazione del tremolo / Regolazione del sistema Zero point

L'angolo di inclinazione del tremolo può essere regolato cambiando il bilanciamento tra la tensione delle corde e la tensione del sistema zero point montato sul retro del corpo chitarra.

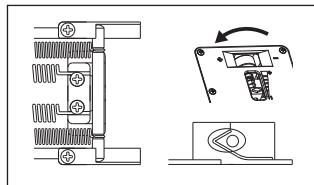
Il ponte tremolo Edge-Zero/ZR2 è stato progettato in maniera da lasciare l'unità parallela alla superficie del corpo chitarra quando il sistema zero point è regolato correttamente; questa è inoltre la posizione in cui l'unità opera nel modo migliore.

Se il sistema zero point è regolato correttamente, la barra di arresto è solidamente in contatto con il blocco tremolo; in questo caso, la barra di arresto toccherà la vite di arresto.

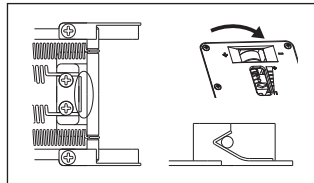


1. Con la chitarra accordata correttamente, controllare il sistema zero point.

2. Se la barra di arresto non dovesse toccare la vite di arresto (es.: se il blocco tremolo sta spingendo in alto), ruotare la manopola di regolazione della molla posizionata sul retro del corpo chitarra verso la direzione "+" per aumentare la tensione della molla principale.



3. Se il blocco tremolo non è in fermo contatto con la barra di arresto (es.: il tremolo è inclinato verso il retro del corpo chitarra), ruotare la manopola di regolazione della molla verso la direzione "-" per allentare la tensione della molla principale.

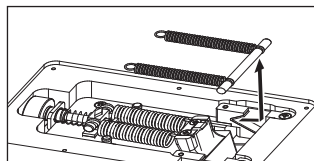


Disabilitazione del sistema zero point (Utilizzo dell'unità come tremolo flottante tradizionale)

Disabilitando il sistema zero point è possibile utilizzare l'unità come un ponte tremolo flottante tradizionale.

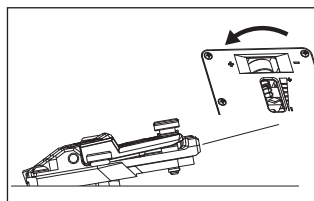
Quando si disabilita il sistema zero point, l'inclinazione del tremolo sarà data dal bilanciamento tra la tensione delle corde e la tensione della molla principale montata sul blocco tremolo.

Per una prestazione ottimale, regolare il tremolo in maniera che sia grosso modo parallelo alla superficie del corpo chitarra.



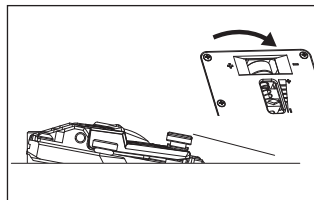
1. Mantenendo la leva sollevata (es.: con il blocco tremolo lontano dalla barra di arresto), rimuovere la barra di arresto e la sottomolla.

2. Con la chitarra accordata correttamente, verificare l'inclinazione del tremolo.



3. Se il tremolo è inclinato in avanti, ruotare la manopola di regolazione della molla verso la direzione "+" per aumentare la tensione della molla principale.

4. Se il tremolo è inclinato indietro, ruotare la manopola di regolazione della molla verso la direzione "-" per allentare la tensione della molla principale.



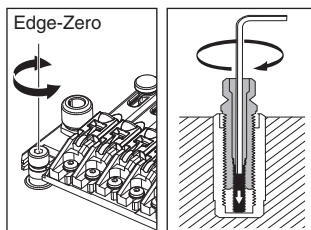
※ Quando si disabilita il sistema zero point, l'accordatura è influenzata dal grado di inclinazione del tremolo, poiché il bilanciamento tra la tensione delle corde e le molle cambia ogni volta che si modifica la tensione delle molle del tremolo. Ciò significa che sarà necessario accordare la chitarra a ogni variazione apportata.

Bloccaggio dei piloni (ponte tremolo Edge-Zero)

Il ponte tremolo Edge-Zero dispone della funzione di bloccaggio dei piloni.

- 1. Inserire una chiave a brugola da 2 mm nel foro di entrata del meccanismo di bloccaggio.**
- 2. Girare il pilone di bloccaggio in senso orario, continuando a serrare fino a che il contatto con la borchia di ancoraggio ne impedirà ulteriormente la rotazione.**

※ Per rilasciare il pilone, allentare la vite corrispondente.



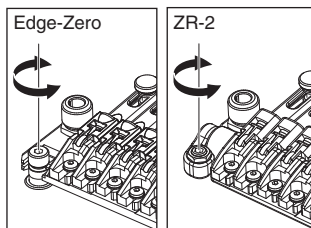
Regolazione dell'action

Per regolare l'altezza dell'intera unità tremolo, utilizzare una chiave a brugola da 3 mm e agire sui piloni posizionati ai lati dell'unità stessa. (Non è possibile effettuare la regolazione singolarmente per ogni corda).



Nota

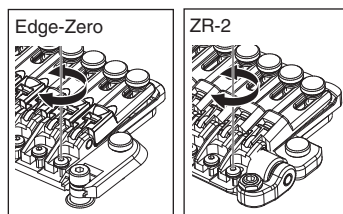
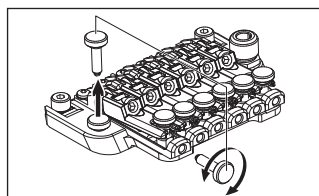
- Assicurarsi che il pilone di bloccaggio sia in posizione di rilascio prima di regolare l'action.



Regolazione dell'intonazione

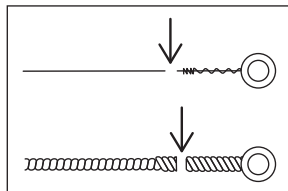
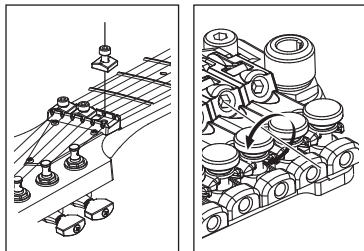
- 1. Rimuovere le viti di regolazione dell'intonazione dall'interno dell'unità tremolo, inserirle nei fori di regolazione a vite sul retro della selletta, quindi serrarle di modo che le punte tocchino la borchia dell'unità tremolo.**
- 2. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio della selletta, e girare la vite di regolazione dell'intonazione per regolarne la posizione.**

※ Prima di controllare l'intonazione, serrare saldamente la viti di bloccaggio della selletta e accordare correttamente la chitarra. Prima di accordare, utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la pressione del bloccacorde alla paletta. Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio della selletta e il bloccacorde alla paletta; quindi, conservare le viti di regolazione dell'intonazione all'interno dell'unità tremolo.



Sostituzione delle corde

1. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e rimuovere la corda dal perno della meccanica.
2. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la vite di arresto della corda sull'unità tremolo; quindi far uscire la corda fuori dalla selletta per rimuoverla.
3. Utilizzare delle tronchesi per tagliare il pallino all'estremità della nuova corda.
4. Inserire l'estremità della corda dalla quale è stato rimosso il pallino tra la selletta e il blocco reggicorda, quindi agire sulla vite di arresto della corda per fermarla.
5. Avvolgere la corda sul perno della meccanica e accordarla.
6. Una volta terminata l'accordatura, serrare le viti del bloccacorde alla paletta.



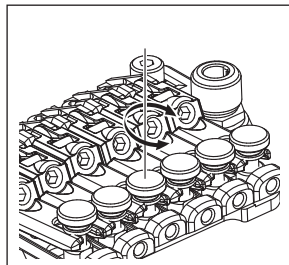
Nota

- Prima di accordare la chitarra, assicurarsi che le viti di arresto delle corde risultino ben serrate.

Accordatura di precisione

Anche dopo aver agito sui dadi di bloccaggio, è possibile regolare in dettaglio l'intonazione di ciascuna corda utilizzando gli accordatori di precisione.

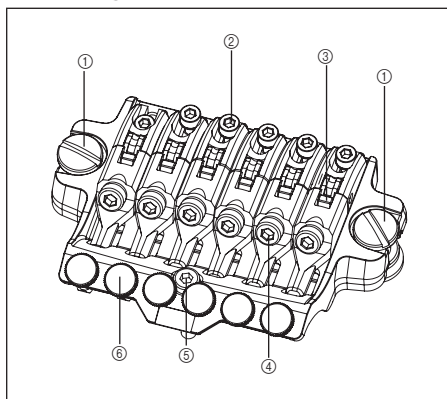
L'intervallo di regolazione delle corde bloccate sarà più ampio se prima di iniziare l'operazione si avrà cura di lasciare le viti degli accordatori di precisione all'incirca a metà del rispettivo margine di azione.





Ponte FX Edge III/FX Edge III-8

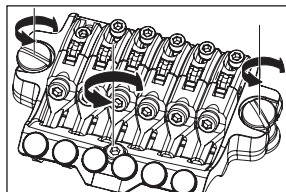
■ FX Edge III



- ① Perno principale
- ② Vite blocca-selletta
- ③ Blocco reggicorda
- ④ Vite stringi-blocchetto
- ⑤ Perno posteriore
- ⑥ Vite di regolazione fine dell'accordatura

Regolazione dell'action

- 1.** Per regolare l'altezza della corda, utilizzare un cacciavite piatto per agire sui piloni principali ai lati del ponte e alzare o abbassare l'altezza dell'intera unità tremolo. (Non è possibile modificare l'altezza delle corde singolarmente).
- 2.** Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per agire sui piloni posteriori, regolandoli in modo che il ponte sia all'incirca parallelo alla superficie del corpo chitarra.

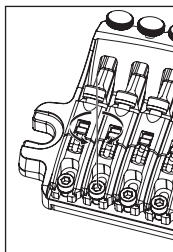
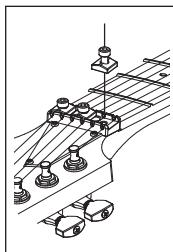


※ Dato che l'action può cambiare agendo sui piloni posteriori, si consiglia di misurarla solo dopo aver finito di regolare i piloni stessi. Per non danneggiare le sedi delle viti, allentare sufficientemente le corde prima di agire sui piloni principali, in maniera da evitare l'uso di forza eccessiva nel girare i piloni.

Regolazione dell'intonazione

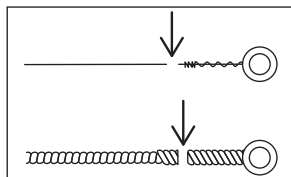
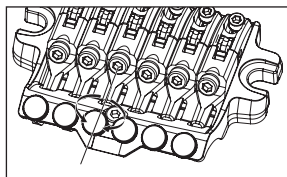
- 1.** Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e allentare sufficientemente la corda.
- 2.** Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare la vite di bloccaggio della selletta, e regolarne la posizione.

※ Prima di controllare l'intonazione, serrare saldamente la viti di bloccaggio della selletta e accordare correttamente la chitarra. Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio della selletta e il bloccacorde alla paletta.



Sostituzione delle corde

1. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la stretta del bloccacorde alla paletta, e rimuovere la corda dal perno della meccanica.
2. Utilizzare una chiave a brugola da 3 mm per allentare la vite di arresto della corda sull'unità ponte; quindi far uscire la corda fuori dalla selletta per rimuoverla.
3. Utilizzare delle tronchesi per tagliare il pallino all'estremità della nuova corda.
4. Inserire l'estremità della corda dalla quale è stato rimosso il pallino tra la selletta e il blocco reggicorda, quindi agire sulla vite di arresto della corda per fermarla.
5. Avvolgere la corda sul perno della meccanica e accordarla.
6. Una volta terminata l'accordatura, serrare le viti del bloccacorde alla paletta.



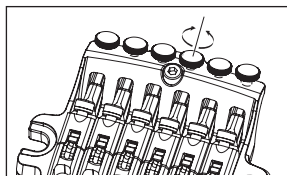
Nota

- Prima di accordare la chitarra, assicurarsi che le viti di arresto delle corde risultino ben serrate.

Accordatura di precisione

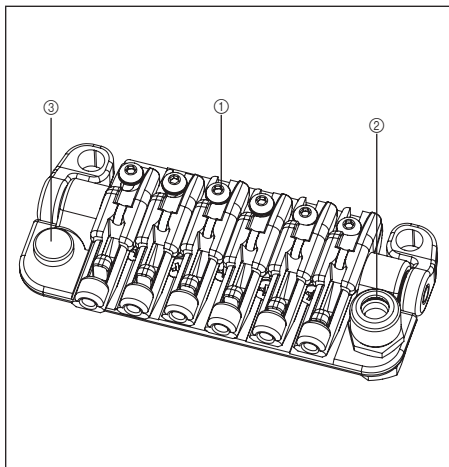
Anche dopo aver agito sui dadi di bloccaggio, è possibile regolare in dettaglio l'intonazione di ciascuna corda utilizzando gli accordatori di precisione.

L'intervallo di regolazione delle corde bloccate sarà più ampio se prima di iniziare l'operazione si avrà cura di lasciare le viti degli accordatori di precisione all'incirca a metà del rispettivo margine di azione.



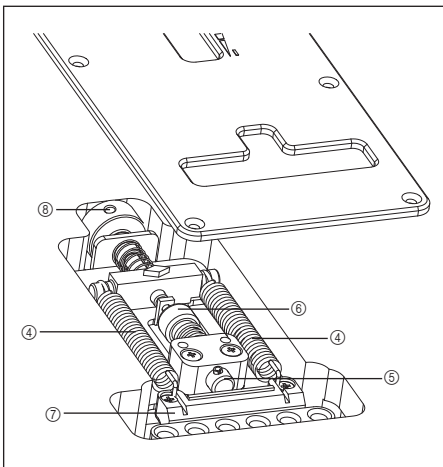


■ Panoramica



- ① Vite blocca-selletta
- ② Sede leva
- ③ Vite di regolazione dell'intonazione

■ Retro

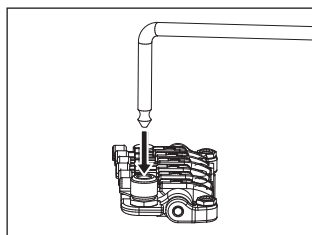


- ④ Molla del tremolo
- ⑤ Meccanismo blocca-tremolo
- ⑥ Pomello di regolazione del meccanismo blocca-tremolo
- ⑦ Blocco inerziale del tremolo
- ⑧ Pomello regola-tensione

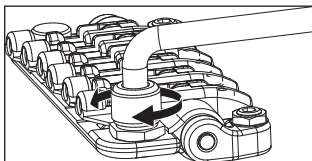
Montaggio della leva tremolo

1. La leva tremolo impiega un metodo a scatto.

Afferrare la leva nella parte ad angolo e inserirla fermente nell'apposita sede sulla piastra base, fino ad avvertire uno scatto.



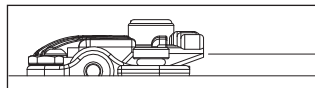
2. Il gioco della leva tremolo può essere impostato agendo sul cilindro di regolazione della tensione. Ruotare il cilindro in senso orario per diminuire il gioco della leva, oppure in senso antiorario per lasciarla più libera di oscillare.



Regolazione dell'inclinazione del tremolo

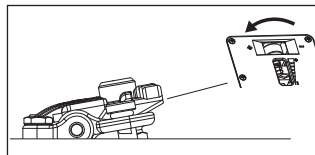
L'inclinazione del tremolo è determinata dal bilanciamento tra la tensione delle corde e la tensione delle molle del tremolo montate sul retro del corpo chitarra.

Per una prestazione ottimale, regolare il tremolo in maniera che sia grosso modo parallelo alla superficie del corpo chitarra.

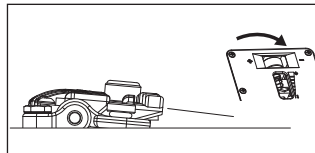


1. Con la chitarra accordata correttamente, verificare l'inclinazione del tremolo.

2. Se il tremolo è inclinato in avanti, ruotare la manopola di regolazione della molla posizionata sul retro del corpo chitarra, verso la direzione "+" per aumentare la tensione delle molle del tremolo.



3. Se il tremolo è inclinato indietro, ruotare la manopola di regolazione della molla verso la direzione "-" per allentare la tensione delle molle.



※ La regolazione dell'inclinazione del tremolo flottante influisce sull'accordatura, dato che il bilanciamento di tensione tra le corde e le molle cambia ogni volta che si modifica la tensione delle molle. Ciò significa che sarà necessario accordare la chitarra a ogni variazione apportata.

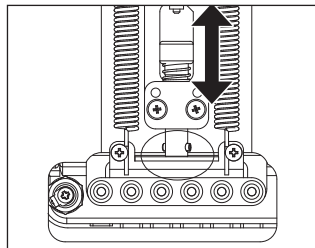
Arresto Arm-up

Il sistema SynchroniZR dispone della funzione di arresto "arm-up". Questa funzione permette di disabilitare lo stato flottante bloccando l'intervallo di movimento arm-up.

1. Assicurarsi che il tremolo sia grosso modo parallelo alla superficie del corpo chitarra.

2. Rimuovere la placca di protezione delle molle del tremolo, e ruotare la manopola di arresto arm-up in modo che la punta della relativa vite venga in contatto con il blocco tremolo.

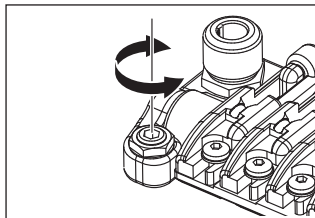
3. Controllare nuovamente che il tremolo sia grosso modo parallelo alla superficie del corpo chitarra, e ruotare la manopola di regolazione delle molle più volte nella direzione "+".



※ Se la tensione delle molle del tremolo è troppo debole, il blocco tremolo verrà tirato dalle corde; il risultato sarà un'accordatura instabile. Se ciò dovesse verificarsi durante l'accordatura, ruotare la manopola di regolazione della molla ulteriormente nella direzione "+".

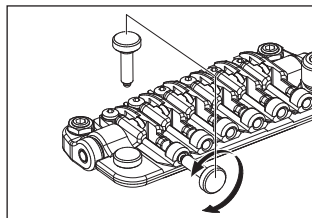
Regolazione dell'altezza delle corde

Per regolare l'altezza della corda, agire sull'intera unità tremolo utilizzando una chiave a brugola da 3 mm per girare i piloni posizionati ai lati dell'unità stessa. (Non è possibile regolare l'altezza delle corde singolarmente).



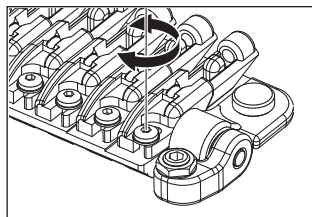
Regolazione dell'intonazione

- 1. Rimuovere le viti di regolazione dell'intonazione dall'interno dell'unità tremolo, inserirle nei fori di regolazione a vite sul retro della selletta, quindi serrarle di modo che le punte tocchino la borchia dell'unità tremolo.**



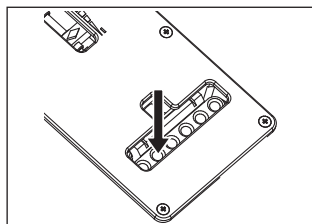
- 2. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio della selletta, e girare la vite di regolazione dell'intonazione per regolarne la posizione.**

※ Prima di controllare l'intonazione, serrare saldamente la viti di bloccaggio della selletta e accordare correttamente la chitarra. Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio della selletta e il bloccacorde alla paletta; quindi, conservare le viti di regolazione dell'intonazione all'interno dell'unità tremolo.



Sostituzione delle corde

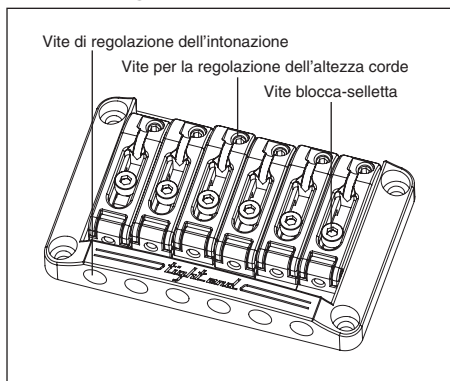
Per montare le corde nuove, passarle attraverso il blocco tremolo dal lato posteriore della chitarra.





Ponte Tight-End / Ponte Tight-End R (chitarre a 6 e 7 corde)

■ Ponte Tight-End



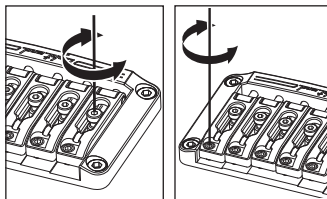
■ Ponte Tight-End R



Regolazione dell'action

1. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio delle sellette.
2. Per regolare l'altezza della selletta, utilizzare una chiave a brugola da 2 mm e agire sulle viti di regolazione dell'altezza della selletta.

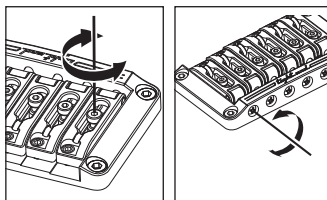
※ Una volta terminate le regolazioni, serrare le viti di bloccaggio delle sellette.



Regolazione dell'intonazione

1. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per allentare le viti di bloccaggio delle sellette.
2. Utilizzare un cacciavite Phillips per regolare la posizione della selletta agendo sulla vite di regolazione dell'intonazione.
3. Utilizzare una chiave a brugola da 2 mm per serrare le viti di bloccaggio della selletta, quindi usare un cacciavite Phillips per serrare molto leggermente la vite di regolazione dell'intonazione in senso orario. (Non stringere troppo, in modo da non modificare la posizione della selletta).

※ Assicurarsi che la chitarra sia accordata correttamente prima di controllare l'intonazione.



Sostituzione delle corde

Per montare una nuova corda, passarla attraverso la boccia fermacorda sul retro del corpo chitarra.



PONTE / CORDIERA TIGHT-TUNE

Il ponte Tight-Tune si distingue per il livello ottimale di stabilità e trasmissione del suono e per la soppressione delle vibrazioni superflue, grazie alla possibilità di bloccaggio di tutte le parti mobili. Il ponte dispone di una funzione di blocco dei piloni che consente di ottenere la massima aderenza al corpo della chitarra. Inoltre, la cordiera offre un dispositivo di tenuta del pallino della corda, che ne impedisce la fuoriuscita.

Regolazione dell'action

Allentare i dadi di bloccaggio (D) ai lati dell'unità ponte, e regolare l'altezza del ponte ruotando le viti di bloccaggio (E) mediante una chiave a brugola da 3 mm. Nota: non è possibile modificare l'altezza delle corde singolarmente. Dopo aver completato la regolazione, serrare saldamente i dadi di bloccaggio.

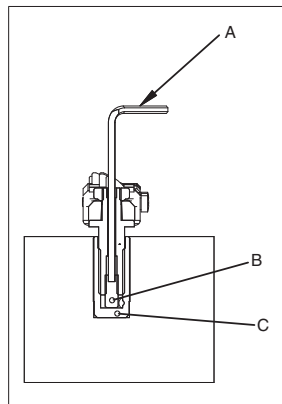
Funzione bloccaggio piloni

Dopo aver regolato l'action, inserire la chiave a brugola da 2 mm nella sede del pilone e girare in senso orario il dispositivo di blocco (B). Serrare il dispositivo di blocco fino a termine corsa (C).



Nota

Durante la regolazione dell'action, assicurarsi di allentare completamente il dispositivo di blocco del pilone (B), girando in senso antiorario la chiave a brugola da 2 mm. In caso contrario, è possibile causare danni al dispositivo.



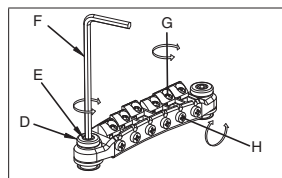
Regolazione dell'intonazione

Allentare le viti di bloccaggio delle sellette (G) con un cacciavite a croce Phillips, e girare le viti di regolazione dell'intonazione (H) per posizionare le sellette. Accordare la chitarra e controllare l'intonazione. Ripetere le suddette operazioni fino a intonazione raggiunta, quindi serrare saldamente le viti di bloccaggio delle sellette.



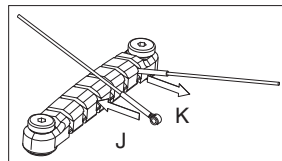
Nota

Una vite di regolazione dell'intonazione (H) allentata può causare effetti di risonanza. Se ciò dovesse verificarsi, serrare leggermente la vite di regolazione che causa il problema, prestando attenzione a non spostare la selletta.



Sostituzione delle corde

Inserire l'estremità con il pallino della corda nella fessura della cordiera, nella direzione indicata dalla freccia nell'illustrazione (J). Il dispositivo di blocco del pallino ne impedisce la fuoriuscita. Per rimuovere la corda, tirarla in direzione opposta (K).





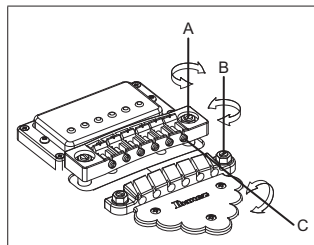
PONTE GIBRALTAR 08/CORDIERA QUICK CHANGE 08

Per regolare l'altezza della corda, ruotare le viti di bloccaggio sui lati sinistro e destro del ponte (A) per mezzo di un cacciavite a lama piatta (-). Prima di effettuare la regolazione, allentare la vite di bloccaggio utilizzando una chiave a tubo (o bussola?) da 8 mm. Dopo aver effettuato la regolazione, serrare nuovamente la vite di bloccaggio per fissare il ponte.

Per regolare l'altezza della cordiera, ruotare le viti di regolazione (B) su entrambi i lati utilizzando un cacciavite a lama piatta (-). Prima di effettuare la regolazione, allentare la vite di bloccaggio.

Dopo aver effettuato la regolazione, serrare nuovamente la vite come fatto per il ponte. Un non corretto serraggio della vite di blocco del ponte o della cordiera può causare disturbi e risonanze indesiderate. Aumentando l'altezza della cordiera è possibile ridurre la tensione delle corde, a vantaggio di un tocco più morbido e una più facile esecuzione dei bending.

Per regolare l'intonazione di ciascuna selletta, ruotare le viti di intonazione utilizzando un cacciavite a lama piatta (-) (C).



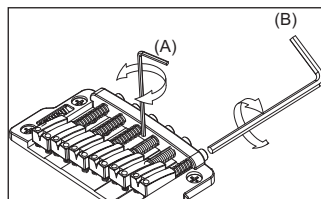
PONTE GIBRALTAR STANDARD (MODELLI A 7 E 8 CORDE)

Per montare una nuova corda, passarla attraverso la boccia fermacorda sul retro del corpo chitarra.

Per regolare l'altezza delle corde, utilizzare una chiave a brugola esagonale da 1,5 mm e agire su ciascuna selletta del ponte (A).

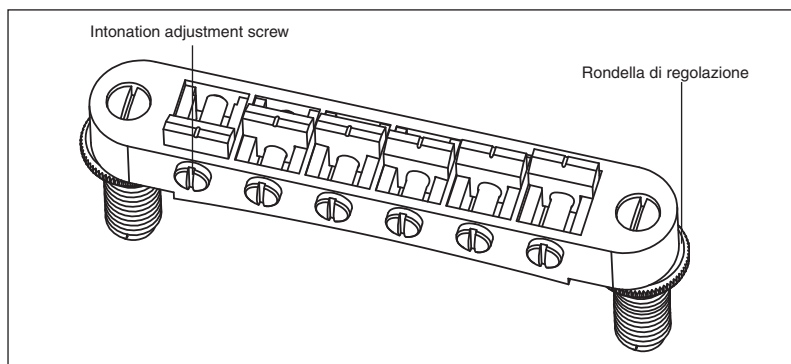
Per regolare l'intonazione della corda, utilizzare una chiave a brugola esagonale da 2,5 mm per ruotare le viti di intonazione di ciascuna selletta sul retro del ponte (B).

※ La procedura di regolazione è identica per i modelli a 7 e 8 corde.



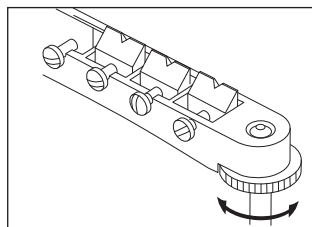


Ponte Full Tune II



Regolazione dell'action

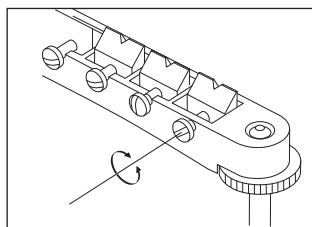
Per regolare l'altezza dell'intero ponte, utilizzare le dita per girare le chiavette di regolazione situate ai lati del ponte. (Non è possibile regolare l'altezza delle corde singolarmente).



Regolazione dell'intonazione

Per regolare la posizione della selletta, utilizzare un cacciavite a testa piatta e agire sulla vite di regolazione dell'intonazione.

※ Accordare la chitarra correttamente prima di controllare l'intonazione.

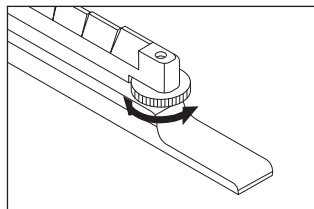




Ponte per chitarra acustica

Regolazione dell'action

Per regolare l'altezza dell'intero ponte, utilizzare le dita per girare le chiavette di regolazione situate ai lati del ponte. (Non è possibile regolare l'altezza delle corde singolarmente).



Regolazione dell'intonazione

Per regolare la posizione della selletta, allentare le corde e spostare l'intero ponte.

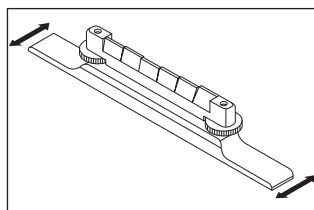
※ Accordare la chitarra correttamente prima di controllare l'intonazione.



Nota

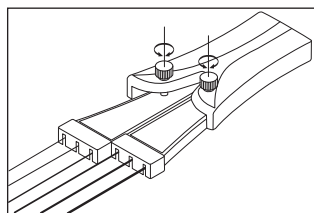
Prestare attenzione a non far cadere il ponte quando si allentano le corde.

Si raccomanda di sostituire le corde singolarmente, poiché la rimozione dell'intera muta in una volta, potrebbe provocare lo spostamento del ponte.



Cordiera per chitarra acustica (GB10)

La cordiera acustica montata sul modello GB10 consente di regolare indipendentemente l'altezza delle corde 1-3 dalle corde 4-6. Serrare la manopola di regolazione per abbassare l'altezza della cordiera.



Piolo reggitracolla per chitarra acustica

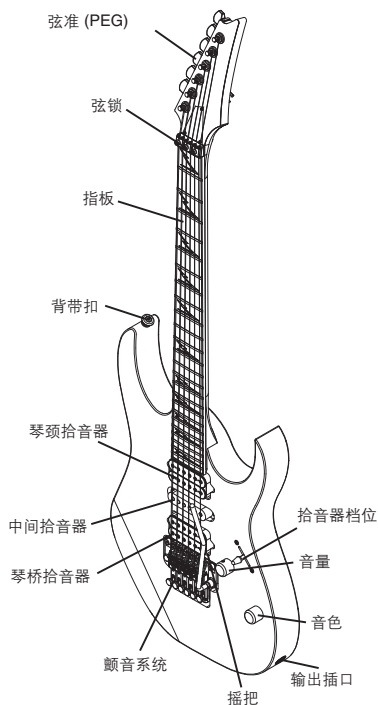
Le chitarre interamente acustiche non sono dotate di piolo per l'aggancio della tracolla sul lato manico dello strumento.

Se si desidera montare un piolo reggitracolla, rivolgersi al proprio rivenditore oppure a Ibanez Corporation.

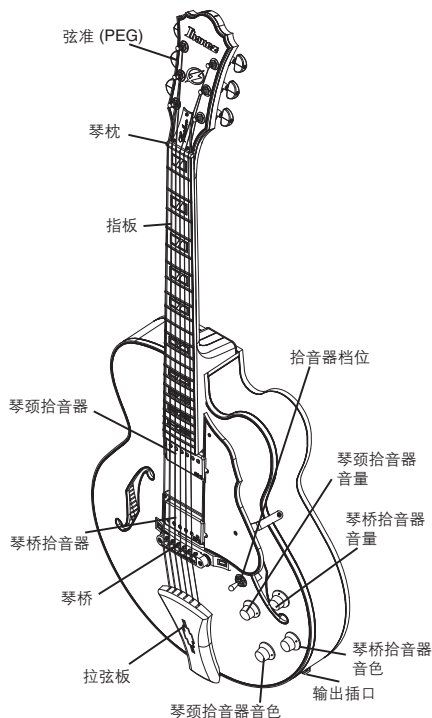


吉他部件的说明

电吉他



半原声或全原声吉他



※ 插图所示为典型Ibanez吉他产品。您够买的吉他可能与插图所示有所不同。

※ 根据所安装颤音器/琴桥类型的不同，颤音器/琴桥的调整方法可能有所不同。详情请参考颤音器/琴桥章节。

※ 有关各型号控制器的详情，请参考“CONTROLS(控制器)”章节(p. 206)。



配件

	多种工具	摇把	六角扳手					8mm 套筒扳手
			1.5mm	2mm	2.5mm	3mm	4mm	
Edge 颤音琴桥	○	○					○	
Edge-Pro 颤音琴桥	○	○					○	
Edge-Zero 颤音琴桥	○	○						
Lo-Pro Edge 颤音琴桥	○	○					○	
FX Edgelll-8 琴桥	○							
SynchroniZR 颤音琴桥	○	○						
Gibraltar Standard 6/7/8 琴桥	○							
GIBALTAR琴桥 08 / QUICK CHANGE 08 拉弦板	○							○
TIGHT-TUNE 琴桥	○							
Tight-End 琴桥 / Tight-End R 琴桥	○							
ZR-2 颤音琴桥	○	○						
半原声吉他			○				○	○
全原声吉他								○

※ 配置了DiMarzio拾音器的型号包装内包含用于调整pole piece (拾音器上的感应器)高度的六角扳手。

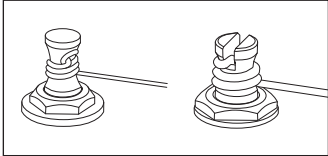
※ 配有七弦Edge-Zero颤音琴桥的型号产品包装内包含了加强琴弦。



更换琴弦

琴弦会在使用过程中逐渐老化，产生打品声或跑调。一旦琴弦出现生锈或褪色现象，就要更换琴弦。我们建议您一次性更换全套琴弦。弯曲、扭曲或损坏的琴弦无法产生正确的音质，因此不应使用。

从上到下将琴弦在弦准琴弦柱上缠绕2到3圈，占用5--7 cm的长度，注琴弦没有相互交叉。琴弦应该逐根依次更换，不要一次性拆下全部琴弦。这样可以避免琴颈上的拉力，降低影响振动平衡的风险。



※ 使用带有AUTO-TRIM弦准的型号产品时，必须用不同的方法卷弦。详情请参考“[AUTO-TRIM弦准](#)”章节(p. 182)。

※ 根据颤音器/琴桥类型的不同，从颤音器/琴桥上拆卸琴弦或在颤音器/琴桥上安装琴弦的方法也有所不同。详情请参考您吉他上所安装颤音器/琴桥的说明章节。



调音

Ibanez 吉他在出厂前已用下列调音方法进行了设置。

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th
六弦	E4	B3	G3	D3	A2	E2	-	-
七弦	E4	B3	G3	D3	A2	E2	B1	-
八弦	D#4	A#3	F#3	C#3	G#2	D#2	A#1	F1

注意下列型号的设置方式不同。

RGD, APEX

	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th
六弦	D4	A3	F3	C3	G2	D2	-
七弦	D4	A3	F3	C3	G2	D2	A1

TAM100

1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th
E	B	G	D	A	E	B	E

使用调音器或音叉为每条空弦按照上述频段调音。如果音高高于上述频段，请放松琴弦调到该音高以下，再将琴弦卷紧一点使音高高调。这是调音至稳定的一种方法。如果想将您的吉他调音至非上表所列出的音高，或如果使用非标准规格的琴弦时，您可能需要调整琴颈或八度音。

有关调整琴颈或八度音的详情，请参考章节“琴颈调整”(p. 180)或“八度音调整”(P. 180)。



注

- 请注意，调音过度或使用非电吉他专用琴弦，可能造成部件断裂以及意外人身伤害。



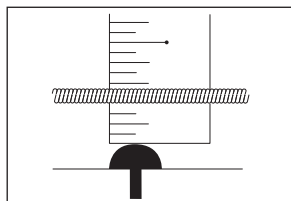
弦高

弦高是琴品和琴弦之间的距离。

要测量高度，先将吉他音准调准，然后将尺子放置在第14品，测量琴品的顶部与琴弦的底部之间的距离。

一般来所，第一弦这个距离应该在 1.5--1.7 mm，第六弦应该在 2.0 mm--2.2 mm。

对于七弦吉他，第七弦应该在 2.2 mm--2.4 mm。对于八弦吉他第八弦的高度应该在 2.4 mm--2.6 mm。



上述琴弦之外的琴弦，调整的方法是从第一弦开始高度从低到高逐渐增加。

如果弦高度太高，吉他将会难于演奏。如果弦太低，可能会发生打品、音符无声或缺乏延持等现象。

如果即使弦高的调整高度正确，还是发生琴弦打品或无声现象，您可能需要调整琴颈钢筋。

详情请参考“琴颈调整”章节(p. 180)。

※ 根据您吉他装配的颤音器/琴桥类型的不同，调整弦高的方法会有所不同。详情请参考相应颤音器/琴桥章节。



琴颈调整

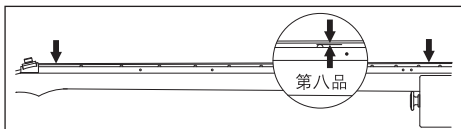
琴颈持续耐受琴弦的拉力，它的弧度不仅受到调音稳定性和琴弦粗细的微妙影响，也会随着温度和湿度发生变化。

如果即使正确调整了弦高和音高，仍感觉发生了打品或音符无声的情况，就要调整琴颈的弧度。

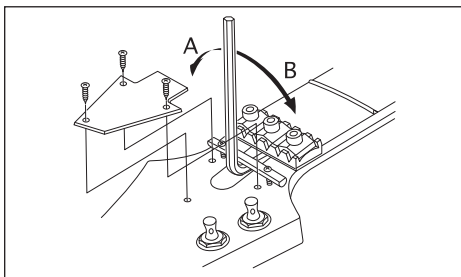
1. 检查琴颈的弧度

正确调音后，以演奏姿势握住吉他。将第一根琴弦按在第一琴品处以及按住琴颈与琴体接合处的琴品，然后在第八琴品处测量琴弦与琴品之间的间隙。

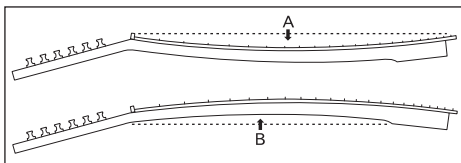
用相同方法测量最低音琴弦的间隙，然后进行调整，让该间隙处于0.3 mm–0.5 mm的范围以内。



2. 如果间隙少于 0.3 mm，可以用吉他包装内附赠的六角扳手或套筒扳手，按照方向“A”调整琴颈钢筋顶部的螺帽，使琴颈的弧度更加凹陷。



3. 如果间隙高于0.5 mm，可以用六角扳手或套筒扳手按照方向“B”调整，使琴颈的弧度更上凸。



※ 每次调整钢筋螺帽1/4圈，一边检查调音结果。



注

• 必须小心调整琴颈。

过度用力调整会损坏您的吉他。如果不会正确调整琴颈，请与经销商或Ibanez公司联系。

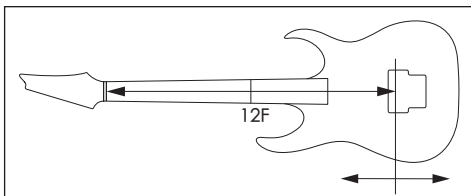


八度音调整

如果改变了琴弦粗细，或使用另外的调音法，就必须调整琴弦的长度(八度音)，确保所有琴品上都产生正确的音高。

调准吉他的音高后，以演奏姿势握住吉他，然后对比每根琴弦按下第12品正常弹奏的音高与在第12品处弹奏出的泛音音高。

如果12品处自然按下弹奏出的音符音高低于此琴品的泛音，可以将颤音器/琴桥的琴码向前移动，缩短弦长。相反如果该品音高高于泛音音高，请向后移动琴码，加长琴弦。



※ 用调音表测量八度音调整的准确性。

※ 根据所安装颤音器/琴桥的不同，调整琴码位置的方法也有所差异。详情请参考您吉他上所安装颤音器/琴桥的介绍章节。





清洁

演奏完毕后，要擦掉琴弦下方、琴品、琴桥琴码和螺帽等金属部件上的汗水和油脂。这样可以防止生锈。粘在金属部件上的污渍或灰尘会对其使用产生不利影响。

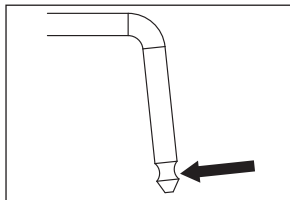
请用浸有少量油的软布擦掉这些顽固的污渍。

如要清洁涂漆部分的表面，不要使用挥发性清洗剂或含有磨料的清洗剂，而要用软布配以专为乐器配制的上光制剂轻轻擦拭。

要去除粘附着在油面涂装的琴体或琴颈上的污渍，可以使用铅笔擦、#1000号或更细的细砂纸或#0000号钢丝绒。为防止走油发干，可以每年用#0000号钢丝绒或织物蘸上无色家具油或枪油，上光一至两次。

无涂装的指板应采用软布蘸上少量指板油或高品质柠檬油小心擦拭，同时小心擦拭琴品的边缘。

如果调音过程中摇把发出吱吱声，可以在摇把短边的凹口处涂一些润滑油。



电池

如果您的吉他带有内置放大器或均衡器，就要用电池供电。音量有所降低或声音产生失真时，请更换电池。

某些型号使用006P (9V)电池，其它型号使用2节AA (1.5V)电池。检查您所使用的吉他类型，然后更换某一类型的电池。

您可以在琴体的背部的电池盒内找到电池。

配有电池的产品型号，输出插孔同时作为供电开关使用，在插孔中插入插头可以打开电源。



注

- 为防止电池电量耗尽，如果长时间不用吉他，请将插头从吉他上拔下。



AUTO-TRIM弦准

换弦

■ 拆除琴弦

放松琴弦，然后转动位于弦锁下方的锁定旋钮，解锁琴弦。



注

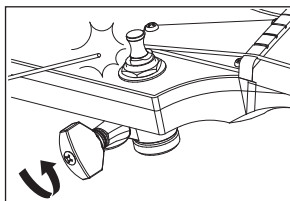
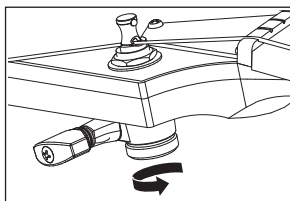
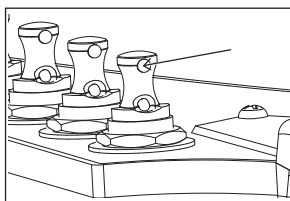
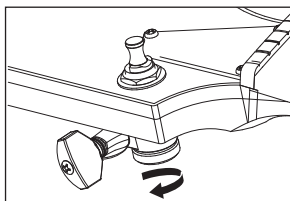
- 放开弦钮锁后，小心操作以防琴弦从弦钮中以强力突然脱出。

■ 安装琴弦

1. 转动锁定旋钮，让顶端的银色小球朝向琴桥方向，然后将琴弦穿入弦锁杆。

2. 同时，拉紧琴弦，转动锁定旋钮，将琴弦锁死。

3. 随着旋钮的转动，多余的琴弦会被切断。然后继续调音。

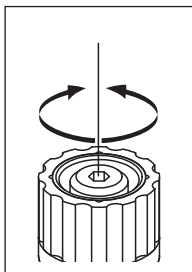
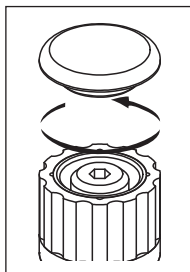


COLLET 旋钮

拆除collet旋钮

1. 旋转collet旋钮顶部的盖子，拆下盖子。

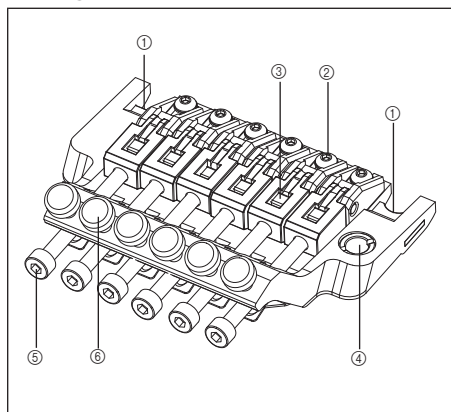
2. 用六角扳手(3 mm)松开卡盘，拆下旋钮。



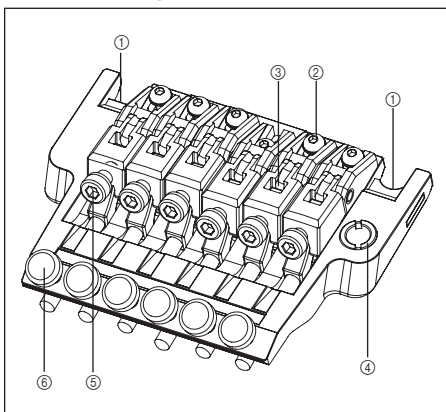


Edge/Lo-Pro Edge 颤音琴桥

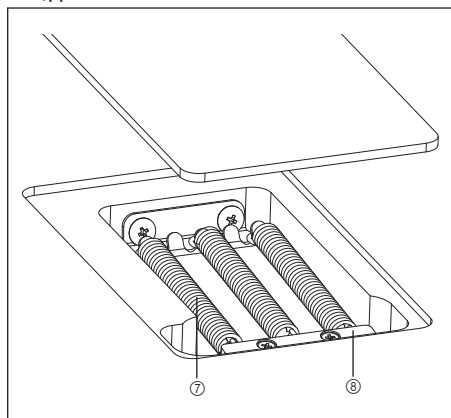
■ Edge



■ Lo-Pro Edge



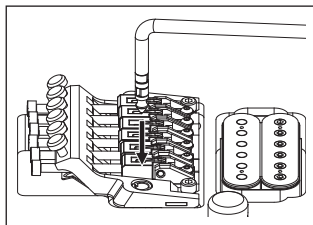
■ 后



- ①刀口
- ②琴码锁定螺栓
- ③琴弦固定块
- ④颤音臂插孔
- ⑤琴弦止动螺栓
- ⑥微调螺栓
- ⑦颤音器弹簧
- ⑧弹簧锁

安装摇把

1. 摇把采用快速拆装设计。按住摇把的弯曲角，然后插入底座插孔中，用力按下直牢固紧密。

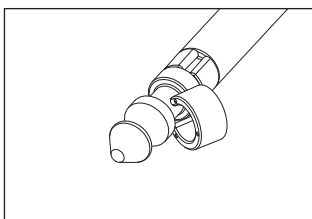


2. 摇把安装的紧度可以通过添加或拆除塑料垫圈进行调整。垫圈的数量越多连接越紧，拆除所有垫圈会让摇把松弛。塑料垫圈可以通过它的开口斜向加入或拆卸。



注

- 如果增加了塑料垫圈后摇把也不能牢固握持，请更换新的塑料垫圈。

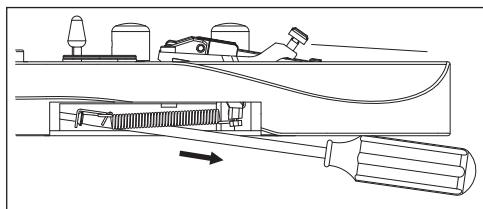
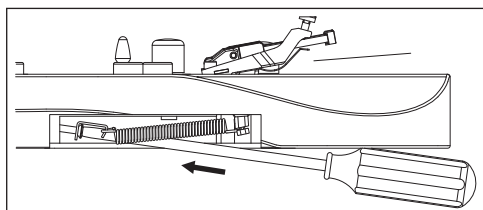
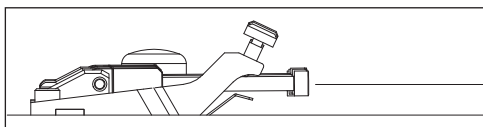


调整颤音器角度

颤音器角度要通过改变琴弦拉力和吉他背面的颤音弹簧拉力之间的平衡进行调整。通过调整，让颤音器大约平行于吉他琴体表面，您就可以获得颤音器的最佳性能。

1. 在吉他正确调音的前提下，检查颤音器的角度。
2. 如果颤音器向前翘起，可以将十字螺丝刀伸入吉他琴体背面的颤音器弹簧之间的缝隙拧紧螺丝，提高颤音器弹簧的拉力。
3. 如果颤音器向后倾斜，可以拧松螺丝降低颤音器弹簧的拉力。

※ 颤音器角度的调整会影响调音的结果，因为您每次调整颤音器弹簧的拉力，弹簧拉力和琴弦拉力之间的平衡都会改变。因此您在调整颤音器角度的同时需要反复调音。

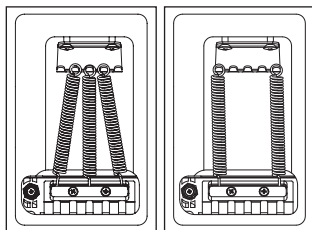
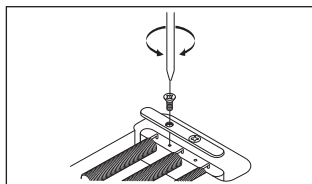


颤音器弹簧

吉他出厂时，默认设置为三个颤音器弹簧平行安装。如果琴弦和弹簧拉力之间的平衡发生大幅度改变，如果改变了琴弦粗细或使用了降调调音法，就可能需要改变颤音器弹簧的数量或改变弹簧的安装方式。

1. 使用十字螺丝刀拆除弹簧锁。
2. 如需提高拉力，可以在外侧斜向添加2个颤音器弹簧。
3. 如需降低拉力，可以拆卸中间的弹簧。

如果要安装四个或更多的颤音弹簧，请使用用于安装弹簧锁的螺丝孔。(但这样就无法再安装弹簧锁。)





注

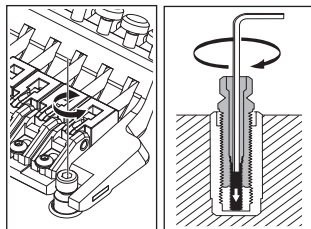
- 安装或拆除颤音器弹簧之前，请充分放松琴弦。请牢记，如果拆除了所有的弹簧，颤音器模块将会从吉他上脱离。
- 如需重装颤音器，可以用颤音器的较锋利边缘嵌入螺柱的螺纹，然后安装颤音器弹簧。

螺栓锁

Edge/Lo-Pro Edge 琴桥采用螺栓锁定结构的螺栓。

1. 将六角扳手 (1.5 mm) 插入螺栓顶部的孔。
2. 顺时针转动螺栓锁定螺栓，将其拧紧并接触到固定螺母无法再转动为止。

※ 拧松螺栓锁定锁，螺栓锁定螺栓将被放开。



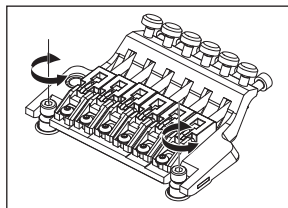
调整弦高

要调整颤音器模块的整体高度，可以用六角扳手(4mm)调整模块左右两侧的螺栓。(不能单独调整每条琴弦。)



注

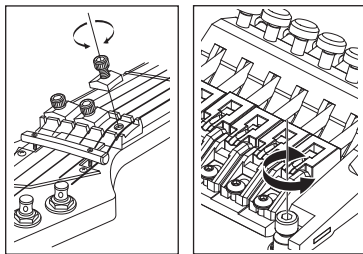
- 调整弦高时确保松开螺栓锁定紧固螺丝。



调整八度音

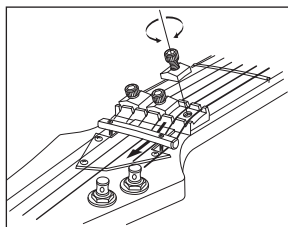
1. 用六角扳手 (3 mm) 松开弦锁压板上的螺栓，充分松开琴弦。
2. 用六角扳手 (2 mm) 松开琴码锁定螺栓，调整琴码的位置。

※ 检查八度音之前，请牢固拧紧琴码锁定螺栓，并将吉他调音至正确音高。完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓和琴枕弦锁的压板螺栓。

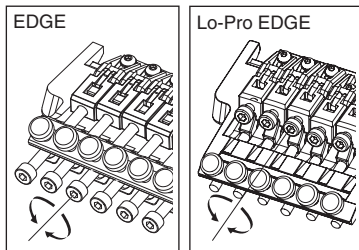


换弦

1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的压板螺栓，从弦锁上拆下琴弦。

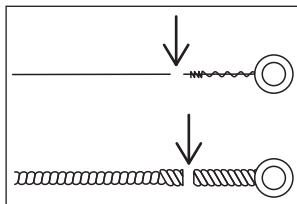


2. 用六角扳手(3 mm)松开颤音器模块上弦钉的螺栓；然后从琴枕中拉出琴弦进行拆卸。



3. 用钢丝钳剪下新琴弦的小球端。

4. 将新琴弦剪下小球端的一端插入琴码和琴弦底座之间，拧紧弦钉螺栓，上紧琴弦。



5. 在弦锁一端卷紧琴弦，完成调音。

6. 调音完成后，拧紧弦锁的压板螺栓。

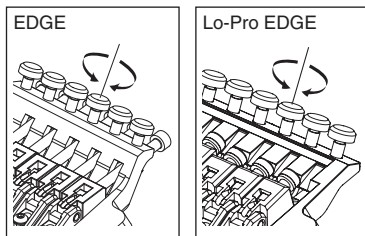
※ 一次性拆下所有琴弦会导致颤音器角度大幅度变化，所以我们建议逐根更换琴弦。如果一次性拆下了所有琴弦，可以用一块布卡进颤音器下方，让颤音器的角度不产生大幅度变化，会使调音更容易些。

注

- 对琴弦进行调音之前，务必将弦钉螺栓牢固拧紧。

微调

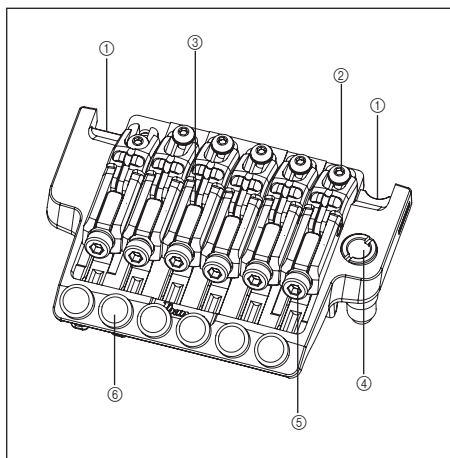
即使已经用弦锁锁死了琴弦，还可以通过微调为每根琴弦调音。如果调音前让所有的微调螺栓都位于调整范围的中间，琴弦锁死后的调整范围可以最大化。





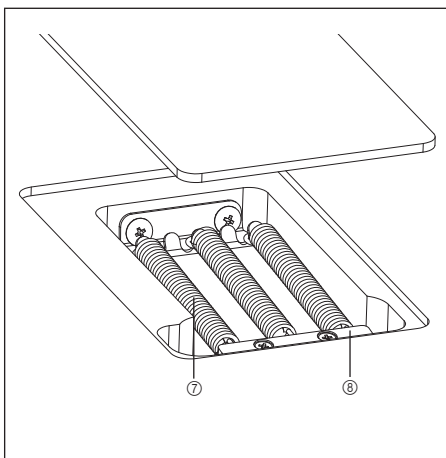
Edge-Pro 颤音琴桥

■ 简介



- ① 刀口
- ② 琴码锁定螺栓
- ③ 琴弦固定块
- ④ 颤音臂插孔
- ⑤ 琴弦止动螺栓
- ⑥ 微调螺栓

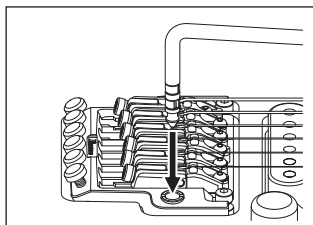
■ 后



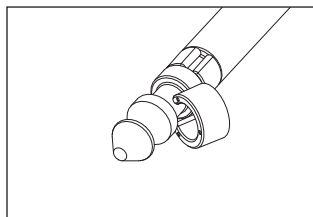
- ⑦ 颤音器弹簧
- ⑧ 弹簧锁

安装摇把

1. 摇把采用快速拆装设计。按住摇把的弯角，用力将其按压到底座的摇把插孔中，直到完全看不到塑料垫圈。



2. 摇把安装的紧度可以通过添加或拆除塑料垫圈进行调整。加入垫圈会使摇把紧固，拆下所有垫圈会让摇把松弛。通过垫圈的开口斜向加入或拆除垫圈。



⚠ 注

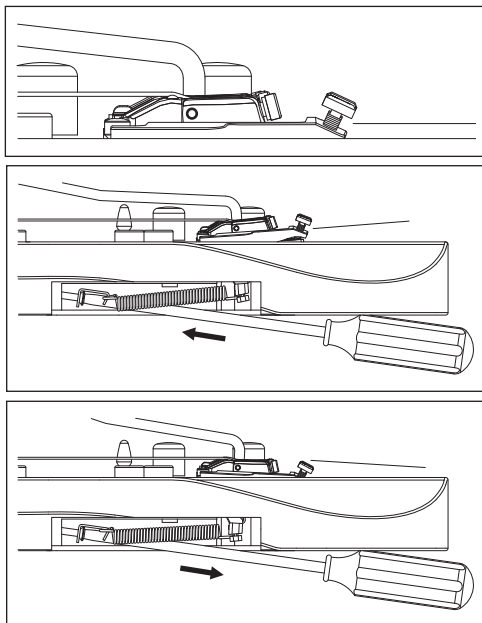
- 如果增加了塑料垫圈后摇把也不能牢固握持，请更换新的塑料垫圈。

调整颤音器角度

颤音器角度要通过改变琴弦拉力和吉他背面的颤音弹簧拉力之间的平衡进行调整。通过调整，让颤音器大约平行于吉他琴体表面，您就可以获得颤音器的最佳性能。

1. 在吉他正确调音的前提下，检查颤音器的角度。
2. 如果颤音器向前翘起，可以将十字螺丝刀伸入吉他琴体背面的颤音器弹簧之间的缝隙拧紧螺丝，提高颤音器弹簧的拉力。
3. 如果颤音器向后倾斜，可以拧松螺丝降低颤音器弹簧的拉力。

※ 颤音器角度的调整会影响调音的结果，因为您每次调整颤音器弹簧的拉力，弹簧拉力和琴弦拉力之间的平衡都会改变。因此您在调整颤音器角度的同时需要反复调音。



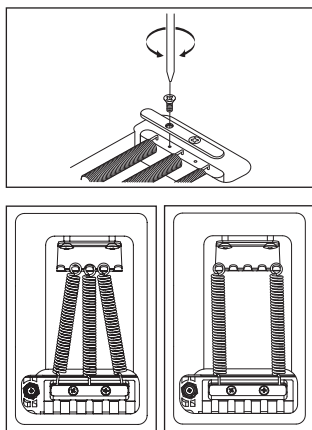
颤音器弹簧

吉他出厂时，默认设置为三个颤音器弹簧平行安装。

如果琴弦和弹簧拉力之间的平衡发生大幅度改变，如果改变了琴弦粗细或使用了降调调音法，就可能需要改变颤音器弹簧的数量或改变弹簧的安装方式。

1. 使用十字螺丝刀拆除弹簧锁。
2. 如需提高拉力，可以在外侧斜向添加2个颤音器弹簧。
3. 如需降低拉力，可以拆卸中间的弹簧。

如果要安装四个或更多的颤音弹簧，请使用用于安装弹簧锁的螺丝孔。（但这样就无法再安装弹簧锁。）

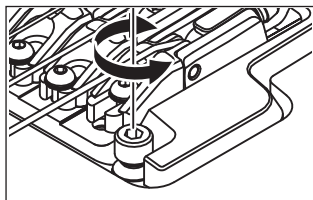


注

- 安装或拆除颤音器弹簧之前，请充分放松琴弦。请牢记，如果拆除了所有的弹簧，颤音器模块将会从吉他身上脱离。
- 如需重装颤音器，可以用颤音器的较锋利边缘嵌入螺柱的螺纹，然后安装颤音器弹簧。

调整弦高

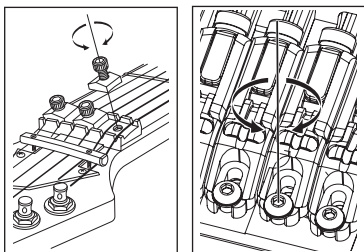
要调整颤音器模块的整体高度，可以用六角扳手(4 mm)调整模块左右两侧的螺栓。(不能单独调整每条琴弦。)



调整八度音

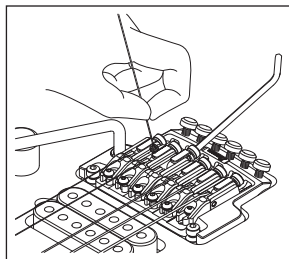
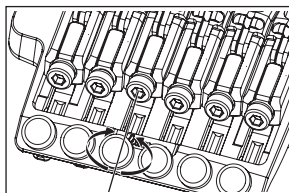
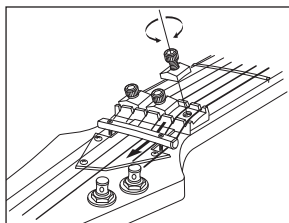
1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的螺栓，充分松开琴弦。
2. 用六角扳手(2 mm)松开琴码锁定螺栓，调整琴码的位置。

※ 检查八度音之前，请牢固拧紧琴码锁定螺栓，并将吉他调音至正确音高。完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓和琴枕弦锁的压板螺栓。



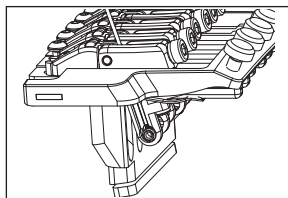
换弦

1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的压板螺栓，从弦锁上拆下琴弦。
2. 用六角扳手(3 mm)松开颤音器模块上弦钉的螺栓；然后从琴枕中拉出琴弦进行拆卸。
3. 用钢丝钳剪下新琴弦的小球端。
4. 将新琴弦剪下小球端的一端插入琴码和琴弦底座之间，拧紧弦钉螺栓，上紧琴弦。
5. 在弦锁一端卷紧琴弦，完成调音。
6. 调音完成后，拧紧弦锁的压板螺栓。



※ 您还可以像在普通锁定式颤音器上一样插入剪掉小球端的琴弦。

※ 一次性拆下所有琴弦会导致颤音器角度大幅度变化，所以我们建议逐根更换琴弦。如果一次性拆下了所有琴弦，可以用一块布卡进颤音器下方，让颤音器的角度不产生大幅度变化，会使调音更容易些。

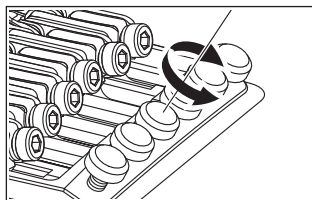


注

- 对琴弦进行调音之前，务必将弦钉螺栓牢固拧紧。

微调

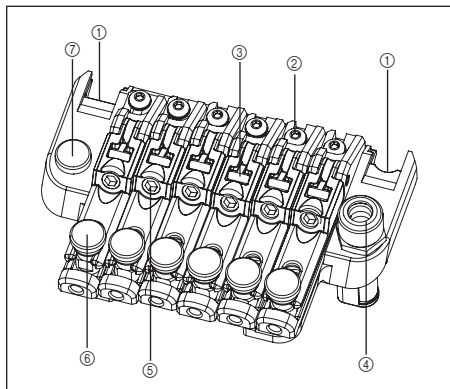
即使已经用弦锁锁死了琴弦，还可以通过微调为每根琴弦调音。如果调音前让所有的微调螺栓都位于调整范围的中间，琴弦锁死后的调整范围可以最大化。



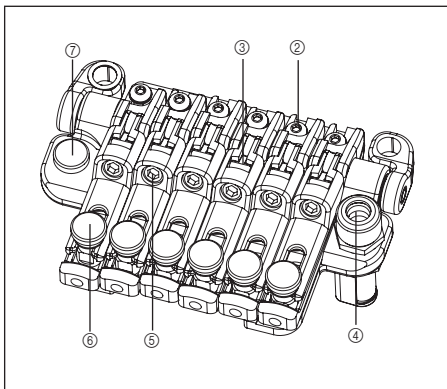


Edge-Zero/ZR-2 颤音琴桥

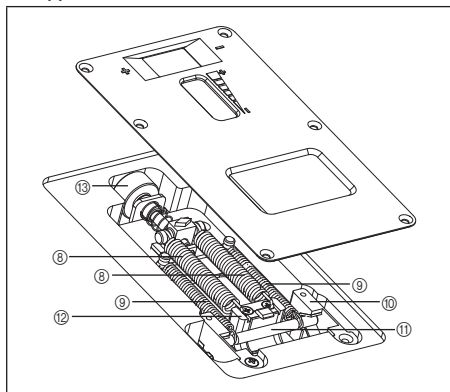
■ Edge-Zero



■ ZR2



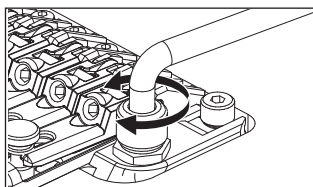
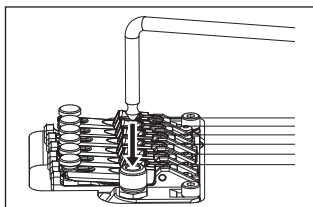
■ 后



- ① 刀口
- ② 琴码锁定螺栓
- ③ 琴弦固定块
- ④ 颤音臂插孔
- ⑤ 琴弦止动螺栓
- ⑥ 微调螺栓
- ⑦ 八度音调调整螺栓
- ⑧ 主弹簧
- ⑨ 副弹簧
- ⑩ 止动器
- ⑪ 止动杆
- ⑫ 颤音器弹簧座
- ⑬ 弹簧调节旋钮

安装摇把

1. 摇把采用快速拆装设计。按住摇把的弯曲角，然后插入底座插孔中，用力按下直牢固紧密。
2. 用转矩调整帽调整摇把的松紧。顺时针转动使其紧固，逆时针转动使其放松。

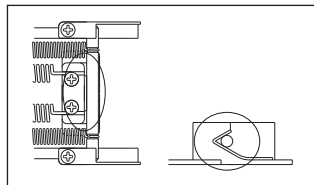


颤音器角度调整/零点系统调整

颤音器角度要通过改变琴弦拉力和吉他背面的零点系统的拉力之间的平衡进行调整。

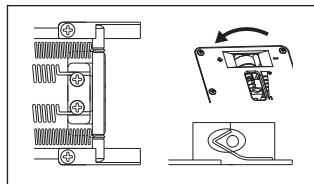
Edge-Zero/ZR2设计为在零点系统调整正确的情况下，可以让颤音器大约平行于吉他琴体表面，然后在该状态下获得吉他的最佳性能。

在零点正确调整的情况下，止动杆会紧密连接在颤音模块上，铜头会接触止动器。

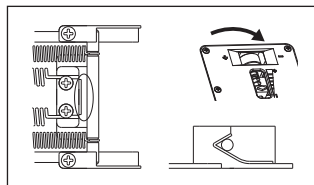


1. 正确调音的情况下，检查零点系统。

2. 如果止动杆没有接触止动器(比如颤音器模块顶出了止动杆)，将琴体背部的弹簧调整旋钮朝着“plus”方向紧固主弹簧。



3. 如果颤音模块没有紧密接触止动杆(如颤音器向后倾斜)，可以朝着“minus”方向转动弹簧调整旋钮，放松主弹簧。

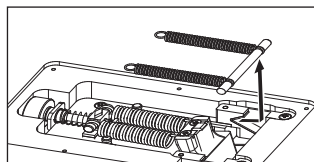


禁用零点系统(将颤音模块当做普通floating(浮动式)颤音器使用)

通过禁用零点系统，您可以颤音器将模块当做常规floating(浮动式)颤音琴桥使用。

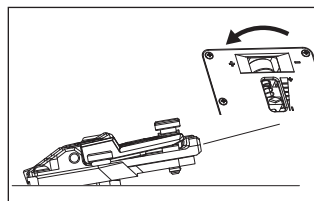
当零点系统被禁用，颤音器的角度将通过琴弦的拉力和颤音器模块上主弹簧的拉力之间的平衡来调整。

为了最大限度地发挥性能，请调整颤音器，使之与琴体表面大体平行。



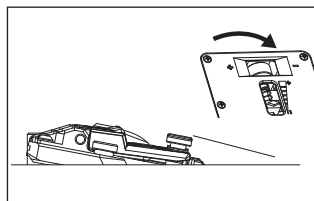
1. 朝上握住摇把(使颤音模块离开止动杆)，同时拆下止动杆和副弹簧。

2. 在吉他正确调音的前提下，检查颤音器的角度。



3. 如果颤音器向前倾斜，请向“plus”方向调整弹簧拉紧主弹簧。

4. 如果颤音器向后倾斜，请向“minus”方向调整弹簧拉紧主弹簧。



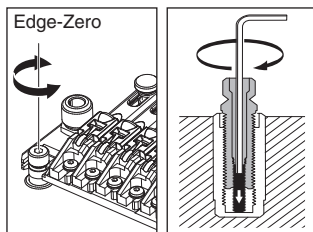
※ 由于琴弦的拉力和弹簧的拉力之间的平衡在您每次调整颤音器弹簧时都会改变，所以禁用零点系统情况下调整颤音器角度时会影响调音结果。因此您在调整颤音器角度的同时需要反复调音。

螺栓锁 (Edge Zero 颤音琴桥)

Edge-Zero颤音琴桥带有螺栓锁定功能。

1. 将六角扳手(2 mm)插入螺栓顶部的孔。
2. 顺时针转动螺栓锁定螺栓，将其拧紧直到螺栓锁定螺栓接触到固定螺母无法再转动为止。

※ 如要放开螺栓锁定，可以拧松螺栓锁定螺栓。



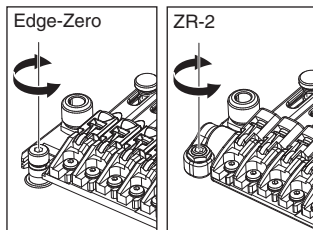
调整弦高

要调整颤音器模块的整体高度，可以用六角扳手(3 mm)调整模块左右两侧的螺柱。(不能单独调整每条琴弦。)



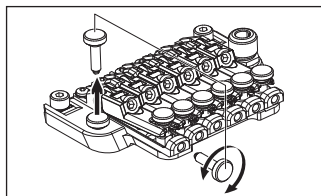
注

- 调整弦高时确保松开螺栓锁定紧固螺丝。

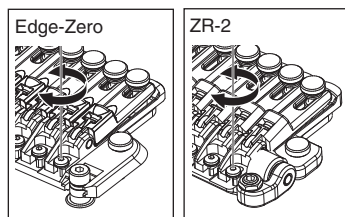


调整八度音

1. 拆下安装在琴桥模块中的八度音调整螺栓，将其拧入琴码背面的螺丝孔内，直到每个螺栓的端部碰到颤音器模块壁。
2. 用六角扳手(2 mm)松开琴码锁定螺栓，然后转动八度音调整螺栓，调整琴码的位置。

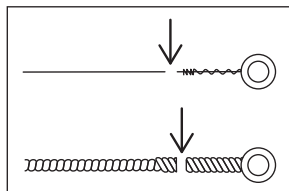
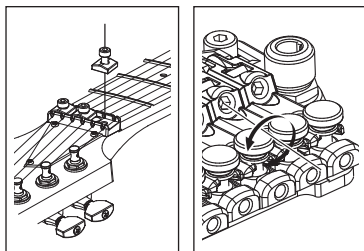


※ 检查八度音之前，请牢固拧紧琴码锁定螺栓，并将吉他调音至正确音高。调音前，请用六角扳手 (3 mm) 松开弦锁的压板螺丝。完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓和琴枕弦锁的压板螺栓，然后让八度音调整螺栓置于颤音模块内部。



更换琴弦

1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的压板螺栓，从弦锁上拆下琴弦。
2. 用六角扳手(3 mm)松开颤音器模块上弦钉的螺栓；然后从琴枕中拉出琴弦进行拆卸。
3. 用钢丝钳剪下新琴弦的小球端。
4. 将新琴弦剪下小球端的一端插入琴码和琴弦底座之间，拧紧弦钉螺栓，上紧琴弦。
5. 在弦锁一端卷紧琴弦，完成调音。
6. 调音完成后，拧紧弦锁的压板螺栓。

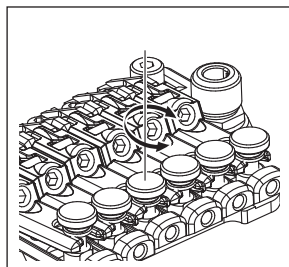


注

- 对琴弦进行调音之前，务必将弦钉螺栓牢固拧紧。

微调

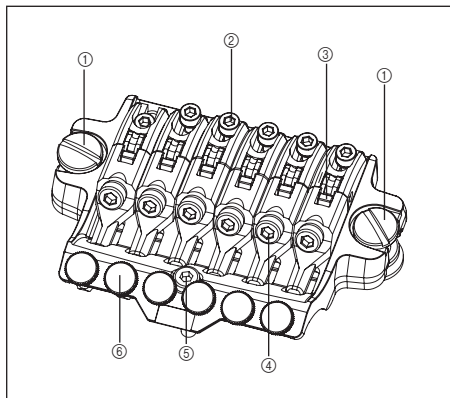
即使已经用弦锁锁死了琴弦，还可以通过微调为每根琴弦调音。如果调音前让所有的微调螺栓都位于调整范围的中间，琴弦锁死后的调整范围可以最大化。





FX Edge III/FX Edge III-8 琴桥

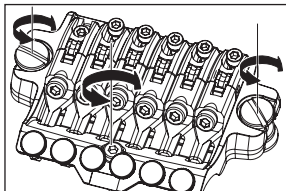
■ FX Edge III



- ① 主螺栓
- ② 琴码锁定螺栓
- ③ 琴弦固定块
- ④ 琴弦止动螺栓
- ⑤ 后螺栓
- ⑥ 微调螺栓

调整弦高

1. 如要调整琴弦的高度，可以用一字螺丝刀或硬币转动琴桥模块左右两侧的主螺栓。调整颤音模块整体的高度。(不能对每根琴弦的高度进行调整。)
2. 用六角扳手 (3 mm) 调整后部螺栓，让琴桥与吉他琴体表面大体平行。

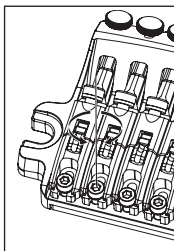
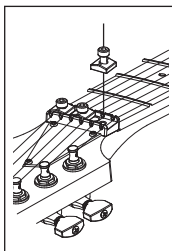


※ 当您调节背部螺栓时琴的表现会发生改变,因此我们建议在调节背部螺栓后检查琴体最终的表现。
为防止螺丝孔被损坏，调节主螺栓之前请充分放松琴弦，使得您无需在调节螺栓时使用过大的力量。

调整八度音

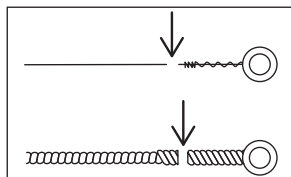
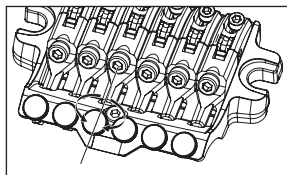
1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的螺栓，充分松开琴弦。
2. 用六角扳手(2 mm)松开琴码锁定螺栓，调整琴码的位置。

※ 检查八度音之前，请牢固拧紧琴码锁定螺栓，并将吉他调音至正确音高。完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓和琴枕弦锁的压板螺栓。



更换琴弦

1. 用六角扳手(3 mm)松开弦锁压板上的压板螺栓，从弦锁上拆下琴弦。
2. 用六角扳手(3 mm)松开琴桥模块上弦钉的螺栓；然后从琴枕中拉出琴弦进行拆卸。
3. 用钢丝钳剪下新琴弦的小球端。
4. 将新琴弦剪下小球端的一端插入琴码和琴弦底座之间，拧紧弦钉螺栓，上紧琴弦。
5. 在弦锁一端卷紧琴弦，完成调音。
6. 调音完成后，拧紧弦锁的压板螺栓。

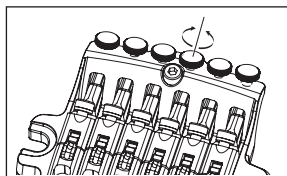


⚠ 注

- 对琴弦进行调音之前，务必将弦钉螺栓牢固拧紧。

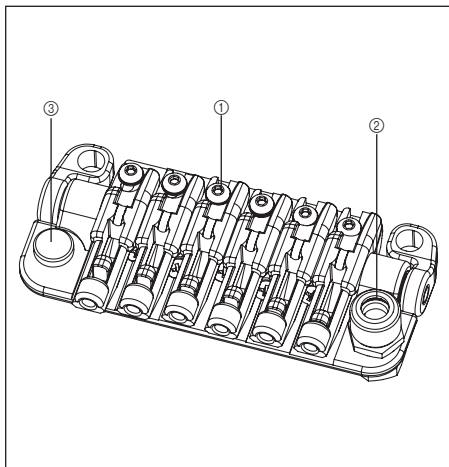
微调

即使已经用弦锁锁死了琴弦，还可以通过微调为每根琴弦调音。如果调音前让所有的微调螺栓都位于调整范围的中间，琴弦锁死后的调整范围可以最大化。



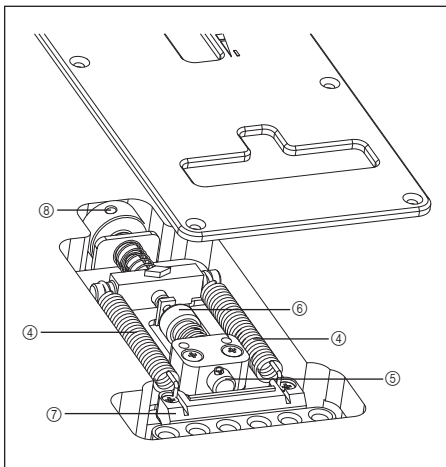


■ 简介



- ① 琴码锁定螺栓
- ② 颤音臂插孔
- ③ 八度音调整螺栓

■ 后

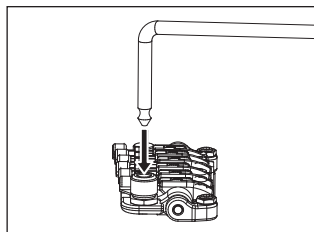


- ④ 颤音器弹簧
- ⑤ 颤音器弹簧座止动器
- ⑥ 颤音器弹簧座止动器调节旋钮
- ⑦ 颤音器弹簧座
- ⑧ 弹簧调节旋钮

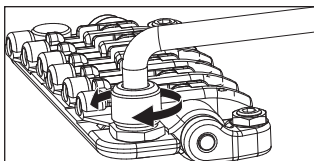
安装摇把

1. 摇把采用snap-in(可推进)设计。

按住摇把的弯角，用力将其按压到底座的摇把插孔中，直到完全隐没看不到。



2. 可以通过转矩调整帽调整摇把的紧固程度。顺时针转动转矩调整帽将调紧摇把，逆时针转动则调松摇把。

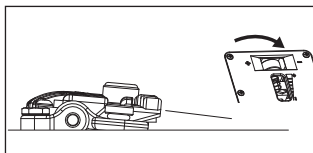
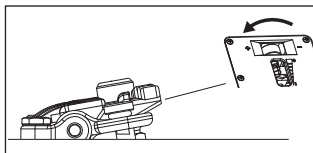
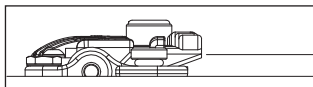


调整颤音器角度

通过琴弦拉力与安装在吉他琴体背面的颤音器弹簧之间拉力的平衡，调整颤音器的角度。
为了最大限度地发挥颤音器性能，请调整颤音器，使之与琴体表面大体平行。

1. 在吉他正确调音的前提下，检查颤音器的角度。
2. 如果颤音器向前倾斜，请向“plus”方向调整琴体背面的弹簧调整旋钮，拉紧颤音器弹簧。
3. 如果颤音器向后倾斜，请向“minus”方向调整弹簧拉紧颤音器弹簧。

※ 琴弦和弹簧之间的拉力平衡在您每次调整颤音器弹簧时都会发生变化，因此在浮动状态下调整颤音器角度，会影响调音结果。因此进行该调整时需要反复为吉他调音。

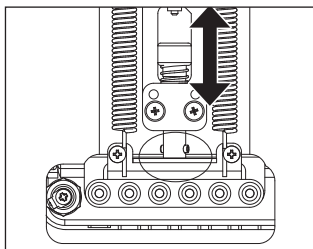


轴杆止动器

SynchroniZR具备轴杆止动器功能。通过锁定轴杆的移动范围禁用颤音器的浮动状态。

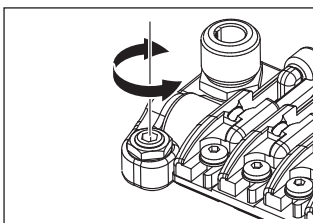
1. 确保调整颤音器，使之与琴体表面大体平行。
2. 拆下颤音器弹簧盖板，转动轴杆止动器旋钮，让轴杆止动器的顶端接触到颤音器模块。
3. 再次确认颤音器与琴体表面大体平行，然后向“plus”方向转动几次弹簧调整旋钮。

※ 如果颤音器的弹簧太松，颤音器模块会受到琴弦的拉力，可能造成调音不准。如果调音过程中产生该现象，可以更多地向“plus”方向转动弹簧调整旋钮。



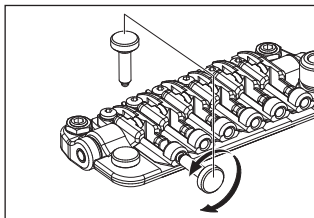
调整弦高

要调整弦高、颤音器模块的整体高度，可以用六角扳手(3 mm)调整模块左右两侧的螺钉。(不能对每根琴弦的高度单独进行调整。)



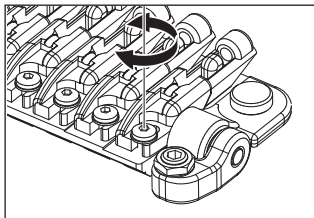
调整八度音

1. 拆下安装在琴桥模块中的八度音调整螺栓，将其拧入琴码背面的螺丝孔内，直到每个螺栓的端部都碰到颤音器模块壁。



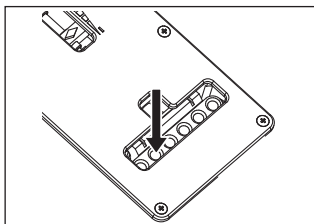
2. 用六角扳手(2 mm)松开琴码锁定螺栓，然后转动八度音调整螺栓，调整琴码的位置。

※ 检查八度音之前，请牢固拧紧琴码锁定螺栓，并将吉他调音至正确音高。完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓和琴枕弦锁的压板螺栓，然后让八度音调整螺栓置于颤音模块内部。



更换琴弦

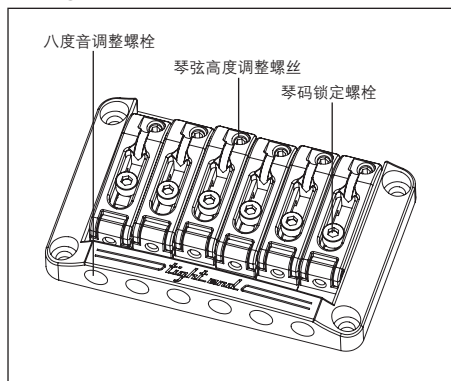
将琴弦穿入吉他琴体背面的颤音模块中，安装新琴弦。





Tight-End 琴桥/Tight-End R 琴桥 (供六弦吉他和七弦吉他使用)

■ Tight-End 琴桥



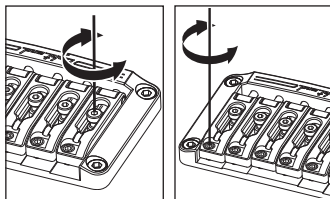
■ Tight-End R 琴桥



调整弦高

1. 用六角扳手(2 mm) 松开琴码锁定螺栓。
2. 要调整琴码的高度，可以用六角扳手(2 mm)转动琴码高度条调整螺丝。

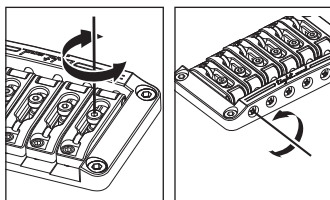
※ 完成调整后，拧紧琴码锁定螺栓。



调整八度音

1. 用六角扳手(2 mm)松开琴码锁定螺栓。
2. 用十字螺丝刀转动八度音调整螺栓，从而调整琴码的位置。
3. 用六角扳手(2 mm)拧紧琴码锁定螺栓，然后用十字螺丝刀向顺时针方向稍微拧紧八度音调整螺栓。(稍微拧紧即可，使之不影响琴码的位置。)

※ 检查八度音之前，确保以为吉他进行正确的调音。



换弦

要安装新琴弦，可以将它穿入琴体背面的琴弦金属弦框。

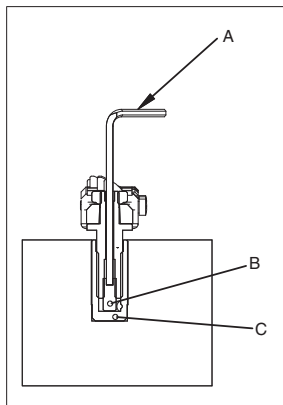


TIGHT-TUNE 琴桥

Tight-Tune琴桥可以将琴桥的各活动件分别锁定以抑制不必要的振动，从而获得最佳稳定性和声音传递。琴桥有螺栓锁定功能，可以将琴桥更可靠地固定在琴体上。此外，拉弦板具有小球端锁定功能，能固定小球端使其不会脱落。

调整弦高

松开琴桥单元左右两侧的琴弦锁（D），用3毫米的六角扳手转动螺栓锁定螺丝（E）来调整琴桥单元的高度。请注意，不能对每根琴弦的高度进行调整。完成调整之后，拧紧琴弦锁。



螺栓锁定功能

调整弦高之后，用2毫米的六角扳手在螺栓内顺时针转动螺栓锁定螺栓（B）。继续拧紧，直到螺栓锁定螺栓接触到固定螺栓（C）且螺栓无法再转动。

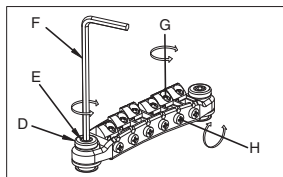


注

调整弦高时，务必先用2毫米的六角扳手逆时针转动螺栓锁定螺栓（B）将其完全松开。否则会发生损坏。

调整八度音

用十字螺丝刀松开琴码锁定螺丝（G），然后用十字螺丝刀转动八度音调整螺丝（H）调整琴码的位置。对吉他进行调音并检查八度音。重复以上调整步骤，直到获得所需的八度音，然后拧紧琴码锁定螺丝。

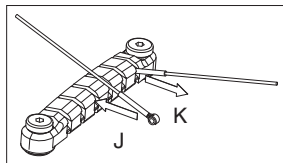


注

八度音调整螺丝（H）变松会引起共鸣。如果发生这种情况，稍微拧紧八度音调整螺丝，小心不要让琴码移动。

更换琴弦

将琴弦的小球端朝箭头所示方向（J）插入拉弦板的槽中。小球端锁定功能可固定小球端。拆卸琴弦时，将其朝（K）箭头指示方向拉出。



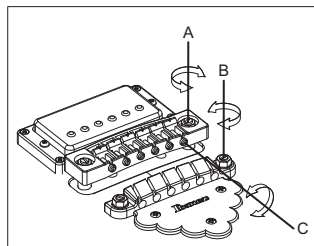


GIBALTAR 琴桥 08 / QUICK CHANGE 拉弦板 08

若要调整弦高，请用一字螺丝刀转动位于琴桥左右两端的螺栓(A)。调整前，用8毫米的琴马松开琴弦锁。调整后，重新拧紧琴弦锁以固定琴桥。

若要调整拉弦板的高度，请用一字螺丝刀转动位于两侧的调整螺丝(B)。调整前，请松开琴弦锁。调整后，按照与琴桥同样的方法将其重新固定好。如果琴桥和拉弦板的琴弦锁变松，会引起失真或共鸣。抬高拉弦板会减小琴弦张力，使手感变软、更易于推弦。

若要调整每个琴马的八度音位置，请用一字螺丝刀转动八度音调整螺丝(C)。

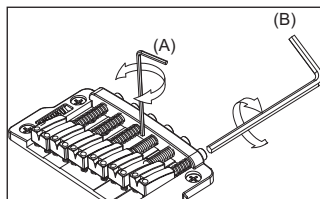


GIBALTER STANDARD 琴桥 (7-弦 / 8-弦 型号)

要安装新琴弦，可以将它穿入琴体背面的琴弦金属弦框。

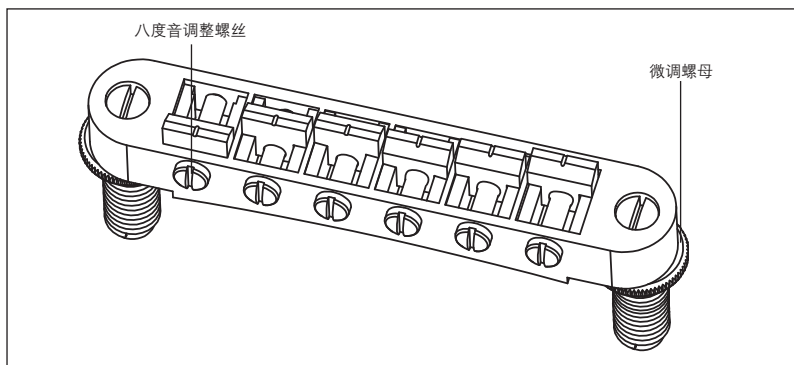
若要调整弦高，用1.5毫米的六角扳手转动调整每个琴码的高度(A)。若要调整八度音，用2.5毫米的六角扳手转动琴桥背面每个琴码的八度音调整螺丝(B)。

※ 7 弦和 8 弦型号的调节方式相同。



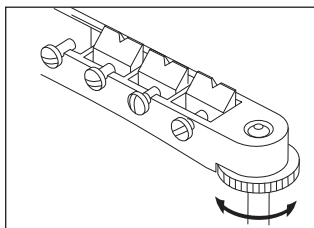


Full Tune II 琴桥



调整弦高

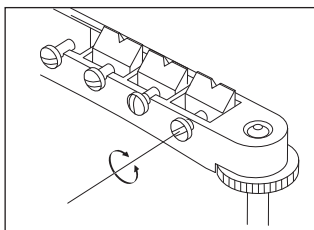
要调整整个琴桥的高度，可以用手指转动琴桥左右两侧的调整转轮。（不能对每根琴弦的高度单独进行调整。）



调整八度音

要调整琴码位置，可以用一字螺丝刀调整八度音调整螺栓。

※ 检查八度音之前对吉他进行正确调音。

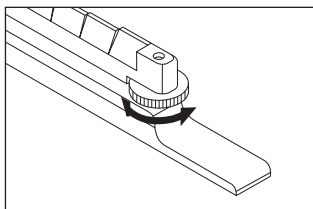




全原音吉他琴桥

调整弦高

要调整整个琴桥的高度，可以用手指转动琴桥左右两侧的调整转轮。(不能对每根琴弦的高度单独进行调整。)



调整八度音

要调整琴码位置，可以松开琴弦，移动整个琴桥。

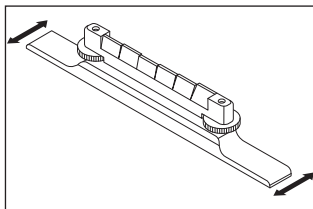
※ 检查八度音之前对吉他进行正确调音。



注

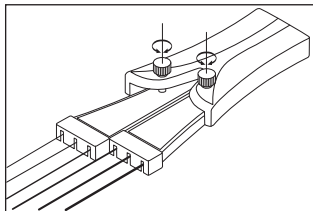
松开琴弦时，小心琴桥不要掉落。

更换琴弦时，我们建议逐根更换，若一次性拆卸所有琴弦，琴桥的位置会移动。



全原声吉他拉弦板 (GB10)

GB10上安装的全原声吉他拉弦板可以分别调整1--3弦和4--6弦的高度。拧紧调整旋钮会降低拉弦板的高度。



全原声吉他条状按钮

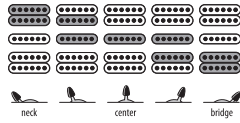
全原声吉他没有安装在乐器琴颈一侧的条状按钮。

如果要安装条状按钮，请联系您的经销商或Ibanez公司。

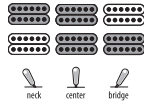


PICKUPS

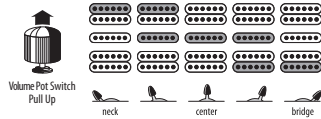
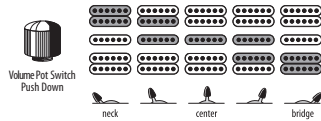
H-S-H (5-WAY)



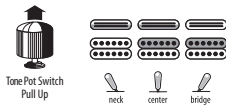
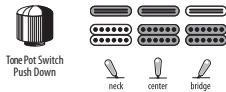
H-H (3-WAY)



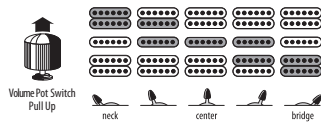
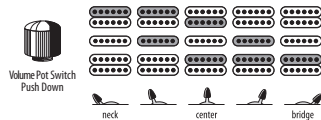
SV



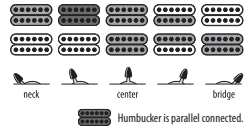
JS



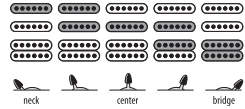
EGEN



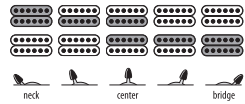
H-H (5-WAY)



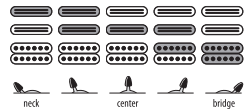
S-S-H (5-WAY)



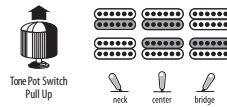
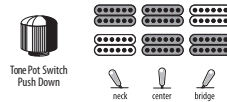
FR



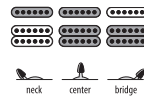
AT



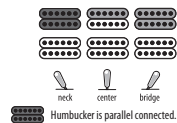
JS



APEX



TRI-SOUND





CONTROLS

